

収蔵史料目録一

諸家史料目録 1

福重氏所蔵金檀家文書（かつらぎ町東谷）

堀内家文書

山崎家文書（和歌山市大垣内）

谷口家文書（和歌山市冬野）

安染川村文書Ⅰ（桃山町元）

安染川村文書Ⅱ（桃山町元）

大川浦文書Ⅰ・Ⅱ（和歌山市大川）

蜜柑方元締文書（有田市北湊）

山裾織布場文書（和歌山市坂田）

中尾家文書（下津町梅田）

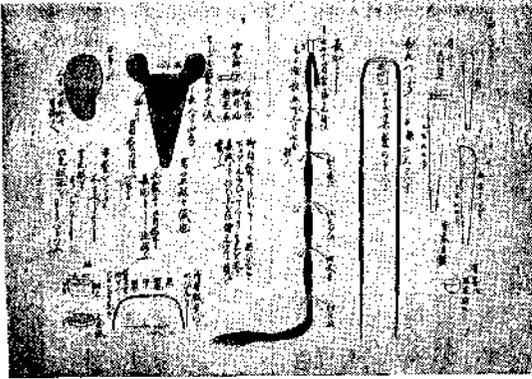
和歌山県立文書館

1. 徳本の「名号石」
(和歌山市冬野
谷口家所有地内)



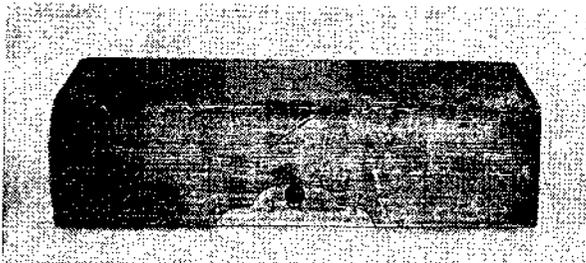
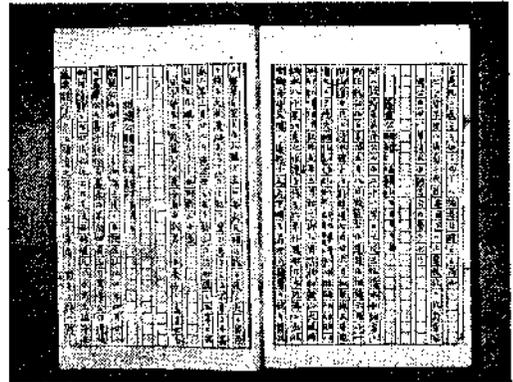
2. 徳本筆
「六字名号」
(谷口家文書31)

3. 雨宝童子像図 (谷口家文書40)

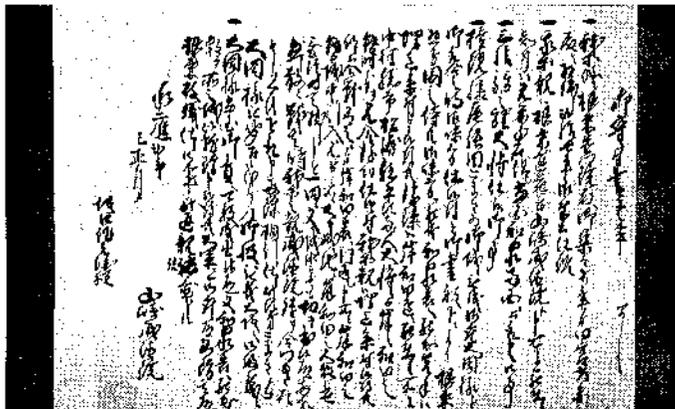


4. 大奥御服図原稿（堀内家文書2～5）
『南紀徳川史』第16冊（卷之百四九）の原稿として描かれた。色や模様他細かい指示が書き込まれている。

5. 「南紀物語」原稿（堀内家文書1）
堀内信の未刊行原稿。『南紀徳川史』の要約的なもの。

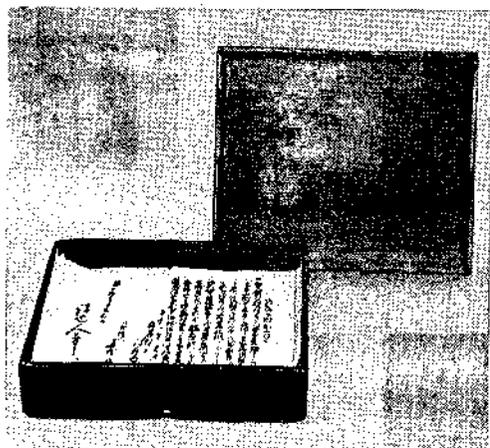
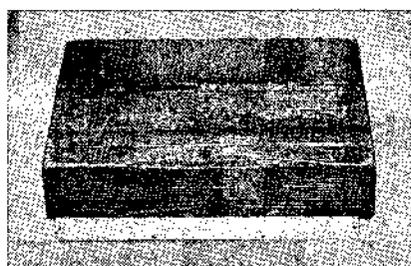
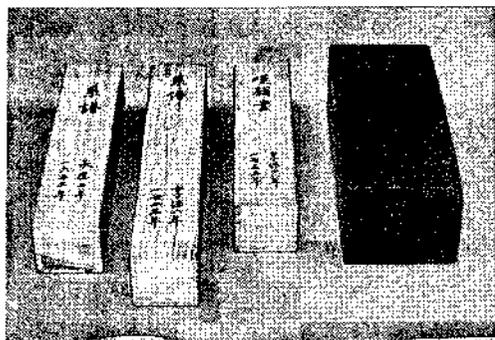
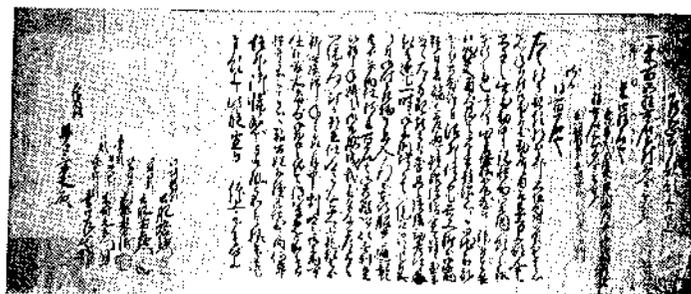


6. 大川浦文書I保存箱

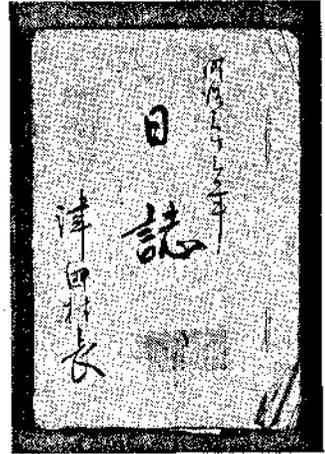
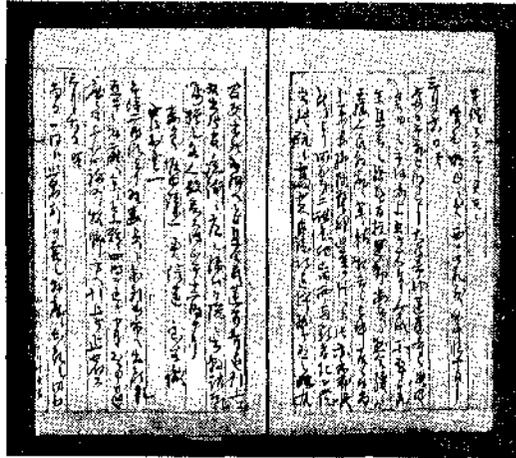


7. 御尋二付書上之事 (由緒書)
(山崎家文書1)

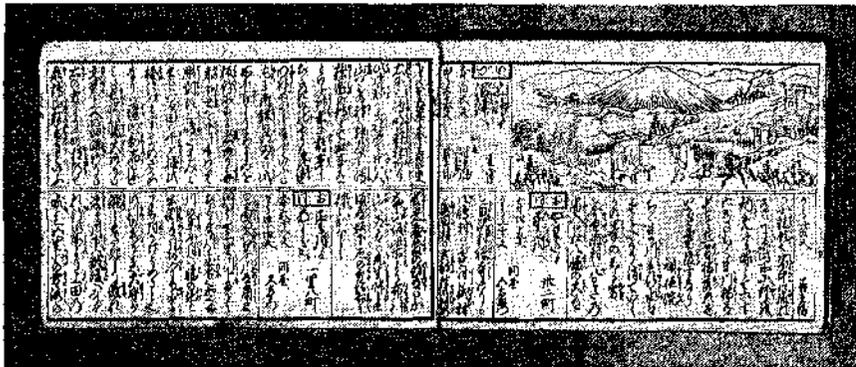
8. 乍恐奉嘆願上候口上
(山崎家文書79)
角右衛門「御藏庄屋」
一件文書



9. 山崎家文書保存箱
左上一左より箱ア、イ、ウ、エ
右上一箱オ
左下一箱カ (フタを開けた状態)
右下一箱キ



10. 明治三十三年安楽川村村長「日誌」(安楽川村文書II-108)
 写真の三月六日の条には、鉄道反抗運動一件につき、五ヶ大字から百五十名が参集したことが、書かれている。



11. 「諸国道中袖鏡」(福重氏所蔵金檀家文書1)
 上段の東海道が三島より沼津、下段の中山道が八幡より芦田の道中が書かれている。

創刊にあたって

和歌山県立文書館は、地域のあゆみが記された貴重な史料である古文書や公文書・行政資料等を収集・保存し、その活用をはかることを目的として、平成五年七月に開館いたしました。当文書館では、和歌山県内外の多くの方々の御理解と御協力をいただいて、古文書等の史料の収集と保存につとめてまいりました。開館時の収蔵史料は和歌山県立図書館から移管された古文書約二万五千点でしたが、現在では古文書だけで約四万五千点を収蔵し、所蔵されていた家ごとに整理作業を行なうから一般の利用に供しています。

文書館は、古文書等の記録史料を未来へ伝えるための史料保存機関であるとともに、史料を活用していただく施設でもあります。その意味で目録の作成は、古文書等の総合的な活用をはかるという重要な役割を担っているものであり、文書館の根本的な業務の一つといえます。当館におきましても、整理作業の進展にともない順次目録を発行していく予定です。

このたび創刊いたします『諸家史料目録』1は、収蔵史料目録の第一冊目として、所蔵者から御寄託いただいた史料など一〇家分をまとめたものです。はじめて作成した目録のため、家ごとの史料群の状況を十分に表現できなかった点や不統一な部分もあろうかと思えます。利用者の方々には御指導・御批判のほどお願いいたします。

本目録が、和歌山県の歴史研究などに活用され、さらに記録史料を保存することの重要性について認識を高めていただく一助ともなれば幸いです。

最後になりましたが、史料を御寄託いただいた所蔵者の皆様をはじめ、目録作成に御協力いただいた関係各位にふかく感謝いたしますとともに、今後も当文書館への御支援をたまわりますようお願い申し上げます。

平成八年三月

和歌山県立文書館長 野見典展

凡例

- 一 本目録は、和歌山県立文書館が平成五年の開館以来収集した史料の一部を目録にしたもので、収蔵史料目録の第一集であり、一〇家分の史料を家（史料群）ごとにおさめた『諸家史料目録』1である。
- 一 本目録には収録した家（史料群）は、福重氏所蔵金檀家文書（寄託 六点）、堀内家文書（寄託 一九点）、山崎家文書（寄託 一〇四点）、谷口家文書（寄託 五五点）、安楽川村文書Ⅰ（購入 一九三点）、安楽川村文書Ⅱ（購入 一九一点）、大川浦文書Ⅰ・Ⅱ（購入 七一点）、中尾家文書（移管 六三八点）、蜜柑方文書（移管 四四七点）、山裾織布場文書（移管 三四八点）である。なお、収録順序は寄託・購入・移管の順とした。
- 一 各家に関する目録の構成は、個々の史料群の内容を考慮し、分類別、年代順、または両者の併用により記載した。
- 一 分類別の目録において、各分類項目内の文書の配列順序は、原則として年代順とした。
- 一 年代順の目録においては、年代が明記されているもの、干支・月・日等のみ記されているもの、年代不明のもの順に記載し、同年同日や年代不明の文書については文書番号順とした。なお、年代を推定した場合も該当する時期に記載した。
- 一 目録は、原則として一点の文書ごとに利用番号、標題、整理番号、年代、作成者、宛名、形態等について記載し、必要に応じて備考を記入した。
- 一 利用番号は、家（史料群）ごとに付けられた史料の通番号であり、マイクロフィルム等における文書利用に対応している。
- 一 標題は、原則として史料の原題を採り、原題のみでは内容が類推できない文書については（ ）を付して補足した。また、原題がない文書については、内容にしたがって標題を付け「」内に記した。
- 一 整理番号は、一つの家（史料群）における文書相互の順序や関連など、史料受け入れ時の状況について、枝番号等により示している。原則として、整理番号の数字は文書の順序を示し、記号は保存場所や容器の相連などを示している。なお、記号の内容については、各解題を御参照いただきたい。
- 一 年代は、原則として史料が作成された年代とし、年代を推定した場合は（ ）に記した。
- 一 文書の作成者が多数であり、欄内に全員を記入できない場合は、原則として適当と思われる名前を記し、それ以外は「他〇名」とした。また、作成者を推定した場合は（ ）に記した。

- 一 文書の宛名が多数であり、欄内に全員を記入できない場合は、原則として適当と思われる名前を記し、それ以外は「他〇名」とした。
- 一 また、宛名を推定した場合は（ ）に記した。
- 一 虫損などにより判読できない文字がある場合、字数を確定できるものは字数分を□で表し、字数不明のものは□□とした。
- 一 文書の形態は、次のとおり記した。

| | | |
|----|-------|---------------------|
| 一紙 | …………… | 一紙文書（継紙の折紙、切紙などを含む） |
| 縦帳 | …………… | 縦帳 |
| 縦半 | …………… | 縦半帳 |
| 横帳 | …………… | 横帳 |
| 横半 | …………… | 横半帳 |
| 綴 | …………… | 紙縫等により複数の文書が綴られたもの |
| 図 | …………… | 絵図、地図、図面等 |
| 和本 | …………… | 和綴じ本 |
| 本 | …………… | 和綴じ本以外の典籍 |

- 一 そのほか、必要に応じて一括、包紙、卷子、封筒、葉書、名刺、写真などと記した。
- 一 備考については、特に欄をもうけず、標題欄中に※を付して記入した。
- 一 本目録においては、原則として漢字は常用漢字を使用し、かな文字についても変体がななどはひらがなに改めた。
- 一 本目録に収録した一〇家の史料については、当文書館において写真版などによる閲覧・複写が可能である。
- 一 本目録において、職業・身分などに関する差別的偏見を表現する用語を使用している場合もあるが、歴史的事実に基づく客観的な研究をすすめるためであり、もとより不当な差別を容認するものではない。なお、人名の記載が不適切と思われる場合は、人名をあげず、人数のみ記した。

総目次

| | |
|------------------------|----|
| 口 絵 | |
| 創刊にあたって | |
| 凡 例 | |
| 和歌山県下都市町村区画図 | |
| 福重氏所蔵金檀家文書（伊都郡かつらぎ町東谷） | |
| 解題目次 | 1 |
| 目録 | 2 |
| 堀内家文書（埼玉県浦和市） | |
| 解題目次 | 3 |
| 目録 | 6 |
| 山崎家文書（和歌山市大垣内） | |
| 解題目次 | 9 |
| 目録 | 16 |
| 谷口家文書（和歌山市冬野） | |
| 解題目次 | 25 |
| 目録 | 29 |
| 安楽川村文書Ⅰ（那賀郡桃山町元） | |
| 解題目次 | 35 |
| 目録 | 48 |

安楽川村文書Ⅱ（那賀郡桃山町元）

解題目次

目録

大川浦文書Ⅰ・Ⅱ（和歌山市大川）

解題目次

目録

蜜柑方元締文書（有田市北蒨）

解題目次

目録

山裾織布場文書（和歌山市坂田）

解題目次

目録

中尾家文書（海草郡下津町梅田）

解題目次

目録

福重美子氏所蔵

金檀家文書目録

(かつらぎ町東谷)

金檀家文書解題

1 伝来と受け入れの経緯

福重美子氏所蔵金檀家文書は、和歌山市西高松在住の福重美子氏所蔵文書六点の総称である。

この文書は、福重美子氏が昭和四〇年代（一九六五年）に母親の実家である伊都郡かつらぎ町東谷字神野に所在した金檀家より譲り受けた文書である。金檀家は元は医者であったということだが、昭和初期には農業や、この地で盛んにおこなわれていた養蚕をしていた。当家には、遠い先祖は中国から来たという伝承があったという。所蔵者の福重氏はこの家の外孫にあたることから、幼少時（昭和初期）に度々同家を訪れ、歳の中に沢山の古文書があったことや、薬のことが書かれた古い横帳がよく反古紙として再利用されていたのを覚えておられる。しかし、昭和四〇年代に同家の県外転居にあたり最後に歳の中に入った時には、ほとんどの古文書は失われていた。かろうじて長持ちの底に残っていた冊子教冊を記念に持ち帰ったのが、この文書である。同家の転居後家や歳も取り壊されたため、現在かつらぎ町にこの家は残っていない。

受け入れについては、平成六（一九九四）年二月に福重氏自身が今後の保存・利用を考慮されて、当館へご持参の上寄託くださった。

2 文書群の概要と整理について

六点全て典籍類である。整理は内容で分けておこなった。元医者をしてきた家ということで、医療関係の典籍・写本が四点と一番多い。

この他に易学関係一点、旅関係一点。旅関係の「諸國道中袖鏡」（文

書1）は近世の版本で、和綴じ豎半帳形態をとり、各ページが上下二段に分けられ、上段を東海道、下段を中山道として、江戸日本橋から京に至る道中のことが、主要な宿場名とともに書かれていて興味深い。

※ 本目録作成にあたり、平成七年一月に福重美子氏に御来館いただき、聞き取り調査をおこなった。文書整理・聞き取り調査・目録作成は鎌田和栄がおこなった。

| 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 利用番号 |
|-----------|---------------|-----------------|--------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------|
| [治療薬処方写本] | [薬・食品用法、灸法写本] | 外科(瘰)新明集 卷之中 薬方 | 合類鍼灸技萃 卷之三・四 | 易学晴雨考 全 (新版) | 諸国道中袖鏡(東海道・中山道) | 標 |
| ※全文漢文 | ※明治5年写 | ※木版 | ※木版 | ※初版は文化9、木版 | ※木版、口絵11 | 題 |
| 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 整理番号 |
| | 万治 | | | 文政元年 | 天保10年 | 年 代 |
| | | | | 鶴州井上主税親(著)・元 男井上主税親(校)・元 龜堂(蔵版) | 江戸日本橋二丁目小林新兵衛・同本石町二丁目英大助・同芝神明前岡田屋嘉七 | 作 成 者 |
| | | | | | | 宛 名 |
| 和本 | 和本 | 和本 | 和本 | 和本 | 和本 | 形態 |

堀内家文書目録

目次

解題

| | |
|-----------------|---|
| 1 伝来と受け入れの経緯 | 4 |
| 2 堀内信について | 4 |
| 3 文書群の整理と概要について | 4 |
| 4 その他資料と参考文献 | 5 |

目録

| | |
|----------------|---|
| 一、堀内信筆原稿・書 | 6 |
| 二、写真 | 6 |
| 三、書・文書（堀内信筆以外） | 6 |
| 四、名著通信 | 7 |

堀内家文書解題

1 伝来と受け入れの経緯

堀内家文書は、埼玉県浦和市在住の堀内京子氏所蔵文書一九点の総称である。

堀内家は元紀州藩士であり、明治維新後は紀州徳川家に従い関東に移住した。幕末から明治期の九代当主堀内信（はりのうちまこと）は、紀州藩史研究の基本史料とされる『南紀徳川史』一七二巻（明治三四「一九〇一」年完成）等を編さんした。しかし、自家の古文書類や信の残した多くの史料や文書は、関東大震災や第二次世界大戦時の空襲などでほとんど失われたという。しかし、京子氏は信の第四子仁四郎の娘にあたることから、失われたものとは別にこの文書をうけついで来られた。今回所蔵文書の中から、紀州藩・和歌山関係のものを、二度に分けて御寄託いただいた。

受け入れに至った経緯は、はじめ堀内京子氏が知人の中央大学名誉教授神保博行氏に文書の保管について相談なされ、神保氏が堀内家の出身地であり、この文書群に縁の深い和歌山県での保管を勧められたことから、当文書館へ寄託いただくこととなったのである。

当館では、寄託の意向を請けて、まず平成六年四月に館員が埼玉県の堀内家へ伺い、その場で一六点の寄託をうけることとなった。その後平成七（一九九五）年六月に追加として当館へ三点を直接ご持参になり、寄託いただいた。

2 堀内信について

堀内信は天保四（一八三三）年紀州藩士の子として江戸赤阪藩邸丸

山口に生まれ、二二歳で表御用部屋認物勤となる。慶応四（一八六八）年家督相続し堀内家九代目となる（知行一〇〇石）。同明治元年二月孔雀ノ間詰並御目付（知行二〇〇石加増）。翌年二月牟婁下郡民政知局事。同年一月和歌山藩少参事に任じられる。明治五年一月紀州徳川家家扶となり、翌六年六月旧臣の子弟八人を連れて神戸に行き商業研究をする。その後明治二〇（一八八七）年八月に東京麻布飯倉の紀州徳川家邸内に移住し会計取締役となる。その頃藩主事績が余りにも不備であることに衝撃を受け、徳川茂承に上申して、その編さんを命じられた。二二年二月には三河国碧海郡鷺嶋村開墾にもたずかわるが、それらのかたわら邸内蔵書をはじめあらゆる資料を収集し、古老やゆかりの人物に聞き取りや質問を行い、和歌山県庁や諸神社等をたずねて資料の収集にあたった。そして明治二九年七月『南紀徳川史』前集七〇巻が完成。明治三三年一月からは徳川家を辞職し編さんに専念、翌三四年一〇月ついに『南紀徳川史』一七二巻が完成。紀州徳川家に呈上した。その後明治四〇（一九〇七）年には幕末維新期をあつかった『海結溢言』を編さん。大正九年七月三十一日没。東京赤坂台町報土寺に埋葬される。八八歳。

3 文書群の整理と概要について

受け入れが二度にわたったため、整理も二度に分けておこなった。元の保存現状がわからないが、受け入れ時の状態で整理をおこなった。軸装されているものは一点ずつ箱に入れられているが、総点数が少ないので特に箱番号を付したり整理番号を別にしたりはしていない。

概要は以下の通りである。

一、堀内信筆原稿・書 原稿は二種類有る。まず文書1の「南紀

物語」は明治三七（一九〇四）年に書かれたもので、例言に

「國祖南龍公初の國史ハ公家の世記既に完備するものありと且二百巻に垂んとする大冊如何に採要節略すとも到底小冊子の及ふ処に非されハ暫く之を他日に譲り單に筆を紀州最終の國君茂承公に起し國祖以来空前絶後大艱至難の世に能く國治を謀らせ以て龍祖が 天朝幕府より預り玉へる版圖を奉還せらる龍祖ハ之を首にし公ハ之を終にし以て首尾赫々の國職を尽し給ふ故に是之を詳にす、右の如しと雖も世々の略をも皆目掲げされハ明治同胞の紀人或ハ其起因乃至旧國主の名稱さへ恍として知る者なきに至らん依て首に歴世略表を掲げ次に同事略を記す」と有る。つまり『南紀徳川史』の紀州家部分の要約的なもので、領地や城についての記述（和歌山城の圖あり）と紀州家歴世事略（各歴代藩主につき）とからなり、六〇〇字詰原稿用紙三六枚に書かれている。未発表原稿。

もう一種類は文書275で、『南紀徳川史』16冊（巻之百四九）の「大奥御服圖」の下絵原稿の一部と考えられる。色や模様への指示が加えられ、朱にて訂正がほどこされ、あるいは不採用原稿もある。『南紀徳川史』は文章だけではなく挿絵についても堀内信自身が描いたものであり、信直筆の資料としては大変重要なものである。（口絵4参照）

書は一点で、明治四四年に信が徳川家康の「人の一生は……」を墨書したもので、軸装の上木箱に納められている。

二、写真 一点。堀内信自身が軸三点と、もう一人の人物（氏名不明）と共に写っている。

三、書・文書（堀内信筆以外） 三点。内二点は紀州徳川家一代斉順と一四代茂承筆の書であり、拝領品と考えられる。以上は軸装の上各々木製箱入り。残り一点は木下順庵門下の榊原

玄輔筆の文書で全文漢文。なお、この三点が堀内家文書中二度目に寄託された三点全てである。

四、名著通信 名著出版から『南紀徳川史』復刻版が出された時、名著出版社が各巻に付した小冊子九点で、一点目には、『南紀徳川史』と父の題で、信第四子の仁四郎（京子氏父）が、編さん時のエピソードを交えて紹介文を書いている。残りの八点には堀内信が明治二年に紀州牟婁郡民政局役人として現地に赴任した時、そこでの出来事や当時の熊野地方の風俗などを自筆の絵に説明文を添えて描いた「老の芋環」（未出版）が紹介されている。これも名著出版社からの依頼を受けて、堀内家が絵を写真に撮り、説明文を口語体に直した原稿を作成して提供されたものである。ここに残るものは、その印刷完成物である。印刷年代は新しいが、信の未発表作品の復刻（一部だが）として貴重である。

4 その他資料と参考文献

『南紀徳川史』堀内信編 南紀徳川誌刊行会 昭和五〇八年（昭和四五）同四七年に名著出版より復刻版 本編一七冊・総目次一冊が出されている。）

「『南紀徳川史』の完成年について」三好國彦（『南紀徳川史』研究1）一九八六年 『南紀徳川史』研究会

※ 文書整理・目録作成は鎌田和栄がおこなった。

一、堀内信筆原稿・書

| 利用番号 | 標 | 題 | 整理番号 | 年代 | 作成者 | 宛名 | 形態 |
|------|-----------|--|------|---------|-------------|----|----|
| 2 | 〔大奥御服図原稿〕 | ※『南紀徳川史 卷之百四九』 御簾中様御服元日御服・御元服後五節句御服 | 2 | (明治) | (堀内信) | | 一紙 |
| 3 | 〔大奥御服図原稿〕 | ※『南紀徳川史 卷之百四九』 御元服後平日午後御召替・御姫様方(不採用) | 3 | (明治) | (堀内信) | | 一紙 |
| 4 | 〔大奥御服図原稿〕 | ※『南紀徳川史 卷之百四九』 女中髪様・御小姓女中・帯結ひ方 | 4 | (明治) | (堀内信) | | 一紙 |
| 5 | 〔大奥御服図原稿〕 | ※『南紀徳川史 卷之百四九』 長かもじ・びんづら・わらわの真紙・眉つけ道具・元結 | 5 | (明治) | (堀内信) | | 一紙 |
| 1 | 南紀物語 | ※原稿 | 1 | 明治37年3月 | (堀内信) | | 一紙 |
| 7 | 〔書〕 | ※「人の一生は・・・」(徳川家康文)、木箱入 | 7 | 明治44年元旦 | 堀内信(如海翁七九歳) | | 一紙 |

二、写真

| | | | | | | | |
|---|-------------|------------|---|--|--|--|----|
| 6 | 〔堀内信と掛け軸写真〕 | ※もう一人の人物写る | 6 | | | | 写真 |
|---|-------------|------------|---|--|--|--|----|

三、書・文書(堀内信筆以外)

| | | | | | | | |
|----|------------|----------------|----|-----------------------|-----------|--|----|
| 17 | 〔紀州茂承公一行書〕 | ※木箱入、表題は箱書より | 17 | | 徳川茂承(一四代) | | 一紙 |
| 18 | 〔紀州斎順公一行書〕 | ※二重木箱入、表題は箱書より | 18 | | 徳川斎順(二一代) | | 一紙 |
| 19 | 〔古風一篇〕 | ※漢文 | 19 | 貞享 ³ 丙寅年九月 | 侍教生榊原玄輔 | | 一紙 |

四、名著通信

| | | | | | | | |
|----|---------------|-------------------------------------|-------------------------------|-------------|-----------------------|------|--|
| 16 | 名著通信 その6 | No. 21 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 16 | 昭和46年 | 名著出版 | |
| 15 | 名著通信 その6 | No. 20 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 15 | 昭和46年7月17日 | 名著出版 | |
| 14 | 名著通信 その6 | No. 20 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 14 | 昭和46年7月17日 | 名著出版 | |
| 13 | 名著通信 その5 | No. 17 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 13 | 昭和46年6月17日 | 名著出版 | |
| 12 | 名著通信 その4 | No. 16 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 12 | 昭和46年 | 名著出版 | |
| 11 | 名著通信 その3 | No. 15 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 11 | 昭和46年4月22日 | 名著出版 | |
| 10 | 名著通信 その2 | No. 14 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 10 | 昭和46年 | 名著出版 | |
| 9 | 名著通信 その1 | No. 13 | 「『老の芋環』 (堀内信著) について ※印刷 | 9 | 昭和46年2月24日 | 名著出版 | |
| 8 | 名著通信 No. 9 | 「『南紀徳川史』と父」 ※以下8、16迄 一括封筒入、印刷 | 8 | 昭和45年10月26日 | 堀内仁四郎(著) 版(発行)・名著出 | | |

山崎家文書目錄

(和歌山市大垣内)

目 次

解題

| | |
|---------------------|----|
| 1 伝来と受け入れの経緯 | 10 |
| 2 大垣内地区について | 10 |
| 3 近世大垣内村の支配と蔵庄屋について | 11 |
| 4 「御蔵庄屋」角右衛門一件と始末 | 11 |
| 5 由緒書に見る山崎家 | 12 |
| 6 文書群の状況と整理について | 14 |
| 7 概要と目録上の項目編成について | 14 |
| 8 その他利用文書と参考文献 | 15 |

山崎家文書保存箱一覧

| | |
|------------|----|
| 山崎家文書保存箱一覧 | 15 |
|------------|----|

目 録

| | |
|-----------|----|
| 一、村 | 16 |
| 二、治安 | 16 |
| 三、家経営 | |
| ①名寄帳 | 16 |
| ②本金返・譲り証文 | 16 |
| ③貸借 | 18 |
| ④頼母子 | 19 |
| ⑤その他家財政 | 20 |
| ⑥借家・奉公人 | 20 |
| 四、家 | |

| | |
|---------------|----|
| ①由緒書・家族 | 21 |
| ②角右衛門「御蔵庄屋」一件 | 21 |
| ③宗教 | 22 |
| ④その他 | 22 |
| 五、近世典籍 | 22 |
| 六、近現代文書 | 24 |

山崎家文書解題

1 伝来と受け入れの経緯

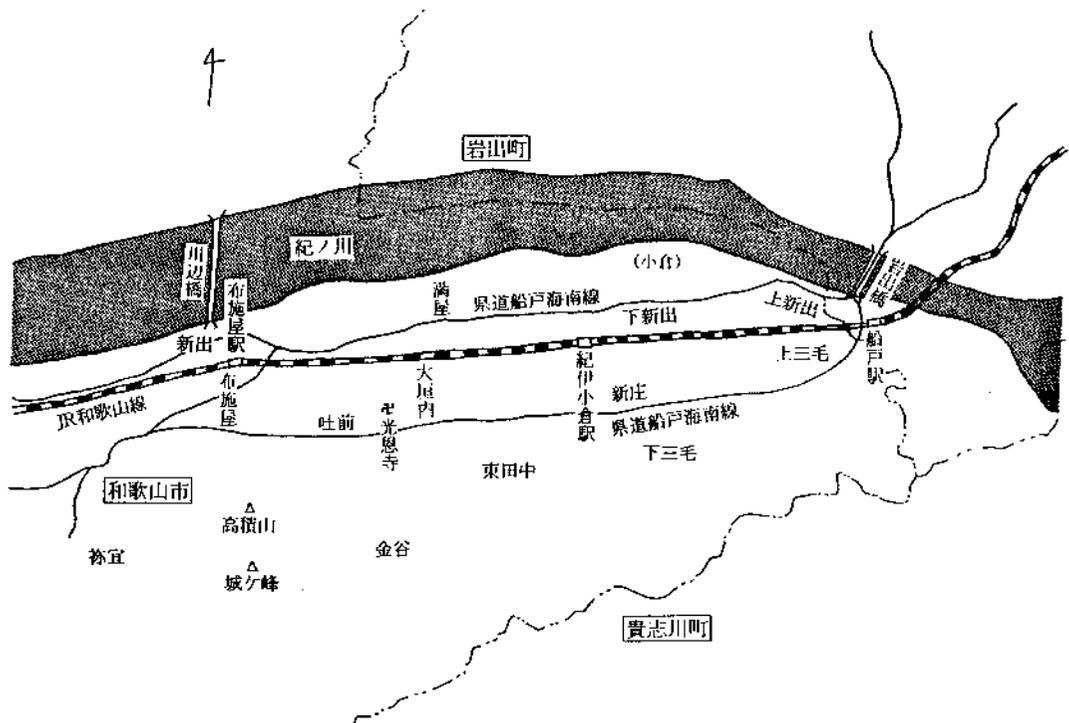
山崎家文書は、和歌山市大垣内在住の山崎博光氏所蔵文書一〇四点の総称である。

山崎家は、近代以前も現在と同じく旧紀伊国那賀郡大垣内村に所在し、近世には庄屋・御蔵庄屋などを勤めた家である。山緒書(文書1・2)によると、先祖は足利義昭に仕え、その後根来衆となっている。後述理由により、明治初年に屋敷が他家へ売り渡された時、多くの文書類は失われた。現存する文書は、山緒書などその時かろうじて残された文書である。

受け入れについては、現当主の御依頼により平成六(一九九四)年五月に館員がお宅に伺って、寄託をうけた。

2 大垣内地区について

大垣内地区は和歌山市の東北・紀ノ川の南に位置し、北は満屋、西に吐前、東に新庄、南に東田中の各地区がある。地区内を大和街道が通り、那賀郡貴志川町との境界にも近い。中世には小倉荘内であった。近世には大垣内村と称し和歌山藩領となり、小倉組に所属した。『紀伊統風土記』(天保一〇(一八三九)年編)によると村高一〇三〇石一升一合、家数六七軒、人口二五八人。維新後明治四(一八七二)年和歌山県に所属。明治二二年の町村制施行により那賀郡小倉村の一大字となる。昭和三三(一九五八)年からは和歌山市に所属し、その一地区となった。現在も地区内は内村・馬次(継)・西大垣内・藪之内の四小字の呼称が残る。主産業は農業で畑作・田作が中心。



大垣内周辺略図

3 近世大垣内村の支配と蔵庄屋について

近世の紀州藩領には、地域支配の手段として、郡の下に「組」と呼ばれる行政単位があった。郡内二〇ヶ村程の村で一組を作り、そこに大庄屋一名が置かれてそれを統括した。大庄屋は地上や帯刀人などその地方の有力者であり、組内の行政・裁判をはじめかなりの権限を持っていた（更に組には大庄屋を補佐する杖突が一、二名置かれていた）。組の下に各村があり、村ごとに庄屋・肝煎などが置かれ、この他に村内の年貢や諸役の徴収を担当する蔵庄屋・納庄屋も置かれていた。彼ら村役人も地主や地域の有力者がなっていた。

ところで、当時紀州藩領の村は年貢を藩庫へ納める御蔵所（蔵人地）と、給人の知行地である給所に分かれていた。小倉組二ヶ村中御蔵所は六村・給所は一五村。その中で大垣内村は御蔵所であった。

山崎家の村役人勤者を見ると、享保一八（一七三三）年当時当主善助が庄屋を勤めていたことが大庄屋に出された嘆願書でわかる（文書3）。その後のことは文書が残っていないため不明であるが、近世末期には当主角右衛門（または宮兵衛）が蔵庄屋を勤めている（文書8・64 / 68・78ほか）。

4 「御蔵庄屋」角右衛門一件と始末

山崎家文書の中でも蔵庄屋角右衛門一件関係文書は、当時の蔵庄屋と村支配・山崎家を知る上で興味深い。これらの文書は干支のみで年号が書いていないが、当家の言い伝えと菩提寺（現大垣内地区にある光恩寺）に残る過去帳や角右衛門墓碑より年代は推定できる。これらの文書の年代の辛未の年は、明治四（一八七二）年である。また、山崎角右衛門は明治四年一月に五七歳で死亡しているので、文化一二（一八一五）年頃の生まれであろう。以下にこの文書内容のあらまし

と、聞き取り調査で得た事実を紹介する。

山崎角右衛門は近世末期に蔵庄屋を勤め、村民からの年貢徴収をまかされていた。その後（恐らく時代が明治に変わったので）従来の諸帳面を調査され、計米一五六石三斗五合三勺余が不足（不納）であることが発覚した。在動中に村民の不納（年貢）米の取り立てを完全にしていなかったため（「…取立方不都合之品有之…」）納め米の不足が生じていたのである。このため山崎家は家財封印を命じられたが、嘆願して封印はゆるされた。しかし不足米は納めなくてはならない。文書にはあらわれないこの間のいきさつが当家には言い伝えられている。すなわち、この件について庄屋もしくは大庄屋から、「元はと言えば年貢を払いきれない村民への、角右衛門の温情から出た不始末であるが、今更年貢を不納していた多数の村民から、これを徴収することは酷である。多数の村民を助けるために、蔵庄屋（であった）角右衛門一人でその罪をかぶってもらいたい。一を切ることで多数を助けたい。」と言われ、角右衛門もそれに同調したという。

かくて不納米を納めるため、山・屋敷・諸道具を売り払い米四〇石を作った。（山崎家は屋敷「建物のみ」を上新田村の大西家へ売却した。屋敷は解体して運ばれ、移築後近年まで同家屋敷として使われていた。また、山崎家の門「おそらくりっぱな長屋門であったろう」は、布施屋村の藤野家に売却された。この時移築した門の一部分は、今も同家に残っている。）更に親類達も話し合いの末計一六石三斗五合余を払ったが、まだ一〇〇石不足である。これについては「親類中에서도引き請けるので、無利息二〇年賦で払わせてほしい。」と、嘆願書が出されている。この後の支払いが実際どうおこなわれたかは、資料が残っていないのでわからない。しかしこの一件は、蔵庄屋の存在と年貢徴収への権限などを知る手がかりとなるのではないだろうか。

角右衛門はこの一件文書の多くが書かれている明治四年に、失意のうち死亡した。家督を相続した息子の喜兵衛は、現当主の祖父にあたる。この後土地を残したまま山崎家は一端伊都郡へ転居するが、明治期の間に再度大垣内へ戻り、元の土地に屋敷を建てた。蛇足となるがこの新しい屋敷は、紀ノ川上流の村で屋敷（建物のみ）を買い、解体して後に組んで、紀ノ川を流してここまで持って来たそうである。

5 由緒書に見る山崎家

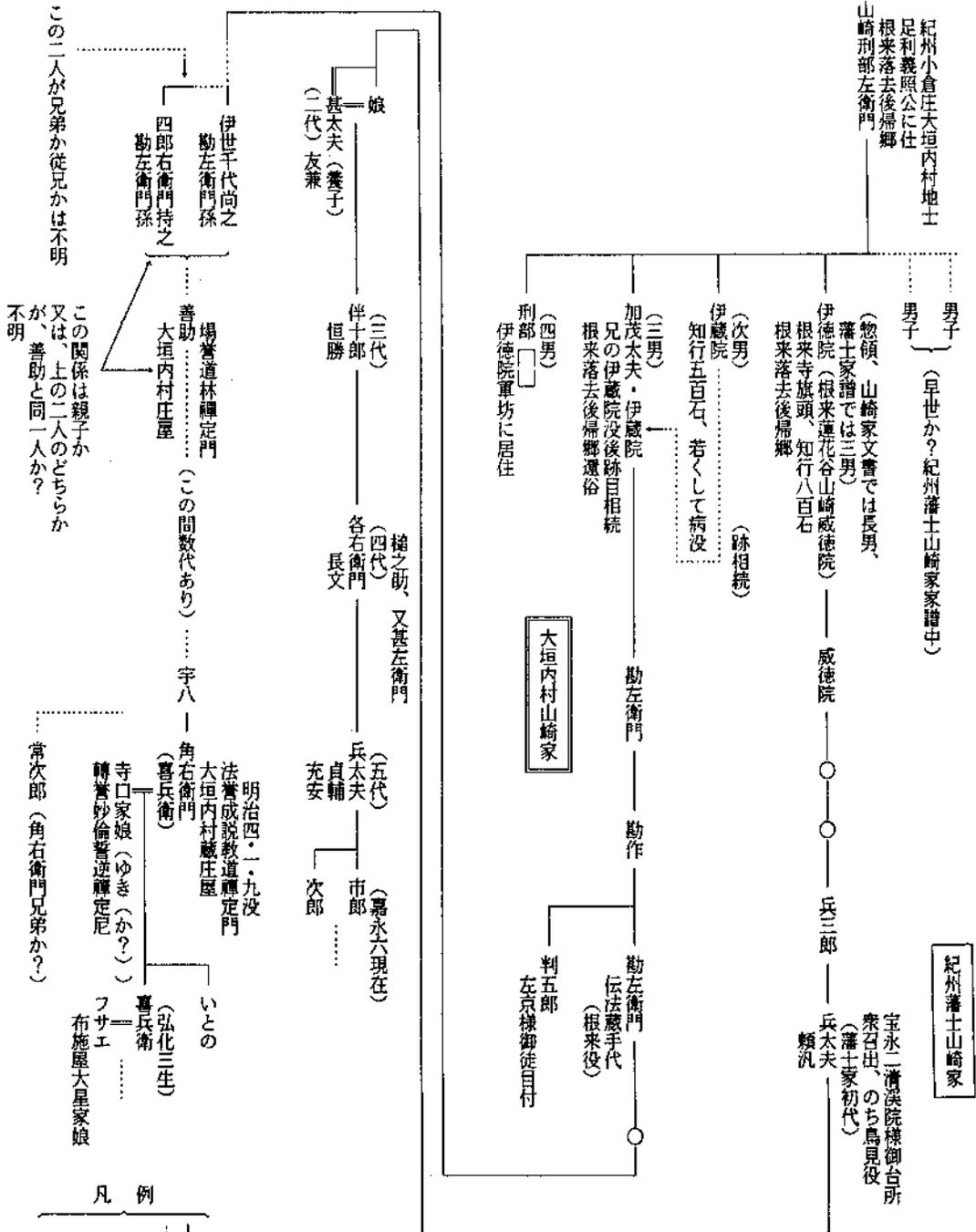
近世後期から近代の山崎家については既述の通りであるが、それ以前中世から近世初期にかけての当家についても由緒書などで知ることが出来る。当家に残る「由緒書」は二点（文書1・2）ある。さらに紀州藩士にも先祖が同じ山崎家があり、その「家譜」も当館で所蔵している（以下「山緒書」は山崎家文書、「家譜」は文書館所蔵藩士文書を指す）。これらによると、山崎家の先祖は山崎刑部左衛門という地主で、小倉庄大垣内に住んでいた。將軍足利義照（義昭の誤記であろう）に仕えて河内の高屋城にあって、天正年中には三好の軍勢と戦い、小牧長久手の戦い時は近隣地侍や根来寺と共に、家康の側について摂州表まで出陣した。また、紀州の多くの土豪と同じく、根来寺とも深いつながりをもっている。

根来寺は、覺鑊を開祖とする新義真言宗総本山の寺院であるが、戦国期には一つの社会・組織として自立し、沢山の坊院には数千人の僧侶が生活していた。根来寺は、惣分や足輕からなる軍隊（僧兵）を持ち、早くから鉄砲の利用に目を付けて独自に作らせたりもしている。この軍隊は根来衆として当時かなりの力を持っていた。この軍隊には近隣地域の土豪や地侍などの子弟が多く入っており、根来寺は彼らを通して地域の勢力とも結んでいたのである。

ところで、山崎刑部左衛門には四人の息子がいたが、長男（「家譜」には三男とある）は根来寺蓮華谷威（伊）徳院と称し、根来寺の旗頭を勤め、知行が八〇〇石（または千石）であった。次男は山崎伊蔵院と称し、知行は五〇〇石であった。しかしこの伊蔵院は病死してしまい、その跡を弟で三男の加茂太夫が相続する。この時加茂太夫伊蔵院は根来寺で軍隊を統括していた泉式（職）坊から藤戸友重の刀・脇差しをもらったが、これは後々まで当家に伝わった。末の四男は刑部□□（文書破損）と称し長男の威（伊）徳院の軍坊に居住していた。四人共根来寺に関係していたことになる。先の小牧長久手の戦い時の出陣も、このような状況が関与していたのであろう。そして天正一三（一五八五）年の秀吉の根来攻め時も父子共に泉州まで出陣し、伊蔵院は浜之城に籠もって戦った。この戦いに根来寺が破れた後、彼らは大垣内へ帰った。その後江戸幕府がひらかれてから小牧長久手の戦いで家康に味方したことにより根来衆百人が家康に、また紀州徳川家初代頼宣にも百十人が召し抱えられた。その時召し抱えられた根来衆の名が『根来山誌』所収の寛保元（一七四一）年の史料「根来百拾人名□□」に書かれているが、この中に住所は大垣内ではないが、山崎伊蔵院の名が見える。

「由緒書」にもどると、「伊蔵院は代々根来役御奉公相勤め罷り有り候」とある。そして延宝八（一六八〇）年頃には伊蔵院の子孫が伝法蔵手代に召し込まれ、その兄弟が「左京様江御徒目付」を勤め、また威徳院惣領筋五代目の兵太夫が清溪院様（二代光貞）御台所衆に召し出されたとある。「由緒書」を読むかぎりでは、現在の大垣内村山崎家はこの伊蔵院の子孫が根来同心（紀州藩は彼らを在村のまま切米八石で召し抱えた）としてこの地に残ったと考えられる。これに対し「家譜」には兵太夫が藩士山崎家の初代とあることから、威徳院の子

山崎家家系図



孫が藩士山崎家となったことがわかる。

6 文書群の状況と整理について

保存状況は、現在七個の木箱に入れられているが、現当主の代になってから作られた箱が多く、元の状態のままではない。また、一紙物については当主みずから補強のために裏打ちなさっている。当館では、この状態をくずさないように、まず箱にアノキの記号を付し、各箱ごとに現状順に上から取り出して整理をおこなった。ただし、箱ア・イ・ウはそれぞれ巻子にした文書が一点ずつ納められている。また、表・裏別々の文書を貼り合わせて一枚にしてあるものが数点あるが、目録上ではどちらも一点として別々にあつかったため、総点数と目録所載点数は合っていない（但し目録番号はどちらも同じで④と⑤とした）。

整理に際して付した整理番号は、頭に箱記号と「一」を付してその後ろに各箱ごとに一番からの番号を付した。これは一目でその文書がどの箱の何番目に保管されていたかを知るためと、今後箱数・文書点数共に非常に多い文書の整理を数人で手分けしてしなければならない場合のことを考慮して、取った方法である。

例 オー15はオの箱の一五番目の文書である。

箱の状態も良いので、整理後の文書は入っていた木箱に元通り納めて保存している。

7 概要と目録上の項目編成について

一部村役人時代の村文書もあるが、現在残されている文書のほとんどが、「山崎家」の文書であると考えられる。大きく分けると村・山崎家の二つに分かれるが、項目編成にあたっては、村、治安、家経営、家、近現代（家）文書、典籍に分けた。

一、村 四点。御蔵庄屋仕送り帳（文書7）は家文書中の角右衛門

一件文書との関連が考えられるが、内容が公的であるため別にした。文書3の「年貢残米皆済并至極弱人共取統度ニ付嘆願書」は年不明であるが、山崎家当主善助が庄屋時代に村民を代表し、村役人・村惣代が連名で大庄屋にあてて年貢の減免を嘆願した文書である。

二、治安 一点。（山崎）喜兵衛の借家人に仁右衛門が傷をおわせたことで、出入り差し止めを願う嘆願書。

三、家経営

①名寄帳 一点。喜兵衛所持田畑に関するもの。

②本金返・譲り証文 二五点。寛政元年～慶応四年までの文書。当家が買い主になっている文書が多い。それ以外の文書も、後年当家が関係した土地の証文であろう。最後に嘉永の下作請負証文も田地譲りに関連するので便宜上この項に含めた。

③貸借 一三点。当家当主が金銭を貸し付けている文書。

④頼母子 四点。善右衛門頼母子・桶陰頼母子の銀子預かり証文など。先の頼母子では、（山崎）角右衛門が親受人として登場する。

⑤その他家財政 六点。菜種・藍の代金に関する文書三点の宛名の字八は恐らく山崎家当主と考えられる。

⑥借家・奉公人 八点。請状。

四、家

①由緒書・家族 四点。前述の先祖由緒書二点は、どちらもお尋ねに付とあることから、紀州藩が家康に味方した先祖のことを調べるために提出させたのか、あるいは庄屋や

蔵庄屋任命時に提出させたものなのであろう。文書2の方が詳しく書かれているが、前欠なのが残念である。家族は、家族の送り証文。

②角右衛門「御蔵庄屋」一件 九点 前述山崎角右衛門の蔵庄屋時の未納米問題一件文書。

③宗教 二点。

④その他 二点。方位入り家見取り図、雑。

五近世典籍 二四点。写本が多い。算法(和算)関係のものが特に目立つ。また、親類である土肥氏の名が書かれているものが数点ある。

六近現代文書 四点。大伝法院七堂伽藍記は、近代以降の印刷物である。

8 その他利用文書と参考文献

「先祖書・親類書」(山崎各衛門家「家譜」)寛政八年二月(和歌山県立文書館所蔵)

『根来山誌』一九八六年(岩出町)

※ 本目錄作成にあたり平成七年一〇月に現地聞き取り調査を実施し、山崎博光氏ご夫妻に御協力いただいた。文書整理・現地調査・目錄作成は鎌田和栄がおこなった。

◎山崎家文書保存箱一覧

山崎家文書は木箱七箱にて受け入れた。箱ア・イ・ウ・キは現当主が文書専用に誂えられたものであり、箱オの身側は同氏自身で作成さ

れたものである。箱エ・カは近世から近代のものである。箱オの蓋については若干それより新しいと思われる。当館では、整理後もこの箱にて保存している(口絵9参照)。

| 山崎家文書項目 | |
|----------|--|
| 一. 村 | |
| 二. 治安 | |
| 三. 家経営 | <ul style="list-style-type: none"> ① 名寄帳 ② 本銀返・譲り証文 ③ 貸借 ④ 頼母子 ⑤ その他家財政 ⑥ 借家・奉公人 |
| 四. 家 | <ul style="list-style-type: none"> ① 由緒書・家族 ② 角右衛門御蔵庄屋一件 ③ 宗教 ④ その他 |
| 五. 近世典籍 | |
| 六. 近現代文書 | |

| 箱記号 | 法量(縦×横×高さ(cm)) | 文書数(目録番号) | 箱書 |
|-------|----------------|-------------|-------------------|
| ア(木製) | 三五・四×七・九×七・五 | 1 (1) | 表「系譜」 承応二年 |
| イ(木製) | 四一・四×七・七×七・四 | 1 (2) | 表「系譜」 享保八年 |
| ウ(木製) | 三一・九×七・七×七・四 | 1 (3) | 表「嘆願書」 享保十八年 |
| エ(木製) | 三三・〇×一三・八×一・三 | 8 (4) 11 | 蓋裏「森文吾」(朱書) 一七三三年 |
| オ(木製) | 四二・七×三〇・六×一三・〇 | 30 (12) 41 | |
| カ(木製) | 三五・五×二九・〇×九・三 | 34 (42) 75 | |
| キ(木製) | 三八・五×二八・五×九・〇 | 30 (76) 105 | 表「古文書」 |

一、村

| 利用番号 | 標 | 題 | 整理番号 | 年 | 代 | 作 | 成 | 者 | 宛 | 名 | 形態 |
|------|------------------------|--------------------------|------|----------|---|--------------------------------------|---|---|---|---|----|
| 7 | 御蔵方仕送り帳 | ※先御蔵庄屋丈助・御蔵庄屋角右衛門の名が出て来る | エー4 | 嘉永3年8月 | | 大垣内村御蔵元 | | | | | 巻 |
| 3 | 〔年貢残米皆済并至極弱人共取統度ニ付嘆願書〕 | ※前欠・木箱入り | ウー1 | 丑年3月 | | 大垣内村庄屋善助・同村肝煎作右衛門・同断九右衛門・村惣代弥左衛門他14名 | | | | | 子 |
| 54 | 覚（請取納銀ニ付） | ※銀2貫目 | カ-13 | 未年11月11日 | | 大垣内村庄屋許 | | | | | 紙 |
| 10 | ④那賀郡大垣内村六番字在所之内（地番図） | ※西半分欠か、裏に文書あり三一②へ | エー7 | | | | | | | | 図 |

二、治安

| | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|--|-----|--|--|-------------------|--|--|--|--|---|
| 42 | 乍恐奉願上口上（仁右衛門不実ニ付出入差止の旨） | | カ-1 | | | 大垣内家主喜兵衛・金谷村家受喜太郎 | | | | | 紙 |
|----|-------------------------|--|-----|--|--|-------------------|--|--|--|--|---|

三、家経営

①名寄帳

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------|-----------------|-----|----------|--|---------|--|--|--|--|---|
| 6 | 田畑名寄帳 | ※計46石5斗余、喜兵衛分のみ | エー3 | 文政8年7月吉日 | | 大垣内村喜兵衛 | | | | | 帳 |
|---|-------|-----------------|-----|----------|--|---------|--|--|--|--|---|

②本銀返・譲り証文

| | | | | | | | | | | | |
|----|---------------------------------------|--|------|--------|--|---|--|--|--|--|---|
| 86 | 本銀返し証文之事（当酉の極月より来戊五月迄）※薬毒家1軒 | | キ-11 | 寛政元年極月 | | 田中村本人十兵衛・同村証人金次郎・同村庄屋丈助・同村肝煎九郎太郎 | | | | | 紙 |
| 76 | 本銀返証文之事（当卯3月より来同5月迄） ※代銀180目、上畑1ヶ所 | | キ-1 | 文化4年3月 | | 吐前村本人次郎兵衛・今谷村証人・大垣内村肝煎2名・庄屋九右衛門、 （奥書）西川喜右衛門・前田崎右衛門 | | | | | 紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 98 | 99 | 62 | 92 | 58 | 91 | 57 | 56 | 78 | 90 | 72 | 80 | 55 | 77 |
| 請帳附一札之事 (寅四月より十一月迄本銀返売渡畑二付) ※中畑3ヶ所 代銀2貫850目 | 請帳附一札之事 (寅四月より十一月迄本銀返売渡畑二付) ※中畑3ヶ所 代銀2貫850目 | 請帳附一札之事 (本銀返売渡畑二付) ※上畑2ヶ所 代銀260匁 | 本銀返シ証文之事 (当子極月より来丑5月迄) ※上畑2ヶ所 代銀260匁 | 請帳附一札之事 (当子極月より来丑5月迄本銀返売渡畑二付) ※上畑2ヶ所 代銀260匁 | 請帳附一札之事 (本銀返売渡畑二付) ※上々畑3ヶ所 | 本銀返証文之事 (当申極月より来る五月迄) ※上畑3ヶ所 代銀2貫目 | 譲り申証文之事 (田地譲り) ※上々田1ヶ所 | 本銀返シ証文之事 ※上田・中田各1ヶ所 | 請帳附一札之事 (本銀返売渡地二付) ※上々畑2ヶ所・本家1軒 | 〔田畑譲渡証奥書〕 ※前欠 | 本銀返証文之事 ※上々畑2ヶ所・本家1軒 | 請帳附一札之事 (本銀返売渡田二付) ※上々田1ヶ所 | 請帳附一札之事 (本銀返売渡田二付) ※上々畑1ヶ所 |
| キ一23 | キ一24 | カ一21 | キ一17 | カ一17 | キ一16 | カ一16 | カ一15 | キ一3 | キ一15 | カ一31 | キ一5 | カ一14 | キ一2 |
| 嘉永7年4月 | 嘉永7年4月 | (嘉永5年12月か) | 嘉永5年極月 | 嘉永5年極月 | 嘉永5年6月 | 嘉永元年12月 | 文化12年12月 | 文化12年正月 | 文化10年間11月 | | 文化10年間11月 | 文化10年8月 | 文化10年8月 |
| 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) | 大垣内村肝煎2名・同村御蔵庄屋市右衛門(証人保松)・大垣内村御蔵庄屋市右衛門(証人保松) |
| 西川喜右衛門、(大垣内村買主喜兵衛の写し) | 喜兵衛の写し、(大垣内村買主) | 神谷甚八 | | 西川喜右衛門 | 神谷甚八 | 同村買主喜兵衛 | 同村喜兵衛 | 権之丞 | | 岡部正左衛門 | | 岡部正左衛門 | 西川喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

③貸借

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------|------------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|-------------------------|---------------------------------------|--------------------------|--|---------------------------------------|--------------------------------------|--|---------|
| 75 | 70 | 63 | 87 | 89 | 52 | 10 | 61 | 60 | 96 | 93 | 59 | 97 | |
| 預り銀子之事 | 預り申銀子之事 ※銀140目、4ヶ年賦、毎年35匁宛返済 | 借用申銀子之事 ※銀40目 | 借用申銀子之事 ※銀35匁 | 覚(米売附代銀受取借用) ※本銀返、米4石、代銀172匁 | 下作書附之事(下作請負証文) | ●(土地譲り証文) ※前欠、●は一へ | 請帳附一札之事(辰三月より来五月迄本銀返売渡烟二付) ※上烟3ヶ所 | 譲り申証文之事 ※屋敷1所 | 請帳附一札之事(当已極月より来午五月迄本銀返売渡烟二付) ※下烟1ヶ所 | 請帳附一札之事(当已極月より来五月迄本銀返売渡烟二付) ※下烟1ヶ所 | 離一札之事(本銀返売渡二付) ※上々烟4ヶ所 | 本銀返証文之事(当寅の四月より同十一月迄) ※中烟3ヶ所、代銀2貫850目 | |
| カ-34 | カ-29 | カ-22 | キ-12 | キ-14 | カ-11 | エ-7 | カ-20 | カ-19 | キ-21 | キ-18 | カ-18 | キ-22 | |
| 文政10年12月 | 寛政8年12月 | 寛政4年7月 | 酉年極月 | 寛政2年3月 | 嘉永5年3月 | | 慶応4年3月 | 文久元年6月 | 安政4年12月 | 安政4年12月 | 安政4年12月 | 嘉永7年4月 | |
| 舟戸預り主庄次郎・同所証人新七 | 大垣内村預り主常之丞・同村証人善太郎・(奥書)同村庄屋九右衛門 | 田中村借用主宇兵衛 | 庄屋丈助 | 田中村売主幸十郎 | 積か堂下作人安兵衛・(奥書)同村庄屋伊兵衛 | 同村庄屋九右衛門・同村肝煎庄左衛門・同断久三郎 | 同村肝煎2名・御藏庄屋喜平次・庄屋善助(大垣内村売主喜兵衛・証人九右衛門) | 大垣内村証人久右衛門・肝煎2名・同村庄屋市右衛門 | 大垣内村肝煎2名・庄屋市右衛門(積か堂本人伊兵衛・証人利兵衛) | 大垣内村肝煎2名・庄屋市右衛門(積か堂本人伊兵衛・証人利兵衛) | 積か堂本人伊兵衛・同村証人・大垣内村肝煎半助・庄左衛門・同村庄屋市右衛門 | 田中村本人増右衛門・証人・大垣内村肝煎2名・御藏庄屋市右衛門・(奥書)西川・依岡啓藏 | 同村買主喜兵衛 |
| 大垣内村喜兵衛 | 同村勘左衛門 | 大垣内村勘左衛門 | 大垣内村字八 | 大垣内村字八 | 大垣内村角右衛門 | 西川喜右衛門 | (長原村買主源内の写し) | 同村喜兵衛 | 西川喜右衛門、(大垣内村買主喜兵衛の写し) | 雜賀長七、(大垣内村買主喜兵衛の写し) | 同村買主喜兵衛 | 同村買主喜兵衛 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | |

| | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 100 | 44 | 4 | 105 |
| 引請一札之事(善右衛門頼母子掛返しニ付) ※5匁づつ | 預り申一札之事(頼母子掛戻し銀預りニ付) ※銀合163匁 | 借用申銀子之事 ※返済は桶陰頼母子流れ込の節 | 預り申一札之事(善右衛門頼母子掛銀ニ付) ※銀270目 |
| キ-25 | カ-3 | エ-1 | キ-30 |
| 12月 | 酉年12月23日 | 嘉永元年7月 | 弘化4年3月 |
| 本人善右衛門・引請人伊八 | 大垣内村預り主弥左衛門・同村証人喜代八 | 大垣内村本人善兵衛・証人善太郎・(奥書)桶陰頼母子親受角右衛門 | 預り主安楽寺・証人桶右衛門 |
| 親受角右衛門・同断三之助 | 請込人衆中 | 同村半助 | 親受衆中 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

④頼母子

| | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------------|--------------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------|--------------------|------------------|
| 51 | 64 | 5 | 71 | 46 | 47 | 53 | 48 | 49 |
| 預り申一札之事 ※銀80目 | 預り申一札之事 ※銀296匁 | 借用申銀子之事 ※銀1貫600目、月利1割 | 預申候一札之事 ※銀50目 | 〔常松金子借用ニ付請人連印状〕 ※包紙欠か、銀200目 | 預り申銀子之事 ※銀193匁8分7厘 | 預り申銀子之事 ※銀190目 | 預り申銀子之事 ※銀80目 | 預り一札之事 ※銀120匁 |
| カ-10 | カ-23 | エ-2 | カ-30 | カ-5 | カ-6 | カ-12 | カ-7 | カ-8 |
| 午年12月 | 慶応元年12月 | 文久2年10月 | 文久元年12月 | 弘化3年5月 | 天保13年12月 | 天保13年12月 | 天保11年12月 | 天保5年7月 |
| 大垣内村預り主要蔵・同村証人勘三郎 | 新庄村本人平八・同村証人作三右衛門 | 光恩寺 | 吐前村本人辻右衛門・田中村受人卯之助 | 大垣内村長門・同村佐太郎・満屋村磯次郎 | 大垣内村預り主佐太郎・同村証人桶右衛門 | むら預り主佐太郎・同村証人桶右衛門 | 大垣内村預り主徳三郎・同村証人三之丞 | 本人安兵衛・証人新兵衛 |
| 同村善兵衛 | 大垣内喜兵衛 | 大垣内喜兵衛 | 喜兵衛 | 大垣内村庄屋角右衛門 | 喜兵衛 | むら喜兵衛 | 喜兵衛 | 大垣内村喜兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

⑤その他家財政

| | | | | | |
|---|--|---------|-------------------------------|---------------|----------------------------|
| 13 | 23 | 88 | 103 | 102 | 101 |
| 〔高・人数他書きあげ帳断簡〕 ※何に利用されたのか不明。 各頁ごとの順不明、14点 | 覚（金銭受取） ※オー11-1（五へ）に挟み込み、12頁目 オー11-2 | 〔代金書上覚〕 | 覚（藍代金勘定書） ※藍146頁目、代金766匁5分 | 預り申菜種之事 | 覚（菜種売渡し代金請取） ※菜種5斗、代31匁 |
| オー2 | オー11-2 | キ-13 | キ-28 | キ-27 | キ-26 |
| | 11月晦日 | （近世） | 申年11月17日 | 寛政2年12月 | 寛政元年12月 |
| | かどや善右衛門 | ミケ林次 | 田中村本人甚三郎・同村証 人源蔵 | 田中村売主伊左衛門・同村証 | 田中村売主伊左衛門・同村証 人善右衛門 |
| | をかいど喜兵衛 | | 大垣内村字八 | 大垣内村字八 | 大垣内村字八 |
| 一括 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

⑥借家・奉公人

| | | | | | |
|---|------------------------------|---------------------|--------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 82 | 50 | 83 | 45 | 95 | 74 |
| ●請状一札之事（奉公人二付） ※別項四④に●あり | 寺受一札之事（写） ※摂州西成郡木津村次兵衛并妻子 | 受込申一札之事（次兵衛請状） | 家請状之事 | 家請一札之事（借家請状） ※家賃は銀220目を盆暮両度に渡す | 添一札之事（借家請状） |
| キ-7 | カ-9 | キ-8 | カ-4 | キ-20 | カ-33 |
| 文化11年12月 | 文化8年4月 | 文化8年4月 | 文政10年4月 | 文政3年正月 | 寛政元年極月 |
| 大垣内村奉公人弥四郎・同村受人・ 山崎組新在家村受人喜兵衛・（奥書） 大垣内村庄屋九右衛門 | | 摂州西成郡木津村次兵衛 | 本人楠右衛門・受人浅之口 | 吐前村借り主友七・同村証 人屋半之助 | 田中村本人十兵衛・同村請 人金次郎・（奥書）同村庄 屋代文助 |
| | 村役人衆中 | 紀州那賀郡大垣内村九右衛門・同断喜兵衛 | 喜兵衛 | 大垣内村家主喜兵衛 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | |
|---|---|
| 81 | 94 |
| 請状一札之事(奉公人請状) | 受状一札之事(奉公人二付) ※5年間月毎に10日づつ百姓奉公 勤約束につき只今銀子150目借用 |
| キ-6 | キ-19 |
| 安政5年10月 | 文化11年3月 |
| 満屋村奉公人清次郎・同村 受人弥吉・(奥書)同村庄 屋多郎太夫 佐野村奉公人親庄助・本人 おとく・同村受人2名・田中 村受人・(奥書)佐野村庄屋 | 大垣内村九右衛門 |
| 大垣内村抱主角右衛門 | |
| 一紙 | 一紙 |

四、家

①由緒書・家族

| | | | |
|--|--|----------------------|------------------------------|
| 104 | 85 | 2 | 1 |
| 送り一札之事(惣兵衛・ふじの四国八十八ヶ所巡拝二付村送り) | 送り一札之事(ゆき・いととの八十八ヶ所巡拝に付村送り) ※山崎兵衛の妻と娘 | 〔お尋二付由緒書〕 ※前欠・木箱入 | 御尋二付書上之事(先祖由緒書写) ※木箱入、口絵7 |
| キ-29 | キ-10 | イ-1 | ア-1 |
| 安政3年2月 | 安政3年2月 | 享保8年正月 | 承応2年正月 |
| 屋儀左衛門・(奥書)大庄 屋儀右衛門・(奥書)大庄 屋儀左衛門・(奥書)大庄 屋儀右衛門・(奥書)大庄 | 紀州那賀郡小倉組大垣内村 庄屋西川喜右衛門・(奥書)大 庄屋西川喜右衛門・(奥書)大 庄屋西川喜右衛門・(奥書)大 庄屋西川喜右衛門・(奥書)大 | 山崎伊世千代・山崎四郎右 衛門 | 山崎威徳院 |
| 衆中 | 役人衆中 | | 坂口作兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 卷子 | 卷子 |

②角右衛門「御蔵庄屋」一件

| | | | | |
|-------------------------------|-----------------|--|--|---|
| 43 | 8 | 66 | 67 | 84 |
| 都合品有りその上納米親類引請二付) ※8番とほぼ同一 | 都合品有り上納米親類引請二付) | 御請書差上候口上(親類角右衛門御蔵庄屋勤中不納取立方 不都合一件親類申合弁納二付) | 御請書奉差上口上(親類角右衛門御蔵庄屋勤中不納取立方不 都合一件、家財売代銀にて上納の旨) | 再応乍恐奉嘆願上候口上(角右衛門御蔵庄屋勤中取立不都合 一件親類中一部弁納二付) |
| カ-2 | エ-5 | カ-25 | カ-26 | キ-9 |
| 未年2月 | 未年2月 | 辛未年2月 | 辛未年2月 | 未年1月 |
| 左衛門・永穂村三輪茂兵衛 | 前村森木・永穂村三輪茂兵衛 | 大垣内村親類惣代土肥九右 衛門・吐前村森木左衛門 | 大垣内村親類惣代土肥九右 衛門・吐前村森木左衛門 | 願惣代森本惣兵衛・吐前村 願惣代森本惣兵衛・吐前村 |
| | | 井口三太夫 | 井口三太夫 | 同村庄屋井口三太夫 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | |
|--|--|---|--|
| 79 | 78 | 69 | 65 |
| 乍恐奉嘆願上候口上(角右衛門御藏庄屋勤中取立不都合一件ニ付親類才藏弁納不仕の旨) 親類弁納残米二十ヶ年賦願 | 乍恐再志奉嘆願候口上(角右衛門御藏庄屋勤中不納取立方不都合一件ニ付親類才藏弁納不仕の旨) | 乍恐奉嘆願候口上(大垣内村角右衛門御藏庄屋勤中不納取立方不都合一件ニ付) ※下書 | 乍恐御請方奉嘆願口上(親類大垣内村角右衛門御藏庄屋勤中不納取立方不都合一件ニ付) ※下書か |
| キ-4 | カ-27 | カ-28 | カ-24 |
| | 辛未年11月 | | |
| (大垣内村)親類土肥(2名)・吐前村森本・布施屋村木村・拵ぎ村寺口左七 | 那賀郡大垣内村山崎喜兵衛 | 親類中 | |
| 大垣内村井口三太夫 | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

③ 宗教

| | |
|------------------------------------|------------|
| 36 | 9 |
| 浄土宗鎮西流総本山京都知恩院末寺紀州那賀郡小倉懐兵山正清院小恩寺由緒 | 証(永代回向勤る旨) |
| オ-24 | エ-6 |
| | 天保14年2月 |
| 大垣内村山崎 | 光恩寺 |
| | 大垣内喜兵衛 |
| 一紙 | 一紙 |

④ その他

| | |
|------------------|---------|
| 82 | 73 |
| ⑤〔計算帳面断簡〕 | 〔家見取図〕 |
| ※二枚分、作成宛名無し、⑤三⑥へ | ※方位占い入り |
| キ-7 | カ-32 |
| | |
| | |
| 一紙 | 図 |

五、近世典籍

| | | |
|---------------|-----------|----------------|
| 17 | 40 | 22 |
| 今川壁書・諸職往来(写本) | 童子教(写本) | 庭訓往来 |
| オ-6 | オ-27 | オ-11 一 |
| 慶応元年10月 | 天保2年3月吉日 | 文政6年9月 |
| 大垣内山崎喜兵衛(写) | 山崎角右衛門(写) | 大坂心斎橋通唐物町河内屋太助 |
| 一紙 | 一紙 | 和本 |

※挟み込み文書あり(三一⑤へ)、木版

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|------------------------------|----------------|-------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------|-----------------------|-----------|-----------------------|---------------|----------|-------------|-------------------|
| 18 | 32 | 14 | 29 | 28 | 37 | 27 | 26 | 31 | 24 | 16 | 41 | 30 | 35 |
| 小紫 白井権八一代記 三 ※木版 | 比叟塚由来卷 六・七・八・九・十(写本) ※「三冊之内」 | 救民妙薬集 全 ※破損 | 算法一覽記答(写本) ※破損 | 算法一覽記 乙ノ内子・丑・寅・卯・辰・巳(写本) | 算法一覽記(写本) ※挟み込み文書あり、六へ | 算法一覽記 天・地・人(写本) | 算法諸覽記(写本) ※巳之巻と亥之巻 | 算法記開立(写本) | 算法一覽記(写本) ※申之巻と亥之巻 | 女文章 からすま流(写本) | 通用文例(写本) | 〔書簡文例集〕(写本) | 状文書(写本) ※書状例文集 |
| オ-7 | オ-20 | オ-3 | オ-17 | オ-16 | オ-25 -1 | オ-15 | オ-14 | オ-19 | オ-12 | オ-5 | オ-28 | オ-18 | オ-23 |
| (近世) | 元治2年3月 | 文政10年10月吉日 | | | 明治5年3月 | 元治2年令月 | 文久3年弥生 | 嘉永7年 | 文政2年2月 | 癸丑4年(嘉永6年か) | | | 慶応2年2月 |
| 杉亭金升 | 土肥氏 | 大垣内村山崎常次郎(筆) | 土肥 | 土肥氏 | 土肥竹松 | 大垣内村山崎喜兵衛 | 大垣内村山崎喜兵衛 | 舟之助(所持) | 順次郎 | 大垣内村山崎糸の | | | 山崎喜兵衛 |
| 和本 | 縦帳 | 縦帳 | 横半 | 横半 | 縦帳 | 横半 | 縦帳 | 横帳 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 横半 | 縦帳 |

六、近現代文書

| | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------|-------------|----------------------------------|-------------|------------------------------|-----------------|---------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|
| 12 | 11 | 15 | 38 | 33 | 21 | 19 | 39 | 34 | 25 | 20 |
| 大伝法院七堂伽藍略記 根来寺版 | 便曆 | 萬貫帳(金銭出入二付) | 記(貸金差し引き二付) ※オー25ト一(五)に挟み込み | 和歌浦根来詣(紀行文) | 小塩・竹生島・羽衣・融・杜若(写本) ※謡曲の本か | はざま(写本) ※演劇台 | (〔絵本太功記〕) ※部分、木版 | 西國順礼武勇女敵討 卷乃卷・式・三(写本) | 三日太平記 九ツ目 ※本版 | 一谷嫩軍記 ※花上野菅の石碑 志渡寺の段、木版 |
| ※印刷 | ※印刷 | | オ一25 一2 | オ一21 | オ一10 | オ一8 | オ一26 | オ一22 | オ一13 | オ一9 |
| (近現代) | 昭和45年 | 大正元年 | 明治18年旧7月 | | | | | | | |
| 根来寺 | 和歌山徳風会 | | 布施屋村日村五郎太夫 <small>(ま)</small> | 山崎常次郎 | | まつ川 | | | | 大坂心齋橋南へ五丁目佐々井治郎右衛門 |
| | | | 大垣内村山崎喜兵衛取次山崎安右衛門 | | | | | | | |
| 一紙 | 一点 | 横半 | 一紙 | 竖帳 | 和木 | 竖帳 | 竖帳 | 竖帳 | 和木 | 和本 |

谷口家文書目錄
(和歌山市冬野)

目次

解題

| | |
|-----------------|----|
| 1 伝来と受け入れの経緯 | 26 |
| 2 冬野地区について | 26 |
| 3 谷口家について | 27 |
| 4 唯称庵と徳本について | 27 |
| 5 文書群の概要と整理について | 27 |
| 6 目録上の項目編成について | 28 |
| 7 参考文献 | 28 |

目録

| | |
|-------------|----|
| 一、唯称庵文書 | |
| ① 文書 宗教・その他 | 29 |
| ② 絵画 宗教・その他 | 30 |
| ③ 典籍 宗教 | 31 |
| 二、谷口家文書 | |
| ① 典籍 | 32 |

谷口家文書解題

1 伝来と受け入れの経緯

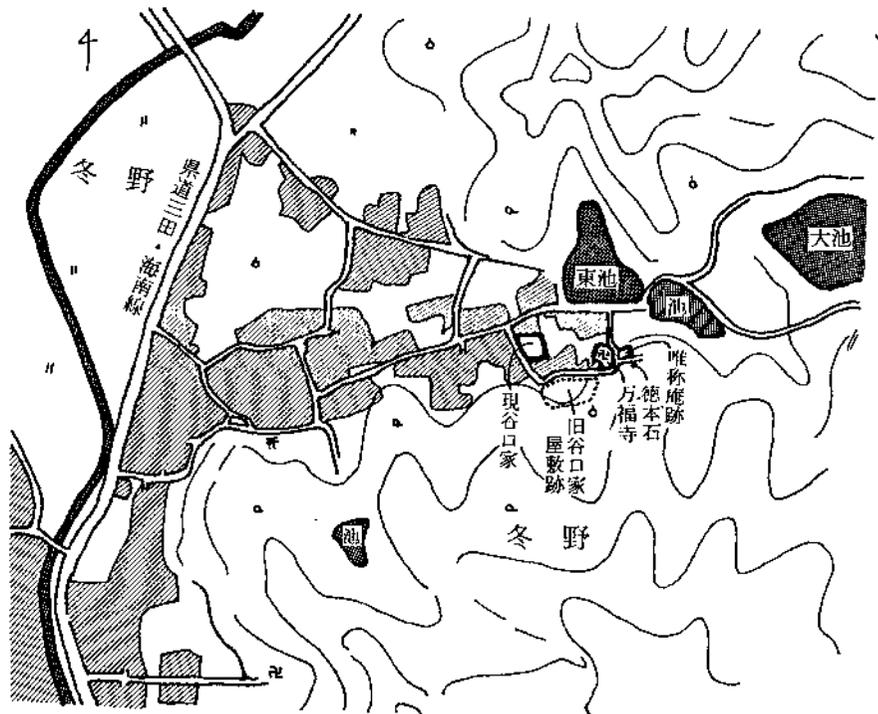
谷口家文書は、和歌山市冬野在住の谷口匡氏所蔵文書五五点の総称である。

谷口家は、近代以前より現在と同じく旧紀伊国名草郡冬野村に所在し、村の庄屋を勤めたこともある。しかし明治三〇年代に故有って地所建物のほとんどを売却して、一時大阪へ転居された。その時、家に伝わる古文書類も全て処分されたと考えられ、現存していない。現在谷口家文書としてあるのは、当家が近世後期より所有していた庵に什物として伝来した宗教関係の典籍・絵画・文書と、転居後も所持されていた明治期の教科書類である。

受け入れについては、谷口氏が保存環境の整った本館での保存を希望され、まず平成六（一九九四）年一〇月に典籍以外の文書二八点の寄託を受けた。その後同年十一月に典籍二七点の追加寄託をうけた。

2 冬野地区について

冬野地区は和歌山市南部に位置し、名草山の東側亀の川右岸に位置し、南東に本渡、東北に朝日、北西に広原の各地区があり、海南市との境界にも比較的近い。旧名草郡に属し中世には和田（太）荘の内の冬野郷、近世から明治二二（一八八九）年までは冬野村と称した。明治以前は和歌山藩領で、吉原組に所属した。『旧高田領取調帳』によると村高一八八石余、『紀伊続風土記』（天保一〇（一八三九）年編）によると家数二二六軒・人口五二四人。その後明治四（一八七二）年和歌山県に所属、明治五年の大区小区制時は第一大区八小区、明治



冬野地区略図

一二年には吉原村広原村との三村組合に戸長が置かれ、同二二年町村制施行により安原村（はじめ名草郡のち海草郡）の一大字となる。昭和三一（一九五六）年和歌山市に編入され、和歌山市の一地区として現在に至る。

3 谷口家について

旧谷口家屋敷地は地区内の東山際に位置し、相当広い敷地を有していた。現在の谷口家は昔当家が借家を持っていた場所にある。村庄屋を勤めた事もあり、また文政期（一八一八—一八三〇年）には当主の弟谷口屋次兵衛が手広く商売をしていたという。安政三（一八五六）年・文久元（一八六一）年の文書（『和歌山市史』六巻所収 宮本家文書）に登場する冬野村頭百姓惣代徳左衛門は当時の谷口家当主と考えられる。しかし全く当家の経営や村政に関する文書が家にも地区にも残っていないため、これ以上のことがわからないのが残念である。

4 唯称庵と徳本について

旧谷口家の北東すぐの所に浄土宗万福寺がある。その寺の東側一段高くなった土地を、当家は現在も所有しているが、以前そこには唯称庵（または谷口庵）という庵があり（地図参照）、この谷口家文書の多くが庵に伝わる什物であった。この庵は近世後期に当主谷口徳左衛門が子弟のために建てたということである。しかし建立年ははっきりわからない。ただ、当家に伝わる位牌には、「光普覚月映眞法尼 万延元申（一八六〇）三月廿四日 開祖、寶祥珠光眞妙法尼 嘉永五子（一八五二）四月七日 二世」とあるので、これよりおおよそその建立年代は類推できる。

唯称庵を知るもう一つの手がかりに、浄土宗僧で念仏の行者と称された徳本上人とのかかわりがある。徳本は、宝暦八（一七五八）年に紀伊国日高郡志賀谷久志村に生まれ、天明四（一七八四）年得度、その後念仏修行を重ね、やがて全国各地を遊行し民衆を教化した。紀州では寛政一二年・文化九年に藩主重倫・治宝に庵を賜ったが、文化一（一八一四）年江戸小石川一行院の再興時推されて中興開山となっ

た。文政元（一八一八）年一〇月六日一行院で没す。彼が当時の浄土宗布教教化に果たした役割は大きく、今もその特徴ある独特の筆跡を刻んだ名号石（六字名号を彫る）は全国に一〇〇〇基近くある。家伝によると、徳本はたびたび唯称庵を訪れ逗留したという。それを裏付けるように、文書中には徳本筆の「六字名号」（文書31）が残っている。また、庵跡地の向かいには、前述した徳本の名号石が建立されている（口絵1）。また、庵に隣接する万福寺の墓地には、やはり徳本の筆跡を刻んだ僧侶の墓石がある（現在は墓地の整理により無縁墓石の中にある）。徳本がたびたびこの庵（またはこの地）を訪れたということは、先の位牌から考えられる年代より以前の事になる。唯称庵建立以前にも、この地には当家の庵や持仏堂などが有ったのであろう。唯称庵は当家の転出後も現地に残り、昭和初期に当家がこの地へ帰ってきた時に移築され、現在も谷口家の仏間として利用されている。また、本尊の阿弥陀三尊像も同所に伝えられている。なお庵跡地には、当時の土塀の一部が今も残っている。

5 文書群の概要と整理について

この文書群は、大きく分けて宗教関係とその他・明治期に使用された教科書類（漢籍含む）に分けられる。しかし受け入れが形態により二度に分かれたため、整理は受け入れ順、すなわち形態別におこなった。初めに受け入れた文書類は全て卷子・掛軸で、六字名号や一枚起請文、釈迦三尊像図や来迎図など宗教関係のもの・特に絵画が多い。二度目に受け入れた文書は典籍で、「往生要集」や「阿弥陀経和訓図会」など近世に出版された仏教関係の版本と、明治期の中学校などの教科書類（当時勉強のためあるいは教科書として使われた論語等の漢籍本も含む）である。軸装されたものは、全体的に状態が悪く、破損

やしみの見られるものが多い。また、彩色がほどこされているものの中には、剝落がはじまっているものもあり、整理時の取り扱いには慎重におこなった。

6 目録上の項目編成について

まず、伝来によって唯称庵に伝わった文書と谷口家に伝わった文書に分け、以下の通り項目編成をした。

一、唯称庵文書

①文書

宗教関係 九点。一枚起請文・徳本上人の安心起行などと、便宜上「六字名号」・神符など文字中心の史料もここに入れた。全て軸装。

その他

三点。和歌・俳句関係文書と短冊。共に軸装。この内文書34は俳句について安永四年に没した俳人加賀千代の句などをとりあげて、若州小松原一宮龍道が紀州に来た時に書いた文書であるが、この龍道なる人物は文書47にも「心蓮社聖徳若州大濱領小松原大光山僧實譽龍道」という名で登場する。谷口氏もこの文書の成立と人物について関心を持っておられるが、若州小松原に大光山という山号の寺は存在せず、また遠敷郡竜前村にある若狭一宮の若狭彦神社と龍道の関係、心蓮社についても残念ながらわからない。

②絵画

宗教関係 一三点。仏画や法然上人・徳本上人など僧侶の絵画が多いが、他に神仏習合的な絵画（文書40の「雨宝童子像図」など）もある。

その他 四点。

③典籍 一二点。全て版本で、天保期に出版された「往生要集」・「阿弥陀経和訓図会」、弘化二年出版の「釈迦御一代記図会」である。

二、谷口家文書

①典籍

一三冊。これらは主に教科書として利用されたようである。この内漢籍の四書が九冊あり、内一冊には現当主の父幸太郎氏の名前と（県立徳義中学校の）学年が書かれている。また一冊は「表題徐状補蒙求卷上」で、漢文の四字句に注釈を加えた本である。「四聲音訓」は辞書。漢文以外の教科書の内修身と国語の二冊の持ち主中井徳蔵とは、幸太郎の同窓のいとこである。

7 参考文献

『和歌山市史 六巻』（平成元年三月 和歌山市）には、安政三年・文久二年の冬野村庄屋不束之品につき村方出入があったことに関する史料が収録されている。

「徳本と原町一行院について」（『大正大学研究紀要 六十二』昭和五一年 大正大学出版部）

※ 本目録作成にあたり平成七年一〇月に現地聞き取り調査を実施し、谷口匡氏ご夫妻に御協力いただいた。また、宗教画の一部題材について草加市史編纂室の伊藤然氏に御教示いただいた。文書整理・現地調査・目録作成は鎌田和栄がおこなった。

一、唯称庵文書

①文書

| 利用番号 | 標 題 | 整理番号 | 年 代 | 作 成 者 | 宛 名 | 形 態 |
|------|------------------------------|------|-----------|-------------------------------|-----|-----|
| 34 | 〔加賀千代女龍道上人俳句ニ付文書〕 | 34 | 天保2年3月11日 | 若州、小松原一宮龍道 | | 卷子 |
| 38 | 〔年賀席祝講短冊掛軸〕 ※端裏「柳短冊」、閉軸注意 | 38 | | 素句〔落款有り〕 | | 掛軸 |
| 44 | 鹽竈神社御神符（無彩色） ※垂迹神図有り、木版 | 44 | | | | 掛軸 |
| 47 | 〔天照皇大神宮・八幡大菩薩・春日大明神軸〕 ※虫損 | 47 | | 心蓮社聖徳若州大濱領小松原大光山僧 實譽龍道（朱にて花押） | | 掛軸 |
| 43 | 〔六字名号・僧侶像図〕（彩色） | 43 | | 徳本 | | 掛軸 |
| 48 | 安心起行（形見として） ※六字名号、手形有り、木版 | 48 | | 徳本 | | 掛軸 |
| 31 | 〔六字名号〕 ※破損、口絵2 | 31 | | 徳本 | | 掛軸 |
| 33 | 〔六字名号〕 ※端裏「知恩院名号」 | 33 | | 総本山知恩院大僧正学天 | | 掛軸 |
| 28 | 〔六字名号〕 | 28 | | 空運 | | 掛軸 |
| 32 | 一枚起請文（写） | 32 | 建曆2年正月23日 | 侶山本智歡と有り） （源空）（軸奥に常念寺住 | | 卷子 |
| 51 | 一枚起請文 ※木版 | 51 | 建曆2年正月23日 | 源空（裏面には所有者上ノ山氏の名有り） | | 掛軸 |

② 絵 画

| | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|---------------|-------------------------|----------------|-------------|-------------|------------|--------------|--------------|----------------|------------|------------------------|
| 41 | 49 | 40 | 53 | 54 | 36 | 30 | 29 | 55 | 37 | 42 | 35 | 50 |
| 〔春日鹿曼荼羅〕 (無彩色) | 〔当麻曼荼羅図〕 (無彩色) | 〔雨宝童子像図〕 (彩色) | 〔高僧画像〕 (彩色) | 〔元祖円光大師像〕 (彩色) | 〔空海画像〕 (彩色) | 〔来迎図〕 (無彩色) | 〔来迎図〕 (彩色) | 〔釈迦来迎図〕 (彩色) | 〔釈迦涅槃図〕 (彩色) | 〔釈迦三尊像図〕 (無彩色) | 〔釈迦像〕 (彩色) | 〔梅窓剛近江聖人贊〕 |
| ※童子神が乗っている、絵は木版・文は手書、端裏「十一月廿七日廿八日 春日様」 | ※木版、破損 | ※破損大、口絵3 | ※54と同人か？蓮華座・持数珠・光背有り・破損 | ※蓮華座・持数珠・光背有り | ※破損 | ※木版、破損 | ※破損 | | | ※端裏「一光三尊」、木版 | ※端裏「仏画」 | ※端裏「近江聖人」、肖像画 (彩色) 有り |
| 41 | 49 | 40 | 53 | 54 | 36 | 30 | 29 | 55 | 37 | 42 | 35 | 50 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 麒麟庵 在貞薰沐 (写) (落款有り) |
| 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 軸 装 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 |

③典 籍

| | | | | | | | | |
|----------------|---|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 釈迦御一代記図会 三 | 釈迦御一代記図会 二 | 釈迦御一代記図会 一 | 阿弥陀経和訓図会 下 | 阿弥陀経和訓図会 中 | 阿弥陀経和訓図会 上 | 往生要集 下 極楽物語 (天保再板) | 往生要集 中 六道物語 (天保再板) | 往生要集 上 地獄物語 (天保再板) |
| ※木版 | ※木版 | ※木版 | ※木版 | ※木版 | ※木版 | ※木版 | ※木版 | ※木版 |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 弘化2年4月 | 弘化2年4月 | 弘化2年4月 | 天保15年正月 | 天保15年正月 | 天保15年正月 | 天保14年3月 | 天保14年3月 | 天保14年3月 |
| 玉山堂・浪華岡田群玉堂 | 山田意齋叟(参考) 前北 齋社老人(画) 東都稲田 玉山堂・浪華岡田群玉堂 | 山田意齋叟(参考) 前北 齋社老人(画) 東都稲田 玉山堂・浪華岡田群玉堂 | 山田野亭(著) 松川半山 (画) 田中宋栄堂(発兌) | 山田野亭(著) 松川半山 (画) 田中宋栄堂(発兌) | 山田野亭(著) 松川半山 (画) 田中宋栄堂(発兌) | 恵心僧都(著) 八田華堂 金彦(画工) 京都書林 | 恵心僧都(著) 八田華堂 金彦(画工) 京都書林 | 恵心僧都(著) 八田華堂 金彦(画工) 京都書林 |
| 徳(持主) 名草郡冬野村谷口 | 徳(持主) 名草郡冬野村谷口 | 徳(持主) 名草郡冬野村谷口 | (持主) 事相□主 | (持主) 事相□主 | (持主) 事相□主 | | | |
| 和 本 | 和 本 | 和 本 | 和 本 | 和 本 | 和 本 | 和 本 | 和 本 | 和 本 |

| | | | |
|--------------|----------------------|--------------|---------------------|
| 39 | 46 | 52 | 45 |
| 〔瀧・紅葉図〕 (彩色) | 〔白梅図〕 (彩色) ※絹本、虫損 | 〔蓮と白鷺図〕 (彩色) | 出雲大社之図 (無彩色) ※木版 |
| 39 | 46 | 52 | 45 |
| 鳳洋 (落款有り) | (「守信」の落款有り) | (落款有り) | |
| 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 | 掛 軸 |

二、谷口家文書

①典籍

| | | | | | | | |
|----|-----------------------------------|--------------|----|----------|--|--|----|
| 21 | 四聲音訓 帝国明治玉編大全 (再版) | ※印刷、横半型 | 21 | 明治32年11月 | 片岡賢三(編) 風月庄左衛門(印刷・発行) 京都富小路通三条上ル 風祥堂中村浅吉(販売) | | 和本 |
| 20 | 改正 大学・中庸 | ※木版、小型本 | 20 | | | | 和本 |
| 19 | 新刻改正 孟子 三(再刻後藤点) | ※14のシリーズ本、木版 | 19 | | | | 和本 |
| 18 | 新刻改正 孟子 二(再刻後藤点) | ※14のシリーズ本、木版 | 18 | | | | 和本 |
| 17 | 新刻改正 孟子 一(再刻後藤点) | ※14のシリーズ本、木版 | 17 | | | | 和本 |
| 16 | 新刻改正 中庸 全(再刻後藤点) | ※14のシリーズ本、木版 | 16 | | | | 和本 |
| 15 | 新刻改正 論語 二(再刻後藤点) | ※14のシリーズ本、木版 | 15 | | | | 和本 |
| 14 | 新刻改正 大学 全(林家正本再刻、再刻後藤点) 改正四書集註 | ※木版 | 14 | | 芝山後藤先生(定本) 男 師周校訂 | | 和本 |
| 13 | 標題徐状元補蒙求巻上 | ※木版 | 13 | | (李瀚(力)) | | 和本 |

| | | | | | | | |
|----|------------|-----|----|--------|---|----------------|----|
| 12 | 釈迦御一代記図会 六 | ※木版 | 12 | 弘化2年4月 | 玉山堂・浪華岡田群玉堂 齊正老人(画) 東都稲田 山田意齋(参考) 東都稲田 玉山堂・浪華岡田群玉堂 | 德(持主) 名草郡冬野村谷口 | 和本 |
| 11 | 釈迦御一代記図会 五 | ※木版 | 11 | 弘化2年4月 | 玉山堂・浪華岡田群玉堂 齊正老人(画) 東都稲田 山田意齋(参考) 東都稲田 | 德(持主) 名草郡冬野村谷口 | 和本 |
| 10 | 釈迦御一代記図会 四 | ※木版 | 10 | 弘化2年4月 | 玉山堂・浪華岡田群玉堂 齊正老人(画) 東都稲田 山田意齋(参考) 東都稲田 | 德(持主) 名草郡冬野村谷口 | 和本 |

| | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|--|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 26 | 25 | 24 | 27 | 23 | 22 |
| 再訂 中学修身教科書 卷五 | 再訂 中学修身教科書 卷一 | 中等教科 (中学校師範学校国語科用 再版) 明治文典、訂正卷之一 | 新案裁縫教授書 全(訂正再版) | 孟子 鈔 全(中学校国語教科用) | 孟子 鈔 全(中学校国語教科用) |
| ※印刷 | ※印刷 | ※印刷 | ※印刷 | ※印刷、22に同じ | ※印刷 |
| 26 | 25 | 24 | 27 | 23 | 22 |
| 明治43年3月6日 | 明治42年2月8日 | 明治40年2月10日 | 明治33年11月18日 | 明治45年2月12日 | 明治45年2月12日 |
| 井上哲次郎(著) 書籍株式会社(印刷・発行) | 井上哲次郎(著) 書籍株式会社(印刷・発行) | 芳賀矢一(著) 富山房(発行・印刷) 治函書株式会社(販売) | 大村忠二郎(著) 松堂(発行) | 野道明(校訂) 国語漢文研究会(編) (発行) | 野道明(校訂) 国語漢文研究会(編) (発行) |
| | 井上哲次郎(著) 和歌山徳義中学校 | 中井徳蔵 和歌山徳義中学校 | | 野道明(持主) 第五年級谷口幸太郎 | |
| 和本 | 和本 | 和本 | 和本 | 和本 | 和本 |

安樂川村文書Ⅰ目録

(那賀郡桃山町)

目次

解題

| | |
|--------------------------|----|
| 1 伝来と受け入れの経緯 | 36 |
| 2 安楽川村と大字元地区について | 36 |
| ① 那賀郡元村の成立まで | 37 |
| ② 戸長役場と元村 | 37 |
| ③ 那賀郡安楽川村の成立以降 | 38 |
| ④ 元地区の小字名 | 38 |
| ⑤ 村内神社 | 38 |
| 3 津田正朔と津田家について | 39 |
| 津田雄三郎 | |
| 津田正朔について | 40 |
| 4 文書群の概要について (I・II総合) | 40 |
| 5 文書群の特色について (安楽川村文書I) | 40 |
| 元村・元地区の運営と文書について | |
| 元村村会について | |
| 貸麦制度 | |
| 6 目録上の項目編成について (安楽川村文書I) | 43 |
| 7 文書の整理と状態について (安楽川村文書I) | 45 |
| 8 その他文書・参考文献 | 46 |
| 目録 (安楽川村文書I) | |
| 明治五筆以前文書 | 48 |
| 宗旨人別送り・小入用 | |

近現代村文書

| | |
|------------------------------|----|
| 一、元村・同地区関係文書 | |
| (小路・加和村含む。「村」文書) | |
| ① 戸籍 | 48 |
| ② 土地 | 49 |
| ③ 税 (戸教割賦課、その他賦課・納め) | 51 |
| ④ 村会 | 54 |
| ⑤ 村費 (明細・決算、賦課) | 56 |
| ⑥ 救恤 (貸麦、軍人家族保護) | 57 |
| ⑦ 水利 (井入費、大涌) | 60 |
| ⑧ 普請 (道路、会所、その他) | 61 |
| ⑨ その他 (評議員・協議員、小作請負、経済) | 61 |
| ⑩ 学事 | 62 |
| ⑪ 神社 | 62 |
| 二、明治一七年以前の戸長役場文書 (元村・市場村組合含) | 62 |
| 税・戸長会 | |
| 三、明治一七年以降の戸長役場文書 (九ヶ村聯合戸長役場) | 63 |
| 聯合村会 | |
| 四、安楽川村役場文書 (明治二二年以降) | 63 |
| 通牒・税・復員者調査 | |
| 五、その他文書 | 63 |
| 安楽川村奨武会 | |
| 六、伝来・分類不明文書 | 63 |

安楽川村文書解題

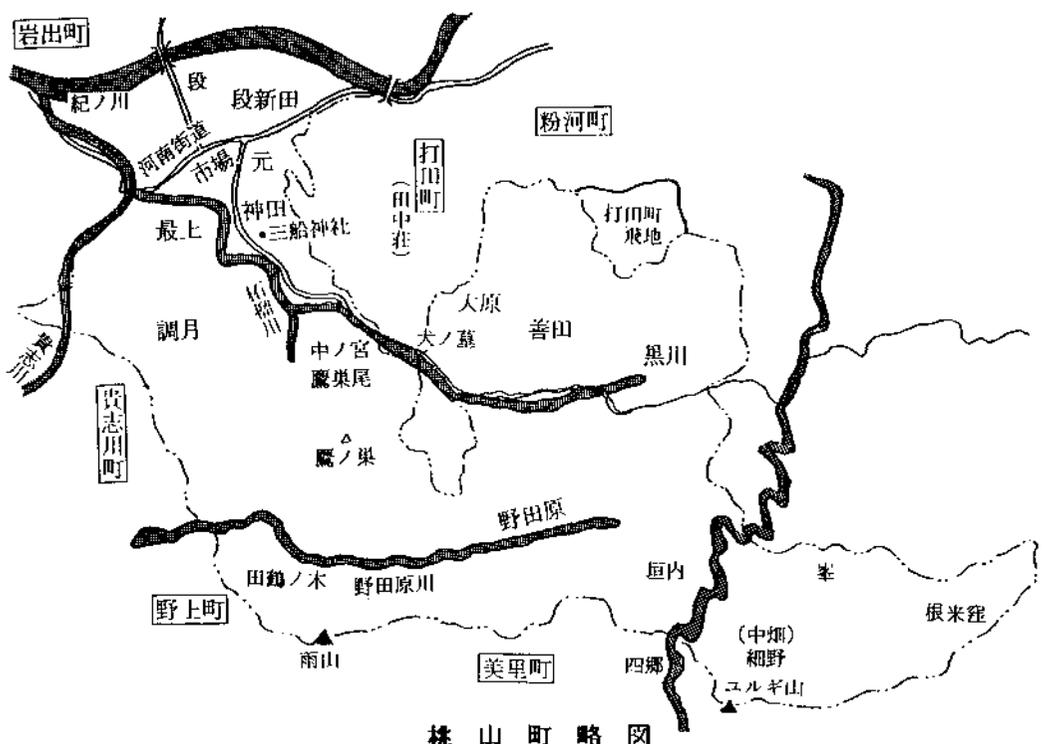
1 伝来と受け入れの経緯

安楽川村文書は、平成六年三月および同年十二月に当館が古書店より購入した旧那賀郡元村と町村制後の安楽川村に関する文書計三八四点の総称である。これは、この群を形成する文書の多くが、明治大正期の那賀郡安楽川村と、その大字である元地区（明治十一年以前は小路村・加和村、以後明治22年までは元村）の村政や役場に関する文書であるため、便宜上文書館で付した総称である。

この文書群は、同一古書店から二度にわたって購入した二つの文書群によって構成されている。内容や販売時期から考えると、元は一文書群であったと思われるが、元の所蔵者や古書店に入る前の経緯が全くわからないため、文書整理はもとより、保存、目録への掲載など（この解題以外は）、当館では別のものとしてあつかっている。ここでは、まず先に購入した文書群を「安楽川村文書Ⅰ」（一九三三点）とし、後に購入した文書群を「安楽川村文書Ⅱ」（一九一点）として紹介、掲載する。

2 安楽川村と大字元地区について

安楽川村は、古代の荒川郷・荒川荘以来のこの地域の呼称「安楽川」よりついた村名で、村域は中世荒川荘の中心的部分を占める。荒川荘は平安期に宇治平等院領であったのを鳥羽上皇に寄進され、上皇の没後皇后美福門院が領有したが、平治元（一一五九）年に高野山に寄進された荘園である。その後隣りの田中荘との境界争論・同荘預所の侵略と焼き討ち、悪党の乱入など紆余曲折をへて天正一九（一五九二）



年には太閤検地がおこなわれ豊臣秀吉の支配となった。この検地によると荒川荘総反別二二〇町・総石高二五〇〇石。この翌年秀吉から改めて高野山寺領として安堵され、再び近世を通じて高野山領となった。そして「近世村落」となってからも、全荘レベルの宮座（三船神社）や「村」組織は、中世以来の伝統を踏襲する形であった。中世安楽川荘に関しては、『高野山文書』などによりその存在は早くから知られ、研究されている。

① 那賀郡元村の成立まで

安楽川村大字元は、現在紀ノ川南岸・貴志川の東側の和歌山県那賀郡桃山町元地区にあたる。北は同町段新田・段地区、西は同市場地区、南は同神田地区とそこを流れる栢榴川、東には打田町最初が峠からの山地がひろがる。元地区（元村）の中世高野寺荘園時の詳しい様子はわからないが、近世には南が加（賀）和村・北が小路村の二村に分かれていた。領有は高野山支配、その内加和村が青巖寺領五七一石七斗五升余・六六軒一九八人（この数字は天保期、以下同）、小路村が修理領二二四石八斗余と碩学寺領一〇〇石にわかれ（村では東組・西組と呼んでいた（文書I-102他））、それぞれに庄屋・年寄など村役人がおかれていた。しかし領有地は互いに入り組んでいたという。八四軒二三人。

明治二（一八六九）年の版籍奉還後高野山領は堺県所属となるが、翌三年には五條県所属に移り、翌四年には和歌山県所属となる。以後所属県は現在まで変化しない。しかし地域の行政区画・支配体制はこの後も変化する。明治五年大区小区制実施により、両村は第三大区五小区に所属、従来の庄屋・年寄は廃止され、官選の戸長・副戸長が村ごとにおかれた。また、「村」としては明治一一（一八七八）年に加和村と小路村が合併して「元村」が成立する。以後この地区は元とい

う呼称で呼ばれることとなる。

② 戸長役場と元村

元村成立後、明治二二（一八八九）年の町村制実施までは「村」自体に変化はないが、地域支配体制は変遷する。まず翌明治一二年には大区小区制が廃止され、区八郡の新たな行政区画が定められ、町・村はその行政上での末端機関とされることとなった。各郡のトリー教町村に一戸長役場が設置され、公選の戸長一名が就任した。那賀郡のもとは元村は、西隣の市場村と組合村となり、一戸長役場が設置されていた（当時の戸長には市場村の津田作之丞が就任した）。その後明治一五年の戸長管区の改正により、一村一戸長（公選）となったため、元村は単独で戸長役場を設置し、同村在住の津田正朔を戸長とした。その後明治一七（一八八四）年には戸長管区の改正で、近隣九ヶ村（段新田村・市場村・元村・最上村・神田村・大原村・善田村・黒川村）が連合で一区となり、そこに一戸長役場・官選戸長一名が置か

表1 村と所属の変遷

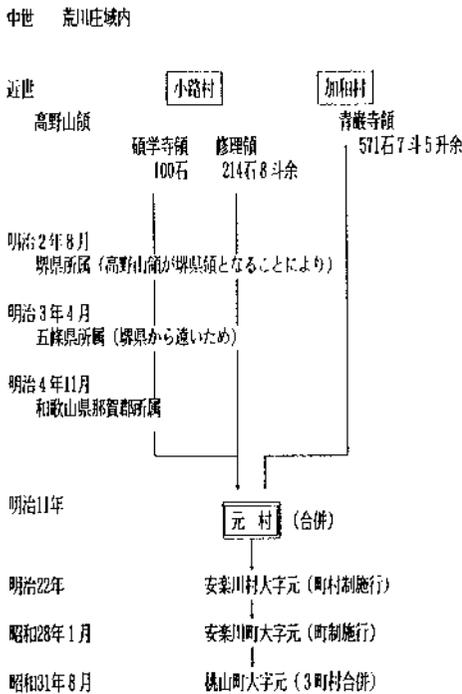
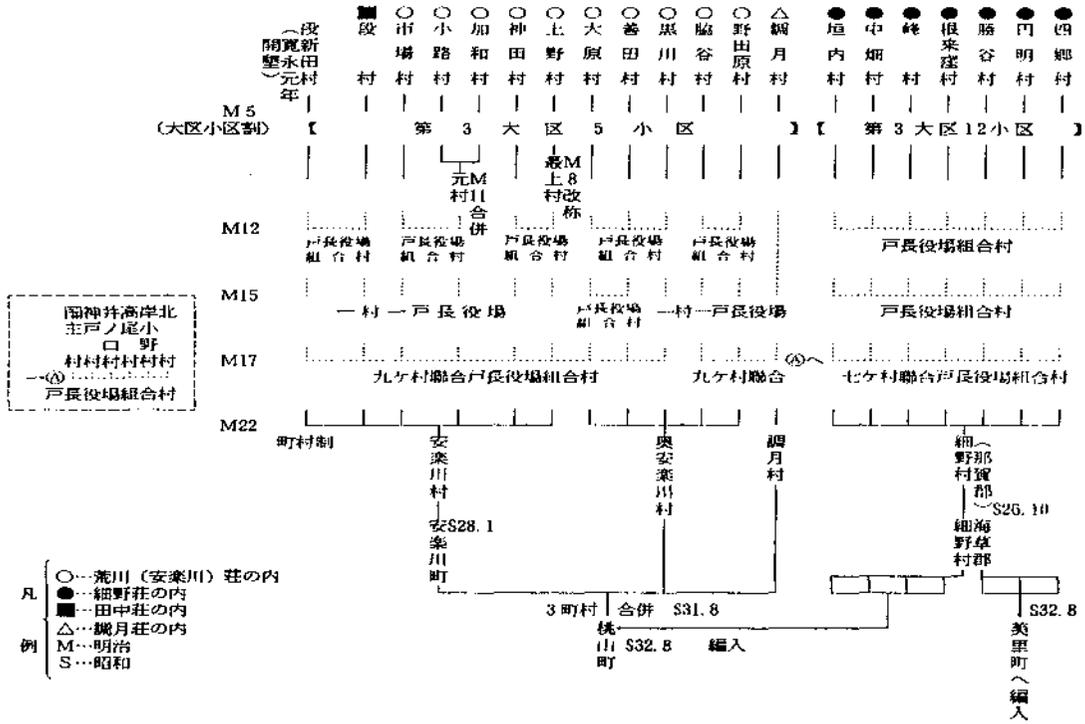


表2 村の変遷表



れたので、元村戸長役場は廃止となる。

③那賀郡安楽川村の成立以降

明治十一年の元村成立以降、区や戸長役場のありかたに変化はあったが、行政上の末端の「村」として元村は存在した。しかし明治二十二年の町村制施行により段村・段新田村・市場村・元村・神田村・最上村の六ヶ村をあわせて安楽川村一村となったので、旧元村はその大字となった。しかし元村が大字元となった後も、旧村時代からの大字内のみとまりや役割の多くは地区内に残り、第二次世界大戦終結までは、それ以前同様の地区運営もなされていく。その様子は、この文書群中にも多く現れている。

その後昭和二十八年には町村制施行で那賀郡安楽川町大字元、昭和三十一年には三町村合併(安楽川町・奥安楽川村・調月村)により那賀郡桃山町大字元となり、現在に至っている。

④元地区の小字名

元地区では、文書内に現れる小字名が、現在も残っているものが多い。特に土地関係の文書には、小字別に書かれているものが多い。

山崎・上嶋・涌田・高関・家治戸・中田・小路・東嶋・柳原・四尺谷・白岩・高坊・加和・妙見

⑤村内神社

現在元地区に神社は無いが、昔は寺院や神社が多くあった。『紀伊続風土記』(天保一〇「一八三九」年編)によると、小路村には矢田寺・宝性寺・薬師寺・常楽寺などがあり、加和村には阿弥陀寺・不動寺・廃正応寺などの名が見える。また、小路村には加和村との氏神である住吉神社があったが、明治四二年に神田村の三船神社に合祀された。

3 津田正朔と津田家について

この文書群はほとんどが村や役場関連の文書で構成されているが、これには元村の津田氏が深く関与している。現存文書によると、元村の津田家は近世元地区では村役人などを勤めてはいない。地域の古老によると、この津田家は「御戸城の与太」と呼ばれる家であった。与太とは、三船神社またはその祭礼に関する職名であるが、具体的にどのような役目をおっていたのかは伝わっていない。この三船神社へ行く道を御戸城坂と呼ぶことから、当家は神社のある神田村の御戸城坂付近に居住していたとも考えられる。その後いつからか小路村へ移り住んだという。しかしこの文書群中には、津田家が小路村に住んでいた事を示す史料は無い。また、時期はさだかではないが、津田家は加和村の旧役人の屋敷を買い取って移り住んだということである。

津田雄三郎

この文書群中、近世末期から近代初期文書に登場する当主は、加和村の津田雄三郎である。『安楽川村郷土誌』（8の参考文献の項参照）によると、雄三郎は市場村の津田家の子であり、明治初年には地主か、または名字帯刀人であったという。史料不足のため「御戸城の与太」の元村津田家と市場村の高野山地主津田家の関係があまり明確ではない。ともあれ近世に雄三郎は地域でどんな役割をはたしていたのかはわからないが、近世末期に高野山に何度か滞在しているので、領有者側（高野山）と村との間で、なんらかの役割をはたしていたのかもしれない（文書P11はか）。はっきり何らかの役目が登場するのは、明治に入ってからのことである。明治六（一八七三）年第三大区四小区・五小区・六小区の道路の検査を区役所から命じられている。当時の那賀郡では、大区の区長は欠員として置かれず、数小区長を一名が兼務していた。第三大区四小区・五小区・六小区は一兼務地であった

ので、検査範囲が三つの小区にまたがるのであるが、雄三郎は区からこのような仕事を任命される立場にあった。次に明治七年三月には「第三大区五小区安楽川井堰取縮役」に任命されている。段新田村の東端で紀ノ川から取水する堰は安楽川井堰と呼び、市場・元・神田をはじめとする数ヶ村掛かりの用水井堰であった。応永年間（一三九四～一四二八年）にはすでに開削されていた。近世には高野山が普請料を下していたのだが、近代に和歌山県所属となってからは、官費補助三等箇所となった。その頃に津田雄三郎がこの役目に任じられたのである。この他明治九年には、同六年に設置された加和小学校の学校世話係も勤めている。そして明治一二（一八七九）年からは、この年から開かれた元村村会の議員を三年間勤めている。元村村会は、明治一二年の第一回から明治一六年の第五回までの史料が残っているが（文書P13～40）、この時期村会議員歴任者一八人（定員は一三人。表4参照）のほとんどが近世末には村役人や地主・苗字帯刀人であった。また、当時の各家の等級割りでも村会議員は村内で上位等級の家の出身者であったが、その中でも津田氏は二等の下（明治一二年）で、議員中二・三番の資産家であった。明治になってからこれだけのことを勤めているのだから、近世にも当家はやはり地域でなんらかの役割を果たしていたのであろう。

津田正朔について

津田雄三郎は明治一五（一八八二）年には村会議員の職を退いている。それにかわって息子の津田正朔が同年の戸長管区の改正により、元村の戸長に選ばれている（公選）。正朔は安政二（一八五五）年に生れ、明治九年に教員伝習所に入學（加和村阿弥陀寺に同年県により設置された）し、卒業後加和小学の訓導となった。その後明治一五年から同一七年まで元村戸長を勤めた。しかし明治一七年の戸長管区改

正で近隣九ヶ村で一戸長（官選）を置くことになり戸長職を辞す。その後明治二年には戸長の病氣により戸長代理を四週間勤めている（文書Ⅱ-72）ので、この戸長役場時代にも役場で何らかの仕事についていたと考えられる。明治二二（一八九九）年の安楽川村成立後明治二四年までは助役を勤め、そして二四年一月二四日から安楽川村村長となった。私生活では翌二五年一〇月に家督相続をしている。

明治二八（一九一五）年一月まで四年間村長をつとめた後一年間あけて、翌二九年一〇月から大正元（一九一二年）年一〇月まで再度村長となり、通算五期二〇年間村長の職にあった。その後は大正二年より同一四年まで村会議員をつとめている。明治から大正という近代町村確立期という重要な時期に、戸長・村長として地域をあずかった正朔の業績は大変なものである。それは、この文書群の多くの文書にもあらわれている。

4 文書群の概要について（Ⅰ、Ⅱ総合）

この文書群は、大きく分けると三つに分けられる。まず、①いわゆる「村」の文書で、近世からの小路・加和村時代からその合併した元村、明治二二年以降の大字元（つまり元地区）に関する「村」としての文書で、区有文書性格を有する。ただし、話がややこしくなるが、明治一五年から同一七年までは、戸長役場が「村」単位に設置されていたので、（戸長役場としての文書は役場文書となるが、）この時代の村会関係文書などは、厳密には役場ではなく「村」に関するものである。②次で「役場」文書がある。これは数種の役所・戸長役場・安楽川村役場の文書で、実は③の文書との区別が難しい文書もあるが、ここでは、役場自体の文書と考えられるものだけをここに入れる。③最後に、村会議員や戸長・村長を勤

めていた津田家に関する文書が少数ある。

このように三つのままとまりに分けると、安楽川村文書ⅠとⅡでは、あきらかにその構成文書の性格が違うのがわかる。Ⅰは元村・元地区に関する文書が圧倒的に多く、Ⅱは役所・役場文書が中心となっている。

※ 以上安楽川村文書Ⅰ、Ⅱ総合解題。以下では「安楽川村文書Ⅰ」のみについて述べる。「安楽川村文書Ⅱ」については、66ページからの解題で述べるので、そちらを御参照いただきたい。

5 文書群の特色について（安楽川村文書Ⅰ）

前項で述べた三つのままとまりの内、安楽川村文書Ⅰは①の「村」に関する文書がほとんどを占める。以下にこの群中で特徴あるものについて簡単な説明を加える。

元村・元地区の運営と文書について

この地域のいわゆる「村」としての運営は、近世の小路・加和村時代から明治一年の元村成立を経て、明治二二年の町村制以降も受け継がれていった。近世高野山領時代には庄屋・年寄が村役人として置かれ村内をまとめていた（近世紀州の村では、藩領村役人は庄屋・肝煎であったが、高野山領では庄屋・年寄であった）。維新後明治五年からは大小区制のもと区内各町村には戸長がおかれた。ただしこれは後の戸長役場下の戸長とは性格が同じではない。文書Ⅱ・14には当時の戸長・副戸長が登場している。更に明治九年頃からは、村総代も村に置かれたが、これらの役目には従来の村役人であった者が任じられている。明治一二年から一七年までは「村」に「戸長役場」がおかれ、行政支配の末端で「役場」と村民の「戸長」が「村」にかなり関与し

ていた。その後「村」が安楽川村の一大字となつてからも、行政区画上の村の中で大字の「村」はそれまでとおなじようになつて存在した。例えば大字の費用・会計関係の文書は、明治二二年以降も大字の総代や区長によって作成され、評議員・協議員により大字内の運営等にかんする協議もおこなわれていた。また、明治一四(一八八一)年から昭和一〇(一九三五)年代まで同じように続けられた「貸麦制度」(後述)もある。このようにこの文書群にはいわゆる「村」としてうけつがれた区有文書の性格のもと、戸長役場や村役場の文書が混在している。

元村村会について

明治一二(一八七九)年「区会・町村会規則」が布達されたのをうけて、各地で区・町村会が開設されたが、当時市場村と組合村(二村一戸長役場)であった元村でも、同年八月一七日に一村単独で第一期(回)村会が開会した。この文書群には、この第一期村会から明治一六年の第五期(回)までの村会史料が残っている(文書12~40)。年度によって現存史料にばらつきはあるものの、村会議日誌や議案・議案総体説明・議決報告・開申などが残り、毎年の村会でのような議題がどのように話し合われ、決められたかがわかる。当時の村会議案は地方税の村民への賦課割、道路や井路の修繕・営繕費、小学校費、役場経費、凶荒・衛生予備費関係などで、主に予算の配分と賦課関係であった(表3)。

また、当時村会議員が誰であったのかが、これらの文書からわかる(表4)。「元村・市場村会規則」(文書17・明治一三年)によるとこの村の選挙人・被選挙人資格は、満二〇以上の男子で戸主、本籍を村内に有し村に地租を納める者だけである。しかし現実には定員一三人の議員のほとんどが、近世に庄屋・年寄など村役人を務めていた

表4 元村村会議員一覧表(明治12年~同16年まで)

| 議員名 | 議員在職年 | 明治12年の等級 | 維新前後の家柄・備考* |
|---------|-----------------|----------|--------------------|
| 片山 善四郎 | M12-13-14-15-16 | 三等ノ下 | 小路村庄屋、地主、大原村戸長 |
| 永長 伊助 | M12-13-15-16 | 六等ノ上 | 不明 |
| 山人 清左衛門 | M12-13-16 | 六等ノ下 | 不明 |
| 平野 義次 | M12-13-14-15 | 四等ノ上 | 不明 |
| 津田 雄三郎 | M12-13-14 | 二等ノ下 | 地主、津田正朔の父 |
| 林 伊右衛門 | M12-13-15-16 | 三等ノ下 | 地主(4) |
| 田中 寿左衛門 | M12-13-14-15-16 | 三等ノ上 | 地主 |
| 森崎 弥之助 | M12-13-14-15-16 | 四等ノ上 | 不明 |
| 片山 嘉兵衛 | M12-13-14-15-16 | 三等ノ上 | 不明 |
| 柳本 重次郎 | M12-13-14-15-16 | 三等ノ下 | 實和村年寄、地主(4) |
| 田中 慎一郎 | M12-13-14-15-16 | 二等ノ上 | 地主(4) |
| 岩田 市兵衛 | M12-13-15-16 | 五等ノ上 | 地主(4) |
| 乾 直輔 | M12-13-14-15-16 | 六等ノ下 | 實和村年寄(4)、地主(4)、村用掛 |
| 林 彦之進 | M14 | 四等ノ上 | 地主、小路村副戸長 |
| 山本 善造 | M14 | 四等ノ下 | 不明 |
| 永長三左衛門 | M14 | 四等ノ上 | 小路村年寄 |
| 林 謙之輔 | M14-15-16 | 二等ノ下 | 實和村庄屋、地主、M13番外議員 |
| 田端 官次郎 | M15-16 | 五等ノ下 | 不明 |

○印=その年の議長、□印=同副議長(但し明治16年は不明)
*印の項は「安楽川村郷土誌」・那賀郡元村文書による。
この表中「地主」には地主の他苗字帯万人も含む。
M=明治

表3 議案一覧(明治12年~明治16年)

| 年度 | 議案 | 年度 | 議案 |
|-----------------------|---|-----------------------|---|
| 明治12年 (会期 8/17~23) | 第一条 地方税の内地區割規則(260円75銭1厘) 第二条 地方税の内戸數割規則(51円4銭2厘) 第三条 河津堤防道路橋梁用水路井堰築造修繕費予算 第四条 公立小学校費予算 第五条 村社寺修繕費及祭典其他一村限り支弁すべき経費(村惣代給及臨時雇人日当村小使給定期額)予算 第六条 戸長役場経費予算 第七条 協議費取立期限 第八条 村中共有物貸付及保存方法 | 明治14年 (会期 7/12~16) | 甲第一号 地方税の内地區割規則(350円44銭4厘) 甲第二号 地方税の内戸數割規則(63円66銭5厘) 甲第三号 衛生予備費 甲第四号 村会借費予算 甲第五号 公立加和小学校費 諮問議案乙第一号 戸長役場修繕費 乙第二号 土木ノ件(付 荒井二開スル案件) 乙第三号 畦畔丈量ノ件 |
| 明治13年 (会期 8/26~30) | 甲第一号 地方税の内地區割規則(204円17銭9厘) 甲第二号 地方税の内戸數割規則(46円6銭8厘) 甲第三号 道路橋梁用水路及大浦係り共済修繕費所談 甲第四号 戸長役場経費 甲第五号 村会借費 甲第六号 公立加和小学校費 諮問議案乙第一号 流行病予防費 乙第二号 凶荒予備費 建議案 諸業家賦課金 | 明治15年 (会期 8/15~16) | 甲第一号 地方税の内地區割規則(317円27銭7厘)他に協議費係34円7厘) 甲第二号 地方税の内戸數割規則(63円54銭4厘)他に協議費係14円65銭7厘) 甲第三号 衛生予備費 甲第四号 公立加和小学校費 諮問議案 新任戸長以下給付及職務取扱費賦課法 |
| | | 明治16年 (会期 7/10~11) | 甲第一号 地方税の内地區割規則(金額不明) 甲第二号 地方税の内戸數割規則(金額不明) 甲第三号 公立加和小学校費 甲第四号 衛生予備費 号外建議案 興業望者賦金につき |

表5 年々貸麦取立軒数と取集金

| 年 名 | 軒数 | 總計金(取集のみ) | 備 考 |
|------------|-------|-----------|------------------------------------|
| 明治14年(名簿) | 118 | | 最高 麦1石8斗4升(1人) |
| 明治18年 | 98 | 7円55銭2厘 | 3円85銭8厘と2石2斗6升6合(1石に附2円87銭1厘) |
| 明治20年 | 39 | 3円69銭7厘 | 1石2斗4升8合(金2円50銭9厘)と57銭2厘 |
| 明治22年(取立帳) | 100 | | |
| 同 上(取附帳) | 61 | 7円45銭8厘 | 5石2斗2升0合 |
| 明治25年 | 32+10 | | 2石1斗8升と1円63銭8厘 |
| 明治26年 | 37 | 7円79銭4厘 | 2石5斗7升8合 |
| 明治28年 | 94 | 記入なし | |
| 明治32年 | 46 | 15円30銭 | 1石9斗6升2合(1石4円)と4円34銭・麦元惠濟6斗と4斗4升3合 |
| 明治33年 | 44 | 13円94銭 | 1石5斗1升(石4円85銭かへ)と6円81銭7厘 |
| 明治34年 | 43 | 13円18銭5厘 | 1石3斗7合(石に4円60銭かへ)と7円17銭3厘 |
| 明治35年 | 42 | 16円64銭7厘 | 1石2斗7升3合(石6円20銭かへ)と8円77銭3厘 |
| 明治36年 | 37 | 15円90銭2厘 | |
| 明治37年 | 45 | 12円78銭8厘 | |
| 明治39年 | 38 | 14円45銭5厘 | |
| 明治40年 | 36 | 14円27銭6厘 | 他に追加あり |
| 明治41年 | 41 | 21円72銭9厘 | |
| 明治42年 | 39 | 13円46銭5厘 | 麦4斗4升8合と12円98銭5厘と48銭 |
| 明治43年 | 39 | | 麦1石2斗8升8合と12円59銭 |
| 明治44年 | 42 | 27円10銭5厘 | |
| 明治44年(原簿) | 66 | | |
| 明治45年 | 38 | 29円91銭5厘 | |
| 大正3年 | 43 | 24円23銭5厘 | |
| 大正4年 | 39 | 13円20銭 | 麦1石3斗2升(石に5円30銭)と金7円 |
| 大正5年 | 38 | 11円29銭 | |
| 大正6年 | 40 | 18円49銭 | 麦3升(金30銭)と18円19銭 |
| 大正7年 | 38 | 33円18銭 | 麦8斗8升6合(石に15円)と19円89銭 |
| 大正8年 | 38 | 44円58銭 | |
| 大正9年 | 39 | 27円67銭 | |
| 大正11年 | 35 | 38円97銭 | |
| 大正12年 | 32 | 38円54銭 | |
| 大正15年 | 36+a | 30円36銭 | |
| 昭和4年 | 40 | 28円40銭 | |
| 昭和10年 | 35 | 11円7銭 | 麦4斗3升(4円73円)と6円38銭 |

貸麦(米)制度は、元々救恤として村もしくは支配者が窮民に麦を貸し与える制度であった。しかし時代の変化とともにその性格も

貸麦制度

家の者や、苗字帯刀を認められていた者、地域の土豪的な身分を紀州藩に認められていた「地主」であった者などいずれも近世からの有力者の家出身者で資産家であった。
ここに残る村会文書は、近代になってはじめて村会が開設された時期の(二村組合→一村一戸長役場時代)もののみで、戸長役場制度が大きく変わる明治一七年以降のものはない。そのため九ヶ村(聯合)戸長役場における「村」がどのようであったのかよくわからないのが残念である。ただ、明治一七年→同二〇年の元村の協議費賦課帳が(文書49→57)あるので、「村」(費)の一端を知ることができる。

変わり、ここに文書が残る明治期元村では救恤的性格を残しながらも、一方で村費収入の一部としてこの制度が利用されていた(文書153→186)。元村では、共有財産の内から村民に麦を貸し与えてそれを元金とし、利子を毎年徴収して、余剰金を村費の一部として道路普請代や小学校費などの不足費用負担、村の普請などの日用雇い日当などにあてていた。文書中の貸麦原簿には村会議員など有力者の名も見え、この利足金利用については文書18ほかの村会文書中にも見られることから、「村」として公然とおこなわれていた制度であったことがわかる。
この貸麦関係文書は明治一四年分(文書153)から残るが、元村時代は勿論「村」が「大字」になってからも、それまで通り受け継がれていく。ここに残る一番最後の記述は、昭和一九年八月(文書173)である。昭和一〇年代には時節柄この制度の意義も薄らぎ、加入者も減少していき、恐らく第二次世界大戦終結によって、新体制のもと従来の

いわゆる「村」的組織も新しくなり、おこなわれなくなったのであろう。

ところで、元村では利子の徴収は毎年旧暦の六月七日頃に村惣代がおこなっていた。「大字元」となった後も区長がおこなっていた。利子・元麦（金）とも麦で計算し、麦またはお金に換算した現金で納められたが、現金納入の方が多かった。明治一四年現在の利子支払い者のべ一六人、内毎年四〇〜五〇人ほどが利子を支払ったり、新たに借りたりしている。貸麦人利子取立帳は昭和一〇年分までしかないが、明治四四年の貸麦原簿（文書173）を見ると、ほとんどの加入者が昭和一八年までに元利とも返済している。（表5参照）

このような制度がここまで残っているのは近隣でもこの村だけのものである。

6 目録上の項目編成について

安楽川村文書Iの目録は、内容により以下の項目に分類して掲載した。なお、一文書でも複数の項目に関係する文書は、複数項目それぞれに掲載している（一部欄外に注釈のみ加えた分もある）。

明治五年以前文書

（小路村 賀和村）

宗盲人別送り（明治3）八点。加和村や同村阿弥陀寺あてのもの。

この文書中の出島村とは加和村のことである。

小入用（明治5）一点。小路村の西・東入を記している。

近現代村文書

（明治五年五月以降）

一、元村・同地区関係文書（小路村・賀和村含む。いわゆる「村」）

① 戸籍（明治8）一点。一綴中に送籍届が三三件分ある。

② 土地（地租改正・丈量入費・共有地を含む）（明治6〜同22）

四七点。地主惣代と戸長から和歌山県知事松本鼎あての明治一八年〜二〇年の地目組み換え願い関係文書が多い。これは明治八年の地租改正時の地目誤記や脱落地他について地目組換え地価取調表等からなる。これに関連して、同・一八・一九年の那賀郡元村地押調査委員による地押調査量地記も数冊ある。

③ 税

戸数割賦課（明治12〜同18）六点。村内各戸を資産等により等級を付けて分け、それぞれの等級ごとに納める税金をきめている。毎年等級も税の金額も変わる。当時それを村会で決定していたので、村会史料中にこの文書が含まれることが多い。

賦課・納（明治6〜同16）三二点。明治一二年以降は地方税と協議費の賦課帳となっているが、これは明治一一年の三新法以降「各町村限及区限ノ入費ハ其区内ノ人ノ協議ニ任セ地方税ヲ以テ支弁スルノ限ニアラス」と定められ、区町村の財政である協議費は、県財政と明確に分離されたことによる。

④ 村会（明治12〜同16）二九点。三新法制定後はじめて開催された村会から五年分の村会議史料がのこっているのは、大変貴重である。

⑤ 村費

賦課（明治10〜同19）六点。
明細・決算（明治19〜昭和8）一六点。特に明治三三年以降の收支明細帳は大字の経営を知る上で興味深い。作成者が大字元惣代、同人民総代、同区長と名称が変化

している。

⑥救恤

貸麦(明治14)昭和10)三四点。村費にも関係あるが、制度の性格と文書内容より救恤に分類した。明治一四年から昭和期まで(欠年もあるが)そろっているのは、重要である。この作成者の名称も前項同様の変化が見られる。

軍人家族保護(明治37)一点。軍人家族保護金出渡帳。

⑦水利(井入費・大涌)(明治9)同14)九点。安楽川井堰の井入費は、明治以前は高野寺より普請等の費用が毎年下されていたが、明治になって初めは三等普請所であったが、その後自普請となった。安楽川井の組合村は段新田・段・市場・加和小路(元)・上野(最上)・調月。この組合村では安楽川普通水利組合を結成し、組合議員を選出して管理や普請などの事業をおこなっていた。明治九年の井入費取集帳には、「旧高巻石ニ付金六錢四厘掛り」とあり、村民に高割りで賦課徴収している。

⑧普請 会所(明治27)一点。

道路(大正3)三点。道路修繕関係。

その他二点。

⑨その他村 評議員・協議員(明治32同40)二点。

小作請負(明治33)一点。大字共有地につき。

経済(昭和11)一点。「農村の経済更生計画宣言」大字元の評議員と区長が作成している。当時の国の政策を反映したものであろう。

⑩学事

(明治14・同21)三点。内二点は明治一四年の村会に加和小学の教員竹中より出された建議案で、村会で学事について議すること(教育の質向上のため小学校の合併・学務委員の有給化・生徒の授業料賦課)を嘆願している。

⑪寺社 (明治16・26・27)四点。内三点は三船神社と大字元の

氏神住吉社の修復寄付関係。

二、明治17年以前の戸長役場文書(元・市場組合含)

税 三点。市場村に関する文書。

戸長会一点。一綴四通文書で表紙以外は印刷。内容には戸長会開設ノ議諮問・戸長会規約などがある。規約によると、「本会ハ各自事務上ノ挙否得失ヲ研究スル処ナリ」とあり、具体的には郡内を五ノ六組に分割し、それぞれの組内戸長が隔月に一度集まり会議をおこなう、というものであった。実際の会議の史料は残っていない。

三、明治17年以降の戸長役場文書(九ヶ村戸長役場)

聯合村会 一点。九ヶ村聯合戸長役場下での村会史料だが、内容は明治一九年の被予算徴収についてで、戸長役場経費・勸業委員年俸・聯合衛生諸費が各村(この文書では元村)に地価割り・戸別割りにかかる金額の議決。

四、安楽川村役場文書(明治22年) この項目は、該当文書のほとんどが安楽川村文書IIに含まれているので、点数が少ない。

通牒一点。大正三・四年の役場の通牒一綴二一通。役場や村

長から各区長あてにだされている。内容は様々で皇太后大喪についての通牒や安楽川井工事竣成の通牒、良種仲介斡旋の通知、未納税上納につき照会などがある。

税 二点。

復員者調査 二点。第二次世界大戦後米軍司令部指示により村が調査をおこなっている。内一点(文書124)は税金の収納簿の用紙の裏面を利用している。

五、その他文書 一点。安楽川村奨武会規則。この会については、安楽川文書IIの日露戦争期の村長の業務日誌中にも登場するが、ここでは特に他項目とのつながりも無く、一点なので特に項目を立てなかった。

六、伝来・分類不明文書 二点。内文書135番はこの群中では全く異質で、元は他に伝来した文書ではないかと考えられる。

7 文書の整理と状態について

受け入れ時、すでに両文書群共古書店で形態や内容で分けられており、原状はわからない。そのため整理にあたっては、大まかに分類後その中で年代順に並べてからおこなった。なお状態については、安楽川村文書Iはかつて湿気を多く含んでいたか、水をかぶったような形跡があり、水分による皺やインク・スタンプ類の流れや退色が見られる。また、黄色い泥も付着しており、靴の形が付いているものもあった。雨水のかかる崩れた建物に保存されていたのか、あるいは保存されていた建物の解体(?)工事時に水にぬれて発見されたのかもしれない。安楽川村文書IIにはこのような状態の文書は見られない。

なお、一点の文書で複数の項目に属す文書は、複数項目に掲載している(一部欄外に注釈を加えるのみにした部分もある)。また、文書に挟みこまれたりくり付けられた状態のいわゆる枝番・孫番文書は、利用に際しその関連性と伝来を重視する必要からも、親番文書と切り放さずに並べている(ただし、一部例外あり)。

野紙について

安楽川村文書は大部分を近代文書が占めるため、その多くは野紙を用いて作成されている。文書整理時には野紙についても細かくチェックをしているが、この目録作成にあたりそのデータをどこに入れるかということについて、時間が足りず結論を出すことができなかった。

近代文書の中で各役場で作成された野紙の文書は、だいたいその役場名の入った専用箋が利用され、学校や組合等もその専用箋を利用している。その文書がどこの野紙を利用しているかで、その作成者や作成の意味を知ることができるとなるので、文書を読む上で野紙情報は大切なことである。残念ながらこの目録で一点一点にそのデータを付すことはできなかったが、この文書群でどんな野紙が利用されているかを挙げておく。(なお、ここにあげる文書番号はその一例のみ、全てではない)

「第三大区 小区」用箋II-17(明治7年以降)・「加和学校」用箋II-17・「和歌山県那賀郡役所」用箋II-62・「和歌山県」用箋I-17・「那賀郡市場村外八ヶ村戸長役場」用箋II-72・「那賀郡安楽川村役場」用箋II-81・「安楽川井用紙」II-104・「那賀郡池田村役場」用箋II-106・「津田扶桑園用箋」II-159・「鳥居用箋」II-152・「安楽川尋常高等小学校」用箋II-135・「和歌山地方裁判所用紙」II-189・「安楽川井普通水利組合用箋」I-43

このようにあげると、比較的点数の多い那賀郡元村戸長役場文書に

専用箋が利用されていないことに気付く。例えば、文書Ⅰ-17の「那賀郡市場・元村村会規則編定伺」では、元・市場村が作成した文書は無名の野紙、それに県からの許可の旨が朱筆で付されている野紙は「和歌山県」用箋（一枚）で、この両紙が一綴にされている。元村戸長役場文書は、この文書群中では全て無名の野紙を利用して作成されている（Ⅰ-13他）。

8 その他文書・参考文献

「明治廿三年度村税徴収元帳 安楽川村役場」一冊（個人蔵・未公開）現所蔵者が平成八年古書店より購入。元は同一群文書か。

「旧那賀郡元村初期村会議史料を読む」鎌田和栄（『和歌山県立文書館紀要』創刊号 平成七年）の中で、安楽川村文書中の村会史料をもうすこし詳しく紹介している。

『安楽川村郷土誌』片山竹之助編（一九三〇年、未出版） 編者は旧小路村庄屋であり元村村会議員であった片山善四郎の子息であり、当時地域に残っていた様々な文書や記録をもとに執筆されている。この解題執筆にあたっては、多くの部分で参考とした。この「安楽川村文書ⅠⅡ」に属する文書が、この時史料の一部として使われたかどうかは不明。

『桃山町史』桃山町（昭和四七年）

『中世荒川荘現地調査報告書』 中世荒川（安楽川）荘の現地調査を東京学芸大学日本中世史研究会が平成二（一九九〇）年よりつづけておられ、すでに敷地区については詳細な調査報告書（Ⅰ・Ⅱ）が出ている。また、市場・元地区の調査も既に終了しており、間もなく調査報告書（Ⅲ）も出される予定である。

※ 本目録作成にあたり平成七年一月に現地調査を実施し、元地区在住の片山庸三氏（明治の元村村会議員片山善四郎家の子孫）、桃山町教育委員 社会教育課課長鳥淵弘子氏に御協力をいただいた。また、東京学芸大学日本中世史研究会の石原毅氏・中島敦子氏に電話・手紙により同会の調査・研究成果につき、御教示いただいた。文書整理・現地調査・目録作成は鎌田和栄がおこなった。

安楽川村文書 I 項目

安楽川村文書 I

明治五年以前文書 (小路村 賀和村)

宗旨人別送り (M3)・小入用 (M5)

近現代村文書

一. 元村・同地区関係文書 (小路村・賀和村含む。いわゆる「村」)

①戸籍 (M8)

②土地 (地租改正・丈量入費・共有地を含む) (M6～M22)

③税 戸数割賦課 (M12～M18)、賦課・納 (M6～M16)

④村会 (M12～M16)

⑤村費 明細・決算 (M19～S8)、賦課 (M10～M19)

⑥救恤 貸麦 (M14～S10)・軍人家族保護 (M37)

⑦水利 井入費・大涌 (M9～M14)

⑧普請 道路 (T3)・会所 (M27)・他

⑨その他 評議員・協議員 (M32・M40)、小作請負 (M33)
経済 (S11)

⑩学事 (M14・M21)

⑪寺社 (M16・26・27)

二. 明治17年以前の戸長役場文書 (元・市場組合)

税・戸長会 (M12・16他)

三. 明治17年以降の戸長役場文書 (九ヶ村聯合戸長役場)

聯合村会 (M19)

四. 安楽川村役場文書 (明治22年～)

通牒・税・復員者調査 (M29～S21)

五. その他文書

安楽川村奨武会 (M28)

六. 伝来・分類不明文書

M…明治

T…大正

S…昭和

明治五年以前文書

| 利用番号 | 標 | 題 | 整理番号 | 年 | 代 | 作 | 成 | 者 | 宛 | 名 | 形 | 態 |
|------|-------------------|----------------|------|----------|---|----------------------|---|---|---------------------|---|---|---|
| 4 | 宗旨送り一札之事 | ※すえ55才縁付、包紙あり | 4 | 明治3年8月 | | 麻生津中村役人湯浅嘉右衛門・同村薬師寺 | | | 荒川村阿弥陀寺・役人衆中 | | 一 | 紙 |
| 3 | 宗旨一札之事 | ※つね50才縁付、包紙あり | 3 | 明治3年9月 | | 上那賀名手組市場村庄屋土田利輔 | | | 高野寺領安楽川庄役人衆中 | | 一 | 紙 |
| 9 | 宗門送り手形 | ※つね54才縁付、3と同人 | 9 | 明治3年9月 | | 那賀郡名手組市場村安養寺 | | | 寺領荒川阿弥陀寺 | | 一 | 紙 |
| 5 | 送り一札之事 | ※ゆきの22才縁付、包紙あり | 5 | 明治3年9月 | | 名手組西之山村庄屋久兵衛・同村地藏寺 | | | 荒川出嶋役人衆中 | | 一 | 紙 |
| 6 | 宗門送り一札之事 | ※さよ57才縁付、包紙あり | 6 | 明治3年9月 | | 下井坂村庄屋代義兵衛・同村旦那寺実報寺 | | | 荒川出嶋村役人衆中 | | 一 | 紙 |
| 7 | 宗門人別送り一札之事 | ※いし38才縁付、包紙あり | 7 | 明治3年9月 | | 野田原上村三宝寺・同村庄屋岩右衛門 | | | 安楽川庄河村阿弥陀寺・同村庄屋役人衆中 | | 一 | 紙 |
| 8 | 宗門人別送り一札之事 | ※りえ32才縁付、包紙あり | 8 | 明治3年9月 | | 脇谷村脇谷寺・庄屋重左衛門・年寄新右衛門 | | | かわむら阿弥陀寺・役人衆中 | | 一 | 紙 |
| 10 | 宗旨送り一札之事 | ※はる36才縁付 | 10 | 明治3年9月 | | 遠方村庄屋田中勘右衛門・同村圓福寺 | | | 安楽川組河村役人中・同村阿弥陀寺 | | 一 | 紙 |
| 102 | 壬申年小入用帳（小路西入・同東入） | | 102 | 壬申（明治5）年 | | | | | | | 横 | 帳 |

近現代文書

一、元村・同地区関係文書（小路・加和村含む。「村」文書）

①戸籍

②土 地

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|---------------------|---|----------------------------|
| 82 | 81 | 80 | 79 | 78 | 77 | 76 | 75 | 120 | 101 | 74 | 106 | 11 |
| 契証(地押調査の結果畑地にての田作不法ニ付) ※一綴8通 | (地押調査量地記) | (地押調査量地記) | (地押調査量地記) | (地押調査量地記) | 地押一筆限書抜帳扣 | 地押調査交換地・畦畔廃除増反別・開墾地(ニ付)量地記 | 地押調査量地記 | 明治十四年畦畔岸丈量入費賦課帳・同年下半年大涌割賦課帳 ※各項に「いぬゐ」の朱印押印 | 田畑宅地書入承認帳(地外建家売渡承認ニ付) ※明治37年に174枚廃棄に付現状2枚のみ | 改正入費取附帳 ※地租改正関係か | 那賀郡小路村本畑悪地年賦極帳扣 | 〔送籍届級〕 ※縁付・出稼・養子・移住他33件 |
| 82 | 81 | 80 | 79 | 78 | 77 | 76 | 75 | 120 | 101 | 74 | 106 | 11 |
| 明治19年12月19日 ~19日 31日 | | | | | 明治19年11月~ | 明治18年10月~ | 明治18年10月 | 明治14年 | 明治13年3月(表紙) 明治12年1月~ | (明治)9年 9月23日~ | 明治6年6月 | 明治8年 |
| 那賀郡元村他地主8名 | | | | | 那賀郡元村地押調査委員 | 元村地主惣代片山善四郎・ 田中慎一郎・乾直輔・林謙 之輔 | 元村地主惣代片山善四郎・ 田中慎一郎・乾直輔・林謙 之輔 | | 那賀郡元村戸長役場 | | 小路村戸長片山善四郎・副 戸長田端・(奥書)第三大 区五小区副区長松山管吾 | (小区長他) |
| 地押調査委員 | | | | | | | | | | | | 第三大区五小区(各村)正 副戸長 |
| 綴 | 横半 | 横半 | 横半 | 横半 | 横半 | 横半 | 横半 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 綴 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---------------------|----------------------------|---------------|--------------------|----------------------------------|---|-------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 130 | 99 | 94 | 93 | 92 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 85 | 84 | 83 | |
| 墓地ノ内開墾願副申 | 記(県収税係へ渡す土地関係書類名書上) | 地価更訂ニ付開申書扣(明治八年地租改正の際誤記ニ付) | 分合筆書抜(正) | 〔地価変換ニ付分合筆・地押関係書類〕 | 〔脱落地編入ニ付野取絵図面〕 | 脱落地民有地ニ御編入願 | 脱落地民有地ニ御編入願 | 那賀郡元村畦畔廢除地目組換地価取調表 | 那賀郡元村畦畔廢除地目組換地価取調表 | 那賀郡元村畦畔廢除地目組換地価取調表 | 那賀郡元村畦畔廢除地目組換地価取調表 | 野取絵図面(元村脱落地) | 那賀郡元村脱落地々位等級地価取調表扣 | |
| ※一綴4点の内 | ※明治21年3月6日に渡す | ※内容3件 | ※破損、92番に同内容あり | | | | ※繰り帳、内容5件 | ※83と同文、所々切除 | ※83と同文 | ※83と同文 | ※83と同書式 | ※一綴2点の下 | ※一綴2点の上 | |
| 130-1 | 99 | 94 | 93 | 92 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 85 | 83-2 | 83-1 | |
| 明治19年11月11日 | 明治(21年3月) | 明治20年6月20日 | | 明治20年4月13日他 | 明治20年4月13日 | 明治20年4月 | 明治20年4月 | 明治20年4月 | 明治20年4月 | 明治20年4月 | 明治20年4月 | 明治20年4月13日 | 明治20年4月 | |
| 元村地主惣代片山善四郎・林謙之輔・戸長奥静夫 | 元村地主惣代片山善四郎・林謙之輔 | 元村地主惣代片山善四郎・林謙之輔 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 直輔 山善四郎・田中慎一郎・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 善四郎・乾直輔・戸長津田 竹中重太郎・地押惣代片山善四郎・田中慎一郎・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 神田村持主磯幸七 元村片山善四郎・乾直輔 | 持主・隣地主・元村地押 直輔・戸長津田俊二 | 元村地主惣代林謙之輔・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 直輔・戸長津田俊二 山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 元村地主惣代林謙之輔・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 直輔・戸長津田俊二 山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 元村地主惣代林謙之輔・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 右主惣代田中慎一郎・林伊郎・乾直輔・戸長津田俊二 |
| 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | | | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | |
| 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | |

③ 税

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------|-------------------|---|---------------------------------|----------------------------|----------------------|---------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 98 | 100 | 97 | 95 | 96 | 73 | 134 | 133 | 132 | 131 | 130 | 130 | 130 | |
| 手入ノ事(地押・土地関係書類中) ※裏に「地押ニ用タル帳」とあり | (「字別土地等級・反別・地価書上帳」) ※字は全て元地区 | 副申(明治廿年四月廿五日進達扣)・那賀郡元村土地台帳総計表訂正願 | 地種誤謬更正願 ※雜形 | 誤謬訂正ノ廉(覚書) ※朱筆 | 元村共有財産処分法同 ※県令第15号達により安楽川村と成る為、元村共有財産は従来通の旨・同文2通一綴 | 那賀郡元村開墾願地々価取調表 ※132-1と一綴3点の内 | 野取絵図面 ※132-1と一綴3点の内 | 開墾願書 ※一綴3点の内、内容4件 | 地種組換願(墓地内出畑開墾ニ付) ※内容3件 | 那賀郡元村開墾願地々価取調表 ※130-1と一綴4点の内 | 那賀郡元村開墾願地見取図 ※130-1と一綴4点の内 | 墓地内廃寺跡開墾願 ※130-1と一綴4点の内 | |
| 98 | 100 | 97 | 95 | 96 | 73 | 132-3 | 132-2 | 132-1 | 131 | 130-4 | 130-3 | 130-2 | |
| | | 明治22年4月25日 | | 明治22年4月23日 | 明治22年3月13日 | 明治20年4月13日 | 明治20年4月13日 | 明治20年4月13日 | 明治20年4月13日 | 明治19年11月10日 | (明治19年11月) | 明治19年11月10日 | |
| | | 那賀郡安楽川村大字元地主惣代田中雄一 | | | 元村地主惣代林謙之輔・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔、戸長津田俊二 | 元村地主惣代林謙之輔・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 元村地主惣代林謙之輔・片山善四郎・田中慎一郎・乾直輔 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 元村総代田中慎一郎、市場二村総代西泰助、戸長津田俊 | 元村総代田中慎一郎、市場村惣代西泰助 | 元村総代田中慎一郎、市場地主、戸長奥静夫 | 元村総代田中慎一郎、市場村惣代西泰助、段新田村隣 |
| | | 那賀郡長中西光三郎 | | | | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | 和歌山県知事松本鼎 | | 和歌山県知事松本鼎 | |
| 一紙 | 縦帳 | 綴 | 綴 | 一紙 | 綴 | 綴 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 綴一通 | 綴一通 | 綴一通 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----------|---------|---------|--|---------------|-------|--------|--|-----------------------------------|------------|-----------------------------|---------|----------------------------|
| 110 | 109 | 108 | 107 | 121 | 105 | 104 | 103 | 52 | 54 | 40 | 39 | 23 | 16 |
| 明治九年分地価懸り取集帳 | 旧仮納貢租引出シ帳 | 租税取立帳 | 租税取立帳 | 拾円以上証印税扣(元・市場・神田・上野・調月・添田・久保・西ノ村) ※105番と同内容部分あり | 証印税調帳 ※繰紐欠 | 大方租税帳 | 米方租税帳 | 明治十八年上半季戸数割表 ※50-1・1・12(一)⑤(ハ)の繰間に挟み込み、破損 | 明治十八年下半季戸数割表村扣 ※53-1(一)⑤(ハ)に繰付 | (村会)戸数割表議決 | 明治十六年通常村会戸数割表議決 ※大表、付箋多数 | 戸数等級帳 | 明治十二年度元村戸数等級賦課法 ※計167名分 |
| 110 | 109 | 108 | 107 | 121 | 105 | 104 | 103 | 50-3 | 53-2 | 40 | 39 | 23 | 16 |
| 明治9年 | 明治8年 | 明治7年12月 | 明治7年12月 | (明治前期) | 明治6年11月 | 明治6年 | 明治6年 | 明治18年 | 明治18年 | | 明治16年 | 明治13年9月 | 明治12年 |
| 加和小路郷 | | 加和村 | 小路西組 | | | 小路郷西 | 小路郷(西) | | | (那賀郡元村) | (那賀郡元村) | | (那賀郡元村) |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 表 | 表 | 縦帳 | 綴 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--------------------|------------------|-----------|-----------------------|-----------------|---------------------|------------------|--------------------------------------|---------------------|----------------|---------------|-------------|------------------|
| 129 | 128 | 127 | 126 | 119 | 118 | 48 | 47 | 46 | 45 | 114 | 113 | 112 | 111 |
| 〔租稅書上〕 ※128と同形式、字別、繰り紐欠、横帳サイズ紙一括 | 〔租稅書上〕 ※129と同形式 | 〔地価懸り書上〕 ※表紙欠 | 元村地価懸り不納記 | 〔地方税地価懸り日計簿〕 ※表紙破損 | 第三期地方税地価懸り日計簿 | 明治十二年下半年分地方税及協議費賦課帳 | 明治十二年度地方税及協議費賦課帳 | 明治十二年(一十五年)地方税協議費上(下)半年分賦課帳 ※内容6件 | 明治十二年上半年分地方税及協議費賦課帳 | 明治十年仮米納帳 | 明治十年度割戸数掛り取集帳 | 明治九年第二期前納取附 | 明治九年第二期納之内半額借入之控 |
| 129 | 128 | 127 | 126 | 119 | 118 | 48 | 47 | 46 | 45 | 114 | 113 | 112 | 111 |
| | | | | (10月22日)~(24日) | 明治12年12月11日~15日 | 明治13年1月17日 | 明治12年8月25日 | 明治12年~15年 | 明治12年 | 明治11年1月25日 | 明治10年 | 明治10年4月25日~ | (明治)10年2月 |
| | | (津田押印) | (津田押印) | (那賀郡元村) | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 五小区加和小路村(室溪押印) | 加和小路邸 | 加和小路村 | 加和小路邸 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

④村 会

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|------------------------|------------------------------|---------|------------------|------------|---------------|-----------------|--------------------------|--------------------------------|----------------------|--------------|----------------|
| 12 | 22 | 24 | 23 | 21 | 19 | 20 | 18 | 17 | 16 | 15 | 13 | 14 |
| 明治十二・十三年度元村々会議帳簿受渡日録 | (村会議決) 開申 ※内容四点 | (明治十三年) 元村々会議員出席表 ※破損 | 戸数等級帳 | 那賀郡元村々会決議 | 元村村会議日誌 | 那賀郡元村々会議按總体説明 | (明治十二年度) 村会議按總体 | 那賀郡市場・元村村会規則編定伺 | 明治十二年度元村戸数等級賦課法 ※計167名分 | (那賀郡元村会議決之條件開申并修正議案) | 明治十二年度元村会議日誌 | 那賀郡元村々会議案總体説明書 |
| 12 | 22 | 24 | 23 | 21 | 19 | 20 | 18 | 17 | 16 | 15 | 13 | 14 |
| 明治十四年7月12日 | 明治十三年10月1日 | 明治十三年9月 | 明治十三年9月 | 明治十三年9月 | 明治十三年9月30日 | 明治十三年9月22日 | 明治十二年8月13日 | 明治十三年7月14日 | 明治十二年 | 明治十二年8月 | 明治十二年 | 明治十二年8月 |
| 旧議長片山善四郎 | 元村村會議長片山善四郎 | (那賀郡元村) | | 元村村會議員片山善四郎以下12名 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村戸長津田作之丞 | (那賀郡元村村会) | 那賀郡市場・元村戸長役場、(奥書) 郡長菅沼政経 | (那賀郡元村) | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | (那賀郡元村) |
| | 戸長津田作之丞 | | | | | | | 和歌山県令神山郡廉 | | | | |
| 一紙 | 綴 | 一紙 | 綴帳 | 綴 | 綴帳 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴帳 | 綴 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------------|-------------------------|----------------|-----------------------------|---------------|------------|--------------------|------------|-------------------|-----------------|------------------|-------------|-----------|
| 36 | 35 | 37 | 30 | 34 | 33 | 32 | 29 | 26 | 31 | 25 | 44 | 27 | 28 |
| (明治十五年度) 那賀郡元村々会議決報告 | 明治十五年元村々会議決按(并決議書) | (明治十五年度) 那賀郡元村々會議案總體說明書 | 明治十四年元村々會議員出席表 | (村会) 欠席届 | 那賀郡荒川元村々會議決報告 | (村會議決) 開中 | 明治十四年元村々會議決按(并決議書) | 那賀郡元村々會議決按 | 村会延期届 | (明治十四年度) 元村々會日誌 | [村会にて学事を議する旨嘆願書] | 建議案(学校教育関係) | 第三期通常村會議按 |
| ※破損 | ※破損 | | | ※内容4点 | ※第一表、第三表 | ※内容3点 | ※最後に7月24日戸長認可の旨あり | | ※最後に戸長津田作之丞が認可の旨書 | | | ※44番と同筆跡 | |
| 36 | 35 | 37 | 30 | 34 | 33 | 32 | 29 | 26 | 31 | 25 | 44 | 27 | 28 |
| 明治15年 | 明治15年 | 明治15年8月 | 明治14年 | 明治14年7月13日、15日 | 明治14年7月16日 | 明治14年7月17日 | 明治14年 | 明治14年7月 | 明治14年7月14日 | 明治14年7月 | (明治) 14年7月12日 | 明治14年7月 | 明治14年 |
| | 元村村會議員林謙之輔他12名 | 那賀郡元村役場 | | 次郎・田中専左衛門・柳本重三(各紙一名ずつ) 津田雄三 | (安桑川元村) | 元村村會議長林謙之輔 | 元村村會議員林謙之輔他12名 | (那賀郡元村) | 那賀郡元村々會議長林謙之輔 | (那賀郡元村) | 加和小学在勤竹中重威 | | 那賀郡元村 |
| | | 議長林謙之輔 | | 村会幹事 | | 戸長津田作之丞 | 戸長津田作之丞 | | 戸長津田作之丞 | | 村會議員各位 | | |
| 綴 | 綴帳 | 綴帳 | 一紙 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴帳 | 綴 | 一紙 | 綴帳 | 綴 | 綴一通 | 綴帳 |

| | | | | | | | | | |
|------------------|------------------------|--------------|---------------------------|---------------|------------------------------|--|---|----------------|-------------------------------|
| 58 | 71 | 57 | 56 | 55 | 53 | 51 | 50 | 49 | 115 |
| 明治参拾参年度収支支出勘定明細帳 | 〔明治十八年より廿一年迄の村費他取替金覚書〕 | 明治廿年度上下実費勘定帳 | 明治十九年下半年決算帳 ※3月5月12月精算 | 明治十九年上半年村費賦課帳 | 明治十八年下半年分村費賦課帳 ※53-2は1-③へ | 明治十八年上半年分村費賦課帳 ※2冊一綴の内下、破損 50-3は1-③へ | 明治十八年上半年村費賦課帳 ※2冊一綴の内上、破損 50-1は1-③へ | 明治十七年下半年協議費賦課帳 | 〔明治十・十一年分区村費賦課金記載簿〕 ※明治10・11年 |
| 58 | 71 | 57 | 56 | 55 | 53-1 | 50-2 | 50-1 | 49 | 115 |
| 明治33年 | 明治21年7月9日 | 明治20年 | 明治19年 | 明治19年 | 明治18年 | 明治18年 | 明治18年 | 明治18年1月24日 | 明治10・11年 |
| 大字元惣代 | 元村田中慎一郎 | | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 五小区老番組村会議所 |
| | 元村村会議員中 | | | | | | | | 加和小路村用係田中慎一郎 |
| 横帳 | 綴 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

⑤村費

| | | |
|-------------|-----------------------------|-----------------------|
| 40 | 39 | 38 |
| (村会) 戸数割表議決 | 明治十六年通常村会戸数割表議決 ※大表、付箋多数 | 明治十六年元村々会決議按(并決議書) |
| 40 | 39 | 38 |
| | 明治16年 | 明治16年7月11日 |
| (那賀郡元村) | (那賀郡元村) | 元村村会議長田中慎一郎他 議員12名 |
| 一紙 | 一紙 | 縦帳 |

⑥救 恤

※村費については、これ以外に一一④の村会文書(54ページ)にも、予算に関する記述があるので、そちらも御参照いただきたい。

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------|-----------|-----------|----------|------------|--------------|----------|----------------|----------------|------------------|------------------|
| 72 | 70 | 69 | 68 | 67 | 66 | 65 | 64 | 62 | 63 | 60 | 59 |
| 〔田中慎一郎一件ニ付集会その他費用控帳〕 | 支出之部内訳(元村関係) | 支出支入明細帳 | 総決算帳(大字元) | 大字元支出明細帳 | 大字元支出支入明細帳 | 諸費受渡シ扣 | 引継ギ勘録帳 | 明治参拾七年度収入支出明細帳 | 明治三拾七年度収入支出明細帳 | 明治参拾五年度収入支出勘定明細帳 | 明治参拾四年度収入支出勘定明細帳 |
| ※前欠 | ※繰紐欠 | | | | | | ※共有金・収支他 | | | | |
| 72 | 70 | 69 | 68 | 67 | 66 | 65 | 64 | 62 | 63 | 60 | 59 |
| 明治21年12月 同22年4月29日 | 昭和7・8年 | 大正13年4月 | 大正13年3月 | 大正12年4月 | 明治45年4月 | 明治44年4月 | 明治39年2月 | (明治37年) | 明治37年 | 明治35年 | 明治34年 |
| | | 大字元区长田中雄三 | 森崎輝一郎 | 区长森崎輝一郎 | 大字元区长田中雄三 | 大字元人民惣代赤阪徳太郎 | (大字元か) | 安楽川村大字元人民惣代 | 大字元惣代永長席市 | | |
| 横帳 | 綴 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 縦帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|--------------|------------|------------|--------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-------------|------------|------------|---------|
| 166 | 165 | 164 | 163 | 162 | 161 | 160 | 159 | 158 | 157 | 156 | 155 | 154 | 153 |
| 貸麦利支取附帳 | 貸麦利支取附帳 | 貸麦利支取附帳 | 貸麦利支取付帳 | 貸麦利支取付帳 | 貸麦利子取付帳 | 麦貸附帳 | 貸麦利子取附帳 | 貸麦利子取附帳 | 貸麦利子取附帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取附帳 | 貸麦利子集取付帳 | 貸麦人名簿 |
| | | | | | | | | | ※二冊合冊の下 | ※二冊合冊の上 | ※日付は旧暦6月7日 | | ※破損 |
| 166 | 165 | 164 | 163 | 162 | 161 | 160 | 159 | 158 | 156-2 | 156-1 | 155 | 154 | 153 |
| 明治37年(旧)6月7日 | 明治36年旧6月7日 | 明治35年(旧)6月7日 | 明治34年旧6月7日 | 明治33年旧6月7日 | 明治32年旧6月5日 | 明治28年6月7日 | 明治26年6月7日 | 明治25年6月7日 | 明治22年旧6月14日 | 明治22年旧6月14日 | 明治20年7月27日 | 明治18年7月18日 | 明治14年7月 |
| 大字元 | 大字元 | 大字元惣代 | 大字元 | 大字元 | 大字元人民惣代永長房太郎 | 大字元 | 大字元 | 大字元 | 那賀郡安楽川村大字元 | 那賀郡安楽川村大字元 | 那賀郡元村 | 那賀郡元村 | 那賀郡荒川元村 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 竖帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------|-----------|-------------|
| 180 | 179 | 178 | 177 | 176 | 175 | 174 | 173 | 172 | 171 | 170 | 169 | 168 | 167 |
| 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取附帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦原簿 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 |
| 180 | 179 | 178 | 177 | 176 | 175 | 174 | 173 | 172 | 171 | 170 | 169 | 168 | 167 |
| 大正8年7月6日 | 大正7年7月3日 | 大正6年7月3日 | 大正5年7月8日 | 大正4年7月8日 | 大正3年7月7日 | 明治45年7月7日 | 明治44年 (?昭和19年) | 明治44年7月7日 | 明治43年7月14日 | 明治42年旧6月7日 | 明治41年旧6月7日 | 明治40年6月7日 | 明治39年旧5月17日 |
| 大字元 | 大字元 | 大字元区长 | 大字元区长 | 大字元区长 | 大字元区长 | 大字元 | 大字元 | 安楽川村大字元人民惣代 | 安楽川村大字元人民惣代 | 大字元人民惣代 | 大字元人民惣代 | 大字元人民惣代 | 大字元人民惣代 |
| 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | |
|--------------|-------------|--------------------|--------------------|------------------|------------|
| 149 | 148 | 146 | 145 | 144 | 143 |
| 明治十年大涌割 | 明治十年分大涌懸り取附 | 明治九年井入費取集帳(入作神田村分) | 明治九年井入費取集帳(入作神田村分) | 明治九年井入費取集帳(上野町分) | 明治九年井入費取集帳 |
| 149 | 148 | 146 | 145 | 144 | 143 |
| 明治10年 | 明治10年 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年 |
| 第三大区五小区加和小路邸 | かわ小路村 | 加和小路村 | | 加和小路村 | 加和小路村 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

⑦水利

| | | | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|---------|
| 61 | 186 | 185 | 184 | 183 | 182 | 181 |
| 軍人家族保護金出渡帳 | 貸麦利子取立帳 | 御貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 | 貸麦利子取立帳 |
| 61 | 186 | 185 | 184 | 183 | 182 | 181 |
| 明治37年3月21日 | 昭和10年7月16日 | 昭和4年7月13日 | 大正15年7月12日 | 大正12年7月23日 | 大正11年7月10日 | 大正9年 |
| 大字元惣代永長帛市 | 大字元区长林久太郎 | 区长原磯兵衛 | 大字元区长 | 大字元区长 | 大字元 | 大字元 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

※インク書部分判読難

| | | | |
|---------|--------------|-------------------------------------|------------------------------|
| 136 | 41 | 土地小作請負契約証書扣 ※両大字共有地畑1反8畝、1年1円60銭 | 重要事件摘抹(村政ニ付) ※協議員改正・帳面貸寛他 |
| 136 | 41 | 明治33年4月21日 | (明治32年3月他) |
| 証人森崎弥之助 | 大字元小作人永長伊助、保 | 大字元惣代永長房太郎 | |
| 一紙 | 横帳 | | |

⑨その他

| | | | | | |
|------------|----------|-----------------|----------|------------|---------|
| 142 | 141 | 140 | 139 | 138 | 137 |
| 〔普請賃銀請取寛帳〕 | 〔普請人夫控帳〕 | 大字元・市場廟所道路修繕人夫控 | 道路修繕人夫控帳 | 大字元道路修繕(帳) | 会所修繕帳 |
| 142 | 141 | 140 | 139 | 138 | 137 |
| | | 大正3年10月 | 大正3年9月 | 大正3年3月10日 | 明治27年3月 |
| | | 大字元・市場 | | (大字元) | 大字元 |
| 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

⑧普請

| | | | |
|--------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------|
| 147 | 120 | 151 | 150 |
| 井掛り反別帳(五ヶ村分) | 明治十四年畦畔岸丈量入費賦課帳・同年下半年大涌割賦課帳 | 元村領字姫本伏樋朽ニ付宮籍費用諸掛り反別賦課帳 | 柘榴川筋營繕所浚協議費賦課(元村分) |
| 152 | 120 | 151 | 150 |
| | 明治14年 | 明治13年7月7日 | 明治13年5月 |
| | | | 那賀郡元村戸長役場 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | |
|-----|----|-----------|-------|--------------------------------------|----|
| 188 | 42 | 大字元評議員人名簿 | 昭和11年 | 安楽川元村大字元垣内代表者評議員永長善右衛門他8名、大字元区长松本秀一郎 | 縦帳 |
|-----|----|-----------|-------|--------------------------------------|----|

⑩学 事

| | | | | | |
|-----|-----|--------------------------------------|-----------|------------|-------------|
| 27 | 44 | 27 建議案（学校教育関係） ※44番と同一筆跡、一―④参照 | 明治14年7月 | | 縦 |
| 44 | 44 | 44 〔村会にて学事を議する旨嘆願書〕 ※一―④参照 | （明治）14年7月 | 加和小学在勤竹中重威 | 縦 村会議員各位 |
| 193 | 193 | 193 元村・市場聯合荒河学校諸費支払帳 | 明治21年6月 | | 横帳 |

⑪寺 社

| | | | | | |
|-----|-----|-----------------------------|-----------|---------|----|
| 189 | 189 | 189 庄割神ノ田ノ原野入費割帳（明治13年分） | 明治14年1月8日 | 元村 | 横帳 |
| 190 | 190 | 190 三船神社修覆寄附人名簿 | 明治26年5月 | 大字元周旋係り | 縦帳 |
| 191 | 191 | 191 三船神社修覆勘録記 | 明治27年11月 | 大字元 | 横帳 |
| 192 | 192 | 192 住吉社修繕費追加寄附書及人別取集金冊 | 28・29年 | | 横帳 |

二、明治一七年以前の戸長役場文書（元・市場組合含）

| | | | | | |
|-----|-----|------------------------------|--------------------|--------------|----|
| 122 | 122 | 122 第三期地方税（書上勘定） ※横帳用紙 | | 元村・市場村（津田押印） | 縦 |
| 116 | 116 | 116 第貳期地方税地価懸り日計簿 | 明治12年10月22日 25日 | 那賀郡市場村 | 横帳 |

| | | | | | | |
|-----|---------------------------------------|-----|--------------------|-------------------------------------|-----------------|---|
| 117 | 第三期地方税地価懸日計簿 | 117 | 明治12年12月11日 15日 | 那賀郡市場村 | | 帳 |
| 1 | 戸長会ニ関係之書類 ² 登込 ※内容4件、印刷 | 1 | 明治16年1月 | (表紙) 那賀郡元村戸長役場 (内容) 那賀郡役所・郡長松山他) | (内容) 戸長津田正朝あて他) | 綴 |

三、明治一七年以降の戸長役場文書(九ヶ村聯合戸長役場)

| | | | | | | |
|---|-------------------------|---|-------|--|--|---|
| 2 | 那賀郡市場村外八ヶ村聯合村会議決 ※予算 | 2 | 明治19年 | | | 綴 |
|---|-------------------------|---|-------|--|--|---|

四、安楽川村役場文書(明治二二年以降)

| | | | | | | |
|-----|---------------------------------|-------|----------------|-------------|--------------|----|
| 43 | 〔安楽川村役場通牒一括〕 ※一綴21通 | 43 | 大正3・4年 | 安楽川村役場、管理村長 | 各区長 | 綴 |
| 123 | 明治二十九年營業名及課税標準届 ※雛形 | 123 | 明治29年 | | 大阪稅務管理局長山形脩人 | 一紙 |
| 124 | 宅地租・營業收益稅收納簿(第一期分) ※部分、インク書 | 124-1 | 10年7月 11年2月 | 安楽川村 | | 三丁 |
| 124 | 復員者調査表(軍人及軍属) ※三枚、印刷 | 124-1 | 昭和21年3月末日 | | | 一紙 |
| 125 | 復員者調査ノ件依頼 ※124-1に挟込み、米軍司令部指示による | 124-2 | 昭和21年4月2日 | 安楽川村長 | 各大字区長 | 一紙 |

五、その他文書

| | | | | | | |
|-----|-----------|-----|----------------------|---------|--|---|
| 187 | 安楽川村奨武会規則 | 187 | 明治28年11月3日 (確定可決) | 安楽川村奨武会 | | 帳 |
|-----|-----------|-----|----------------------|---------|--|---|

六、伝来・分類不明文書

| | | | | | | |
|-----|----------------------|-----|---------|-----------|------|----|
| 135 | 小作証文之事 ※一銭印紙貼付、虫損 | 135 | 明治13年4月 | 野郡宮島村益永藤吉 | 小松武造 | 一紙 |
|-----|----------------------|-----|---------|-----------|------|----|

152

記
(松他代金寛)

※破損

152

(近代)

佐竹銀次郎

□ 戸仙太郎

断簡

安樂川村文書Ⅱ目録

(那賀郡桃山町)

安楽川村文書II 解題

1 伝来と受け入れの経緯

2 旧安楽川村元地区について

3 津田正朔と津田家について

4 文書群の概要について (I、II 総合)

以上については、36ページからの「安楽川村文書解題」で述べている。

5 文書群の特色について (安楽川村文書II)

「村」に関する文書が大部分を占めていた「安楽川村文書I」に対しこの「II」は、役場関係の文書が大勢を占める。中でも安楽川村役場文書は点数も多くまとまっているので、当時の行政を知る手がかりとして重要である。

以下に中でも特徴のあるものについて説明を加える。

救荒願関係文書について

明治一七(一八八四)年前後の文書には、救荒願や地租免除関係など救恤に関する文書がある(文書42・52・60・67・190)。明治一六年はまれに見る早魃で、和歌山では七月一八日から五七日間連日気温は三〇度を越え、雨も少なく七月一九日から三一日間雨が降らなかつた。紀ノ川流域のこの地域も、農作物などが被害をうけた。救荒願の文書は、この被害のため本年の地租を庁(県)布第四三号により備荒儲蓄金を以て補助貸与してもらいたい旨が書かれ、郡長にあてて出された。これら文書では明治一五年九月に庁(県)公第五〇号の書式により被害状況が報告されている。文書60には、元村一五人(内一人削除)神

◎安楽川村助役一覧(明治・大正期)

| 在職期間 | 氏名 |
|-----------------|------------|
| 明治22・6~同24・11 | 津田正朔 |
| 明治24・11~同28・3 | 田中 左 |
| 明治28・3~同29・9 | 額田 熾之助 |
| 明治29・9~同32・4 | 額田 熾之助(不明) |
| 明治32・4~同35・9(a) | 永西 長岡 |
| 明治34・4~大正6・4 | 額田 熾之助 |
| 大正6・5~同8・3 | 額田 下 |
| 大正8・3~同10・2 | 額田 下 |

◎明治4年の村役人一覧(「安楽川村郷土誌」より)

| 村名 | 庄屋 | 年寄 |
|-----------|--------|------------|
| 加和村(曹巖寺領) | 林 謙之輔 | 乾龜之進・柳本重二郎 |
| 小路村(修理領) | 田端新左衛門 | 田中儀右衛門 |
| 小路村(碩学領) | 片山 善四郎 | 永長三郎兵衛 |

◎明治12年の市場村・元村戸長 津田作之丞(市場村在住)

◎明治15年から17年の元村戸長 津田正朔(元村在住)
明治15年から17年の市場村戸長 津田友衛(市場村在住)

◎明治17年7月から明治22年3月までの段村・段新田村・市場村・元村・最上村・神田村・大原村・善田村・黒川村九ヶ村戸長
初代 堀内仙右衛門
二代 奥 静 夫
三代 奥 政 之 助

◎安楽川村村長一覧(明治・大正期)

| 在職期間 | 氏名 |
|----------------|--------|
| 明治22・5~同24・11 | 奥 政之助 |
| 明治24・11~同28・11 | 田中 左 朔 |
| 明治28・11~同29・9 | 田中 左 朔 |
| 明治29・10~大正元・10 | 田中 左 朔 |
| 大正元・10~同5・10 | 津田 正 朔 |
| 大正5・11~同6・4 | 西 西 朔 |
| 大正6・4~同8・3 | 西 西 朔 |
| 大正8・3~同12・3 | 額田 熾之助 |
| 大正12・4~昭和2・4 | 額田 熾之助 |

◎安楽川村収入役一覧(明治・大正期)

| 在職期間 | 氏名 |
|--------------|-----------|
| 明治22・6~同23・1 | 竹中 左 膳 |
| 明治23・1~同26・4 | 奥 田 熾之助 |
| 明治26・4~同28・3 | 額田 熾之助 |
| 明治28・3~同31・4 | 西 津 田 次郎 |
| 明治31・4~同34・3 | 津田 徳太郎 |
| 明治34・4~同38・3 | 室谷 岩之助 |
| 明治38・4~大正6・4 | 室谷 茂(同上人) |
| 大正6・5~同8・4 | 飼馬 文四郎 |
| 大正8・4~同9・8 | 森 直三郎 |
| 大正9・9~同13・8 | 森 市太郎 |

◎安楽川村書記一覧(明治期判明のみ)

| 年(月日) | 氏名 |
|------------------|-------------|
| (不明)~明治31・4 | 津田 徳太郎 |
| (不明)~同34・3 | 西岡 孫太郎 |
| 明治31・4~同34・3 | 西岡 岩之助 |
| 明治31・7~(同33・34?) | 西岡 熊 楠 |
| (明治33・34頃)~同38~? | 西岡 茂雄(同上人カ) |
| 明治34・5~同39~? | 森 直三郎 |
| (不明)~明治39~? | 森 直三郎 |

田村八人（内三人削除）段新田村二人が願ひ出、各自の調書を戸長が作成し、願書に付している。これらは郡長に出され、審査後貸与者が決定されている。文書63（明治一七年三月）によると、元村地租総額は金二一四八円九九銭五厘、内一八六四円六四銭七厘が上納ノ分、金一四二円九四銭七厘が延納出願スベキ分、金六二円五九銭三厘が救荒規則ニヨリ補助貸与出願ノ分とある。また、文書64の同年の「食料及種穀料下付人名取調表」には一九人の元村人名が記されている。県法令によると、備荒儲蓄金は、明治一三年の第三一号布告に遵ひ明治一四年からおこなわれている。この年明治一六年布第四三三號の備荒規則によると、この元となる公儲金は県内土地所有者より地租一〇円につき二二銭を徴収して儲蓄金の内半額を公債証書にして県庁に保管し、残額は県庁と郡役所に分儲、天災発生時には郡区長が罹災の実況と費用を県令に報告し、その被害状況判断により給与がおこなわれる。その他に地租の全額または幾分か補助や貸与もおこなわれるという制度である。

これに関連してこれ以前、明治一三年の村会の諮問議案で「凶荒予備蓄積」が前年県より出された「凶荒予備法設立につき達」「凶荒予備概則」をうけてとりあげられ（文書122他）ている。こちらは町村内人民の協議によつて年々若干の米穀を蓄積させる制度であった。

和歌山県では、この後明治二六年にもまた大旱魃がおきている。この時も地租補助や貸与願が村長から郡長あてに出されている（文書86）。

この文書群の戸長役場文書中にも明治一五・一六年に備荒儲蓄金徴収の帳面が四点ある（文書34・36・51）。

村長の日記について

明治大正期の村役場は、現在の市町村役場とはかなり違い、郡役所

の下に位置する機関であった。職員も少なくその仕事は直接地域とかかわるものであった。明治二二（一八八九）年に成立した安楽川村の役場は、村長・助役・収入役の三人に書記二（三人、使丁、時に見習いが一人いた程度である（文書他よりわかる当時の役場職員名を表1にまとめた））。

当時の役場業務についてはなかなかわからないが、この文書群中には津田正朔が村長を務めた期間の、毎日の役場業務を記した日誌があり、当時の村役場を知るてがかりとして重要である。現在のこつているのは、明治三一（一八九八）・三三・三四・三五・三七・三八・三九年のもので、毎年正月から日を追って書かれている（文書102）178、七冊）。その代表的内容をあげると、次のようになる。

明治三一年 衆議院議員選挙・村会議員半数改選・清潔法施行・農工銀行株主募集・軍隊行軍、明治三三年 紀ノ川の架橋一件（紀和鉄橋か？）・紀和鉄道工事（反抗運動他）問題、明治三四年 村会議員半数改選・河内大和往来県道へ編入請願運動一件・西郷板垣侯款迎会出席・村債募集許可請願、明治三五年 学校舎新築一件・田中荘（村）との共有山境界問題・役場移転・コレラ発生・村議選挙、明治三七年 小学校合併増築・応募召集軍人関係・柘榴川堤防工事・大雨洪水被害・村議選挙、明治三八年 共有山境界・売却問題・徴兵・日露戦争関係・市場登記所新築一件、明治三九年 共有山問題・共有山郡植林一件・ベスト騒動・凱旋軍人優待会・堤防工事

明治三七年以降は日露戦争（明治三七（三八年）中らしく徴兵や出征軍人餉別・軍人家族救護法など軍事に関するものが特に多い。他にも道路整備問題や河川井路問題・村会・税金関係・郡役場との行き来関係がよく出てくる。また、村の共有山・小学校建設問題などは、さらにそれだけに関する日誌も残る（文書146・133ともに明治三五年））。

この日誌類が業務として書かれたものか村長津田氏の私的覚書として書かれたのかはわからないが、年を経るに従って日誌中に津田氏個人の家や家族のことに関する記述が多く出てくる。また、初めは津田村長と表紙に書かれていた名前も津田扶桑園主人や松亭主人と書かれたりする。用紙も「安楽川村役場」用箋利用が、159番の日誌では「津田扶桑園」用箋を利用している。ただこれらを、公と私をきっちり分ける現在の文書と同じに考えることはできないし、その必要もないことではある。

ちなみに、津田正朔は明治二二年以前にも明治二一年の九ヶ村戸長役場時代に戸長代理を務めた時の日誌(文書72)を残している。

山林と共有山について

東・南に広大な山林がある安楽川村にとって、山林に関する問題は、近代以前から多く起こって来た。この文書群中に度々登場するのは、まず東隣の田中荘(現打田町)との山内境界問題である。田中荘とは中世から境界や山の帰属をめぐる争論がくりかえされ、近世には藩領対高野寺領ということで争論もややこしく、藩領田中荘側が勝訴している(宝永三(一七〇六)年)山論もあった。ここでは、明治二〇年代末に大字神田内鷹巣尾山持尾(安楽川村内神田・最上・元・市場共有)に田中村が従来の境界を越えた所に突然榜示をたて、安楽川側が驚いてその榜示を抜き捨てたことから山論となっている。この経過はわからないが、恐らく双方何度も話し合いを持った後、明治二九年(一八九六)年七月に田中・安楽川組合として三七条からなる「共有山取縮規則」(文書99)を作成している。しかしその後も問題は絶えず、明治三五(一九〇二)年にはまた田中荘との境界争いが起きてくる(文書146・128の五月二五日と十二月)。田中村との争論はこの後も続き、大正期にも大きな騒動が起こっている。

ほかに山については、山論ではなく安楽川村四大字共有雨山(村の南側現美里町との境界)の那賀郡への貸付一件がある(文書146・165)。明治三九年一月二三日頒(植)林事業に雨山(大字最上字田鶴ノ木1363内14町4反余)を五〇年間貸付の仮契約書を村が郡に提出、二月二一日には岡本郡書記が賃貸契約取替・地上権設定の登記申請のため来村した。村は同日村会を召集し、この件が可決された後契約となった(この時の契約書は『安楽川村郷土誌』に写されている)。翌日和歌山区裁判所市場出張所で登記を済ませ、同年四月一日より郡へ貸付られた。契約には借地代年五〇円以内、伐木時は代価の一〇〇分の二〇以内を共有土地管理者の安楽川村長に支払うとある。ともあれ郡は雨山に杉などの植林事業をおこない、大正二二(一九二三)年の郡制廃止後は賃貸契約・事業とも県に移管された。現在県はこの山に植林事業等はおこなっていない。また、現在この地番の土地は一六〇以上に分筆され、その多くは個人有地となっている。

津田正朔は明治三五年から明治三九年のこれらのことを(共有山)管理村長として一冊の日誌に詳細に記している(文書146)。これを見ると、田中村との境界争い、郡への雨山貸付一件がよく目に付くが、ほかにも調月村や現貴志川町・美里町域村との山内境界関係、共有山中に複数あった採石場・無許可採石関係などのことも書かれている。そして争論等の時だけでなく、共有山管理代表者として、毎年選出される委員(定員四名)と共に年数回定期的に村域山を歩いて見回り、境界榜示の移動の有無や採石場の状況等を調査していたことがわかる。

6 目録上の項目編成について

安楽川村文書IIの目録は、内容により以下の項目に分類して掲載した。なお、一文書でも複数の項目に関係する文書は、複数項目それぞれ

れに掲載している（一部欄外に注釈のみ加えた分もある）

近現代村文書

一、第三大区 「村」にも個人にも分類できないため独立項目とした。

①道路検査(明治6)二点。津田雄三郎が第三大区四五六小区役所より区内道路検査を任じられ、区内村々を調査した際の文書。

②安楽川井取締(明治7)10)三点。安楽川井は段新田・段・市場・加和小路(元)・上野(最上)・調月の各村に掛かる井堰で、近代初等には三等営繕所とされ区の管理下にあった。そんな中津田雄三郎は「安楽川井取締」を務めていた。文書のはとんどが三等営繕願で、第三大区小区用箋に書かれた控である。

二、元村・同地区関係文書(小路村・賀和村含む。「村」について)

①村一般(明治7)19)六点。

②学事(明治9)12)七点。津田雄三郎が学校世話係を務めた頃の文書。文書19は各戸より資本金を出させ、それを売った金を学校の費用にあてている文書だが、当時の学校の諸費用については、安楽川村文書Iの村会史料中にも出てくるが、そこでも不足費を寄付を募って補ったりしている。

三、明治17年以前の戸長役場文書(元・市場組合含)

①役場(備忘録・経費予算)九点。備忘録や会計帳など諸費に關するものと、諸税及進達類留記簿のようなものがある

が、点数が少ないので分けていない。

②諸費税取集 一九点。土木費年賦・地方税・備荒儲蓄金・諸税・營業税・協議費など多種の取り集めに關する文書があるが、点数が少なく、一冊で救種のことを取りあつかっているものもあるので、煩雑になるが細分類せず年代順にした。

③免租・救恤 一二点。ほとんどが明治一六年の旱魃被害によるもので、免租や救恤に關する文書である。

四、明治17年以降の戸長役場文書(九ヶ村戸長役場)

役場(明治17・21・22) 五点。明治一七年の戸長役場引き継ぎ時に元戸長が作成した諸帳簿引継目録帳、文書内容は重要ではないが九ヶ村聯合戸長役場と各村(との間)に置かれた関係の文書などの他に、明治二二年戸長が病氣の時に代理を務めた津田正朝の役場業務の日記があるのが興味深い。

五、安楽川村役場文書(明治22年)

①兵事(明治28) 一点。この掃宅兵病氣一件文書は一綴八通で、掃宅兵の病氣掃營日延期願に村長の証明書添付を求められ、本人と親族の書いた延期願と医者診断書、村長の書いた連隊本部あての証明書控からなる。

②土地・官有地(明治26)28) 三点。

③未納・救恤(明治23)29) 一点。明治二四・二六年の旱魃等による税金の未納人や補助願い人についての(資力・所得見込み・所有土地・被害状況などの)取り調べ文書が多い。またそれらの。多くは村長から郡長へ提出されている。

④村長日誌（明治31・33・34・35・37・38・39）七冊。これに

ついては別項で既に述べたが、当時の村役場を知る重要な史料である。また、簿冊は七冊だがそこに挟み込まれた文書が五〇点もある。これらの挟まれていた周辺の記述には、それに関するものが書かれていることが多い。

⑤共有山（明治29・35） 三点。田中村との共有山取締規則、村長の日誌は既述。村民二名から村長にあてた「質問書」（文書100）は、村が共有山内三町余を突然草木伐採禁止にしたことにつき、共有人民とあらかじめ協議もせず、村会にも掛けずに係員のみで決断したのは無効ではないかという事が書かれている。この決着は定かではないが、従来からの「村」の共有山のありかたど、町村制施行以後の共有山を考える手がかりとなる文書である。

⑥小学校建築（明治35） 一点。明治三五年からの小学校建築と、同四一年からの小学校増築の二工事について建築委員の任命から用地・費用・校舎内備品入札等につき書かれている。『桃山町史』によると、明治三六年には安楽川第一・第二小学校を統合。翌年同校の改築がおこなわれている。

⑦区裁判所建築（明治38） 四点。市場にあった和歌山区裁判所（登記所）庁舎の新築関係文書で、平面図・外見図も残っている。この新築費は、有志が株を買入金金を宛てることになり、一株二五円で四〇株の（内二〇株は建築地の市場地区内で、残りを四株づつ各大字が引き受け）株主を募集した。契約証や株主總會の史料も残る。

⑧その他（茶業組合・消防） 三点。茶業組合は、明治二七年九月の県訓令第三二六号で示された加入・未加入者調査関係

文書。消防は、村長あて出場手当領収証。六、その他文書 一点。所属項目年代不明文書。土地関係か。

津田家に関する文書

①家（近世文書を含む） 一三点。安政期からの家文書。点数も少ないので、細分類せずに年代順に並べた。ほとんどが金銭貸借関係。文書75の雑書綴は、盗賊届・家督相続・金銭貸借関係・入嫁届等様々な津田家の近代文書が綴られている。明治二三（一八九〇）年の養蚕日誌があるが、正朔は自ら扶桑園主人と称し、村長時代の日誌にも役場業務関係の記述と共に自宅での養蚕についてのことを記していたりと、かなり力を入れていたようである。

②個人（政之） 四点。家文書中で津田政之に関する文書のみ異質であるので項目を別にした。政之は文久二（一八六二）年生で郡書記を勤めていたこともある。正朔との関係は不明だが弟であろうか。

③信仰・講 九点。信仰は寺院の堂修葺や建築関係。講は永栄講。

その他文書

一点。西岡あて日赤収納通知。日赤については、正朔の村長日誌中にも出てくる。

分類不明文書

一点。近代の金銭覚書

7 文書の整理と状態について

受け入れ時、すでに両文書群共古書店で形態や内容で分けられてお

り、原状はわからない。そのため整理にあたっては、大まかに分類後
その中で年代順に並べてからおこなった。状態については、一部に破
損や酸性化が見られるが、安楽川村文書Ⅰのような状態のものはない。
なお、一点の文書で複数の項目に属す文書は、複数項目に掲載して
いる（一部欄外に注釈を加えるのみにした部分もある）。また、文書
に挟みこまれたりくり付けられた状態のいわゆる枝番・孫番文書は、
利用に際しその関連性と伝来を重視する必要からも、親番文書と切り
放さずに並べている（一部例外あり）。

紙に 紙に これは45ページを御参照下さい。

8 その他文書・参考文献

「明治廿三年度村税徴収元帳 安楽川村役場」一冊（個人蔵・未公
開）現所蔵者が平成八年古書店より購入。元は同一文書群か。

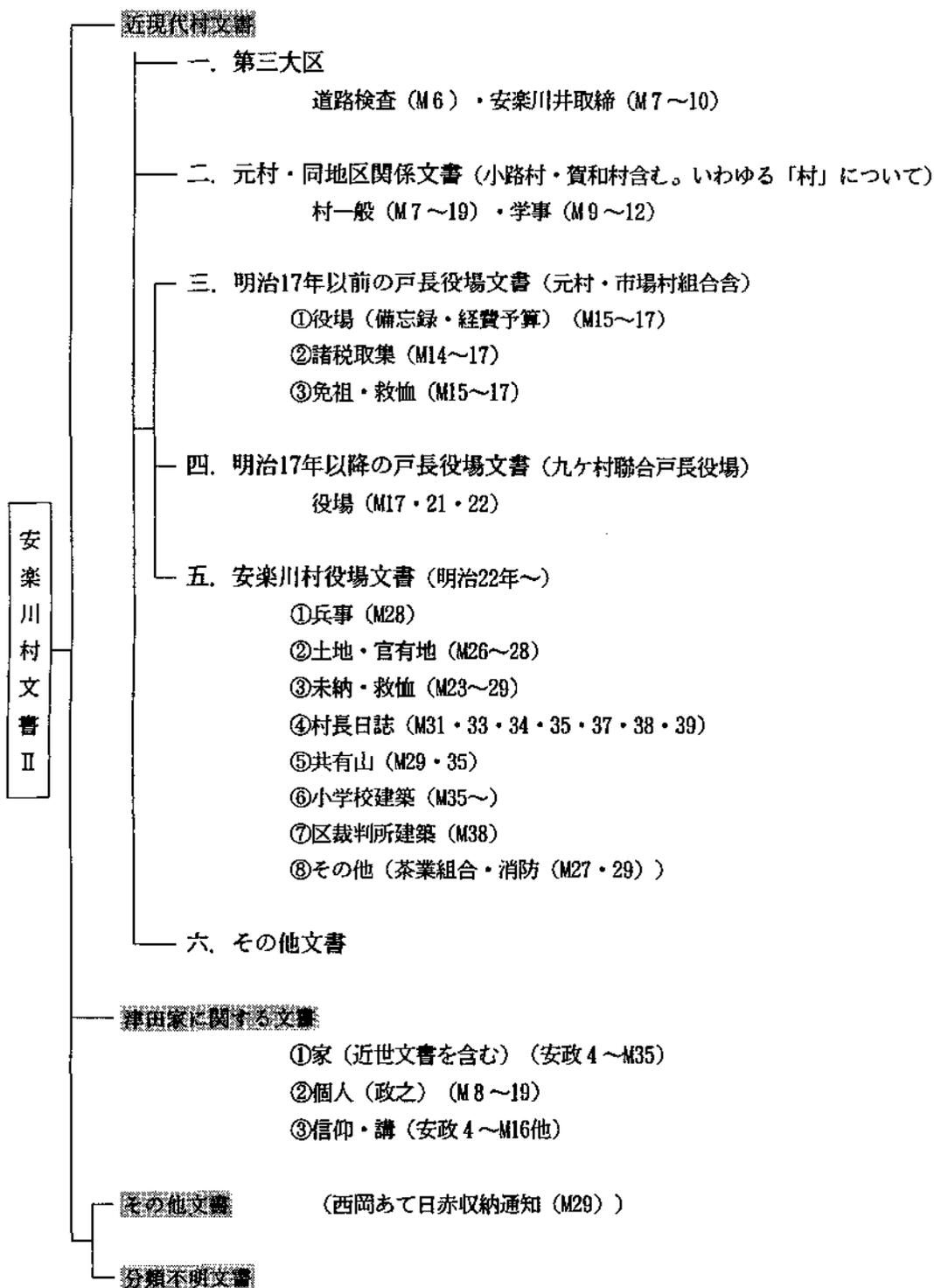
『安楽川村郷土誌』片山竹之助編（一九三〇年、未出版） 編者は
旧小路村庄屋であり元村村会議員であった片山善四郎の子息であり、
当時地域に残っていた様々な文書や記録をもとに執筆されている。こ
の解題執筆にあたっては、多くの部分で参考とした。この「安楽川村
文書ⅠⅡ」に属する文書が、この時史料の一部として使われたかどう
かは不明。

『桃山町誌』桃山町（昭和四七年）

『中世荒川荘現地調査報告書』 中世荒川（安楽川）荘の現地調査
を東京学芸大学日本中世史研究会が平成二（一九九〇）年よりつづけ
ておられ、すでに数地区については詳細な調査報告書（Ⅰ・Ⅱ）が出
ている。また、市場・元地区の調査も既に終了しており、間もなく調
査報告書（Ⅲ）も出される予定である。

※ 本目録作成にあたり平成七年一月に現地調査を実施し、元地区在住の
片山庸三氏（明治の元村村会議員片山善四郎家の子孫）・桃山町教育委員会
社会教育課課長島淵弘子氏の御協力をいただいた。また、東京学芸大学日本
中世史研究会の石原毅氏・中島敬子氏に電話・手紙により同会の調査・研究
成果につき、御教示いただいた。文書整理・現地調査・目録作成は鎌田和栄
がおこなった。

安楽川村文書Ⅱ項目



※M…明治

一、第三大区

| 利用番号 | 標 | 題 | 整理番号 | 年 | 代 | 作 | 成 | 者 | 宛 | 名 | 形態 |
|------|-----------------------------|------------------|------|------------|---|-------------------------|---|---|-----------|---|-----|
| 12 | 第三大区四ノ小区五ノ小区六ノ小区村々東西南北道路検査記 | ※破損 | 12 | 明治6年2月 | | 津田雄三郎 | | | | | 横半形 |
| 11 | 加和小路村市場村東西南北道路間敷記 | | 11 | 明治6年2月6日 | | 津田雄三郎 | | | | | 横半形 |
| 17 | (安楽川井取り締関係書類扣綴) | ※一綴20通 | 17 | 明治7・8年 | | 第三大区五ノ小区安楽川井 取締津田雄三郎 | | | | | 綴 |
| 24 | 三等宮繕願(安楽川井ニ付) | ※安楽川井筋字山崎尻 | 24 | 明治10年5月20日 | | 第三大区五ノ小区安楽川井 取締津田雄三郎 | | | 和歌山県令神山郡廉 | | 綴一紙 |
| 25 | 三等宮繕願(安楽川井ニ付) | ※安楽川井口字ひりチノ雨詰の破損 | 25 | 明治10年11月 | | 第三大区五ノ小区安楽川井 取締津田雄三郎 | | | | | 綴一通 |

二、元村・同地区関係文書(小路・加和村含む。「村」文書)

①村一般

| | | | | | | | | | | | |
|-----|--------------------------|--------------|------|------------|--|-------------|--|--|-------|--|----|
| 13 | 両郎会議所普請諸入川帳 | | 13-1 | 明治7年4月 | | 津田雄三郎 | | | | | 横帳 |
| 14 | 記(番家売払金ニ付) | ※13-1の紐にくくり付 | 13-2 | | | 田中 | | | 津田雄三郎 | | 一紙 |
| 187 | (田畑収獲新段米麦割法・田方畑方租金他ニ付覚帳) | | 187 | (明治8年4月以降) | | | | | | | 横帳 |
| 55 | 山林原野村等調査費割帳 | | 55 | 明治16年12月 | | 那賀郡元村(津田押印) | | | | | 横帳 |

| | | | | |
|----|----|----------------------|---|----|
| 54 | 70 | 明治十九年通常村会(戸割等級表) | (元村村会) | 表 |
| | | (日根郡下桑畑村あみだ寺へ仏像御観納願) | 那が郡前田村日生田貞次郎、 佐本才兵衛、同郡元村世わ 人溝端金兵衛 | 一紙 |
| | | ※前欠 | | |
| 54 | 70 | 明治十六年旧10月 | | |

②学 事

| | | | | |
|----|----|---------------------------------|------------|----|
| 19 | 19 | 学校資本米受取并入費帳 | 加和学校世話掛り | 横帳 |
| 20 | 19 | 口上(学校筋金返済受取ニ付)※金5円、19-1の紐にくくりつけ | 田中慎一郎 | 一紙 |
| 21 | 19 | 記(「掛図詳解」代金ニ付) ※40銭、19-1の紐にくくりつけ | 野田(村)大二郎 | 一紙 |
| 22 | 22 | 加和小学諸入費録(写) | (田中作成目録の写) | 横帳 |
| 23 | 23 | 学校用諸道具扣帳 | | 横帳 |
| 26 | 26 | 加和学校出納録 <small>(ア)</small> | | 横帳 |
| 27 | 27 | 学校月々計算帳扣 | 世話係り津田雄三郎 | 横帳 |
| | | ※教員給料・授業料他 | | |

三、明治一七年以前の戸長役場文書(元村・市場村組合含)

①役 場

| | | | | |
|----|----|--------------|-----------|----|
| 37 | 37 | 役場需用費会計帳 | 役場(元村) | 横帳 |
| 38 | 38 | 諸税及諸進達類留記簿 | 那賀郡元村戸長役場 | 半帳 |
| | | ※最初の5丁コヨリにて閉 | | |
| | | 明治15年10月 | | |

| | | | | | |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|----------------------|------------------------|-------------------|
| 36 | 35 | 34 | 32 | 31 | 30 |
| 地方税第一期并ニ公儲金取附帳 | 明治十四年下半年分備荒儲蓄金取集帳 ※二冊一綴の下 | 明治十四年度下半年分備荒儲蓄金掛り ※二冊一綴の上 | 明治十四年度土木費年賦返納金地価掛取附帳 | 明治十四年下半年分地方税取附帳 但し地価係り | 土木費年賦返納地価掛り取集メ取附帳 |
| 36 | 34-2 | 34-1 | 32 | 31 | 30 |
| 明治15年7月 | 明治15年3月17日 | 明治15年3月17日 | 明治15年2月23日 | 明治15年1月27日 | 明治14年4月21日 |
| 那賀郡市場元村役場(津田押印) | 市場村元村役場 | 那賀郡元村戸長役場 | 元村役場 | 那賀郡元村戸長役場、(津田押印) | 那賀郡元村戸長役場(津田押印) |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

②諸税費取集

| | | | | | | |
|----------------------------|-------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------|-------------|----------------------|
| 186 | 185 | 59 | 58 | 57 | 49 | 40 |
| 証(金銭借用ニ付) ※185-1の紐にくくり付 | 備忘録(地租差引他役場関係金ニ付) | 記「さけ・中飯代寛」 ※メ1円75銭、57-1の紐後にくくり付 | 記「さけ・中飯代寛」 ※メ2円1銭、57-1の紐前にくくり付 | 会計備忘録(役場業務ニ付) | 諸税并ニ進達類留記 | 備忘録(役場業務ニ付) ※日誌形式 |
| 185-2 | 185-1 | 57-3 | 57-2 | 57-1 | 49 | 40 |
| (明治) 17年 1月24日 | | 中年(旧)7月 | 5月21日 | 明治17年1月 | 明治16年9月~17年 | 明治15年11月 |
| 乾直輔 | 津田知事 | そは仙 | そは仙 | 津田知事 | 那賀郡元村戸長役場 | 那賀郡元村役場、(津田押印) |
| | | 村方 | 村方 | | | |
| 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横半 | 横帳 |

③ 免租・救恤

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|----------------------|--------------------------|----------------------------------|--------------|-------------|----------------|-------------|-----------------------|--|---------------|------------------|---------------------------|
| 63 | 56 | 46 | 46 | 51 | 49 | 48 | 50 | 45 | 43 | 41 | 39 | 38 |
| 記(元村地租取調結果ニ付) ※元村地租総額金2148円99銭5厘 | 明治十六年下半年地方税戸数係り受取日計簿 | 明治十六年下半年協議費割帳 ※二冊一綴の下 | 明治十六年地方税并ニ協議費上半季分賦課帳簿 ※二冊一綴の上 | 拾六年度公儲金徴収取附簿 | 諸税并ニ進達類留記 | 地方税并ニ協議費戸数割取付簿 | 協議費集金ヨリ仕払帳簿 | 營業雜種税取付簿 ※反古紙裏利用帳面 | 明治十五年度第三式期地方税中地価掛り并ニ公儲蓄金取付簿 ※反古紙裏利用帳面 | 明治十五年第二期協議費割帳 | 地券書換証印税其他諸營業税受取簿 | 諸税及諸進達類留記簿 ※最初の5丁ヨリにて閉 |
| 63 | 56 | 46-2 | 46-1 | 51 | 49 | 48 | 50 | 45 | 43 | 41 | 39 | 38 |
| 明治17年3月3日 | 明治17年1月21日 | 明治17年1月 | 明治16年 | 明治16年10月 | 明治16年9月~17年 | 明治16年8月11日 | 明治16年7月 | 明治16年1月 | 明治16年1月 | 明治15年 | 明治15年10月 | 明治15年10月 |
| 元村戸長津田正朔 | 元村戸長役場(津田押印) | 元村戸長役場(津田押印) | 那賀郡元村戸長役場(津田押印) | 元村戸長役場(津田押印) | 那賀郡元村戸長役場 | (役場、津田押印) | 戸長津田知事 | 那賀郡元村戸長役場 | 那賀郡元村役場、(いぬゐ押印) | (いぬゐ・津田押印) | 元村役場 | 那賀郡元村戸長役場 |
| 那賀郡長松山管吾 | | | | | | | | | | | | |
| 綴 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横半 | 横帳 | 横半 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横半 |

| | | | | | | |
|------------------------------------|--|-----|--------------|--|-----------|----|
| 68 | 元村諸帳簿引継目録帳 | 68 | 明治17年10月 | (元村役場) | | 横帳 |
| 四、明治一七年以降の戸長役場文書(九ヶ村聯合戸長役場) | | | | | | |
| 190 | (那賀郡元村旱害比較一件扣) | 190 | | | | 綴 |
| 67 | 十六年度第貳期地租割免除ヲ受クヘキ村計額取調書 | 67 | 明治17年6月9日 | 那賀郡元村戸長津田正朔 | | 一紙 |
| 66 | 開申(地租補貸願者中食料等受けざる者調ニ付) | 66 | 明治17年6月3日 | 元村戸長津田正朔 | 那賀郡長松山管吾 | 一紙 |
| 65 | 上申(第二期地租割金免除申請ノ村計金取調ニ付) | 65 | 明治17年6月3日・9日 | 那賀郡元村戸長津田正朔 | 郡長松山管吾 | 一紙 |
| 64 | 食料及種穀料下付人名取調表 ※附 那賀郡元村々々會議決報告戸数 割賦課等級表(明治十七年下半季) | 64 | 明治17年5月 | 元村戸長津田正朔 | 那賀郡長松山管吾 | 綴 |
| 63 | 記(元村地租取調結果ニ付) ※元村地租總額金2148円99銭5厘 | 63 | 明治17年3月3日 | 元村戸長津田正朔 | 那賀郡長松山管吾 | 綴 |
| 62 | (救荒規則により金員下与者名送)(人第三百九十九号) | 62 | 明治17年2月20日 | 那賀郡長松山管吾 | 元村戸長役場 | 一紙 |
| 61 | 救荒願(本年干ばつのため備荒儲蓄金貸与願) ※附 取付書 | 61 | 明治17年 | 那賀郡元村33人 | | 一紙 |
| 60 | 救荒願(本年干ばつのため備荒儲蓄金を以て補助願) ※附 取付書 | 60 | 明治17年2月 | 那賀郡元村他4ヶ村26人、 戸長津田正朔 | | 一紙 |
| 53 | 窮民戸籍写し簿 | 53 | 明治16年10月31日 | 那賀郡元村戸長津田正朔 | | 一紙 |
| 52 | (旱害被害者へ貸金寛書) ※横帳の1丁分 | 52 | 明治16年2月5日? | (役場) | | 一点 |
| 42 | 荒地年季願統一筆限取調帳(向う七年免税願) | 42 | 明治15年12月 | 那賀郡元村地主田端健三・ 林与祢・山入政右衛門入作 市場村地主竹中、戸長津田 | 和歌山県令神山郡廉 | 一紙 |

| | | | | | | |
|-----|--------------------------------|-------------------|---------------------|----------------|-----------------|---|
| 69 | 元村諸帳簿引継目録（但し諸器械附） | ※68とはほぼ同内容 | 明治17年10月 | 津田正朔 | | 帳 |
| 72 | 日誌（九ヶ村戸長役場業務ニ付） | ※津田戸長疾病欠勤ニ付役場事務代理 | 明治21年7月23日 10月8日 | 津田承知 | | 帳 |
| 73 | 〔只今照会之趣ニ付回答〕 ※町村制組合諮問への回答に関する件 | | （明治）1021年14日 | 用係り堀定八 | 市場村外八ヶ村戸長役場 | 紙 |
| 74 | 〔野田原ニテ有公民権者増員ニ付記載書類綴〕 | | 明治22年3月19日 4月6日 | 那賀郡元北村外八ヶ村戸長役場 | 那賀郡元市場村外八ヶ村戸長役場 | 綴 |
| 184 | 答申（御照会之件了承・印形四五日之間取揃ニ付） | | 10月14日 | 最上村用係 | 市場（他八ヶ村）戸長役場 | 紙 |

五、安楽川村役場文書

①兵事

| | | | | | | |
|----|-----------------|-------|--------------------|----------------------------------|-----------------|---|
| 94 | 〔帰宅兵病氣ニ付帰營延期一件〕 | ※一綴8通 | 明治28年1月24日 2月1日 | 安楽川村長津田正朔、本人、山名辰之助、医師（2名）、第二中隊本部 | 第八聯隊第二中隊、村長津田正朔 | 綴 |
|----|-----------------|-------|--------------------|----------------------------------|-----------------|---|

②土地・官有地

| | | | | | | |
|----|-------------------------------|------------|------------|---------------------------------------|-----------|---|
| 96 | 〔安楽川村土地取調表〕 | | 明治26年～同28年 | （安楽川村役場） | | 綴 |
| 85 | 官地借用継続 | ※川岸3筆、図面あり | 明治26年9月20日 | 借主大字神田、惣代松山元吉、保証人2名、村長津田正朔、（奥書）那賀郡長小山 | 和歌山県知事沖守固 | 綴 |
| 95 | 官地借用願書取調ノ件（大字神田松山元吉官地借用継続願ニ付） | | 明治28年6月8日 | 那賀郡役所 | 安楽川村長津田正朔 | 紙 |

③未納・救恤

| | | | | | | |
|----|------|--|------------|-----------|---------|---|
| 81 | 資力調書 | | 明治23年9月13日 | 安楽川村長津田正朔 | 那賀郡長小山漸 | 紙 |
|----|------|--|------------|-----------|---------|---|

④村長日誌

| | | |
|-------------|---------------------|---------------------|
| 104 | 103 | 102 |
| 水費銭表記(取調結果) | (七月十九日)八月十日郡役所行他費用寛 | 日誌(役場業務二付) |
| ※102-1に挟み込み | ※102-1に挟み込み | ※挟み込み5点あり、以下へ |
| 102-3 | 102-2 | 102-1 |
| 明治31年6月15日 | 7月19日 8月10日 | 明治31年1月1日 12月28日 |
| (津田押印あり) | | 津田村長 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|----------------------------|--------------------|--------------|------------|---------------------|---------------------|--------------|---------------|-----------------------|
| 101 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 84 | 83 | 82 |
| 未納者人名(明治廿九年前半期分扣) | 那乙一第二五四三号(五名の備荒儲蓄金救助不認定通知) | (地租補助出願関係書類)(早害二付) | 地租貸与棄損金員人名報告 | 資力調査 | (地租補助願関係書類)(本年早魃二付) | (地租補助願関係書類)(本年早魃二付) | (七名二付所得調査書類) | (四名二付所得他取調書類) | (六名二付所得他取調書一件書類) |
| | ※コンニャク版 | ※附出願取消書類あり、一綴5通 | | ※5人分 | ※4人分、一綴11通 | ※7人分、一綴20通 | ※83に関連か | | ※一綴6通 |
| 101 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 84 | 83 | 82 |
| 明治29年 | 明治26年12月26日 | 明治26年10月 | 明治26年9月19日 | 明治26年9月13日 | 明治26年9月 | 明治26年9月 | 明治25年4月29日 | 明治25年4月25日 | 明治24年5月5日 6月17日 |
| (安楽川元村役場) | 那賀郡役所 | 地主惣代/村長津田正朔/那賀郡役所他 | 安楽川村長津田正朔 | 村長津田正朔 | 村長津田正朔 | 村長津田正朔 | 安楽川村長津田正朔 | (四名名前) | 那賀郡役所中谷第二科長/安楽川村長奥政之助 |
| | 津田安楽川村長 | 郡長小山漸/村長津田正朔 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 那賀郡長小山漸 | 安楽川村長奥政之助/那賀郡役所中谷第二科長 |
| 綴 | 一紙 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 | 綴 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|--|-----------------------|------------------------|-----------------|-----------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|
| 118 | 117 | 116 | 115 | 114 | 113 | 112 | 111 | 110 | 109 | 108 | 107 | 106 | 105 |
| 〔戸籍手数料領収書〕 | 〔名刺〕 | 〔津田正朔あて封筒〕 | 記〔代金寛〕 | 日誌〔役場業務二付〕 | 尚武会費未納人名 | 〔委員会のため役場へ出席依頼〕 | 〔回数寛〕〔奥・室谷・森・有井の各人二付〕 | 領収証〔大字最上有志家へ大麻分配人夫賃二付〕 | 記〔止宿料寛〕 | 日誌〔役場業務二付〕 | 〔書籍申込書〕〔「新法典全書」〕 | 〔地租及地方税徴収金寛〕 | 〔年割金請取差引勘定書〕 |
| ※114―1に挟み込み | ※114―1に挟み込み | ※114―1に挟み込み、114―2の封筒か | ※金20円47銭3厘、114―1に挟み込み | ※挟み込み13点あり、以下へ | ※108―1に挟み込み | ※108―1に挟み込み | ※108―1に挟み込み | ※108―1に挟み込み | ※金1円、108―1に挟み込み | ※挟み込み5点あり、以下へ、口絵10 | ※102―1に挟み込み | ※102―1に挟み込み | ※102―1に挟み込み |
| 114-5 | 114-4 | 114-3 | 114-2 | 114-1 | 108-6 | 108-5 | 108-4 | 108-3 | 108-2 | 108-1 | 102-6 | 102-5 | 102-4 |
| 明治34年1月7日 | | 明治34年2月23日 | | 明治34年1月1日 } 12月30日 | | 33年3月9日 | 33年5月6日 } 34年2月27日 | 明治33年1月 | | 明治33年1月4日 } 12月29日 | 明治31年8月31日 | 31年11月26日 | 33年10月26日 } 10月10日 |
| 安楽川村収入役津田徳太郎 | 和歌山県安楽川警察分署詰 巡査部長宮井清一 | 和歌山県那賀郡安楽川村大字 津田徳太郎 | | 津田村長 | | 津田安楽川村長 | | 津田栄太郎 | 室溪 | 津田村長 | 和歌山県那賀郡安楽川村役場 | (那賀郡池田村役場) (津田押印あり) | |
| 津田正朔 | | | | | | 委員宮村貫一・堀内福一・ 千田納嶋(病欠)・西本次 郎・奥信造(欠)・室谷徹 | | | | | 大阪市天神橋通二丁目九四 番屋敷村井寅一 | | |
| 一紙 | 名刺 | 封筒 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 封筒 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--|---------------------|-----------------|-------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------------|-------------------|-------------------------|
| 132 | 131 | 130 | 129 | 128 | 127 | 126 | 125 | 124 | 123 | 122 | 121 | 120 | 119 |
| [名刺] | [学校・役場下肥汲取請負入札] | [名刺] | 領受証(村長実費弁償金ニ付) | 日誌(役場業務ニ付) | [名刺] | [車輛検査烙印のため郡書記来場一件書付] | 歓迎会へ出席人名報告(西郷侯・板垣伯歓迎会ニ付) | [木字木・間組・調査様帳簿下与依頼状] | 受領証書(小為替金ニ付) | [家改整理全権委任ニ付書状] | [銀行預入金書上] | 記(30・31・32年度金銭書上) | [名刺] |
| ※128 11に挟み込み | ※128 11に挟み込み、一繰6点 | ※128 11に挟み込み | ※128 11に挟み込み | ※挟み込み4通あり、以下へ | ※114 11に挟み込み | ※114 11に挟み込み、郡書記南条愛之助 | ※114 11に挟み込み、歓迎会は本月14日 | ※114 11に挟み込み | ※114 11に挟み込み、金3円 | ※114 11に挟み込み、インク書 | ※114 11に挟み込み、三井銀行他、鉛筆書 | ※114 11に挟み込み | ※114 11に挟み込み |
| 128 -5 | 128 -4 | 128 -3 | 128 -2 | 128 -1 | 114 -14 | 114 -13 | 114 -12 | 114 -11 | 114 -10 | 114 -9 | 114 -8 | 114 -7 | 114 -6 |
| | 明治35年5月17日 | | 明治34年9月 | 明治35年 1月1日 12月30日 | | 来場(明治34年11月10日) | 明治34年10月9日 | 34年9月7日 | 明治34年4月 | 千九百一年3月21日 | 34年・35年 | 34年3月23日 | |
| 兵衛内定治郎 | 津田栄太郎・西茂雄・森直 三郎・津田徳太郎・銅馬清 一郎・室谷岩之助 | 順慶町憲兵屯所陸軍憲兵上等兵岡本勇次郎 | 安楽川村長津田正朔 | 津田村長 | 宇都宮市私立弘象館出張員 平岡善吉 | | 安楽川村役場 | 調査掛り岡喜右衛門 | 紀伊安楽川郵便局 | 在米園林園知 | | | 帝国農事義会創建者農事視 察員牧野萬之助 |
| | (役場) | | 安楽川村収入役室谷岩之助 | | | | 那賀郡役所中野重任 | 安楽川役場中 | | 津田正朔 | | | |
| 名刺 | 綴 | 名刺 | 一紙 | 一紙 | 名刺 | 野紙 | 野紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 名刺 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------|-------------|-------------|-----------------------|-------------------------------|------------------------|-------------|----------------|------------------|-----------------------------------|----------------------|---|------------------------|
| 166 | 165 | 161 | 160 | 159 | 158 | 157 | 156 | 155 | 154 | 153 | 152 | 151 | 150 |
| 領収証(日赤年釀金ニ付) | 日誌(役場業務ニ付) | [薩代他書上覧] | 記(米代書上差引覧) | 日誌(役場業務ニ付) | [会則改定ニ付覧] | 証明書(硫曹肥料買取ニ付) | 記(受領金覚書) | 定(日雇賃・鋤賃・秋休ニ付) | 記(山林代払い込み残金返しニ付) | [宿名書付] | [再總會と組長・幹事欠員の事ニ付依頼状] | 御届(米国出稼人召集通報人ニ付) | 日誌(役場業務ニ付) |
| ※165-1に挟み込み | ※挟み込み13点、以下へ | ※159-1に挟み込み | ※159-1に挟み込み | ※表紙破損大、挟み込み2点、以下へ | ※150-1に挟み込み、何の 会か不明、コンニャク版 | ※150-1に挟み込み、印刷 | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み、 「有馬温泉湯奥ノ坊事浅野仙太郎宿」 | ※150-1に挟み込み | ※150-1に挟み込み | ※挟み込み8点、以下へ |
| 165-2 | 165-1 | 159-3 | 159-2 | 159-1 | 150-9 | 150-8 | 150-7 | 150-6 | 150-5 | 150-4 | 150-3 | 150-2 | 150-1 |
| 明治(30年代) | 明治39年1月1日 ~12月29日 | | | 明治38年4月29日 ~12月31日 | | 明治38年2月12日 | 9月15日 | 明治37年旧11月5日 | (11月11日頃) | | 明治 1月24日 | 明治38年5月15日 | 明治37年1月~ 明治38年4月28日 |
| 日赤 | 津田村長 | | | 松亭主人 | | 硫曹肥料販売店安楽川村市 場津田徳太郎 | | 人民惣代 | 津田 | | 簡野勇藏 | 安楽川村大字段明治29年徴 兵第二國民兵第一種歩兵田 口清一郎、通報人戸主田口 | 津田扶桑園(主人) |
| 賀郡赤十字社和歌山支部那 支部委員部一村分区委員 | | | | | | 津田正朔 | | | 田中 | | 津田正朔 | 和歌山聯隊区指令官陸軍 重兵中佐小川光正 | |
| 用紙 | 豎帳 | 一紙 | 一紙 | 豎帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一点 | 一紙 | 一紙 | 豎帳 |

| | | | | | | | |
|------|----------------------------|----------------------|--------|-----------------|--------------------|--------------|----|
| 99 | 共有山取締規則(田中・安楽川組合村) | ※印刷 | 99 | 明治29年7月6日 | 田中・安楽川組合 | | 綴 |
| ⑤共有山 | | | | | | | |
| 178 | [名刺] | ※165-1に挟み込み | 165-14 | | 和歌山県技手片平英夫 | | 名刺 |
| 177 | [名刺] | ※165-1に挟み込み | 165-13 | | 和歌山県農会技手前田虎吉 | | 名刺 |
| 176 | 安楽川村積立金・安楽川井関積立金 | ※165-1に挟み込み | 165-12 | 明治35年度 同38年度 | | | 一紙 |
| 175 | [名刺] | ※165-1に挟み込み | 165-11 | | 財団法人大阪汎愛扶植会委員森田浅次郎 | | 名刺 |
| 174 | [金銭差引覚] | ※165-1に挟み込み | 165-10 | | | | 一紙 |
| 173 | 領収書(明治38年度□石採掘料) | ※165-1に挟み込み、金2円50銭 | 165-9 | 明治39年2月13日 | 那賀郡安楽川村長津田正朔 | 中西保泰 | 用紙 |
| 172 | [鯨油老瓶郵送願書扣] | ※165-1に165-7と一緒に挟み込み | 165-8 | 明治39年3月23日 | 那賀郡安楽川村長津田正朔 | 東牟婁郡太地村長湯川武彦 | 一紙 |
| 171 | [鯨油購入運送代金延滞の件ニ付書簡扣] | ※165-1に165-8と一緒に挟み込み | 165-7 | 40年1月21日 | 安楽川村津田正朔 | 太地村役場内神前十太郎 | 一紙 |
| 170 | [先月依囑の鯨油の件ニ付再応願書] | ※165-1に挟み込み | 165-6 | 39年4月2日 | 安楽川村農会長津田正朔 | 東牟婁郡太地村長湯川武彦 | 一紙 |
| 169 | [県農第一一七号一のネーブル苗木云々ニ付取調回答書] | ※165-1に挟み込み | 165-5 | 明治39年3月23日 | 那賀郡安楽川村農会 | 和歌山県農会 | 一紙 |
| 168 | 郵便物受領証 | ※165-1に挟み込み | 165-4 | 39年1月22日 | 戸籍役場村長津田正朔 | 好村村長奥村利平 | 用紙 |
| 167 | [御照会の鯨油代価ニ付回答書扣] | ※165-1に挟み込み | 165-3 | 39年6月6日 | 那賀郡安楽川村津田正朔 | 東牟婁郡太地村役場 | 一紙 |

| | | | | | | | |
|--------------------|---------------------|-----------------------|------------------|----------------|---|---|------------------|
| 140 | 139 | 138 | 137 | 136 | 135 | 134 | 133 |
| 〔電柱用材代ニ付御回披願〕 | 学校舎建築費金記 | 〔金銭覚書〕 | 〔入札書〕(机・テーブル他ニ付) | 入札書(机・テーブル他ニ付) | 〔必要品覚書〕 ※133 ※133―1に挟み込み、大字市場字小松島、2枚、1枚エンピツ書 | 〔橋村席之助土地図〕 ※133―1に挟み込み、大字市場字小松島、2枚、1枚エンピツ書 | 小学校建築ニ係日誌 |
| ※133―1に挟み込み | ※133―1に挟み込み、紫色エンピツ書 | ※133―1に挟み込み、入札か? 寄附か? | ※133―1に挟み込み | ※133―1に挟み込み | ※133―1に挟み込み、授業台・裁縫用机・地図掛他 | | ※挟み込み12点、以下へ |
| 133 -8 | 133 -7 | 133 -6 | 133 -5 | 133 -4 | 133 -3 | 133 -2 | 133 -1 |
| 明治43年3月1日 | | | | 明治43年4月21日 | | | 明治35年2月 明治43年 |
| 安楽川村役場 | | 佐野亀之助 | 吉田善之輔 | 佐竹正篆 | | | 津田村長 |
| 大和国吉野郡上市町大字阿知賀松村利平 | | | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

⑥ 小学校建築

| | | | | |
|--------------------------------|---------------------|-----------------------------|--|-----------------------------|
| 149 | 148 | 147 | 146 | 100 |
| 公有林中無願開墾畑調査記(共有山中ニ付) | 〔山地覚図〕 | 〔金銭覚書〕 | 日誌(共有山ニ付) | 質問書(共有林を村が勝手に伐採禁止・新林とする件ニ付) |
| ※146 ※146―1に挟み込み、エンピツ書、酸化進む | ※146 ※146―1に挟み込み | ※146 ※146―1に挟み込み、一部エンピツ書 | ※明治35年5月、翌年8月、明治39年1月、同10月分、挟み込み3点、以下へ | |
| 146 -4 | 146 -3 | 146 -2 | 146 -1 | 100 |
| 明治43年5月 2日・9日 | | | 明治35年5月、36年8月、同39年1月 | 明治29年8月3日 |
| (津田村長) | | | 管理者津田村長 | 安楽川村大字神田有井徳太郎・同村大字最上松田熊之助 |
| | | | | 安楽川村長竹中左膳 |
| 横半 | 図 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | |
|------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 97 | 93 | 92 |
| 証(失火・演習之節出場手当領収二付) ※一綴9枚、コンニャク版 | 〔茶業者組合加入・未加入者調査一件〕 ※一綴2通 | 那乙二第三一号 茶業者組合ニ加入スル調書差出方督促 ※コンニャク版 |
| 97 | 93 | 92 |
| 明治29年2月12日 | 明治27年11月22日・ 12月6日 | 明治27年11月19日 |
| 安楽川村消防手 | 川村大字段新田宮村貫一 安楽川村長津田正朔／安楽 | 那賀郡役所 |
| 安楽川村長竹中左膳 | 安楽川村大字段新田宮村貫一 ／安楽川村長津田正朔 | 安ら川村長 |
| 綴 | 綴 | 一紙 |

⑧その他

| | | | |
|---------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--|
| 189 | 164 | 163 | 162 |
| 〔庁舎工事中当庁指定図面との相違点有二付忠告書簡〕 | 〔和歌山区裁判所市場出張所庁舎外見図〕 ※162-1に挟み込み | 〔和歌山区裁判所市場出張所庁舎平面図〕 ※162-1に挟み込み | 〔和歌山区才判所市場出張所庁舎新築一件書類〕 ※一綴8通、挟み込み2点、以下へ |
| 189 | 162-3 | 162-2 | 162-1 |
| 5月28日 | | | 明治38年12月8日 |
| 庄野貞道 和歌山地方裁判所監督書記 | | | 安楽川村長津田正朔 |
| 津田村長 | | | 各大字(市場・元・段・段 他 新田・最上・神田の内44人) |
| 一紙 | 図 | 図 | 綴 |

⑦区裁判所建築

| | | | | |
|---------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 145 | 144 | 143 | 142 | 141 |
| 〔名刺〕 | 〔代金覚書〕 ※133-1に挟み込み、大部分エンピツ書 | 玄関用瓦注文(請負書) ※133-1に挟み込み、2枚1通 | 請(学校敷地築立土砂運賃請求書) ※133-1に挟み込み | 証(学校要地築立請負保証金返戻金二付)※133-1に挟み込み |
| 133-13 | 133-12 | 133-11 | 133-10 | 133-9 |
| | | 明治43年3月28日 | 明治43年2月17日 | 明治43年2月15日 |
| 光太郎 和歌山県癩病予防吏員中村 | | 井上留次郎 | 安楽川村大字市場磯政市 | 安楽川村大字市場竹中米太郎 |
| | | | 安楽川村長津田正朔 | |
| 名刺 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

六、その他

| | | | | | | |
|-----|-----------------|-------|-----|--|--|----|
| 188 | [垣内・個人別何かの高書上帳] | ※表紙なし | 188 | | | 横帳 |
|-----|-----------------|-------|-----|--|--|----|

津田家に関する文書

①家(近世文書を含む)

| | | | | | | |
|----|----------------------|----|-----------|--------------------|--|----|
| 33 | 火災見舞記 | 33 | 明治15年3月7日 | 津田正朔 | | 横帳 |
| 10 | 諸事扣帳(一人割・飯米・休日他二付) | 10 | 明治5年 | あら(表)津田近治良、(裏)河津田了 | | 横帳 |
| 9 | 諸事扣(割木・飯米・休日他二付) | 9 | 明治5年正月 | 津田氏 | | 横帳 |
| 8 | 土間二三間半部屋上湯殿両便所共諸入用扣帳 | 8 | 明治3年正月 | 津田雄三郎 | | 横帳 |
| 7 | 西氏江金銀出入扣帳 | 7 | 慶応元年正月 | 津田雄三郎 | | 横帳 |
| 6 | 西氏江金銀出入勘定帳 | 6 | 慶応元年正月 | 津田雄三郎 | | 横帳 |
| 5 | 蒸部屋灰部屋小門下側普請諸入用扣帳 | 5 | 元治2年2月 | 津田雄三郎 | | 横半 |
| 4 | 長家普請勘定帳 | 4 | 安政6年12月 | 津田雄三郎 | | 横半 |
| 3 | 歳中萬覚帳 金銀貸方扣 | 3 | 安政5年5月 | 喜多宇じ | | 横帳 |
| 1 | 当座萬覚帳 | 1 | 安政4年 | 高野山二而津田雄三郎 | | 横半 |

| | | | | | | |
|----|---|------------|--------------------|------------------|-------|----|
| 44 | 歳中会計簿 | ※出之部、融通之部他 | 44 | 明治16年1月 明治18年 | 青松楼主人 | 横帳 |
| 75 | 雑書綴(津田家二付) ※金銭貸借・盗賊・土地・地価関係ほか38件、挟み込み4点以下へ | 75-1 | 明治23年1月 明治30年8月 | 元津田 | 縦帳 | |
| 76 | 委任状(地所登記出願二付扣) | 75-2 | 明治30年5月 | 津田正朔 | 一紙 | |
| 77 | 委任状(地所書入登記請求事件二付) | 75-3 | 明治23年9月8日 | 津田正朔 | 一紙 | |
| 78 | 家督相続譲り証書 | 75-4 | 明治25年10月11日 | 津田雄三郎 | 一紙 | |
| 79 | 津田良平家政収支計算書(支出・収入・借用二付) ※75-1に挟み込み、2枚 | 75-5 | 明治35年9月 | | 一紙 | |
| 80 | 養蚕日誌 | 80 | 明治23年4月 | | 縦帳 | |

②個人(政之)

| | | | | | | |
|----|-------------|---------------|----|-----------------|----------------------|----|
| 18 | 国々産物名 | ※表紙に「官許」と有り | 18 | 明治8年11月 | 和歌山県官下那賀郡第三大区五小区津田将之 | 縦帳 |
| 28 | 与在東京津田勝之進君書 | ※明治13年4月12日脱稿 | 28 | 己卯(明治)12年3月 | 津田政之 | 綴 |
| 29 | 同胞結義社緒言 | ※筆跡28番と同一 | 29 | 明治13年9月 (脱稿) | 那賀郡元村五拾壹番地津田政之 | 綴 |
| 71 | 履歴書 | | 71 | 明治19年1月 | | 一紙 |

③信仰・講

| | | | | | |
|---|--|---|------|-------|----|
| 2 | 阿字四国霊場六拾八番小堂建立萬勘定帳 ※棟梁尾州住人瀬川八藏・家根職高野領神谷住伊兵衛 | 2 | 安政4年 | 津田雄三郎 | 横半 |
|---|--|---|------|-------|----|

| | | | | | | | |
|---------------|-----------------|----------------|-------|-------------|----------------------------|-----------------|----|
| 191 | 〔金銭覚〕 | ※横帳の1丁分 | 191 | (近代) 10月27日 | | | 一点 |
| 98 | 収納通知書 | | 98 | 明治29年5月25日 | 日本赤十字社和歌山支部那賀郡委員長小山漸 | 正社員安楽川村大字段西岡孫太郎 | 一紙 |
| 分類不明文書 | | | | | | | |
| その他文書 | | | | | | | |
| 183 | 杭入人足・永寿講掛分(覚帳) | ※179-1に挟み込み | 179-5 | (近代) | | | 一紙 |
| 182 | 記(粕右衛門・津田両家勘定扣) | ※179-1に挟み込み | 179-4 | (近代) | | | 一紙 |
| 181 | 遍照尊院分(掛け金差引覚書) | ※179-1に挟み込み | 179-3 | (近世末と近代) | | | 一紙 |
| 180 | 〔漢詩〕 | ※179-1に挟み込み、2枚 | 179-2 | | | | 一紙 |
| 179 | 〔永寿講関係帳〕 | ※挟み込み4点以下へ | 179-1 | (近世末と近代) | | | 一紙 |
| 47 | 那賀郡脇谷村本堂修補募縁 | ※附 良意講会規 | 47 | 明治16年3月 | 和歌山県下紀伊国那賀郡脇谷村良意山不動院脇谷寺良意講 | | 一紙 |
| 16 | 栄永講請取通 | ※人数三十式口 | 16 | 明治7年12月 | 世話人神田郷西芳輔(講親) | | 一紙 |
| 15 | 栄永講勘定帳 | | 15 | 明治7年12月 | 栄永仙右衛門・親(津田勇三郎・同田中専左衛門) | | 一紙 |
| | | | | | | | 一紙 |

大川浦文書目錄

(和歌山市大川)

目次

解題

| | |
|-----------------|----|
| 1 伝来と受け入れの経緯 | 90 |
| 2 大川地区について | 90 |
| 3 八幡神社・住吉神社について | 91 |
| 4 文書群の概要と整理について | 91 |
| 〔大川浦文書Ⅰ〕 | 91 |
| 〔大川浦文書Ⅱ〕 | 92 |
| 5 目録上の項目編成について | 92 |
| 〔大川浦文書Ⅰ〕 | 92 |
| 〔大川浦文書Ⅱ〕 | 94 |
| 6 文書の利用と参考文書・文献 | 94 |

| | |
|----------------|----|
| 大川浦文書Ⅰの保存箱について | 94 |
|----------------|----|

目録

| | |
|----------|----|
| 〔大川浦文書Ⅰ〕 | |
| 一、支配・法令 | 95 |
| 二、村・村政 | |
| ①村・村政 | 95 |
| ②いい山争論 | 96 |
| ③泉州小島村関係 | 97 |
| 三、奥野家関係 | |
| ①金銭貸借 | 97 |

| | |
|----------|-----|
| ②廻船業関係 | 97 |
| 四、寺社・講関係 | |
| ①報恩講寺 | 98 |
| ②伊勢講 | 98 |
| ③宮座 | 98 |
| 五、その他 雑 | 99 |
| 〔大川浦文書Ⅱ〕 | |
| 一、人別 | 100 |

大川浦文書解題

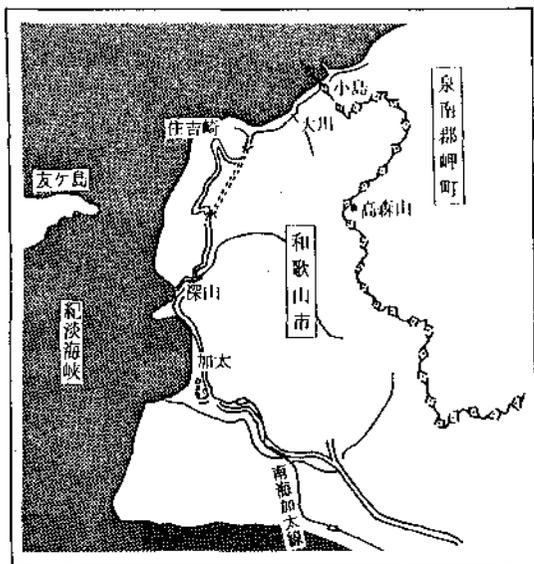
1 伝来と受け入れの経緯

大川浦文書は、平成五（一九九三）年三月および同六年十一月に当館が古書店より購入した旧海部郡大川浦（地区）に関する文書計七一点の総称である。これは、この群を形成する文書のほとんどが近世から明治初期の旧海部郡大川浦時代のこの地区に関する文書であるため、文書館で付した総称である。

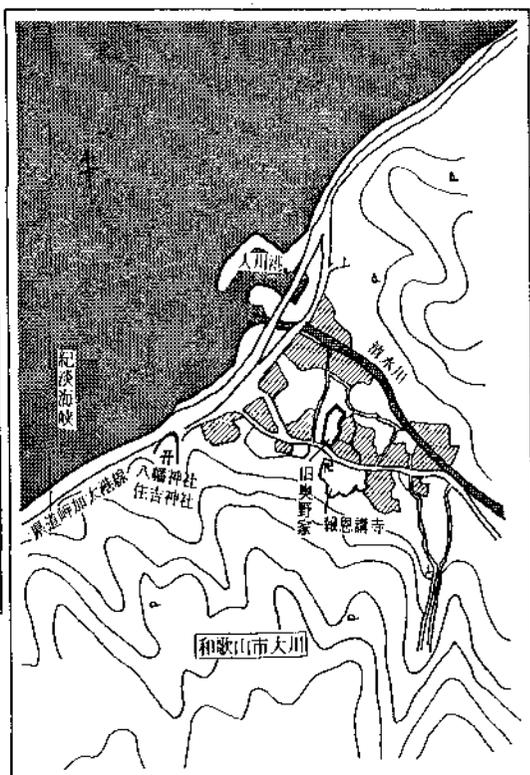
この文書群は、一年の間に同一古書店から二度にわたって購入した二つの文書群によって構成されている。内容はどちらも旧大川浦地区に関する文書なのだが、元の所蔵者や古書店に入る前の経緯が全くわからないため、文書の整理はもとより、保存、目録への掲載など、（この解題以外は）全て別のものとしてあつかっている。ここでは、まず先に購入した文書群を「大川浦文書Ⅰ」（四七点）とし、後に購入した文書群を「大川浦文書Ⅱ」（二四点）として紹介、掲載する。

2 大川地区について

旧大川浦は、現在の和歌山市大川地区にあたる。北は海（大阪湾・紀淡海峡）、北東は大阪府岬町小島地区に接し、その他まわりを山に囲まれた地である。中世には賀太荘の内に属し、寛永一五（一六三八）年に隣の深山・日野とともに加太浦から分村、明治二二（一八八九）年まで紀伊国海部郡大川浦（加子役負担村のため浦と呼ぶ）と称した。近世は和歌山藩領で貴志組に所属。その後明治四（一八七一）年和歌山県所属、明治二二年には加太村の大字となり、明治三二年には加太町の一大字、昭和三三（一九五八）年に和歌山市に編入され和歌山市



地図1、加太周辺図



地図2、大川地区略図

の一地区として現在に至る。

『紀伊統風土記』（天保一〇〔一八三九〕年編）によると村高八二石五斗九升四合、家数一三六軒、人口四一六人。陸上交通が不便で、耕作地が大変狭いこの浦の産業は、林業もあるが主に漁業や廻船業であった。特に廻船業は盛んで、これによって近世から明治初期の浦は活気に満ちて豊かであった。『紀伊國名所図会』（文化八〔一八一〕年編）にもこの様子が「伊勢・尾張兩國への回船、多くは此浦より出せり。ここを以て頗る繁華なり。」と書かれ、江戸や神戸などをはじめ全国との物資輸送をてがける紀州廻船の港中で、重要なもの一つであった。

しかし、明治になって物資の輸送手段に機帆船が出来、また鉄道が出現したと、明治初期の台風により廻船の多くが被害をうけ使用できなくなったことなどの理由により、この浦の廻船業はすたれていった。そしてこの浦で廻船・海運業を営んでいた多くの商家・商人は、横浜や神戸といった海運の盛んな地域に移転していったという。現在の大川地区では、海運業は勿論漁業もほとんどおこなわれていない。平成二（一九九〇）年国勢調査では所帯数二二戸、人口五九人。

地区内には円光大師八番札所の西山浄土宗報恩講寺があり、開祖円光大師自作の本尊があることで有名である。近年大きな建て替えがおこなわれたが、それ以前の本堂は、約三〇〇年前の建物であった。

3 八幡神社・住吉神社について

現在大川浦には、八幡神社と住吉神社の二大神社がある。別々の場所に祀られていたこともあるようだが（『紀伊統風土記』）、現在は地区の中心地の西南柚ノ浜に面した場所に、一つの境内に隣り合って祀られている。浦村ということで、特に住吉神社が祀られているので

あろう。

参道から境内には江戸時代に献納された沢山の石灯籠が今も並ぶ。例をあげると、文化九年の灯籠には「廻船海上安全」と彫られている。また宝曆八（一七五八）年・同一三年の灯籠は「御神燈 当浦船中」とあり、文化一一年の灯籠は「大坂寺嶋土佐屋長兵衛・同久左衛門」が奉納している。これらは、この浦の廻船業者や商人が、海上交通安全を祈願して献納したもので、浦の隆盛時をしのびせる。

現在はなくなったが、かつてこの神社にも宮座が存在した。近世のこの宮座に関しては、和歌山大学所蔵の「海士郡大川浦宮座史料」三点があり、安藤精一氏論文に紹介されている。これによると、この宮座は、他神社の宮座同様厳しい規約を持ち（氏神勧請以前からこの村に居住する者しか入れないなど）、その権威は神社や神事だけでなく「村」での強い発言権にもあらわれ、「村」運営に深いかかわりをもっていた。「宮座が村（共同体）を支配している」状況があったという。しかしその新来者を受け入れない閉鎖的な性格や社会の変化によって、近世末期にはかなり衰退していた。それに加えて明治期の浦の衰退と共に宮座は無くなったのであろう。

4 文書群の概要と整理について

〔大川浦文書〕

木箱一箱入り四七点。点数は少ないが、内容は大きく分けると①村に関する文書、②奥野家を中心とした回船業関係文書、③宮座など宗教に関する文書の三つに分けられる。しかしこれらは別々の存在ではなく、それぞれが他分類にも属したり影響したりして群を構成している。

①には支配・法令や近隣村との出入り等に関する文書があり、特に

隣りの小島や加太村との文書は、近世の大川浦を知る手がかりにもなり興味深い。③の中で宮座文書は幕末から明治初期の「小児三升米」に関する帳面で、今まで知られていたこの宮座の経営や規則等の史料とは少し性格が違いますが、研究の上では必要な史料である。②は、当時の紀州の廻船業・廻船業者を知る史料となる。なお、①の中で对小島村に関する文書の内二点は②にも分類すべきであるが、点数が少ないためこちらの項目には含めなかった。

なお参考のため、目録には掲載しきれなかった文書よりわかる浦の廻船業者と、伊勢講仲間の名前をあげておく。

嘉永六年大川浦廻船業者（文書6よりわかる分）

奥野長兵衛 濱野屋吉兵衛 中屋孫左衛門 中屋甚平

上野屋平四郎 毛綿屋與七郎 堂上小三郎 止久兵衛

以下欠（この内中屋甚平は庄屋の石野家）

大川浦伊勢講仲間（文書24より）

奥野長兵衛 仁左衛門 与七郎 与平次 九左衛門 庄右衛門

六郎兵衛 利左衛門 寺ノ下兵蔵 六左衛門 弥左衛門

彦三郎 作兵衛 人数以上拾参人

整理は、古書店から購入時にすでに原状が失われ、なおかつ点数も少なかつたため、大まかに分類した後それぞれで年代順にならべて整理をおこなった。また、大川浦地区文書Ⅱのような状態の悪い文書は無い。なお木箱の状態も良いので、整理後は元の木箱に納めて保存している。

〔大川浦文書Ⅱ〕

二四点。近世後期の一般的な人別送り関係文書が中心（一点のみ明治期）であり、保存状態は大変悪い。これらは元襖の下張りに使用されていたような形跡があり、紙も茶色く変色している。購入時には全

て白い台紙（酸性紙）にセロハンテープで角をはりつけられていた。テープはすでに取りにくい状態になり、むりやりはがすと文書を痛める可能性がある。しかしこのままでは更に文書に悪影響を及ぼすことも推測され、早急に処置しなければならぬ問題なので、現在専門機関に相談している。内七点は文書の部分や断簡である。

整理は、年代順におこなった。但し明治期の文書は明治九年のものであるため、近世文書の年代不明分のとにおいた。

5 目録上の項目編成について

〔大川浦文書Ⅰ〕

群を構成する文書内容より以下の項目を設定し、これにそって掲載した。

一、支配・法令 四点。廻船の盛んな浦らしく、御城米江戸運送に関する幕府法令の写しが二点、他に捨馬禁令やキリシタソ禁令の写しがある。

二、村・村政 村支配や村経営などのほか村全体に関する文書。

①村・村政一般（一部明治期含む） 九点。本来ならこの中で

も小項目に分けて掲載すべきであるが、点数が少ないので特にこれ以上の小項目には分けず、年代と文書の内容を考慮した順番で掲載した。

②もい山争論 七点。村関係文書の中でも、争論・出入り関係

文書はまとまりがあるので分けて掲載した。もい山一件は、寛永二〇（一六四三）・二一年の文書で、大川浦領もい山に加太村の者が柴を刈りに入ったことが発覚し、大川浦が奉行へ訴えている。これに対して加太村は、加太山で大川の者が柴を刈り、置いて行ったも

のを取ったと主張する。山中の村境と山の帰属についての争論一件である。

③泉州小島村関係 三点。隣の泉州小島村とは浦続きで、紀州の村々よりも隣接している。そのため、様々な行き来があったと考えられるが、くわしいことはわからない。三点とも廻船・漁師など海に関係する。天保一四（一八四三）年の文書は、小島村から大川浦の廻船持衆に對して、住吉崎に船入波止を築立たい旨につき助力を求め、協力へのみかえりに様々な特典を認めることを、永世取極書の形で作成している。他の二点は、小島村の無鑑札の漁師の大川領での漁業や山へ入り込むことを禁止することにつき、書かれている。現大阪府岬町小島地区ではまだ古文書が発見されていないので、これ以上のことはわからないが、このようなことは、再々起こっていたであろう。この三点の内二点は大川浦の廻船業者宛に作成されているが、浦での廻船業者の立場や文書の内容を考えると、「村」と「廻船業」との切り離しがここでは適切ではないため、目録では、便宜上大きな枠としての「村・村政」の項目の中に入れた。

三、奥野家関係 大川浦最大の廻船業者奥野長兵衛家に関係する文書。奥野家は千石船を一〇杯所持していたとの言い伝えがあり、この文書中にも同人が舟主や村惣代として登場し（文書32他）、また安政三年には八〇〇石積みの廻船を貸している史料（文書20）もある。これらの文書は、点数は少ないが、当時の廻船業者の経営の一端を

みることができ。

①金銭貸借 安永二（一七七三）年、弘化四（一八四七）年までの文書七点。内六点は他家へ金銭を貸し付けている。貸し先は小島村在住者が一番多い。一点は弘化四年に材木方役所から長兵衛を含む三名（廻船業者）が所持の船を質物として金銭を借りた際のもどり証文である。②廻船業関係 四点。中でも文政一一年に書かれた塩仕切勘定書雛形（文書21）は、赤穂や才（斎）田の塩を江戸・浦賀・神奈川で問屋へ売る際の仕切や勘定書の雛形をまとめた帳面で、当時の経営を知る上で興味深い。また、先に述べた八〇〇石積みの船を中屋三左衛門などに貸した証文もある。この積み荷は酒であった。

四、寺社・講関係

①報恩講寺 三点。一点は祠堂銀預かり。二点は年欠だが、この寺が直支配をうけることに関する文書で、直支配となっても諸願や諸法度立に關しては、従来通り檀中で熟談の上決めるように命じられている。

②伊勢講 二点。近世の伊勢講山仲間帳。聞き取りによると伊勢講は、近代の早い時期になくなったということである。

③宮座 七点。幕末の慶応二（一八六六）年から明治五（一八七二）年の宮座関係文書。この浦の神社にも他村同様宮座があった。この帳面は、小児の宮座入時に三升米を一〇年間納めなくてはならない座規約に従い、世話を勤める者がこれを集める際に作った帳面である。ここで興味深いのは、明治三年、最後の明治五年の分に

関しては、「当浦時節柄ニ付当分之間三升米相休ミ相成候ニ付山手米丈ケ集メ帳」と書かれていた点である。この時期は、維新期でもあり、また浦に多大な被害をもたらした台風が襲った頃でもある。この時期はまさに宮座の最後の頃でもあったのではないだろうか。現在この地区に宮座は残っていない。聞き取りによると、第二次世界大戦前にはすでになかったようである。

五、その他 雑 一点

〔旧大川浦地区文書Ⅱ〕

近世文書二三点の全てが人別送り関係であり、一点の近代文書も船乗りの稼証であるので、特に項目を分けず整理した順に、近世と近代の区別のみ加えて掲載した。

6 文書の利用と参考文書・文献

『和歌山市史 第二巻』（平成三年三月 和歌山市）の第六章第二節漁村の動き―海上交通（678ページ）には、大川地区の回船業について述べられ、この中でこの文書群の奥野家に関する文書が利用・紹介されている。

「海士郡大川浦宮座史料」和歌山大学所蔵三点

「近世紀伊国海部郡大川浦の宮座」安藤精一（『紀州経済史文化史研究紀要』第5号、和歌山大学紀州経済史文化史研究所）和歌山大学所蔵文書を利用して、この宮座の特性について論じられている。

※ 本目録作成にあたり、平成七年一〇月に現地聞き取り調査を実施し、現大川地区在住の寺下秀氏に御協力いただいた。現地調査は龍田昇・鎌田和栄、文書整理・目録作成は鎌田がおこなった。

◎大川浦文書Ⅰの保存箱について

形態 法量（縦×横×高さ（cm））

備考

木製箱 四八・七×一九・七×二二・二

箱蓋なし、身の側面左右に紐を通す金具あり、紐なし、いわゆる黒箱のよう。口絵6参照。

〔大川浦文書Ⅰ目録〕

一、支配・法令

| 利用番号 | 題 | 整理番号 | 年 代 | 作 成 者 | 宛 名 | 形 態 |
|------|-----------------------|------|----------|--------------------|------------|-----|
| 1 | 覚（御城米江戸運送ニ付取決め） ※写 | 1 | 延宝3年2月4日 | 播磨・但馬・大和・美濃 | 水野対馬守・安藤帯刀 | 一紙 |
| 2 | 覚（城米船に関する御沙汰ニ付） ※写 | 2 | 2月 | 甲斐庄喜右衛門・徳山五兵衛・杉浦内蔵 | 水野対馬守・安藤帯刀 | 一紙 |
| 4 | 定（キリシタン邪宗門禁令） | 4 | 天和2年5月 | 奉行、（水野土佐守・安藤帯刀の写し） | | 一紙 |
| 5 | 覚（捨馬禁令） | 5 | 辰年2月 | 水野土佐守・安藤帯刀 | | 一紙 |

二、村・村政

①村・村政

| | | | | | | |
|----|----------------------------|----|------------|------------------|--------------|----|
| 3 | 指上ケ申一札の事（浦々御注進申送りニ付） | 3 | 寛永21年霜月24日 | 大川村庄屋孫右衛門・年寄仁右衛門 | 長谷川作兵衛・鈴木三之丞 | 一紙 |
| 34 | 覚（秤改結果ニ付） ※当村の秤合5挺につき | 34 | 寛文7年7月11日 | 秤や豊後 | 大河庄屋九左衛門 | 一紙 |
| 7 | 定書（辻氏） ※村支配に必要な事をまとめている | 7 | 宝暦4年5月 | 紀州海士郡大川浦領西ノ庄辻氏 | | 一紙 |

| | | | | | | | |
|----|---------------------------------------|------|----|-----------|-----------|----|----|
| 16 | 〔もい山柴に付覚書〕 | ※前後欠 | 16 | | | | 一紙 |
| 15 | 乍恐謹而言上仕候(大川村山境ニ付)※加太柴盗取出入にからみ | | 15 | 寛永21年10月 | 大河村庄屋百姓 | 奉行 | 一紙 |
| 14 | 乍恐謹言上仕候(もい山柴盗取一件ニ付) ※対加太、10番とはほ同文 | | 14 | 寛永21年正月晦日 | 大川村庄屋惣百姓 | 奉行 | 一紙 |
| 13 | 乍恐謹而言上仕候(もい山柴盗取一件ニ付) ※対加太、10番とはほ同文 | | 13 | 寛永21年正月晦日 | 大川村庄屋惣百姓 | 奉行 | 一紙 |
| 12 | 乍恐謹而言上仕候(もい山柴盗取一件ニ付) ※対加太、10番とはほ同文 | | 12 | 寛永21年正月晦日 | 大川村庄屋惣百姓 | 奉行 | 一紙 |
| 11 | 乍恐謹言上仕候(もい山柴盗取一件ニ付) ※対加太、10番とはほ同文 | | 11 | 寛永21年正月晦日 | 大河村庄屋惣百姓 | 奉行 | 一紙 |
| 10 | 乍恐謹以言上仕候(もい山柴盗取一件ニ付) ※対加太 | | 10 | 寛永20年10月 | 大川村庄屋惣百姓中 | 奉行 | 一紙 |

②もい山争論

| | | | | | | | |
|----|-----------------------------|--------|----|-----------|-------------------|---------------|----|
| 17 | 〔大川村域略図〕 | | 17 | | | | 図 |
| 9 | 明治六年租税皆済帳(控) 海部郡大川村 ※区役所へ差出 | | 9 | 明治7年5月 | 和歌山県権令神山郡藤 | 大川村戸長・副戸長・総百姓 | 啓帳 |
| 8 | 奉願定免之事(大川村) | | 8 | 酉年6月 | 大川村庄屋伊兵衛・同村肝煎所左衛門 | 貴志市左衛門 | 啓帳 |
| 37 | 〔虚無僧合鑑〕 | ※前欠 | 37 | 卯年5月 | 宗役孔昭・同立本 | 村役人中 | 一紙 |
| 36 | 請取申銀子之事(止宿取締料受納書) | ※合銀80目 | 36 | 慶応4年3月 | 若山宗役孔昭 | 大川浦石野基平 | 一紙 |
| 35 | 一札之事(僧止宿願い断り一件ニ付) | | 35 | 嘉永6年正月25日 | 帰道・金道・指龍 | 大川村役人衆中 | 一紙 |

③泉州小嶋村関係

| | | | | | | |
|----|-----------------------------|----|---------|--|-----------------------------|----|
| 18 | 〔和州小嶋浦漁師入込一件お尋ねに付口上〕 ※前欠 | 18 | 戊午年2月 | 大川村庄屋伊兵衛・同村肝煎所左衛門 | 栗元庄左衛門 | 一紙 |
| 6 | 口上一札之事（山荒し并漁師無法を止める旨） | 6 | 嘉永6年正月 | 泉州小嶋村漁師惣代惣右衛門、世話人2名、庄屋五郎左衛門、年寄五郎三郎 | 奥野長兵衛・浜野屋吉之丞・中屋孫左衛門・中屋甚平他4名 | 一紙 |
| 19 | 口上一札之事（漢永世取極書） | 19 | 天保14年8月 | 泉州日根郡小嶋浦庄屋岡田五郎左衛門他22名、漢掛役和田甚太夫・山本治郎左衛門 | 紀州大川浦廻船持衆中 | 一紙 |

三、奥野家関係

①金銭貸借

| | | | | | | |
|----|----------------------------------|----|---------|-----------------------------------|----------|----|
| 25 | 手形之事（銀子借用ニ付） ※銀子207匁5分借、質物綱舟 | 25 | 安永2年正月 | いそりく利兵衛 | 大川長兵衛 | 一紙 |
| 26 | 借用申銀子之事 ※銀2貫204匁2分7厘綱代仕入銀に借、質物綱3 | 26 | 寛政3年正月 | 同村三郎兵衛代市蔵 | 大川村奥野長兵衛 | 一紙 |
| 27 | 借用申銀子之事 ※銀500目綱代仕入銀に借、質物綱他 | 27 | 寛政10年3月 | 加太村借主太良兵衛・同村証人向井嘉左衛門 | 大川村奥野長兵衛 | 一紙 |
| 28 | 借用申一札之事 ※銀115匁借、質物舟他 | 28 | 寛政12年4月 | 日根郡小嶋村借主市三郎、裏書印庄屋岡田善左衛門 | 紀州大川村長兵衛 | 一紙 |
| 29 | 借用申一札之事 ※銀127匁2分5厘借、質物舟 | 29 | 寛政12年4月 | 日根郡小嶋村借主忠三郎・同村証人平九郎、（裏書印）庄屋岡田善左衛門 | 紀州大川村長兵衛 | 一紙 |
| 30 | 借用申一札之事 ※銀47匁3分7厘借、質物舟 | 30 | 寛政12年 | 日根郡小嶋村借主源次郎、門（裏書印）庄屋岡田善左衛門 | 紀州大川村長兵衛 | 一紙 |
| 31 | 拝借仕銀子之事 ※もどり証文、銀15貫目借、質物所持廻船不残 | 31 | 弘化4年5月 | 大川浦中屋孫左衛門・保井吉之丞・奥野長兵衛・築地御新屋市良兵衛 | 材木方役所 | 一紙 |

②廻船業関係

| | | | | | | |
|----|-----------------|----|-----------|-------------------|-----------------------------------|----|
| 22 | 覚(手形紛失届) | 22 | 戊午2月25日 | 徳島屋孫左衛門 | 奥野長兵衛 | 一紙 |
| 33 | 船道具入水主取替覚之帳 | 33 | 明治4年3月 | 春日丸悦蔵 | | 横帳 |
| 20 | 約定一札之事(廻船貸渡二付) | 20 | 安政3年4月26日 | 大川浦奥野長兵衛・棟梁土佐屋長兵衛 | (貼紙)中屋三左衛門・材木屋市助、(貼紙下)柏屋清兵衛・材木屋市助 | 一紙 |
| 21 | ヒカエ(塩仕切勘定書雛形帳面) | 21 | 文政11年9月? | | | 横半 |

四、寺社・講

①報恩講寺

| | | | | | | |
|----|-------------------------------------|----|---------|---------------------------------------|------------------------------------|----|
| 32 | 預り申祠堂銀之事 ※道造り祠堂銀として、銀2貫目、庄屋奥書印あり | 32 | 嘉永7年2月 | 大川浦庄屋石野甚平・肝煎中屋孫左衛門・村惣代奥野長兵衛他、寺行事・檀中惣代 | 若山永代道造飲喜講中小倉屋・山家屋・有田屋・土井・坂田屋・古屋他4名 | 一紙 |
| 45 | 〔報恩講寺役所直支配に付達書送り書状〕 | 45 | 5月20日 | 榎本専助 | 保井吉之丞・大川浦長兵衛 | 一紙 |
| 46 | 〔役所直支配仰付だが諸願・法度立は是迄通りの旨申渡書〕 | 46 | 5月(20日) | | 報恩講寺、へ前半の写部分 は同寺俊麟あて | 一紙 |

②伊勢講

| | | | | | | |
|----|---------------------------------|----|--------------------|---------|--|----|
| 23 | 伊勢講山仲間帳 | 23 | 享保5年正月? 寛延元年10月 | | | 横帳 |
| 24 | 伊勢講山仲間帳 ※日付最後に確認できるのは享和元年12月 | 24 | 寛延元年閏10月? | 大川村拾三人組 | | 横帳 |

③宮座

| | | | | | | |
|----|-----------|----|---------|------|--|----|
| 38 | 座中小児三升米集帳 | 38 | 慶応2年11月 | 当番幸吉 | | 横帳 |
|----|-----------|----|---------|------|--|----|

五、その他(雑)

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|-------------------------|-------------------------|
| <p>47 〔葬式一件控帳部分〕 ※前後欠、綴紐なし 47</p> | <p>44 当浦時節柄ニ付未之年より小児三升米休ミ相成候ニ付山手米 丈ヶ集ノ帳</p> | <p>43 当浦時節柄ニ付当分之間小児三升米相休ミ相成候ニ付山手米 丈ヶ集ノ帳</p> | <p>42 当浦時節柄ニ付当分之間小児三升米相休ミ相成候ニ付山手 米丈ヶ集ノ帳</p> | <p>41 座中小児三升米集長<small>(帳)</small></p> | <p>40 座中小児三升米集帳</p> | <p>39 座中小児三升米集帳</p> |
| | <p>44 明治5年11月</p> | <p>43 明治4年11月</p> | <p>42 明治3年11月</p> | <p>41 明治2年11月</p> | <p>40 明治元年11月</p> | <p>39 慶応3年11月</p> |
| | <p>当番仙吉代久兵衛</p> | <p>当番角兵衛代久兵衛</p> | <p>当番惣三郎代</p> | <p>当番幸吉</p> | <p>当番幸吉</p> | <p>当番幸吉</p> |
| | <p>横帳</p> | <p>横帳</p> | <p>横帳</p> | <p>横帳</p> | <p>横帳</p> | <p>横帳</p> |

〔大川浦文書Ⅱ目録〕

一、人別

| 利用番号 | 標 題 | 整理番号 | 年 代 | 作 成 者 | 宛 名 | 形 態 |
|------|--------------------|------|---------|-------------------|--------------|-----|
| 1 | 送一札(かめ縁付ニ付) | 1 | 享和3年正月 | 牟婁郡浦神浦庄屋三右衛門 | 海士郡大川浦庄屋作左衛門 | 一紙 |
| 2 | 送り一札(はつ縁付ニ付) | 2 | 享和3年正月 | 牟婁郡口熊野中湊村庄屋伊右衛門 | 大川浦役人中 | 一紙 |
| 3 | 〔断簡〕(送り証文か) ※前欠 | 3 | 享和3年正月 | 牟婁郡口熊野下田原浦庄屋高尾平三郎 | 海士郡大川浦庄屋栄次郎 | 断簡 |
| 4 | 寺送り一札之事(文蔵寺奉公ニ付) | 4 | 文化5年8月 | 本協 法尊寺 | 大川 報恩講寺 | 一紙 |
| 5 | 寺送り一札之事(むめ縁付ニ付) | 5 | 文化9年正月 | 下里村龍蔵寺 | 大川浦法恩講寺 | 一紙 |
| 6 | 送り一札之事(儀七獲子ニ付) | 6 | 文化10年正月 | 日野村庄屋良助、肝煎十右衛門 | 大川村庄屋作左衛門 | 一紙 |
| 7 | 請込一札之事(辰蔵養子ニ付) | 7 | 文化10年4月 | 海士郡大川村庄屋作左衛門 | 牟婁郡二木嶋浦庄屋孫之丞 | 一紙 |
| 8 | 〔送り証文断簡〕 ※前欠 | 8 | 文化10年4月 | (欠) | 海野郡大川浦庄屋孫左衛門 | 断簡 |
| 9 | 送り一札之事(小太郎養子ニ付) | 9 | 文化15年正月 | 新宮領下里村庄屋長四郎 | 御蔭領大川村庄屋作左衛門 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------------|--------------------|-------------|----------------|---------------|----------------|------------------------|-----------------|---------------------|----------------|----------------|--------------|--------------------|
| 18 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 |
| 往来一札之事(喜兵衛出稼手形) | 〔欠〕 り一札之事(辰蔵養子ニ付) | 〔欠〕 一札(蔵太郎養子ニ付) | 〔断簡〕(送り証文か) | 送一札之事(喜兵衛養子ニ付) | 送一札之事(四郎養子ニ付) | 送一札之事(嘉兵衛養子ニ付) | 差入申一札之事(送り状無き養子病死埋葬ニ付) | 寺請一札之事(喜兵衛養子ニ付) | 送り一札之事(四郎次養子ニ付) | 村送り一札事(儀七養子ニ付) | 送り一札之事(庄助養子ニ付) | 〔断簡〕(宗旨送り状か) | 送り一札之事(さど縁付ニ付) |
| | ※上半欠 | ※上半欠 | ※前欠 | ※後欠 | ※右上部分のみ現存 | | ※後欠 | | | ※後欠 | ※前欠 | ※前欠 | |
| 18 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 |
| 元治元年4月 | (欠) | (欠) | (欠) | (欠) | (欠) | 安政4年5月 | 天保8年2月26日 | 天保7年5月 | 文政15年10月 | 文政13年□月 | 文政11年正月 | 文政8年正月 | 文政5年9月 |
| 海士郡大川浦庄屋甚平 | 孫〔(半)〕 之丞 奥郡二木嶋浦庄屋 | 泉州中孝子村庄屋甚三郎 | (欠) | (欠) | (欠) | 助 口熊野室郡下山原浦庄屋伴 | 大川浦本人弥太郎、受人孫次郎 | 牟婁郡古江浦光明寺 | 奥熊野北山組小坂村庄屋伝太夫 | 海士郡日野村庄屋善右衛門 | 日方組冷水浦庄屋儀右衛門 | 新宮領下里 龍蔵寺 | 下伊勢国田丸領宿浦庄屋新兵衛 |
| 若山町内役人衆中 | (欠) | 川村〔(送)〕 役人中 | 大川村報恩講寺知事 | (欠) | (欠) | 海士郡大川浦役人衆中 | 同浦(後欠) | 海士郡大川浦報恩講寺 | 吉之丞 海麻郡大川村庄屋松右衛門 | (欠) | 貴志組大川浦村役人衆中 | 大川浦報恩講寺知事位 | 海士郡大川浦庄屋源左衛門、肝煎佐太郎 |
| 一紙 | 断簡 | 断簡 | 断簡 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 断簡 | 一紙 |

24

稼証（船乗稼にて他府県籠越ニ付）

※第二大区三小区用箋

24

明治9年3月15日

大川浦副戸長奥野惠津造

府県浦村正副戸長中

一紙

蜜柑方元縮文書目錄
(有田市北湊)

目

次

蜜柑方元締文書解題

一 蜜柑方元締文書と蜜柑方役所 104

二 蜜柑方役所とは何か 105

三 分類項目の解説 109

蜜柑方元締文書目録

1 組織統緒 113

2 大庄屋・代官・勘定方 115

3 廻漕 118

4 市場 119

5 為替 120

6 勘定 122

7 畑米銀 123

8 蜜柑積高 131

9 御用蜜柑・献上蜜柑・祝儀蜜柑 133

10 尾州・勢州送り 134

11 京都送り蜜柑一条 136

12 御仕入方一条 141

13 役所業務・書簡 141

15 年頁 144

14 村方文書 145

蜜柑方元締文書解題

一 蜜柑方元締文書と蜜柑方役所

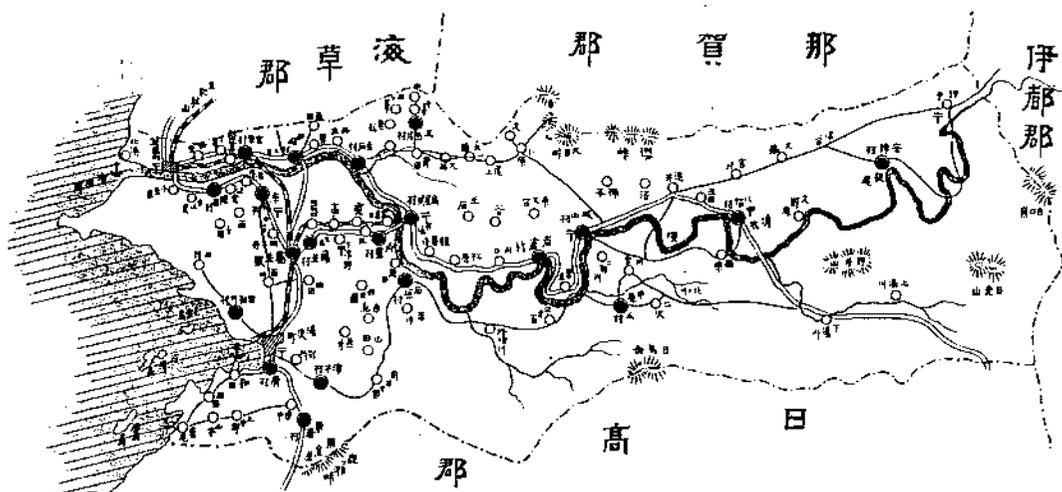
本文書四四七点は近世に紀州蜜柑の流通に関与していた、有田郡北湊村（現有田市北湊。地図参照）の蜜柑方役所のもので、かつて和歌山県立図書館が所蔵し公開していた。平成五年（一九九三）、県立文書館の開館に伴い当館の所蔵となった。

本文書の大部分は嘉永三年（一八五〇）から万延元年（一八六〇）にかけてのものであるが、有田郡野田村（吉備町）の野田（キタノダ家）喜右衛門が蜜柑方元締を務めていた時期に手元にあった文書にはほぼ間違いがない。第一に、文書に明記してある宛名は（蜜柑方元締）野田喜右衛門が大部分であること、第二に、蜜柑方役所で元締用に作成した調帳などの表紙に、三人の元締の内、誰の分であるかを明らかにするために名前を記している場合があるが、本文書ではそれがすべて「野田氏」となっていること、第三に、わずかに入っている蜜柑方役所以外の文書は野田家の庄屋家文書であることなどからそのように考えられるのである。また、安政六年（一八五九）のものともみられる十二月付、喜右衛門宛の「〔蜜柑方ニ而尊君様跡役ノ儀ニ付密書〕」（利用番号138。以下、文中の算用数字は利用番号を示す）、翌万延元年閏三月付、喜右衛門差し出しの「〔蜜柑方元ノ跡役之儀ニ付廻状〕」（197）という二通の書状は、喜右衛門の跡役の問題をとりあげている。この書状が本文書の下限時期に位置していることから、本文書は野田家とつながりがあると判断できるのである。現在、末裔である吉備町野田堅二家（キタノダ家）には、嘉永四年と翌五年の蜜柑籠高帳や勘定帳の類に限って蜜柑方役所の文書が残っている。県立文書館と

野田家の双方に分かれている蜜柑方役所の文書は、一体の文書として考えていく必要がある。

本文書は本来野田家文書であるとはいえ、野田家固有の文書とは異なる蜜柑方役所、とりわけ元締の公的文書であった。こうした事情を考慮して、文書館では本文書を蜜柑方元締文書と称することにした。

いうまでもなく、紀州蜜柑（有田蜜柑）は近世紀州の最も重要な特産物で、その伝統の上に立ち、明治以降、今日に至るまでの蜜柑産業も、和歌



地図 有田川河口の北湊など有田郡蜜柑関係地図（中西英雄『紀州有田蜜柑発達史』より複製）

山県での主要な産業の一つとなっている。近世には藩が、蜜柑方役所や流通組織に統制と保護を加え、しかも、畑米銀という高率の小物成を年に銀三、四百貫もかけていた。嘉永七年には蜜柑方役所と流通組織を藩専売組織である御仕入方に組み込もうとしたが、江戸蜜柑問屋の反対や村での反対一揆に直面し方針を撤回したという経緯もある。専用船で廻漕した蜜柑は、この年、江戸に二五万籠、尾張・伊勢に二万籠という膨大な量にのぼっていた。ちなみに、写真1に有田市蜜柑資料館所蔵の、当時の蜜柑籠を示した。宮井茂木氏および資料館の実測によれば、籠は縦・横約三〇センチメートル、深さ約二四センチ



写真1 蜜柑籠（有田市蜜柑資料館蔵。有田市 宮井茂木氏撮影）

メートルで、四貫、一五キログラムほどが入ったのではないかと御教示をえた。こうした紀州蜜柑の流通は、流通史はいうまでもなく、村と藩のかかわりの観点からすれば農政史にとつても重要な課題となるはずである。

しかし、紀州蜜柑の流通については、一九七〇年代の初めに安藤精一がおこなった草分け的研究以後、八〇年代初めに上村雅洋が廻船組織という新しい観点から考察した一稿がようやくあるにすぎない¹⁾。初期の史料には恵まれないため、たとえば「紀州蜜柑伝来記」²⁾のような二次史料に依拠してしまうという傾向もある。だが、最も問題なのは、この問筆者が主張してきたように、実は蜜柑方役所という組織はそれほど自明ではないのではないかとという点である。蜜柑方役所はこれまで、

紀州の側の流通組織そのものと考えられてきたが、流通組織とは別の、小物成の徴収などを目的とした組織ではないのか。勘定方が支配する組織と思われてきたが、大庄屋が扱う村方の組織ではないのか。一方、紀州の側の流通組織は、藩のかかわりの強弱の違いはあるものの、総じて農民の組織と見なされてきたが、村の間屋・仲買などの組織ではないのか。

二 蜜柑方役所とは何か

さて、蜜柑方元締文書の解題にあたって、まず、蜜柑方役所とは何かを説明しなければならない。だが、それ以前に、蜜柑方役所とは蜜柑の流通に関与する組織のうちどの部分をさすのかという点が明らかになっていない。いわゆる「蜜柑方」は、元締・荷親・荷主代・荷積などで構成する流通組織であると考えられている。実際、蜜柑方役所で、これらの役は役給が定まり、取締の対象にもなっている（「蜜柑方取締元究」³⁾（5）、「蜜柑江戸贈定法書」⁴⁾、組織統轄の分類項目の史料）。しかし、これらは本当に蜜柑方役所の役だといえるのだろうか。

すでに述べたように、本文書は野田喜右衛門が蜜柑方元締を務めた時のものなのだが、この中には蜜柑の流通に関する史料がない。仲買による農民からの蜜柑の買い付け、荷親への委託、紀州からの廻漕、江戸蜜柑問屋への委託など、取引ごとの証文・帳面類は入っていないのである。実は、これらの流通組織の史料はそれぞれ別の家の文書として残っている。この、家ごとの文書の残り方を検討することが、いわゆる「蜜柑方」を考察するうえで重要だったのだが、これまで行われたことがなかった。

たとえば、廻漕の史料が、上村雅洋が論じた園（御坊市）の廻船問

屋敷家文書である。糸我（有田市）の生馬家文書は、江戸での蜜柑の流通を見守り、売上代金の取り立てに当たるため江戸に下った荷主代文書と思われ、これも上村が扱っている。安藤精一が取り上げた吉原（金屋町）の高垣家文書は、同家と縁戚にあったという江戸蜜柑問屋西村屋文書であるが、高垣家文書にはそればかりではなく、数多くの荷親勘定帳などからなる荷親文書も入っているように思える。ただ、残念なことに、蜜柑流通の要である荷親文書、あるいは多くの場合荷親が兼ねているであろう仲買文書、これらについては、高垣家文書以外に未だまとまって残っている家を特定することができない。

家ごとの文書の検討はともかく、ここで重要なのは、蜜柑流通に携わるそれぞれの役の文書が、いわゆる「蜜柑方」の文書として一括して残っているのではなく、別々の家の文書になっているという点である。このような文書の残り方からすれば、いわゆる「蜜柑方」とは単一の組織ではないということになる。

役に伴って作る文書が残る場合、組織が単位になることがある。たとえば、藩の代官所でも、大店の商店でも、そこに属する文書はそのまま代官所や商店に伝わるはずである。代官所や商店の役だからといって、代官手代や番頭が自らの役に沿って書き記した帳面を家に持ち帰り、持ち帰った先で代官所手代文書や商店番頭文書として伝わることは原則としてはありえない。それは代官手代や番頭という役が、代官所や商店という組織に付随しているからである。手代や番頭が代官所や商店抜きに独立して機能しているのではないからである。もちろん、この場合、活動の場が組織のある所とかけ離れていけば、文書は役の家に伝わる。

これとは違ってそれぞれの役の家に文書が残る場合もある。代官所は個々の庄屋を支配するわけだが、庄屋文書は代官所文書とは別に伝

わるはずである。株仲間属する商人は株仲間の統轄を受けるが、商人の文書は株仲間の文書とは別に残るはずである。それは、庄屋や商人という役が、代官所や株仲間から独立して機能しているからである。

いわゆる「蜜柑方」も同様である。文書が別々の家に残ったのは、荷親をはじめとした流通組織の役が、蜜柑方役所に直属した役人として機能しているのではないからである。荷親はまず荷親として独自に、蜜柑方役所からは独立して機能しているからである。いいかえれば、荷親の紋次郎は、役を離れた紋次郎という人物として蜜柑方役所とながりを持つわけではない。紋次郎はまず荷親であり、荷親という役を媒介として蜜柑方役所とながりを持てるのである。しかし、歴史的にも今日でも、蜜柑方役所と流通組織の区別もなしに、全体を「蜜柑方」と通称することから混乱が生じるのである。まず、荷親や回船問屋や荷主代という流通組織の役があり、他方、その流通組織を統轄する上部組織として蜜柑方役所を置いたというように両者を区別して考えるべきであろう。このように考えることによって、本文書に蜜柑流通に関する証文・帳面類が入っていない理由も理解することができる。本文書は流通組織を統轄する蜜柑方役所の文書、とりわけ元縮文書なのである。蜜柑方元縮文書と名付けた理由はそこにある。

蜜柑方役所と流通組織との関係は右のように見ることができ、荷親などの役の機能と蜜柑方役所独自の機能、つまり蜜柑方元縮の機能はどのように見たらよいのだろうか。まず、荷親をはじめとした役についてだが、彼らは農村の商人なのである。要である荷親は荷受問屋で、荷親に蜜柑を委託する仲買は文字どおり仲買である。荷親や仲買の家の文書に論及できないまままで彼らの検討を行うのは難しいことなのだが、蜜柑は仲買が蜜柑作りの農民から仕入れ、仲買は荷親に廻漕・販売を委託する。のちには荷親が仲買を兼ねるようになる（368）。



写真2 元締宛の蜜柑代金為替(255)

紀州蜜柑は蜜柑作りの農民が荷親に江戸での販売を委託するのではないのである。荷親は蜜柑を廻船で江戸に送り、江戸蜜柑問屋が江戸の仲買にこれを卸す。蜜柑の代金は、江戸に赴いた荷主代か

ら元締の手を経て荷親の手に渡る(255。写真2参照)。荷親は、農民から蜜柑を購入している仲買の手に代金を送りこの商いを決済する。荷親が仲買を兼ねていれば、農民に未払分を渡すだけで、代金はそのまま荷親の元にとどまる(231。写真3参照)。この流通組織は商人のそれにほかならず、要をなす荷親は蜜柑荷受問屋で株仲間も結成しているといえる。この蜜柑代金の流れは、本文書中に残っている証文・帳面類(為替・勘定の分類項目)からも裏付けることができる。

流通組織の役が商人だとするならば、それを統轄している蜜柑方役所とはいったいどのような組織なのだろうか。あるいは、なぜ商人の流通組織の上部組織として、これを統轄する必要があるのだろうか。本目録に廻漕・市場・為替の分類項目を作ったが、そこに入れた史料は、廻漕や江戸での蜜柑の卸、代金の徴収に関する証文・帳面類ではなく、荷主代などが書状で元締にもたらす情報に近いのである。同じ情報でも紀州のものは収集するまでもないことだから入っていないことになる。

蜜柑の流通過程の

中で蜜柑方元締(庄屋の階層程度の人物が役に着くようである)の具体的役務は、江戸の荷主代が送ってきた蜜柑売上代金である為替金(手形)の受け取りから始まる。為替金からは「荷親帳しらへ扣」(勘定の分類項目)に書き上げていた、小入用・郡勘定などの経費を差し引く。

次いで、為替金からは畑米銀を徴収する。畑米銀は小物成

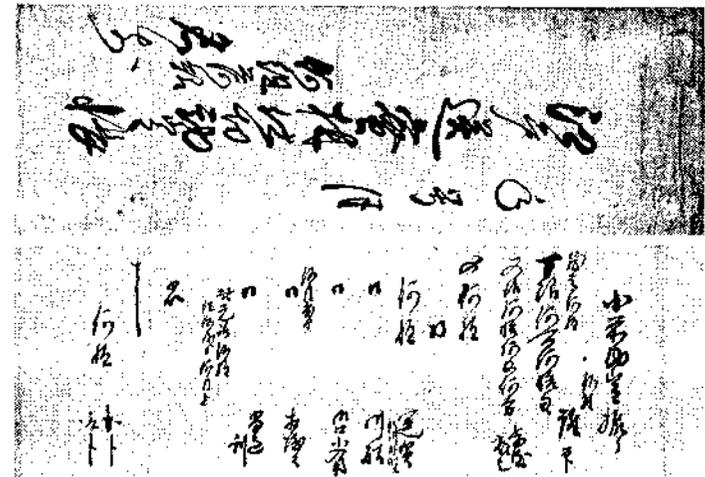


写真3 荷親帳離形(荷親と蜜柑作り農民との間の勘定の決済書式が記してある最終丁。231)

だから、蜜柑作りの農民から徴収するのが筋である。そのため徴収手順は複雑である。「覚(畑米銀好書)」(379)は、荷親紋次郎が、嘉永六年(一八五三)の十月であろう、大谷村など四か村分の畑米銀合計三貫数百目を為替に取り組んでくれるよう蜜柑方役所に依頼している覚である。為替に取り組むということは、どうやら為替の形で畑米銀を藩に対して支払うことを意味していたらしい。

これを受け蜜柑方役所は畑米銀を支払ったのだらう。「大谷村丑畑米銀切手」(153)は同年十一月、大谷村の庄屋に対し、大谷村分

の畑米銀を紋次郎から受けて処理したので本扶を書替と引き換えるよう指示した仮受取である。仮受取が蜜柑方役所に戻っているのだから、庄屋は指示どおりこの仮受取を持って蜜柑方役所で書替と引き換えたのである。仮受取の左肩には「寅七月十三

己卯假一ツ松
伊を寄る指り谷幸
活の智

書替(249)の「寅七月十三日引替」と書き三人の荷親の印形も抹消し
てあり、効力の消滅を示している。

写真4が「書替」であろう(249)。本来書替は村に送るはずだから元締の手には残

らない。安政四年(一八五七)、一ツ松村(下津野村の小名で現吉備町)の庄屋にあてて、畑米銀を為替で受け取ったことを記していることからすれば、「書替」とは小物成の皆済状のことである。山林四郎左衛門は藩の作事方の役人である。この支払い方法では、畑米銀は蜜柑方役所が支払っているが、皆済状は村に宛ててある。畑米銀が小物成だからである。しかし、為替金を出金した蜜柑方役所にも村からの仮受取が証文として残り問題は起らない。これらの徴収をすませたあとで、蜜柑代金は荷親に戻る。

こうした元締による出納、および御用蜜柑の割り振りなどの役務は大庄屋が監督し、「荷親帳調」(勘定の分類項目)などを行なっている。商人や株仲間の取締りに関して述べるならば、荷親株支配・荷主代役の願は元締宛に出ているが、江戸蜜柑問屋・仲買の許・認可は勘定方の役人が行なっている。「蜜柑方取締元究」などの規則は代官から出たものであろう。

右のような元締の役務・蜜柑方役所の機能のうち固有のものは畑米銀の徴収である。畑米銀は小物成である。一ツ松村の安政四年「己納通」(230)では、年貢米を二五二石余、畑米を一四石余納めてある。小物成は本来農民から徴収しなければならない。だが、特産物である

有田蜜柑は、農民の受け取る銀高とは比べものにならない高値で市場に出る。この蜜柑の畑米銀も、生産者からではなく流通組織から徴収することにより、本来の小物成の数十倍の高にまで増徴してある。ただ、村から徴収した形式だけは整えている。特産物流通組織の統轄と、小物成である畑米銀の増徴を目的として商人の流通組織の上に置いた、大庄屋が監督する在方組織、村役人組織と同等の在方組織が蜜柑方役所だったと考えられよう。たとえ在方のものといえども商人組織を、在方組織が統轄する例はまれだといえる。

小物成を高額で徴収する見返りに、藩は多くの便宜を蜜柑の流通組織に与えた。たとえば江戸では「紀伊殿蜜柑」という呼称の使用を認め、藩為替を使って代金を紀州に送ることも許している。

嘉永七年、藩は蜜柑方役所と流通組織を藩の専売組織である御仕入方に組み込もうとした。蜜柑の流通組織は商人の組織であるから、蜜柑の売買差益は紀州の仲買、あるいは仲買を兼ねた荷親の手にはいる。藩が手にするのは畑米銀ではない。藩が御仕入方に組み込もうとしたのはこの売買差益を得たからである。本文書を見る限り蜜柑方役所がこの動きに反対した形跡はない。それは蜜柑方役所が在方組織だからである。江戸では蜜柑問屋からの反対が起った。藩が蜜柑問屋の權益を犯すことになるからである。農村では農民の反対一揆があったという。しかし筆者はこれが蜜柑作りの農民の反対一揆というより、むしろ荷親、あるいは仲買が率いた一揆ではなかったかと考えている。御仕入方に組み込むことで最も不利益をこうむるのは、何よりもその時売買差益を得ている仲買、あるいは仲買を兼ねた荷親に他ならなかったからである。

ところで、蜜柑方役所はいつできたのか。元禄十一年(一六九八)に流通組織が徴収を受けているのは口銀だけで、正徳四年(一七二四)、

「有田郡蜜柑組貳拾六組荷親中」は直接、有田郡奉行の支配を受けている。⁽⁹⁾「蜜柑方」ということは享保十九年(一七三四)の「紀州蜜柑伝来記」に初めて登場するようである。畑米銀は明和二年(一七六五)の「御用留」⁽¹⁰⁾に書いてあるものが早い例らしい。蜜柑方役所の設置は畑米銀の徴収と関係があるのかもしれない。在方の株仲間については研究も少なく詳しいことは分からない。ただ、城下町和歌山では、近世後半から幕末にかけて株仲間が町大年寄の監督を受けている。⁽¹¹⁾恐らく、村の株仲間も通常、大庄屋直轄だったのである。ただ、特産物の流通組織を統轄し小物成を流通組織から徴収するという特別な目的の実現を重視し、蜜柑の流通過程に限って蜜柑方役所という在方組織を特に設けたものと考えられる。

(1) 安藤精一「近世紀州蜜柑の流通構造」(『経済理論』一二七～一三一合併号、一九七二年、のち『近世和歌山の構造』、名著出版、一九七三年に所収)、同「江戸紀州蜜柑問屋の性格」(『経済理論』一三三、一九七三年、のち同『近世都市史の研究』、清文堂、一九八五年に所収)。上村雅洋「有田蜜柑輸送と日高廻船」(『地方史研究の諸視角』、国書刊行会、一九八二年、のち同『近世日本海運史の研究』、吉川弘文館、一九九四年に所収)。
ほかに、原田政美「(紀州蜜柑伝来記) 解題」、『日本農書全書』四六、農山漁村文化協会、一九九四年。

一般的な通史としては、『和歌山県史』近世(一九九〇年)、『金屋町誌』下巻(一九七三年)、『有田市誌』(一九七四年)、『下津町史』通史編(一九七六年)、『吉備町誌』下巻(一九八〇年)などがある。

(2) 和歌山県立図書館所蔵。

(3) 注(1)の『有田市誌』、六九五～七二〇頁。

(4) 注(1)の『金屋町誌』、九三四～九三五頁。

(5) たとえば、拙稿「蜜柑方は問屋株仲間である」(『和歌山県立文書館紀要』一、一九九五年、所収)も、流通組織の役は商人であるとしてはいるものの、蜜柑方役所と流通組織とを区別することなく、蜜柑方を荷親組織そのものと混同してしまうという間違いをおかしている。

安藤精一氏は昨年九月の県立文書館歴史講座の講演「紀州みかんの歴史」で、拙稿を取り上げられ懇切に御批判下さった。感謝したい。

(6) 同前拙稿参照。

(7) 注(3)に同じ、七〇六頁。

(8) 『南紀徳川史』一〇、四三六～四三七頁。

(9) 注(2)に同じ。

(10) 有田市系我 生馬駿家文書。『和歌山県史』近世史料三所収。

(11) 「役用留」・「御用留」(『和歌山市史』五所収)。三尾功

『近世都市和歌山の研究』(思文閣、一九九四年)、一八三頁。

三 分類項目の解説

表 分類項目一覧

| | |
|----|----------------|
| 1 | 組織統轄 |
| 2 | 大庄屋・代官・勘定方 |
| 3 | 廻漕 |
| 4 | 市場 |
| 5 | 為替 |
| 6 | 勘定 |
| 7 | 畑米銀 |
| 8 | 蜜柑積高 |
| 9 | 御用蜜柑・献上蜜柑・祝儀蜜柑 |
| 10 | 尾州・勢州送り |
| 11 | 京都送り蜜柑一条 |
| 12 | 御仕入方一条 |
| 13 | 役所業務・書簡 |
| 14 | 年貢 |
| 15 | 村方文書 |

1 組織統轄（三七点）

元締の役務の一つである、流通組織の統轄に関する項目とした。流通組織の規則や、荷親・荷主代・船主など流通にかかわる商人などの取締り、彼らの異動・役務等に対する許・認可、彼らからの願書等の史料がここに入る。もっとも、先に述べたように、史料の内容からすれば元締は取締りには直接かかわっておらず、大庄屋・勘定方役人の役務であったことがわかる。「蜜柑方取締元究」（5）には元締・荷主代・荷親などが遵守すべき事項が書いてある。この「元究」は書き写し広く利用したものであるらしい。荷親からの届では、「奉願上口上（東村組株支配ニ付）」（1）が組株売買に関するもの、「御奉達申上口上（組株相勤候ニ付）」（257）が組株貸借に関するものである。紀州の側の商人などだけではなく、金万屋一条（103・113・310・135）、日高屋一条（192・184・208）のように、江戸蜜柑問屋の任免についての史料のほか、江戸表仲買からの願書（121）も残っている。

2 大庄屋・代官・勘定方（四〇点）

ここには大庄屋・代官等が関わっている史料を集めた。蜜柑方は勘定奉行所の支配下にあったが、この項目の史料が示すように、勘定部門の系統ではなく、代官・大庄屋を通じて支配する在方の系統であったことがわかる。元締は大庄屋の郡役所で荷親帳調を行なった（23・54・53・329）。「（蜜柑方勘定帳面）目録」（54）には「子蜜柑郡割勘定帳」「同年中諸色入用附立帳」など大庄屋元へ差出す帳面が書いてある。元締が作成し蜜柑方役所に備えていた帳面で、一部は野田家に残っている（『吉備町誌』上巻、一三七〇～七一頁）。三月の覚五通（275・331・276・312・332）は、大坂と大坂への往復の旅程での支払い覚がほとんどである。「大坂出勤中諸入用附立帳」（24）もあ

る。勘定方管理の下、大坂幸橋の紀州藩大坂屋敷で行なった、上方向け蜜柑の帳面調の行程にかかった宿泊費などの覚であろう。蜜柑売捌人取調や江戸表蜜柑問屋一条などの史料からは、事件を扱ったのが勘定方の役人であることがわかる（221・222・173）。

3 廻漕（一二点）

4 市場（六点）

それぞれ廻漕、および江戸・京・大坂市場に関する情報を書き留めた書状などを集めた。蜜柑の売買に蜜柑方役所は関わっていなかったから、証文・帳面等は含んでいない。

5 為替（二四点）

この項目以下、勘定・畑米銀・御用等蜜柑の各項目に入れた史料も、元締の主要な役務についてのものであろう。蜜柑代金は江戸蜜柑問屋から荷主代に渡り、荷主代が為替で蜜柑方役所に送った（333・336・255・277。写真2参照）。蜜柑方役所では元締が諸経費や畑米銀を差引いた上で、荷親ごとに売り代銀を渡したものと思われる。ただ、荷親の代銀請け取りを示す証文が残っていない点は気がかりである。この項目には、為替・手形に関する史料を収めた。「覚（蜜柑組仕入銀借用）」（368）は荷親が質屋から蜜柑仕入銀を借用している覚である。この荷親は仲買を兼ね、農民から蜜柑を買入れるための元手を質屋に借用したものであろう。荷親が農民から蜜柑の販売を請け負っていたのではなく購入していたことを示している。

6 勘定（二五点）

元締は荷親ごとに小入用・郡勘定などの諸経費を割り掛けた帳面を、

「帳しらへ扣」などと題して毎年つくっている。大庄屋郡役所で行なった荷親帳調の作業の一つであろう。また、「2 大庄屋・代官・勘定方」の項で述べたように、蜜柑方役所には「子蜜柑郡割勘定帳」「同年中諸色入用附立帳」「同御献上并御用小夫取かへ仕出帳」などの帳面を備えていた(54)。元締は諸経費を詳細に記録した勘定帳面もつくっていたのである。この様々な小入用勘定帳面、および蜜柑勘定に關する史料をここに入れた。「江戸送蜜柑仕切勘定帳」(231)こそ荷親帳の雛形で、作成を荷親に指導したのである(写真3参照)。

7 畑米銀(一〇六点)

畑米銀についてはすでに述べた。

8 蜜柑積高(一九点)

江戸および尾張・伊勢・浦賀送り蜜柑の出荷高寛をここに集めた。

9 御用蜜柑・献上蜜柑・祝儀蜜柑(一八点)

御用蜜柑等の文書である。御用蜜柑等に関する蜜柑の割振り・小入用の分担・下銀の割戻なども元締の役務であった。

10 尾州・勢州送り(二九点)

蜜柑の尾張・伊勢送りに関する史料は内容ごとに分類せず、まとめてこの項目に入れた。

11 京都送り蜜柑一条(六五点)

天保十二年(一八四二)、江戸幕府は株仲間の解散を命じた。農民による青物仲買仲間である京都伏見の砂川仲買は、問屋を通さずに農

民から直買したものを、京都市中で直売したり榎木町と錦高倉の二か所の市場などで立売したりした。株仲間の解散から一〇年後の嘉永四年(一八五二)、株仲間の再興令が出た。これを契機に、青物問屋である京都問屋は砂川仲買に対する圧迫を強め、青物商いを市場での市立と問屋からの仲買に限定させ、問屋を通さない直買は認めないといった制限を加えて、砂川仲買が天保十二年以前から行なっていた直買・直売をも差し止めた。このころ、紀州の蜜柑流通組織からの出荷高は、京都などの上方に一〇万籠前後であったが、京都問屋はその京都での取引も含め、青物商いでの特権を拡大しようとしたのである。

三年後の安政元年(一八五四)に砂川仲買は役所に嘆願し京都問屋との示談を始めたものの結論に至らなかった。次いで、同五年に、京都問屋は砂川仲買の青物直売を認めるものの、手数料としての口銭を要求(例えば、有田蜜柑一〇〇文に対し七文)、砂川仲買はこの申し立てを受け入れて一度は請書を提出した。しかし、このような条件では生業が成り立たないとして砂川仲買は蜜柑方役所に助力を求めたのである。これも蜜柑方役所が商人組織ではなく、在方組織だからであった。

京都での紀州蜜柑の売り上げにも影響するこの事件を、蜜柑方役所では「京都送り蜜柑一条」と呼び、大庄屋の主導のもと解決に力を入れた。惣代が京に上ったほか、砂川仲買や京都問屋をも呼び寄せて応対したものの決着がつかず、結局、新問屋を取り立てる方向で事態の収拾をはかっていく。

12 御仕入方一条(八点)

嘉永七年、藩は蜜柑方役所および流通組織を藩専売組織である御仕入方に組み込もうとしたが、この項目にはその一件に関する蜜柑方役

所の動きを示す史料を入れた。この年、藩は大船建造費用を捻出するためとして、蜜柑方役所および流通組織を御仕入方に組み込み、それに伴って江戸蜜柑問屋・仲買からの冥加金の高を上げようとした。六つの蜜柑問屋はこれに反対したため、藩は問屋の株を取り上げ江戸屋敷で自ら蜜柑を販売した。しかし、仲買人も折合いがつきかねることを申出たことから、藩の政策は手詰りになったのであろう、御仕入方へ組み込む方針は撤回している。この時、有田郡では反対一揆が起った。農村では物価の高騰と蜜柑価格の下落が続いていたが、御仕入方への組み込みに伴って蜜柑の値段は一層下がった。一揆勢は大庄屋・庄屋・蜜柑方元締などの家を打ち壊し元通りの組織にもどすよう要求した。藩は二十数人の農民を捕えたが、江戸での問題の決着を受け処罰はゆるやかであった。

13 役所業務・書簡(二八點)

飛脚賃・普請入用・儀礼的書状などを集めた。

14 年 貢(一七點)

次項とともに蜜柑方役所の役務に関係しない文書を集めてある。こゝは年貢関係の文書の項目である。一ツ松村の年貢請取覚がそろっているため、年貢全体と畑米銀との関係を理解することができる(230・244・252)。

15 村方文書(一三點)

蜜柑方役所の役務に関係しない文書のうち、年貢以外のものを入れた。

解題 遊佐 教寛
目録 高橋めぐみ
遊佐 教寛

蜜柑方元締文書目録

1 組織統轄

| 利用番号 | 標 題 | 年 代 | 作 成 者 | 宛 名 | 形 態 |
|------|------------------------------|------------|--------------|----------|-----|
| 5 | 蜜柑方取締元究 ※嘉永4年6月写 | 文政10年9月 | 野田氏 | | 豎 帳 |
| 11 | 会談通 | 嘉永4年7月5日 | 蜜柑方 | | 横 帳 |
| 447 | 乍恐奉願上口上覚(蜜柑方順番所詰跡役之儀ニ付)※包紙あり | 嘉永4年9月 | 石垣組小川村嘉八 | 蜜柑方元締 | 一 紙 |
| 1 | 奉願上口上(東村組株支配ニ付) | 嘉永4年10月 | 東村組大谷村紋次郎 | 蜜柑方元ノ衆中 | 一 紙 |
| 12 | 会談通 | 嘉永5年閏2月 | 蜜柑方 | | 横 帳 |
| 170 | 乍恐以書附内奉申上口上(國産蜜柑売捌方之儀ニ付) | 嘉永7年10月 | 浅右衛門 他7名 | 御屋舖様御勘定所 | 一 紙 |
| 313 | 乍恐奉願上口上(江戸有田屋付荷主代当年も差下し申度ニ付) | 安政2年7月 | 金屋組荷親周助 他4名 | 蜜柑方元ノ衆中 | 一 紙 |
| 257 | 御奉達申上口上(組株相勤候ニ付) | 安政3年10月 | 糸野村次助 | 蜜柑方元ノ衆中 | 一 紙 |
| 197 | 〔蜜柑方元ノ跡役之儀ニ付廻状〕 | 万延元年閏3月12日 | 野田喜右衛門 | 糸野他8組荷親中 | 一 紙 |
| 2 | 奉願上覚(荷主代ニ付) | 万延元年6月 | 宇野伝太夫 他4名 | 蜜柑方元ノ衆中 | 一 紙 |
| 311 | 乍恐奉願上口上覚(荷主代役願出候ニ付) | 万延元年7月 | 徳田組荷親丈之助 他4名 | 蜜柑方元ノ衆 | 一 紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----------------|-------------------|--------------------|---------------|--------------|------------|-----------------------|--------------------------|----------------------------------|------------------------|------------------|----------------------|--------------|
| 103 | 145 | 121 | 201 | 84 | 90 | 183 | 106 | 73 | 72 | 76 | 68 | 189 | 55 |
| 〔金万屋一条ニ付書状〕 | 〔蜜柑御談しニ罷出可申書状〕 | 〔江戸表仲買より出願一件ニ付書付〕 | 〔惣寄合ニ付廻状〕 ※上部虫損 | 〔加入舟教艘有之ニ付書状〕 | 〔蜜柑方一許筋ニ付書状〕 | 〔出府之儀ニ付書状〕 | 〔若山到着仕候ニ付書状〕 ※包紙あり | 〔西村屋附出立ニ付書状〕 72 -2 | 〔加入舟取立金等ニ付書状〕 ※一括 72 -1 | 〔問屋職被仰付候ニ付書状〕 ※包紙あり | 〔四組より願上候懸合品ニ付書状〕 | 〔催促申遣し方ニ付書状〕 ※別紙欠 | 口上(当勘定へ立候ニ付) |
| 9月22日 | 8月29日 | 8月29日 | 8月6日 | 6月27日 | 6月19日 | 5月10日 | 4月9日 | 4月2日 | 4月2日 | 閏3月24日 | 3月22日 | 3月2日 | 子5月 |
| 惣右衛門 | 橋爪忠左衛門 | 蜜柑方役所 | 野田喜右衛門 | 松原惣右衛門 | 崎山利兵衛 | 松原惣右衛門 | 小沢嘉八郎 | 松本平右衛門 | 松本平右衛門 | 鈴屋幸次郎 | 松本平右衛門 | 惣右衛門 | 東滝組太郎右衛門 |
| 喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 江戸詰肝煎中 | 田口他7組荷親中 | 野田喜右衛門 | 佐原伝吉 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 元締衆中 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 喜右衛門 | 蜜柑方元々衆中 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---------------------|----------------|-------------|--------------------|---------------|----------------|---------------|-------------|---------------|-------------------|------------------------------|
| 258 | 261 | 208 | 184 | 139 | 138 | 177 | 207 | 136 | 135 | 192 | 310 | 113 |
| 乍恐内存奉願上口上(初荷仕送之儀ニ付) | 〔包紙〕 | 〔日高屋仁兵衛株御取上ケ之儀ニ付書状〕 | 〔日高附仲買人氣悪敷ニ付願〕 | 二啓(尊君様跡役ニ付) | 〔蜜柑方ニ而尊君様跡役ノ儀ニ付密書〕 | 〔役所へ罷出可申ニ付廻状〕 | 〔出勤難儀ニ付書状〕 | 〔松原様ヨリ直状ニ付書状〕 | 〔金万や御調ニ付書状〕 | 〔日高屋出金之儀ニ付書状〕 | 〔金万屋辰五郎方及取調候ニ付書状〕 | 〔吉田庄大夫様より金万屋辰五郎問屋職一件被驗候ニ付書状〕 |
| | ※313参照 | ※本文の添文 | | | ※一括包紙入 | | ※前欠、本状は別紙と思われる | | ※一括包紙入 | ※別紙両通欠 | | |
| | | | | 138-2 | 138-1 | | | 135-2 | 135-1 | | | |
| 嘉永4年9月 | | | | | 12月10日 | 11月23日 | 11月20日 | 11月6日 | 11月6日 | 11月1日 | 10月21日 | 10月2日 |
| 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 他2名 | 有田屋付 | | 肝煎中 | | 安右衛門 | 蜜柑方役所 | | | 井口平三郎 | 惣右衛門 | 元ノ中 | 肝煎中 |
| | | | 蜜柑方元縮衆中 | | 野(田)喜右衛門 | 積合荷親中 | | | 野田喜右衛門 | 喜右衛門 | 井口平三郎 他1名 | 蜜柑方元縮衆中 |
| 一紙 | 包紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

2 大庄屋・代官・勘定方

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------------|----------------------------------|----------------|-------------------------------|----------------------|---------------|-------------------|--------------|------------------|----------------|--------------------|-------------------------------|
| 331 | 275 | 174 | 53 | 222 | 221 | 124 | 175 | 46 | 54 | 24 | 23 | 144 | 118 |
| 覚(干菓子受取) | 覚(泊代受取) | 〔蜜柑方為替之儀ニ付書付〕 | 〔子諸帳面目錄ニ付書付〕 ※蜜柑方勘定帳面目錄(丑9月)添 | 〔蜜柑売捌人出金之儀ニ付達〕 | 〔蜜柑売捌人取調之儀ニ付達〕 ※別紙欠、224で一括 | 〔惠贈之品ニ付礼状〕 ※一括包紙入 | 〔郡役所へ罷出可申ニ付達〕 | 奉願上口上(江戸送り蜜柑之儀ニ付) | (蜜柑方勘定帳面) 目錄 | 大坂出勤中諸入用附立帳 | 郡役所ニテ荷親帳調出勤造用録 | 〔蜜柑方御用ニ付代官所へ罷出可申覚〕 | 〔惣三郎江戸勤役中苗字帯刀御免ニ付達〕 ※一括包紙入 |
| | | | 53 -1 | 221 -2 | 221 -1 | 124 -1 | | | 53 -2 | | | | 118 -1 |
| 3月10日 | 3月9日 | 3月8日 | 3月2日 | 2月28日 | 2月28日 | 2月18日 | 2月1日 | 卯12月 | 丑9月 | 安政6年6月3日 | 安政6年5月30日 | 安政5年2月15日 | 安政4年2月23日 |
| 良屋有玄 | はりまや権兵衛 | 孫左衛門 | ふじ大庄屋元 | 清水平之右衛門 | 小出平九郎 | 前田喜左衛門 | 前田喜左衛門 他2名 | 蜜柑方元ノ惣代 野田喜右衛門 | 蜜柑方元ノ中 | 野田喜右衛門 松本市左衛門 | 蜜柑方元縮中 | 野田孫左衛門 | 神保市右衛門 他2名 |
| 上 | | 喜右衛門 | 蜜柑方元ノ中 | 松原惣右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 蜜柑方元ノ衆中 | 蜜柑方元ノ中 | 御代官所 | 前田嘉左衛門 | | | 野田喜右衛門 | 松原惣右衛門 他2名 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-----------------------------------|------------------|-----------------------|-------------|----------------------|------------------|-------------------------|---------------------|----------------|--------------------------|----------|---------|---------|
| 262 | 259 | 203 | 178 | 146 | 173 | 59 | 210 | 329 | 131 | 213 | 332 | 312 | 276 |
| 覚(荷親連印) | 乍恐奉願上覚ひかへ(御用米積方相努候様との儀ニ付) ※別紙欠 | 〔北湊村瀬取運賃筋之儀ニ付書付〕 | 〔兵左衛門江戸勤役中苗字帯刀之儀ニ付書付〕 | 〔蜜柑方再願ニ付書状〕 | 〔江戸表蜜柑問屋一条答書相達候ニ付書付〕 | 〔荷親へ答書差出させ候ニ付申達〕 | 〔新川堀入用借用之儀ニ付書状〕 ※別紙欠 | 〔郡役所詰中諸入用受取ニ参候ニ付書状〕 | 〔出願書付筋ニ付惣寄合廻状〕 | 口上(箕島川堀造用銀願上置候) ※包紙あり | 覚(酒肴代書付) | 覚(泊代書付) | 覚(泊代受取) |
| 9月 | 9月 | 9月11日 | 9月9日 | 8月17日 | 8月15日 | 8月5日 | 7月27日 | 7月12日 | 6月3日 | 6月1日 | 3月27日 | 3月27日 | 3月25日 |
| 野田喜右衛門 他2名 | 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 他2名 | 江川庄兵衛 | 神保市右衛門 他2名 | 惣兵衛 | 山林四郎左衛門 | 三組大庄屋中 | 元ノ中 | 惣右衛門 | 元ノ中 | 中嶋伊兵衛 | めね屋卯兵 | 中伊 | はりまや権兵衛 |
| 御口前所 | 神保市右衛門 他2名 | 蜜柑方元ノ中 | 松原惣右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 | 江川庄兵衛 他2名 | 蜜柑方元ノ中 | 神保市右衛門 前田喜左衛門 | 喜右衛門 | 道組他7組荷親中 | 郡方御役所 | 上 | 蜜柑方衆中 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

3 廻漕

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----------------|-----------|----------------|---------------|---------------|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|----------------------------|------------------|-----------------|
| 3 | 226 | 224 | 125 | 119 | 317 | 91 | 168 | 109 | 108 | 223 | 206 | 58 |
| 〔蜜柑大濡れニ而証文差出し候ニ付書付〕 ※包紙は一致せず | 〔包紙〕 ※91の包紙カ | 〔宛先付箋〕 | 追書（蜜柑方帳面差出候ニ付） | 〔別紙御通辞延引ニ付書状〕 | 〔荷主代差添之儀ニ付書付〕 | 〔蜜柑方元ノ喜右衛門江御用ニ付書状〕 | 〔品々差出候儀ニ付書付〕 ※断簡 | 〔江戸御勘定同心衆ヨリ御尋ニ付書状〕 | 〔江戸御勘定同心衆ヨリ御尋ニ付書状〕 | 〔子畑銀江戸為替筋に差進候ニ付書付〕 ※別紙欠 | 〔八丁堀御役所へ御呼出ニ付書付〕 | 〔御代官所へ罷出可申ニ付申達〕 |
| 3-1 | | 221-4 | 124-2 | 118-2 | | | | | | 221-3 | | |
| 安政10年 | | | | 23日 | 12月 | 12月22日 | 12月12日 | 11月24日 | 11月23日 | 11月9日 | 10月29日 | 10月14日 |
| 紀州牟婁郡那智組勝浦庄屋 長三郎 他2名 | 野田孫左衛門 | 松本平右衛門 | | 大庄屋中 | 松原惣兵衛 他2名 | 野田孫左衛門 | 蜜柑方元ノ | 庄之右衛門 | 庄之右衛門 | 名倉楠十郎 | 荷主代中 | 野田孫左衛門 他2名 |
| 日置浦直乗船頭三右衛門 惣荷主衆中 | 野田喜右衛門 | 蜜柑方松原惣右衛門 | | 元ノ衆中 | 江川庄兵衛 | 野田喜右衛門 | 有田御代官所 | 元ノ中 | 元ノ中 | 松原惣右衛門 他2名 | 蜜柑方御役所 | 松原惣右衛門 他1名 |
| 一紙 | 包紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

4 市場

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-----------------|-------------------------------------|------------|--------------------------------|-------------|---------------|------------------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------------|
| 260 | 98 | 191 | 4 | 122 | 171 | 66 | 100 | 137 | 187 | 96 | 142 | 141 |
| 奉差上一札之事(蜜柑直段外問屋より下落ニ付) ※包紙あり | 〔京・大坂ニ而蜜柑下直ニ付書状〕 ※別紙欠 | 〔蜜柑寄不足ニ付催促仕候書状〕 | 〔船可沈ヲ相助リ候とのハナシも御座候ニ付尚々書〕 3-2 | 〔廻船都合ニ付書状〕 | 〔江戸・尾張荷物運賃五毛増ニ付廻状〕 ※別紙欠 | 〔蜜柑舟之儀ニ付書状〕 | 〔天神丸荷物之儀ニ付書状〕 | 〔ミかん仕出し之時分ニ付書状〕 ※包紙あり | 〔当組荷物積下し之儀ニ付書状〕 | 〔蜜柑仕立之儀ニ付書状〕 | 〔運ちん銀延引ニ付書状〕 | 〔大崎庄右衛門舟入船無之ニ付書状〕 |
| 3月 | 2月19日 | 寅11月14日 | | 12日 | 11月1日 | 10月29日 | 10月11日 | 10月2日 | 9月19日 | 9月18日 | 9月14日 | 2月12日 |
| 田口組弥兵衛 他2名 | 佐原七郎左衛門 | 蜜柑庄屋弥十郎 | | 滝方之丞 | 野田喜右衛門 | 辻本利助 | 井口元次郎・木村惣三郎 | 一印組荷親代太郎右衛門 | 須谷組荷親・増吉 | 須谷組荷親増吉 | ミかん庄屋弥十郎 | 松本平右衛門 |
| 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 蜜柑方元ノ衆中 | | 野田喜右衛門 | 糸野他8組荷親中 | 野田喜右衛門 | 蜜柑方御役所 | 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 | 佐原・野田 | 蜜柑方元ノ中 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | |
|---------------|-------------|----------------|------------|----------------|-------------|-----------|-------------------------|-------------|-------------|
| 92 | 112 | 169 | 70 | 88 | 368 | 277 | 255 | 336 | 333 |
| 〔蜜柑方勘定之儀ニ付書状〕 | 〔残金筋取立ニ付書状〕 | 〔江戸登り金渡し方ニ付廻状〕 | 〔手形送付ニ付書状〕 | 御通写し(貨幣引替相場ニ付) | 覚(蜜柑組仕入銀借用) | 振り為替手形之事 | 請取申手形之事(登り金ニ付) ※包紙あり | 覚(田口組為替金受取) | 請取申為替之事 |
| 5月22日 | 4月22日 | 4月15日 | 4月6日 | 1月 87-2 | 子10月 | 安政6年5月26日 | 嘉永6年3月 | 嘉永5年4月28日 | 嘉永5年3月 |
| 嘉十郎 | 江戸肝煎中 | 野田善右衛門 | 松本平右衛門 | 役所 | 野田村荷親三郎兵衛 | 荷主代松本平右衛門 | 寺杣善右衛門 | 丹生組松太郎代吉兵衛 | 江戸荷主代松本平右衛門 |
| 喜右衛門 | 蜜柑方元締衆中 | 道組他6組荷親中 | 野田喜右衛門 | 江戸町年寄 | 野田村質屋利兵衛 | 蜜柑方野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 喜右衛門 | 田口組中西弥兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

5 為替

| | | |
|---------------|------------|-------------|
| 148 | 149 | 69 |
| 〔品から勝レ不申ニ付書状〕 | 〔蜜柑下直ニ付書状〕 | 〔江戸之世情ニ付書状〕 |
| 12月19日 | 12月12日 | 12月12日 |
| 井口平三郎 | 寺杣善右衛門 | 井口甚右衛門 |
| 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------|----------|--------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|------------------|------------------|----------------|---------------|
| 81 | 129 | 157 | 104 | 52 | 114 | 188 | 199 | 56 | 204 | 57 | 80 | 120 | 126 |
| 〔江戸蜜柑為替高二付達〕 | 〔金子不融通ニテ借り替之儀ニ付廻文〕 | 〔蜜柑〕売平均覚 | 〔先登り金渡候ニ付書状〕 | 〔御勝手方借替銀ニ付願書付〕 | 〔手形ニ印形被下度ニ付書状〕 | 〔為替残金相渡候ニ付書付〕 | 〔江戸為替金之儀ニ付書状〕 | 〔御用為替筋之件等ニ付書状〕 | 〔為替取組方之儀ニ付書状〕 | 〔金相場直し具候との儀ニ付書状〕 | 〔江戸蜜柑為替金高行詰ニ付書状〕 | 〔蜜柑代金濟方之儀ニ付書状〕 | 〔江戸為替金之儀ニ付書状〕 |
| | | | ※包紙あり | | | | | | | | ※一括包紙入り | | ※包紙あり |
| 80 -2 | | | | | | | | | | | 80 -1 | | |
| | 12月10日 | 12月1日 | 11月28日 | 11月27日 | 11月23日 | 11月20日 | 11月17日 | 11月16日 | 11月13日 | 11月9日 | 9月3日 | 7月19日 | 7月2日 |
| | 蜜柑方 | 肝煎中 | 荷親文七 | 野村弥七郎 他2名 | 荷親松太郎 | 滝万之丞 | 須谷組増吉 | 松本平右衛門 | 銭ヤ伊助 | 永広兵左衛門 他2名 | 当用方 | 江戸蜜柑問屋中 | 荷親卯兵衛 |
| | 北滝他15組荷親中 | ミかん方元ノ衆中 | 野田喜右衛門 | 元ノ中 | 野田作右衛門 | 蜜柑方元ノ中 | 蜜柑方元ノ衆中 | 蜜柑方元締衆中 | 松原惣右衛門 他2名 | 蜜柑方元締衆中 | 蜜柑方元ノ中 | 御元ノ衆中 | 野田喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

6 勘定

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------------|---------------|----------------------|---------------|------------------------------|----------------|---------------|-----------|-----------|-----------------------------|------|-----------|
| 133 | 65 | 67 | 225 | 241 | 134 | 234 | 235 | 158 | 155 | 190 | 369 | 238 |
| 〔蜜柑方郡勘定ニ付惣寄合廻状〕 | 〔江戸小入用之儀ニ付書状〕 | 〔惣荷高帳面引合ニ付書状〕 | 〔包紙〕 ※190の包紙カ | 丑年帳面帳控録（荷親ニ付） | 〔大川久次郎舟壳平均ニ付書状〕 ※包紙あり | 子年分帳しらへ扣（荷親ニ付） | 亥帳面しらへ扣（荷親ニ付） | 亥蜜柑目録 | （蜜柑）仕切 | 〔蜜柑三厘銀取立の儀ニ付書状〕 ※別紙欠 | 留牒 | 寅卯荷親帳しらへ扣 |
| 6月14日 | 6月2日 | 4月26日 | 4月6日 | 3月 | 1月9日 | 寅4月 | 丑3月28日 | 子4月 | 子1月12日 | （明治）4月6日 | 嘉永4年 | 嘉永3年6月 |
| 野田喜右衛門 | 松本平右衛門 | 松本平右衛門 | 木村惣三郎 | | 松本平右衛門 | | | 五兵衛 | 三河屋善之助 | 木村惣三郎 | | |
| 糸野組他8組荷親中 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 有田野田喜右衛門 | 野田氏 | 蜜柑方元締衆中 | 野田氏 | 野田氏 | 喜右衛門・友右衛門 | 嘉右衛門・友右衛門 | 野田喜右衛門 | 野田 | 野田氏 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 包紙 | 横帳 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 |

7 畑米銀

| | | | | | | |
|-----|------------------|------|---------|------------|------------------|----|
| 340 | 〔井口村子畑米銀切手〕 | ※3通繰 | 嘉永5年11月 | 野田喜右衛門 他2名 | 〔井口村〕庄屋 | 一紙 |
| 240 | 巳帳しらへ扣(荷親ニ付) | | | | | 横帳 |
| 239 | 辰帳しらへ扣(荷親ニ付) | | | | | 横帳 |
| 236 | 戌調へ録(荷親ニ付) | | | | | 横帳 |
| 231 | 江戸送蜜柑仕切勘定帳 | ※離型 | | 荷親 | | 横帳 |
| 212 | 〔二月売上ヶ蜜柑皆済覚〕 | | | | | 一紙 |
| 164 | 〔諸勘定ひな型〕 | | | | | 一紙 |
| 162 | 覚(組々蜜柑目錄) | | | | | 一紙 |
| 167 | 覚(蜜柑ノ高) | | 12月2日 | 上野山 | 松本御氏 | 一紙 |
| 83 | 〔仕切紙出来不申ニ付書状〕 | | 12月2日 | 肝煎中 | 蜜柑方元締衆中 | 一紙 |
| 94 | 〔荷親残金受取之儀ニ付書付〕 | | 11月18日 | 滝方之丞 | 蜜柑方元ノ中 | 一紙 |
| 281 | 〔蜜柑方帳調ニ付書付〕 | | 11月11日 | 藤並組儀右衛門 | 野田喜右衛門 松原惣右衛門 | 一紙 |
| 132 | 〔蜜柑方郡割勘定ニ付惣会谈廻状〕 | | 6月21日 | 野田喜右衛門 | 糸野組他7組荷親中 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|
| 395 | 394 | 384 | 410 | 435 | 434 | 397 | 420 | 383 | 367 | 366 | 362 | 357 | 353 |
| 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 当寅畑米為替金之事 | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書 (よせがき)) |
| | ※一括綴 | ※一括綴 | | | | | ※一括綴 | | | | | | ※一括綴 |
| 394 -2 | 394 -1 | 384 -1 | 409 -2 | 430 -6 | 430 -5 | 394 -5 | 420 -1 | 379 -5 | 363 -5 | 363 -4 | 358 -5 | 353 -5 | 353 -1 |
| 嘉永7年11月 | 嘉永7年11月 | 嘉永7年11月 | 嘉永7年11月30日 | 嘉永7年10月 | 嘉永7年10月 | 嘉永7年10月 | 嘉永6年10月 |
| 新滝組藤五郎 | 北滝組庄藏 | 歎喜寺組岩楠 | 滝積合代勘三郎 | 山田原組大西桑太郎 | 東村組荷親紋次郎 | 徳田組丈之助 | 西村組弥七郎代茂右衛門 | 舟坂組荷親勘兵衛 | 元滝組左近右衛門 | 徳田組丈之助 | 田口組弥兵衛 | 歎喜寺組荷親岩楠 | 大谷組喜兵衛 |
| 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元締 | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元締 | 蜜柑方元ノ |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|------------------|-------------|----------------|-------------|---------------|--------------|
| 361 | 360 | 359 | 358 | 356 | 355 | 354 | 163 | 347 | 321 | 320 | 319 | 409 | 396 |
| 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑銀受取) | 覚 (已畑米銀為替筋受取) | [丹生村辰畑米銀切手] | [田口村・賢村辰畑米銀切手] | [大谷村辰畑米銀切手] | 覚 (ミかん出荷高) | 覚 (畑米銀好書) |
| | | | ※一括綴 | | | | | | ※4通綴 | ※8通綴 | ※4通綴 | ※一括綴 | |
| 358 -4 | 358 -3 | 358 -2 | 358 -1 | 353 -4 | 353 -3 | 353 -2 | | 346 -2 | 318 -4 | 318 -3 | 318 -2 | 409 -1 | 394 -3 |
| 丑10月 | 安政4年12月 | 安政4年12月7日 | 安政3年12月 | 安政3年12月 | 安政3年12月 | 嘉永7年12月 | 嘉永7年11月 |
| 湯浅組荷親亀十郎 | 賢組荷親彦十郎 | 南村荷親多右衛門 | 千田組幾三郎 | 中野組定楠 | 吉原組与作 | 庄組福太郎 | 蜜柑方役所 | 蜜柑方元ノ橋爪忠右衛門 | 橋爪忠左衛門 | 橋爪忠左衛門 他2名 | 橋爪忠左衛門 他2名 | 田口積合 | 東滝組卯兵衛 |
| ミかん方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | ミかん方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 一ツ松村御役人中 | 田口村庄屋直之丞 | (丹生村)庄屋 | (田口村・賢村)庄屋 | (大谷村)庄屋 | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------------------|--------------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 390 | 388 | 385 | 439 | 153 | 424 | 423 | 422 | 421 | 382 | 380 | 365 | 364 | 363 |
| 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 〔大谷村丑畑米銀切手〕 ※3通綴 | 覚 (畑米銀好書) | 畑米為替銀高覚 | 奉願畑米為替覚 | 畑米為替銀高覚 | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) |
| 384 -5 | 384 -4-1 | 384 -2 | 436 -4 | | 420 -5 | 420 -4 | 420 -3 | 420 -2 | 379 -4 | 379 -2 | 363 -3 | 363 -2 | 363 -1 |
| 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月21日 | 丑11月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 | 丑10月 |
| 中野組定楠 | 吉原組与作 | 庄組福太郎 | 南村荷親多右衛門 | 野田喜右衛門 他2名 | 金屋組荷親周助代嘉八 | 金屋組荷親周助 | 番組荷親久之丞 | 丹生組荷親 | 須谷組荷親増吉 | 山田原組荷親柔右衛門 | 北滝組庄蔵 | 新タキ組藤五郎 | 東滝組吉郎右衛門 |
| 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | (大谷村)庄屋 | 蜜柑方元締 | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方郡役所 | 蜜柑方郡役所 | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方(元)締 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|--------------|--------------|--------------|-----------|--------------|
| 430 | 419 | 418 | 411 | 389 | 438 | 437 | 436 | 432 | 428 | 427 | 426 | 425 | 398 |
| 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (ミかん出荷高) | 覚 (畑米銀減候ニ付) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 畑米好書覚 | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 畑米好書覚 | 覚 (畑米銀好書) |
| ※一括綴 | | | | ※388 に貼付 | | | ※一括綴 | | | | | ※一括綴 | |
| 430 -1 | 514 -5 | 415 -4 | 409 -3 | 384 -4-2 | 436 -3 | 436 -2 | 436 -1 | 430 -3 | 425 -4 | 425 -3 | 425 -2 | 425 -1 | 394 -5 |
| 寅11月 | 寅11月 | 寅11月 | 寅11月 | 寅11月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 | 寅10月 |
| 須谷組荷親増吉 | 宮崎組嘉十郎代判宇兵衛 | 中嶋組文七代判宇兵衛 | 糸我積合 | 吉原組与作 | 賢組喜十郎 | 湯浅組亀十郎 | 田口組弥兵衛 | 舟坂組荷親勘兵衛 | 丹生組松太郎 | 舟一組荷親弥市郎 | 中番組荷親久之丞 | 金屋組荷親周助 | 元滝組左七 |
| 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | ミかん方元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-----------|
| 232 | 45 | 39 | 36 | 44 | 41 | 38 | 35 | 43 | 40 | 37 | 34 | 47 | 413 |
| 〔未畑米銀差引苧〕 | 〔井ノ口村未畑米銀切手〕 | 〔丹生村未畑米銀切手〕 | 〔大谷村未畑米銀切手〕 | 〔井ノ口村午畑米銀切手〕 | 〔糸野村午畑米銀切手〕 | 〔丹生村午畑米銀切手〕 | 〔大谷村午畑米銀切手〕 | 〔井ノ口村巳畑米銀切手〕 | 〔糸野村巳畑米銀切手〕 | 〔丹生村巳畑米銀切手〕 | 〔大谷村巳畑米銀切手〕 | 〔畑米代銀納入ニ付書状〕 | 寛(ミかん出荷高) |
| | ※3通繰 | ※4通繰 | ※2通繰 | ※3通繰 | ※2通繰 | ※3通繰 | ※3通繰 | ※3通繰 | ※2通繰 | ※3通繰 | ※2通繰 | | 409 -5 |
| 未12月 | 未12月 | 未12月 | 未12月 | 午12月 | 午12月 | 午12月 | 午12月 | 巳11月 | 巳11月 | 巳11月 | 巳11月 | 辰12月8日 | 寅12月 |
| | 野田嘉右衛門 他2名 | 野田嘉右衛門 他2名 | 野田嘉右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 橋爪忠左衛門 他2名 | 橋爪忠左衛門 他2名 | 橋爪忠左衛門 他2名 | 橋詰忠左衛門 他2名 | 奥御藏庄屋市右衛門 | 舟坂舟元桑太郎 |
| | (井ノ口村) 庄屋 | (丹生村) 庄屋 | (大谷村) 庄屋 | (井ノ口村) 庄屋 | (糸野村) 庄屋 | (丹生村) 庄屋 | (大谷村) 庄屋 | (井ノ口村) 庄屋 | (糸野村) 庄屋 | (丹生村) 庄屋 | (大谷村) 庄屋 | 野田作右衛門 | 元ノ |
| 横帳 | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|--------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 343 | 342 | 341 | 339 | 338 | 328 | 327 | 440 | 433 | 429 | 416 | 415 | 381 | 263 |
| 〔丹生村丑畑米銀切手〕 | 〔中嶋村丑畑米銀切手〕 | 〔井ノ口村丑畑米銀切手〕 | 〔糸野村子畑米銀切手〕 | 〔賢村丑畑米銀切手〕 | 〔賢村巳畑米銀切手〕 | 〔畑米切手書替願候書状〕 | 覚(畑米銀好書) | 寅畑米好書之事 | 覚(畑米銀好書) | 覚(畑米銀好書) | 覚(畑米銀好書) | 覚(畑米銀好書) | 畑米為替銀高覚 |
| ※4通綴 | ※2通綴 | ※4通綴 | ※2通綴 | ※3通綴 | ※3通綴 | ※328を内に巻込 | | | | | ※一括綴 | | |
| | | | | | 327-2 | 327-1 | 436-5 | 430-4 | 425-5 | 415-2 | 415-1 | 379-3 | |
| 11月 | 11月 | 11月 | 11月 | 11月 | 11月 | 11月20日 | 10月 |
| 野田喜右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 他2名 | 橋爪忠左衛門 | 賢村庄屋彦十郎 | 千田組荷親幾三郎 | 丹生國組善右衛門 | 西村組荷親弥七郎 | 星野組善之右衛門 | 糸野組藤十郎代 | 丹生國組善右衛門 | 舟一組荷親弥一郎 |
| (丹生村)庄屋 | (中嶋村)庄屋 | (井ノ口村)庄屋 | (糸野村)庄屋 | (賢村)庄屋 | (賢村)庄屋 | 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ | 蜜柑方元ノ衆中 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------------------|--------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------|-----------------------------|
| 322 | 318 | 249 | 414 | 351 | 350 | 349 | 348 | 345 | 344 | 323 | 42 | 387 | 346 |
| 〔糸野村辰畑米銀受取ニ付書付〕 | 辰畑米銀為替 ※一括袋入、袋に「辰畑米御書替入」とあり | 〔一ツ松村巳畑銀受取覚〕 ※230参照 | 〔ミかん出荷高二付書付〕 | 〔田口村末畑米銀切手〕 ※6通綴 | 〔賢村午畑米銀切手〕 ※3通綴 | 〔賢村未畑米銀切手〕 ※3通綴 | 〔田口村午畑米銀切手〕 ※4通綴 | 〔上中嶋村午畑米銀切手〕 ※2通綴 | 〔上中嶋村末畑米銀切手〕 ※3通綴 | 〔井ノ口村辰畑米銀切手〕 ※5通綴 | 〔糸野村末畑米銀切手〕 ※2通綴 | 覚(畑米銀減じ候ニ付) ※386に貼付 | 〔田口村巳畑米銀切手〕 ※3通綴、347と一括綴 |
| 318 -5 | 318 -1 | 244 -6 | 409 -6 | | | | | | | 318 -6 | | 384 -3-2 | 346 -1 |
| | | | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 11月 | 11月 |
| 山林四郎左衛門 | | 山林四郎左衛門 | 石垣積合 | 野田喜右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 松原惣右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 他2名 | 橋爪忠左衛門 | 野田嘉右衛門 他2名 | 大谷組定吉 | 橋爪忠左衛門 他2名 |
| | | 庄屋 | 元締 | (田口村)庄屋 | (賢村)庄屋 | (賢村)庄屋 | (田口村)庄屋 | (上中嶋村)庄屋 | (上中嶋村)庄屋 | (井ノ口村)庄屋 | (糸野村)庄屋 | | (田口村)庄屋 |
| 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | |
|---------------|---------------|-----------------|-----------|----------------|---------------|
| 404 | 403 | 392 | 13 | 407 | 408 |
| 覚 (浦賀送り出高) | 覚 (尾張送り出高) | 覚 (伊勢送り出高二付) | 浦賀蜜柑写 | 伊勢・浦・尾張一寅年組々出高 | 覚 (ミかん出荷高) |
| 399 -6 | 399 -5 | 391 -2 | | 399 -9 | |
| 寅12月 | 寅12月 | 寅12月 | 安政5年1月26日 | 安政元年 | 嘉永7年12月 |
| 中嶋積合 | 中嶋積合 | 中嶋積合 | | 滝積合 | |
| 元 ✓ | 元 ✓ | 元 ✓ | | 蜜柑方役所 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 一紙 |

8 蜜柑積高

| | | | | | | |
|--------------|----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 431 | 417 | 412 | 393 | 386 | 379 | 324 |
| 覚 (畑米銀好書) | おぼえ (畑米銀好書) | 覚 (ミかん出荷高) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (畑米銀好書) | 覚 (荷札代銀受取) |
| 430 -2 | 415 -3 | 409 -4 | | 384 -3-1 | 379 -1 | 318 -7 |
| | | | | | ※一括繰 | |
| 佐原 | 道組万五郎 | 中嶋積合文七代宇兵衛 | 道組万五郎 | 大谷組定吉 | 東村組荷親紋次郎 | |
| | 郡役所元 ✓ | | 元 ✓ | 蜜柑方元 ✓ | 蜜柑方郡役所 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----------|--------------|-----------|-----------|-------------|---------------|-----------|-----------|-----------|------------|----------------|-----------|
| 406 | 399 | 446 | 445 | 444 | 443 | 441 | 405 | 402 | 401 | 400 | 391 | 442 |
| 〔伊勢・尾張送りミかん出荷高覚〕 | 覚（伊勢廻り積高） | 覚（江戸送蜜柑組々出高） | 寅江戸出荷高 | 江戸出荷覚 | 覚（江戸送り蜜柑出高） | 覚（江戸送り蜜柑組々出高） | 浦賀積之覚 | 寅尾張出荷高覚 | 尾・伊・浦出荷覚 | 伊勢・尾張贈り積高覚 | 覚（伊勢送りミかん積高二付） | 覚（江戸積高） |
| | ※一括綴 | | | | | ※一括綴 | | | | | ※一括綴 | |
| 399 -8 | 399 -1 | 441 -6 | 441 -5 | 441 -4 | 441 -3 | 441 -1 | 399 -7 | 399 -4 | 399 -3 | 399 -2 | 391 -1 | 441 -2 |
| | | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 卯1月 | 寅12月 |
| 田口積合 | 中嶋積合 | 滝積合代勘三郎 | 船坂積合 | 糸我積合 | 石垣積合 | 田口積合 | 石垣積合 | 舟坂積合 | 糸我積合 | 石垣積合 | 石垣積合 | 中嶋積合 |
| 蜜柑方御役所 | 郡御役所 | 蜜柑方御役所 | 蜜柑方郡役所 | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 蜜柑方元ノ | 元ノ | ミかん郡方役所 | 蜜柑方元ノ | 元ノ | 元ノ | 元ノ |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

9 御用蜜柑・献上蜜柑・祝儀蜜柑

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------------------------------|------------------|---------------|------------------|------------------------|---------------|--------------------|------------------------------|----------------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| 198 | 215 | 99 | 79 | 179 | 127 | 116 | 228 | 14 | 15 | 18 | 16 | 19 |
| 〔当年御用ミかん之儀ニ付書状〕 | 〔京都御進献御献上ミかん之儀ニ付書状〕 ※包紙あり | 〔京都御進献御献上之儀ニ付書状〕 | 〔後納御献上之儀ニ付書状〕 | 〔御用蜜柑運賃銀不納筋ニ付書状〕 | 〔御献上蜜柑之儀ニ付書付〕 ※包紙あり | 〔御献上蜜柑之儀ニ付書状〕 | 〔御用蜜柑仕切勘定帳〕 ※断片 | 卯御用蜜柑割賦覚 ひかへ ※紐一括 15-1 | 寅御用蜜柑割賦覚 ひかへ 15-2 | 子御用蜜柑御下ヶ渡し帳 15-5 | 丑御用蜜柑割賦覚 ひかへ 15-3 | 子御用蜜柑割賦覚へ 15-6 |
| 10月27日 | 10月23日 | 10月22日 | 10月22日 | 10月21日 | 9月22日 | 9月19日 | 寅10月 | 慶応3年11月 | 慶応2年11月 | 慶応元年11月16日 | 慶応元年10月 | 元治元年11月 |
| 蜜柑庄屋弥十郎 | 蜜柑庄屋桑原弥十郎 | 蜜柑庄屋弥十郎 | ミかん庄屋弥十郎 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 蜜柑庄屋弥十郎 | 蜜柑庄屋嘉八郎 | | | 野田村庄屋 | 野田村庄屋良右衛門 | 野田村庄屋良右衛門 |
| 蜜柑方元ノ衆中 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 元ノ衆中 | 鹿ヶ瀬峠三郎兵衛 | 糸野他7組荷親中 | 野田喜右衛門 他1名 | 野田村御役人衆中 | | | | 蜜柑庄屋嘉八郎 | 嘉八郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 綴り |

10 尾州・勢州送り

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--------------------|--------------------------------|----------------------|-------------|----------------|----------------------|------------------------------|-------------------|----------------|------------------|----------------------|--------------------|
| 193 | 253 | 87 | 202 | 51 | 95 | 154 | 352 | 17 | 186 | 89 | 214 | 93 |
| 〔桑名表仲買共之内不法不埒之者有之ニ付書状〕 | 口上覚（入船荷物水上ケ方指留候ニ付） | 〔蜜柑直段ニ付書状〕 ※一括包紙入、包紙に「従名古屋」とあり | 〔暖氣ニテミかん大腐リニ付書状〕 ※虫損 | 〔尾州仕切金ニ付書状〕 | 〔仕切金登し方之儀ニ付書状〕 | 乍恐奉願上口上（尾・勢語荷主代跡役之儀） | 〔蜜柑売捌方近年猥り相成候ニ付書付〕 ※二印、316参照 | 〔子年野田村御用蜜柑代下ケ渡書付〕 | 〔齋米並蜜柑献上候ニ付書状〕 | 〔御用蜜柑運賃銀之儀ニ付書状〕 | 〔御用蜜柑運賃之儀ニ付書状〕 ※包紙あり | 〔御用蜜柑割符ニ付書状〕 ※包紙あり |
| 3月1日 | 2月 | 2月 | 2月5日 | 1月29日 | 1月28日 | 中7月 | 安政2年10月 | 15 -4 | 27日 | 11月19日 | 11月5日 | 10月28日 |
| 佐原七郎左衛門 | 荷主代中 | 林小十郎 他1名 | 御前平四郎 | 中津十兵衛・中嶋嘉蔵 | 問屋托維嶋屋・幸八・徳十郎 | 藤並組中嶋村の場喜太夫事 中嶋嘉蔵 | 紀州蜜柑方中嶋嘉蔵 他1名 | 蜜柑庄屋嘉八郎 | 野田喜右衛門 | 蜜柑庄屋桑原弥十郎 | ミかん庄屋弥十郎 | 嘉八郎 |
| 野田喜右衛門 | 蜜柑方御一統様 | 御役所 | 野田喜右衛門 | 御役所 | 松原惣右衛門 他2名 | 御役所 | 尾州名古屋蜜柑支配人柿屋次郎 他2名 | 野田村役人 | 養源寺様御納所 | 蜜柑方元ノ衆野田喜右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 | 野田村御庄屋良右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--------------|----------------------|-----------------------|--------------------------------|----------------------------|------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|-------------|--------------|-------------|
| 105 | 220 | 102 | 316 | 97 | 219 | 60 | 185 | 195 | 176 | 182 | 117 | 181 | 180 |
| 〔大地震ニテミかん壳捌き方相休ミ候ニ付書状〕 | 〔書状〕 ※未開封 | 廻文(大地震ニ而市立もさしつかえ候ニ付) | 定(市立ニ付) ※一印写、352参照 | 〔蜜柑舟入津ニ付書状〕※包紙あり、包紙に「從勢州桑名」とあり | 〔蜜柑方騒々數ニ付書状〕 ※包紙あり、下部虫損 | 〔景氣下落ニ付書状〕 | 〔尾州御荷物入津無之ニ付書状〕 | 〔蜜柑直段進ミ候ニ付書状〕 | 〔道中より当着仕候ニ付書状〕 | 〔御献上宍箱相届候ニ付書状〕 | 〔蜜柑株讓請ニ付書状〕 | 〔壳代金不行届ニ付書状〕 | 〔壳代取立方ニ付書状〕 |
| 11月6日 | 11月5日 | 11月4日 | 10月 | 10月28日 | 10月27日 | 10月25日 | 10月22日 | 10月17日 | 10月15日 | 10月6日 | 7月24日 | 3月31日 | 3月20日 |
| 御前平四郎 | 味岡屋又八 | 中津重兵衛 | 問屋幸八・柿屋伝次郎 | 御前平四郎 | 中津十兵衛 | 中津十兵衛 | 御前平四郎 | 中津重兵衛 | 御前平四郎 | 中津十兵衛 | 問屋幸八 | 中津十兵衛 | 中津十兵衛・中嶋嘉蔵 |
| 御役所元ノ衆中 | 野田作右衛門 | 野田喜右衛門 他1名 | 中買 | 御役所元ノ衆中 | 野田喜右衛門 | 元ノ衆中 | 御役所元ノ衆中 | 蜜柑方元ノ衆中 | 御役所元ノ衆中 | 元ノ衆中 | 野田喜右衛門 | 元ノ衆中 | 元ノ衆中・野田喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

11 京都送り蜜柑一条

| | | | | |
|-----|-------------------------|---------|-------------|----|
| 30 | 京都送蜜柑一件ニ付三組大庄屋出府雑用並入用帳 | 安政5年12月 | 石垣組・宮原組・藤並組 | 横帳 |
| 28 | 京都送り蜜柑一条ニ付惣代出勤並小夫帳 | 安政5年12月 | 石垣組惣代中 | 横帳 |
| 29 | 京都居口銭一条ニ付出勤仕出帳 | 安政5年10月 | 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 | 横帳 |
| 20 | 道中入用覚帳 | 安政5年10月 | 野田喜右衛門 | 横帳 |
| 292 | 京伏見問屋一件ニ付諸入用控へ帳 | 安政5年9月 | 星尾村 | 横帳 |
| 27 | 京都贈蜜柑問屋一条ニ付諸入用仕出帳 | 安政5年8月 | 藤浪組 | 横帳 |
| 237 | 伊勢・尾張・蒲賀蜜柑仕切勘定帳 ※雜形 | | | 横帳 |
| 152 | 〔蜜柑舟売平均帳〕 ※已春 | | 中津十兵衛・中島嘉蔵 | 横帳 |
| 218 | 入船順（売払中候分ニ付） | 12月26日 | 柿屋伝次郎 | 一紙 |
| 217 | 〔入船之分売捌候ニ付書付〕 ※一括包紙入 | 12月26日 | 柿屋伝次郎 | 一紙 |
| 315 | 覚（尾州様御献上蜜柑代頂戴仕候ニ付） | 12月24日 | 油屋長三郎 | 一紙 |
| 61 | 〔みかん直段下落ニ付書付〕 | 11月13日 | 中津十兵衛 | 一紙 |
| 161 | 口上（御廻文奉願上） ※別紙欠 | 11月6日 | 中津十兵衛 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-----------|-----------|---------|--------|---------------|-------------------|----------------------|---------------|---------------------|-----------------------|--------------|-----------------|----------------|
| 372 | 376 | 375 | 50 | 49 | 48 | 229 | 273 | 32 | 25 | 22 | 31 | 309 | 293 |
| 覚(上白たび代受取) | 覚(泊代受取) | 覚(泊代受取) | 諸入用小払覚帳 | 御役人様御通 | 上京ニ付道中往来小払仮附控 | 京都送蜜柑一条ニ付入用銀取替仕出帳 | 請取申手形之事(京都問屋一条ニ付入用銀) | 京都一件造用銀払立請取認帳 | 京都蜜柑方一件ニ付惣代出勤並諸雜用仕出 | 蜜柑方之儀ニ付御会談之節諸入用賄共仕出し札 | 上京道中払方控帳 | 蜜柑方ニ付宮原組諸入用仕出し帳 | 蜜柑方々々小夫并出府仕出し帳 |
| 370 -3 | 370 -7 | 370 -6 | | ※48参照 | | | | | | | | 302 -8 | 287 -7 |
| 1月24日 | 1月21日 | 1月5日 | 午12月31日 | 午11月 | 午10月25日 | 万延元年5月 | 安政6年12月 | 安政6年7月 | 安政6年6月30日 | 安政6年5月 | 安政6年2月17日 | 安政5年12月 | 安政5年12月 |
| かめや | ひわだや仁兵衛 | ひわ仁 | 前川金吾 | 富田屋 | 太兵衛 | 野田喜右衛門 | 舟坂村庄屋平五郎 | 帳許野田喜右衛門 | 石垣組惣代中 | 郡役所 | 田口仁左衛門・榎本嘉十郎 | 諸払方道村 | 野村 |
| | 前川 | 前川 | | | | | 野田孫左衛門・同喜右衛門 | | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|-------------------|--------------|-----------------------|-----------------|---------|------------------|-----------------|-----------|
| 325 | 301 | 299 | 274 | 298 | 296 | 300 | 330 | 308 | 302 | 269 | 286 | 378 | 377 |
| 〔京都送蜜柑一条願筋ニ付書状〕 | 伝馬人足帳 | 覚(道中諸入用) | 覚(産物蜜柑荷物積ニ付) | 覚(泊代受取) | 覚(泊代受取) | 〔難有奉存候ニ付書状〕 | 〔京都行諸入用ニ付書状〕 | 次第書(仲間再興ニ付有田蜜柑直売致度ニ付) | 〔湯浅村広久方へ払筋ニ付書状〕 | 覚(舟賃受取) | 〔上方出張諸入用帳面并受取書入〕 | 覚(大坂より若山迄飛脚賃受取) | 覚(泊代受取) |
| ※一括 | | | | | | | | | ※一括袋入 | | ※袋、50参照 | | |
| 325 -1 | 295 -6 | 295 -4 | | 295 -3 | 295 -1 | 295 -5 | | 302 -7 | 302 -1 | | | 370 -9 | 370 -8 |
| 7月11日 | 6月 | 6月 | 6月 | 6月14日 | 6月10日 | 5月6日 | 4月13日 | 3月 | 3月28日 | 2月12日 | 1月 | 1月26日 | 1月26日 |
| 江川庄兵衛 | 野田・松本 | 松本市左衛門 | 有田屋弥助 | 大和屋武兵衛 | ひわだや仁兵衛 | 砂川一統共 | 田口村庄屋直之丞 | 伏見青物中買仲ヶ間中 | 東村惣兵衛 | 車屋九兵衛 | 田口村前川金吾 | 影喜 | ひわ仁 |
| 野田喜右衛門 | | 野田喜右衛門 | 紀州様御屋敷 | 野田 | 市左衛門 | 蜜柑方御役人元 松本市左衛門 | 野田喜右衛門 | | 野田喜右衛門 | | | 前川 | 前川 |
| 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 縦帳 | 一紙 | 一紙 | 袋 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|--------|--------------|--------------|--------------|--------|--------------|-------------|---------------|----------------|-----------|----------------------|---|
| 334 | 271 | 304 | 268 | 71 | 85 | 303 | 270 | 272 | 267 | 266 | 307 | 194 | 326 |
| 覚 (泊代受取) | 覚 (飯代受取) | 人足継立帳 | 覚 (旅籠賃受取) | 〔京都問屋一件ニ付書状〕 | 〔京都一条之儀ニ付書状〕 | 人足継立帳 | 覚 (旅籠代受取) | 覚 (泊代受取) | 覚 (酒・泊代受取) | 覚 (中飯・酒代受取) | 上京ニ付道中小払扣 | 〔居口銭取申段ニ而上京致度との儀ニ付達〕 | 覚 (京都送一条ニ而取替候銀子御下ケ願上候) ※325の別紙 325-2 |
| | | 302-3 | | | | 302-2 | | | | | 302-6 | | |
| 11月16日 | 11月14日 | 11月12日 | 11月12日 | 11月5日 | 11月4日 | 10月 | 10月29日 | 10月28日 | 10月26日 | 10月26日 | 10月25日 | 10月9日 | 7月11日 |
| 大和屋武兵衛 | はりまや権兵衛 | 紀州役人中 | 車屋九兵衛 | 江川庄兵衛 | 山田原村市郎兵衛 | 野田喜右衛門 | 車屋九兵衛 | はりまや権兵衛 | 忠 | ぜにや係七 | | 江川庄兵衛 他3名 | 宮原組総代道村庄屋 四郎兵衛 |
| 御一統様 | | | | 野田喜右衛門 | 御一統 | | | | 松尾善兵衛 | | | 蜜柑方元ノ中 | 江川庄兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|---------|---------------------|---------------|----------|----------|----------|------------|---------------|----------|----------------------------|---------|---------|
| 294 | 291 | 289 | 287 | 288 | 290 | 374 | 373 | 371 | 370 | 305 | 115 | 265 | 264 |
| 京一条・蜜柑方・午暮払方請取入 | (進上蜜柑ニ付覚) | 覚(代銀ニ付) | 覚(京都一条ニ付伏見出張人造用金受取) | (ミかん方入用銀ニ付書付) | 覚(紙代受取) | 覚(酒肴代受取) | 覚(中食代受取) | 覚(上白たび代受取) | 覚(たばこ・紙代書付) | 覚(夕飯代書付) | 蜜柑方一札之事(京都蜜柑問屋一件ニ而雜用銀借用ニ付) | 覚(代金受取) | 覚(代銀受取) |
| ※袋 | | | ※一括袋入 | | | | | | ※一括綴、50・287参照 | | ※包紙あり | | |
| 287-8 | 287-5 | 287-3 | 287-1 | 287-2 | 287-4 | 370-5 | 370-4 | 370-2 | 370-1 | 302-4 | | | |
| | 12月 | 12月 | 12月31日 | 12月28日 | 12月24日 | 12月23日 | 12月23日 | 12月8日 | 12月5日 | 11月 | 11月30日 | 11月26日 | 11月18日 |
| | 山庄屋市郎兵衛 | こん勘 | 田口屋庄屋直之丞 | 道四郎兵衛 | 中番村庄屋忠次郎 | はり権 | はり権 | 亀屋 | 布八 | 広村久七 | 星尾村庄屋善之右衛門 | 中津 | 木や九郎右衛門 |
| | 道村庄屋四郎兵衛 | 御役人衆 | 野田喜右衛門 | 橋爪忠左衛門 | 道村庄屋四郎兵衛 | 前川金吾 | 前川 | | はり権 | 蜜柑方大門宗兵衛 | 郡蜜柑方元ノ衆中 | 野田喜右衛門 | 紀州御一同 |
| 袋 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | |
|-------------------|-----------|-------------|
| 306 | 297 | 295 |
| 乍恐奉願口上書(問屋渡世御免ニ付) | 覚(泊代受取) | 覚(人足料) |
| 302 -5 | 295 -2 | 295 -1-1 |
| | あし屋勘三 | ※一括包紙入、24参照 |
| 横帳 | 一紙 | 一紙 |

12 御仕入方一条

| | | | | | | | |
|-----------------|---------------|---------------------------------|----------------------|----------------|--------------|---------------------|----------------|
| 200 | 33 | 233 | 130 | 147 | 107 | 111 | 128 |
| 〔御仕入方御支配之儀ニ付書状〕 | 御仕入方一件ニ付諸入用覚帳 | 御仕入方掛りニ付諸入用并郡中動揺ニ付諸役人衆入込之節造用弘立帳 | 〔御仕入方支配ニ被仰出候ニ付惣寄合廻状〕 | 〔御仕入方一条願書ニ付書状〕 | 〔御仕入方一条ニ付書状〕 | 〔荷主代より書状も参り不申候ニ付書状〕 | 廻文(御仕入方支配之儀ニ付) |
| (安政元年)11月17日 | 嘉永7年11月 | 安政2年6月 | 4月7日 | 7月2日 | 11月12日 | 11月15日 | 12月6日 |
| 西村屋小一郎 他5名 | 蜜柑方役所 | 蜜柑方役所 | 蜜柑方元ノ中 | まつ原 | 荷主代中 | 兵次郎 | 野田喜右衛門 |
| 御元ノ衆中・御荷親衆中 | | | 山田原組 他29組 | 野田大人 | 蜜柑方御役所 | 元ノ衆中 | 田口他7組荷親中 |
| 一紙 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

13 役所業務・書簡

| | | | |
|-----------|---------|-----|----|
| 21 | 嘉永6年11月 | 蜜柑方 | 横帳 |
| 役所普請入用附立帳 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------------|----------------|------------------|---------------|------------------|--------------------|-------------|-----------|---------|-----------|-------------|----------|----------|
| 278 | 140 | 196 | 216 | 77 | 172 | 123 | 74 | 165 | 151 | 82 | 78 | 242 | 227 |
| 覚(桂木御渡し候) | 〔御注文ニ付御礼申上候書状〕 | 〔蜜柑御惠贈被成候ニ付書状〕 | 〔職方旧冬より相休ミ候ニ付書状〕 | 〔寄合之雜用銀ニ付書状〕 | 〔御表より植木送状參候ニ付書状〕 | 〔新年之儀ニ付書状〕 | 〔新年之儀ニ付書状〕 | 覚(蜜柑代銀受取) | 〔飛脚賃通〕 | 覚(受取証文ニ付) | おはへ(受取証文ニ付) | 〔飛脚賃受取帳〕 | 〔飛脚賃受取帳〕 |
| | | | ※包紙あり | ※一括包紙 77-1 | | ※包紙あり、包紙裏に「從江府」とあり | ※123参照、包紙あり | | | | 77-2 | | |
| 3月15日 | 2月2日 | 1月25日 | 1月18日 | 1月12日 | 1月6日 | 1月2日 | 1月2日 | 亥12月 | 亥12月 | 未6月30日 | 未1月15日 | 子6月 | 子6月25日 |
| 枇杷嶋屋徳次郎 | 宮崎屋次右衛門 | 小野卯右衛門 | 宮ざきや次右衛門 | 東方惣兵衛 | 井口元次郎 | 林野勘平 | 林野勘平 | 山長平 | いつつや甚六郎 | 綿屋利助 | 油屋長三郎 | 井筒屋甚太郎 | 宮原飛脚紋三郎 |
| 野田 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 野田 | 元ノ衆中 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 野田喜右衛門 | 蜜柑方 | 郡御役所 | 元ノ方追駒 | みかん方御役人 | 郡御役所 | 蜜柑方郡役所 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------------------|--------|----------------|-------------|-------------|-----------------|----------|------------|--------|--------|---------------------|
| 337 | 282 | 211 | 150 | 279 | 75 | 256 | 280 | 156 | 143 | 284 | 283 | 254 |
| 〔飛脚賃覚〕 | 〔断片〕 | 追啓申上候 〔幟拵賃之儀ニ付〕 | 〔飛脚賃通〕 | 覚 〔戸服ろ作料受取〕 | 〔寒中見舞いニ付書状〕 | 覚 〔歩給受取〕 | 覚 〔無地金巾代金受取〕 | 駿・遠州路大荒 | 〔書面延着ニ付書状〕 | 〔飛脚賃覚〕 | 〔飛脚賃覚〕 | 覚 〔北溪新川繕普請入用銀受取〕 |
| | | | | 12月 | 12月16日 | 11月19日 | 11月15日 | 7月 | 7月19日 | 6月 | 6月 | 5月 |
| 宮原屋紋三郎 | | | 宮原や紋三郎 | 仲屋勘三郎 | 松本平右衛門 | 道村庄屋四郎兵衛 | 山形屋又郎 | 江戸定飛脚問屋中 | 右左衛門 | 宮原屋紋三郎 | 宮原屋紋三郎 | 平七・熊太郎 |
| 蜜柑方御役所 | 野田喜右衛門 | | 蜜柑方郡役所 | 蜜柑方御役所 | 野田喜右衛門 | | 野田 | | 野田 | 松原惣右衛門 | 蜜柑方御役所 | 蜜柑方元ノ野田喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

14 年 貢

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|-------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------|
| 250 | 252 | 251 | 244 | 246 | 245 | 314 | 230 | 9 | 7 | 8 | 6 | 10 |
| 〔一ツ松村已納米受取寛〕 | 〔一ツ松村已納米受取寛〕 | 〔一ツ松村已納米受取寛〕 | 〔一ツ松村已納米受取寛〕 | 〔一ツ松村已納米受取寛〕 | 〔一ツ松村已納米受取寛〕 | 寛(御切手下米若山表江横廻し願上候ニ付) | 安政四已納通 | 天明三年卯納米請取通 | 天明三年卯納米請取通 | 天明二年寅納米請取通 | 天明二年寅納米請取通 | 安永九年子納米受取通 |
| 244-7 | 244-9 | 244-8 | 244-1 | 244-3 | 244-2 | | ※244 ノ 252の 通力 | | | | | |
| 11月28日 | 11月14日 | 11月14日 | 7月12日 | 2月15日 | 2月14日 | 1月7日 | 安政4年10月 | 天明4年12月 | 天明4年12月 | 天明3年 | 天明3年 | 天明元年 |
| 有田御代官所 | 有田御代官所 | 有田御代官所 | 有田御代官所 | 有田御代官所 | 有田御代官所 | 有田屋平兵衛 | 山林四郎左衛門 | 本六丁目太郎右衛門 | 本六丁目太郎右衛門 | 本六丁目太郎右衛門 | 本六丁目太郎右衛門 | 本六丁目太郎右衛門 |
| | | | | | | 一ツ松庄屋良右衛門 | 一ツ松村庄屋 | 金森孫右衛門様御知行所 有田郡野田村庄屋小十郎 | 金森孫右衛門様御知行所 有田郡野田村庄屋小十郎 | 金森孫右衛門様御知行所 有田郡野田村庄屋小十郎 | 金森孫右衛門様御知行所 在田郡野田村庄屋小十郎 | 金森孫右衛門様御知行所 永田村庄屋 |
| 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

15 村方文書

| | | | | | | | | |
|------------------|------------------------------|-----------------------|------------|----------------|-------------------|----------|-----------|-----------|
| 63 | 62 | 209 | 243 | 101 | 335 | 26 | 159 | 160 |
| 〔出火致し候得共息災ニ付書状〕 | 〔御地より人足出候風聞ニ付書付〕 ※包紙は一致せず | 〔専三郎不快ニテ介抱ノ者差下し候ニ付書状〕 | 覚（奥村池床米受取） | 〔蜜柑あふら虫出来ニ付書状〕 | 〔相統講相勤候ニ付書状〕 | 覚（取替候ニ付） | 覚（受取証文ニ付） | 覚（畑地証文ニ付） |
| 11月29日 | 11月14日 | 11月3日 | 10月23日 | 6月10日 | 2月24日 | 未7月 | 丑12月 | 丑1月 |
| 芳兵衛 | 芳兵衛 | いわしや林専三郎内 | 浜口儀兵衛 | 野田幸右衛門 | 相統講せわ人野田基楠 | 歡喜寺村源五郎 | 神保善兵衛 | 長田村利右衛門 |
| 野田村庄屋良右衛門 他2名 | 野田村庄屋良右衛門 他2名 | 野田喜右衛門 | 天満村庄屋平次郎 | 上山彦十郎 | 蜜柑方於御役所 野田喜右衛門 | 吉原村元五郎 | 野田村小十郎 | 野田村喜右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | |
|--------------|-----------------------|-----------------------|---------|
| 86 | 248 | 247 | 166 |
| 〔御年貢方の儀ニ付書状〕 | 〔一ツ松村巳納米受取覚〕 244-5 | 〔一ツ松村巳納米受取覚〕 244-4 | 覚（納米引銭） |
| 12月21日 | 12月18日 | 12月16日 | 12月6日 |
| 庄之右衛門 | 有田御代官所 | 有田御代官所 | 十左衛門 |
| 野田喜右衛門 | | | 小十郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | |
|-------------|-----------|------------------|---------------|
| 205 | 285 | 64 | 110 |
| 〔拝借筋元銀ニ付書状〕 | 借用之証文 | 〔人足差出候儀ニ付書状〕 | 〔祝儀蜜柑被遣候ニ付書状〕 |
| | 12月 | 12月9日 | 12月6日 |
| 長田文五郎 | 長田村本人利右衛門 | 芳兵衛 | 滝口平左衛門 |
| 野田北 | 野田村喜右衛門 | 野田村庄屋良右衛門 他2名 | 野田小十郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

山裾織布場文書目録

(和歌山市坂田)

目 次

山裾織布場文書解題

| | | |
|---|--------------|-----|
| 一 | 山裾織布場と綿ネル製造業 | 148 |
| 二 | 分類項目の解説 | 151 |

山裾織布場文書目録(項目分類)

| | | |
|----|----------|-----|
| 1 | 綿布・綿ネル製造 | 155 |
| 2 | 運送・販売 | 161 |
| 3 | 金融 | 162 |
| 4 | 前渡貸金借用証書 | 162 |
| 5 | 職工 | 168 |
| 6 | 税金 | 168 |
| 7 | 組合・学校 | 169 |
| 8 | 品評会 | 176 |
| 9 | 法令 | 176 |
| 10 | 刊行物 | 176 |
| 11 | 職工届 | 177 |
| 12 | 所有株式 | 177 |
| 13 | 金銭貸借 | 179 |
| 14 | 不動産売買・貸借 | 180 |

山裾織布場文書目録(編年)

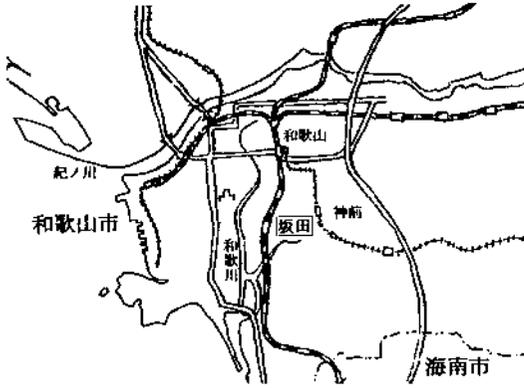
| | | |
|----|---------------|-----|
| 15 | 農地小作 | 180 |
| 16 | 戸長 | 180 |
| 17 | 政治 | 180 |
| 18 | 融金収支 | 181 |
| 19 | 履歴・系譜 | 181 |
| | 山裾織布場文書目録(編年) | 182 |

山裾織布場文書解題

一 山裾織布場と綿ネル製造業

山裾織布場文書三四八点は和歌山県立図書館の旧蔵文書で、文書館には平成五年（一九九三）の開館にともなうて移管された。

山裾織布場とは、和歌山県名草郡三田村大字坂田（現和歌山市坂田。地図参照）にあった綿布・綿ネル（綿フランネル）製造業者で、明治十八年（一八八五）に創業（利用番号145。以下、文中の算用数字は利用番号を示す）し、三十一年には職工六人（174）、三十六年には一人（176）の経営規模となった。十数点を除いて文書のはほとんどは明治二十一年から四十三年までの製造・営業関係のものである。県の綿ネル業にとって、明治二〇年代末の日清戦後から三〇年代末の日露戦後までの期間は急激に技術の革新が進んだ時期とされるが、山裾織布場文書はこの期間を覆っている。ただ、山裾織布場文書をみる限り山裾織布場は和歌山市とその周辺に集中していた中小の綿ネル業者の一つであることは間違いなく、そうした観点からみていく必要がある。



綿ネルは、近世紀州の特産物紋羽織の伝統にふまえ、これに改良を加えてできた和歌山創製

表1 主要府県綿ネル生産額（明治27~33年）

| 年次 | 全国合計 | 和歌山 | 京都 | 大阪 |
|-------|--|-----------|-------------|------------------------|
| 明治27年 | 1,520,738 | 966,916 | 259,341 | 126,027 |
| 28 | 2,075,274 | 1,402,424 | 299,535 | 246,724 |
| 29 | 2,058,551 | 1,072,867 | 400,208 | 226,121 |
| 30 | { 2,134,277 3,250本 | 1,206,754 | 355,819 | 178,986 |
| 31 | { 2,726,720 4,406本 | 1,529,907 | 558,080 | 193,150 |
| 32 | { 1,637,454 9,624枚 27,483,922碼 117,533本 | 1,031,297 | 22,320,750碼 | { 84,907 5,163,172碼 |
| 33 | { 2,903,785 118,371本 | 1,135,736 | 760,901 | 532,783 |
| 金額 | | | | |
| 27 | 4,935,435 | 2,715,431 | 1,518,320 | 290,391 |
| 28 | 7,203,116 | 4,175,006 | 2,128,096 | 509,062 |
| 29 | 7,350,208 | 3,511,764 | 1,991,013 | 646,997 |
| 30 | 7,718,444 | 4,137,745 | 1,803,634 | 404,719 |
| 31 | 9,089,006 | 5,260,376 | 2,480,254 | 526,877 |
| 32 | 8,893,904 | 3,237,217 | 3,409,779 | 556,524 |
| 33 | 9,720,599 | 3,440,709 | 3,757,642 | 761,671 |

注『和歌山県織維産業史』による。

の織物である。県内のみならず、全国的にも近代工業発展の原動力となった産業といえる（表1、表2参照）。県内では明治初年に生産が始まったが、県も勸業政策の重点に綿ネル業を置き、創製者のひとりである平松芳次郎に明治九年以降、官金を貸与している（「和歌山県史料」）。平松は十七年には工場を閉じているが、ここで養成された職工が海部・名草・有田各郡などの地に綿ネル生産を広げていった（『紀州ネル誌』）。綿ネル製造業は明治十年代の後半から全国的に

表2 主要府県綿ネル生産額 (明治33~42年)

| 年次 | 全 国 | 和 歌 山 | 京 都 | 大 阪 |
|-------|---------------------------------------|------------|-----------|-------------------------|
| 明治33年 | { 2,903,785 118,371本 | 1,135,736 | 760,901 | 532,783 |
| 34 | { 2,030,887 116,596本 1,402,770碼 | 896,066 | 542,093 | { 161,083 1,402,770碼 |
| 35 | { 3,013,770 167,618本 53,300碼 | 1,589,110 | 485,623 | { 547,557 53,300碼 |
| 36 | { 2,858,952 4,071本 2,696,051碼 | 1,770,581 | 362,081 | { 144,552 2,696,051碼 |
| 37 | { 3,464,189 52,500本 | 2,169,356 | 216,868 | 169,223 |
| 38 | { 4,456,229 4,583本 45,000碼 | 3,358,971 | 176,300 | 198,335 |
| 39 | { 2,961,267 9,360本 30,000碼 | 1,766,722 | 160,350 | 230,184 |
| 40 | { 3,311,489 226本 | 1,876,218 | 473,951 | 313,808 |
| 41 | { 3,356,223 304本 | 1,383,834 | 446,815 | 701,317 |
| 42 | { 3,459,185 3,853本 | 1,451,640 | 704,231 | 506,065 |
| 33年 | 9,720,599 | 3,440,709 | 3,757,642 | 761,671 |
| 34 | 8,230,132 | 3,259,438 | 2,626,334 | 593,230 |
| 35 | 10,968,426 | 6,067,210 | 2,350,646 | 722,340 |
| 36 | 10,623,410 | 6,184,904 | 1,621,236 | 677,347 |
| 37 | 10,932,890 | 6,611,789 | 1,007,463 | 439,919 |
| 38 | 12,693,616 | 7,768,879 | 1,381,965 | 556,950 |
| 39 | 13,726,527 | 8,418,659 | 1,309,232 | 695,495 |
| 40 | 16,993,838 | 10,412,949 | 2,585,696 | 1,120,399 |
| 41 | 14,232,351 | 7,426,685 | 2,464,049 | 1,076,497 |
| 42 | 18,241,053 | 8,709,840 | 4,095,817 | 2,185,841 |

数 量 (単位を特記しないものは反)

金 額 (円)

も発展していく。
山裾織布場文書の早い時期のものとして明治九年の「出勤録」(28)と十八年の「万控帳」(11)がふくまれているが、これは手織織機による工場内での機織および外部への賃機に関する史料である。十六年には最初の近代的紡績工場である大阪紡績会社が設立されるが、和歌山での最初の紡績工場は二十二年につくられた和歌山紡績会社(和紡)である。しかし、山裾織布場がこの和紡から機械紡績糸を直接購入し

た形跡はない。三十年代後半から四十年にいたっても、原料糸は個人経営の商店から購入している(188・217)。この原料糸がどのような種類のものであったのかはわからない。
山裾織布場文書には三十二年まで製糸・織布および染色以外の工程を示す史料は含まれていない。製品の販売を示す帳面(29)にも綿布生地以外は書かれていない。三十二年まで、山裾織布場の業務内容は綿ネル生地も含めた綿布の製造が中心であつたらしい。もっとも、二

注『和歌山県織維産業史』による。

十七年には内国勸業博覧会に綿ネル三種を出品しているから、綿ネルを全く手がけていなかったわけではないようである。変化が起きるのは三十三年である。この年以降、和歌山起毛合資会社・吉田染工場・吉川染工場などの製品受渡しを示す史料が加わりはじめる(綿ネル製造の分類項目)。
山裾織布場ではこの時、営業品目を綿布生地以外にも拡大し、織布以降の工程を外部の工場に委託して綿ネル製品として完成させ販売していったことがわかる。
綿ネルの生産は織布業・起毛業・捺染業などがネル商を中心にした分業体制をとっていたといわれる。しかし、山裾織布場の場合は右のような経緯からして、綿布地の織布業を営んでいた山裾織布場が起毛会社・染工場・捺染工場などに綿ネル製造を委託して分業をおこなっていたことがわかる。
一般に、紀州ネルは白地または無地物が

中心で、色物は糸糸を織ってつくられていたが、十五、六年ごろから糸糸によって柄物の織込みネルがつくられ始めた。二十二年ごろから柄模様を刷る捺染法が始り三十一年からは輸入捺染機械による工場ができた。三十三年八月には和歌山にも紀州綿布精工株式会社でできた。しかし、山裾織布場ではこの会社とではなく、同年九月に開業した大阪堺の吉川工場に、三十七年以降、捺染を発注している(24・257・260・12)。吉川工場には山裾織布場から製品を渡すのではなく、波多野起毛工場に送っていた製品を山裾織布場に戻すことなく直接吉川工場に納入するかたちをとっている(24)。また、捺染を取入れ始めたからといって織込みネルの製造を中止したわけではなく、糸糸も同時に行なっている(20・206・12)。

二十六年には、和歌山にも機械織布を行う和歌山織布株式会社がつくられ、綿糸業界で機械捺染が軌道にのりはじめた時期に綿糸生地を生産にも参入する。しかし、織布業である山裾織布場はこの会社から製品を購入しているわけではない。山裾織布場では工場での織布か外部での賃機が行われていた。七七点におよぶ借入金証書(前渡賃金借用証書の分類項目)は工場での女工および賃機女工の前渡し賃金の借用証書である。賃機女工は、地元の三田村を中心に、有田・日高両郡にまでわたっている。また、織り上がった生地の受取りを示す三十六年の史料(6・7・8)も残り、以後、時期はかなり下るが昭和五年(一九三〇)の織布職工の給料明細帳(53)にまで続いている。明治三十九年一月から十二月までの判取帳(12)は重要である。ここにはこの期間に山裾織布場から作業を受注し代金を受取った作業所の受領印が捺されている。この判取帳をみることによって山裾織布場の取引関係を明らかにすることができる。ここには糸店・染工場・捺染場・起毛会社がかかれていますが、賃機は記されておらず、また和歌

山紡績株式会社・和歌山織布株式会社や捺染の紀州精工株式会社ものっていない。

二十二年には洪水が起り県内のほとんどの工場が大きな被害を被っているが、山裾織布場文書には洪水を物語るような史料は入っていない。

和歌山でも綿糸織物業が増えてきたため、十七年に和歌山海部・名草二郡綿フランネル織物業組合ができ、和歌山色染講習所も十八年につくられている(二十九年、和歌山市海草・有田二郡綿フランネル織物業組合に改称。三十二年、紀州ネル同業組合立紀州染織学校を設立。なお、134・135には、「明治廿八年十二月迄組合規約ニ基キ織布停止相成り候」とある)。三十六年には紀州ネル同業組合が発足している。山裾織布場文書にも二十二年からの組合史料が入っている(組合・学校の分類項目)。営業主山裾孫兵衛は、三十年紀州ネル外三種織物業組合の海草郡創立委員に任命され(285・281)、三十二年には、紀州ネル染織同業組合の発起人となっている(315)。

県内の綿糸業が活況を続ける中で、三十七年二月には、県内の綿糸業界向け雑誌『綿糸世界』(47)が和歌山市の綿糸世界社によって創刊された。日露戦後にあたって、海外に綿糸の販路を拡大することが和歌山の経済活性化につながるとの見地から出版されたものである。

先にも述べたように二十二年には和歌山織布株式会社がつくられ、三十年代の前半から綿糸生地の生産にもりだした。同業になる山裾織布場はここから綿糸生地を仕入れることはしなかったのだが、営業主の山裾孫兵衛はこの会社の株式を購入している(所有株式の分類項目)。

当主山裾孫兵衛は「山裾家系譜写」(145)によれば、田辺安藤家旧

臣で、明治二年、田辺藩廃藩後坂田村に帰農し、十八年から綿ネル製造業を創業している。履歴(281)によれば明治十六年四月に坂田村の戸長を務めている(283)が、「任和歌山県名草郡坂田村戸長」という書き方からすると戸長を務めたのはこの一期だけだったようである。二十三年五月には三田村会議員に当選し、少なくとも三十六年まで務めている。また二十九年四月には「第一回紀州ネル外五種織物品評会審査員」の囑託となっている。

山裾織布場文書に限り、編年目録も掲載した。項目に分類しない編年目録をみることによって、山裾織布場の事業がどのように変遷していかかがよくわかるからである。

(綿ネル業全体の動きに関しては『和歌山県史』近現代一を参照した)。

二 分類項目の解説

山裾織布場文書は表3のように分類した。以下、項目ごとに分類の基準と分類史料の概要を述べていくことにする。

表3 分類項目一覧

| | |
|----|----------|
| 1 | 綿布・綿ネル製造 |
| 2 | 運送・販売 |
| 3 | 金融 |
| 4 | 前渡貸金借用證書 |
| 5 | 職・工 |
| 6 | 税金 |
| 7 | 組合・学校 |
| 8 | 品評会 |
| 9 | 法令 |
| 10 | 刊行物 |
| 11 | 職工届 |
| 12 | 所有株式 |
| 13 | 金銭貸借 |
| 14 | 不動産売買・貸借 |
| 15 | 農地小作 |
| 16 | 戸長 |
| 17 | 政治 |
| 18 | 醸金収支 |
| 19 | 履歴・系譜 |

1 綿布・綿ネル製造(八〇点)

山裾織布場経営の基本部分にかかわる史料を集めた。「一 山裾織布場と綿ネル製造業」でも述べたように、綿ネルの生産工程は綿糸の

製造から始って、染織・織布・起毛・捺染と続く。一つの史料が複数の工程にかかわり工程ごとに史料を区分することは不可能なため、まとめてここに入れた。「一」でも簡単に触れたが、「職工品買入記」(4)・「改良色染寛アリジャリン法」(26)は「褐色染法」「黄色染法」から始り「褐色」「モミ緋色」「コチニール暗赤色」などいたる、おびただし数の色彩を出すための染料の調合法が細かく記されている。また、32・33・34・35・36には綿ネルの染色見本の現物が並べられている。色彩の数の多さと鮮やかさには驚かされるのであるが、それは実に一〇〇年ほど前の見本なのである(写真1・2参照)。

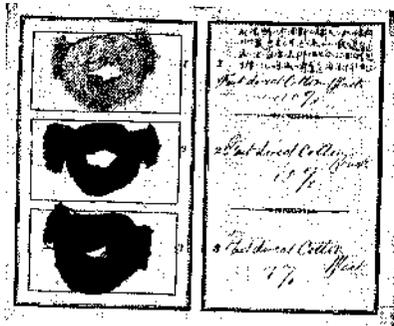


写真1 「染色標本」(32)

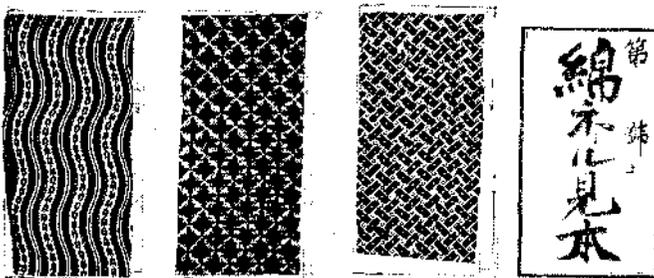


写真2 「綿ネル見本」(34)

2 運送・販売（一二点）

製品となった綿布・綿ネルの卸・小売関係の項目とした。ほとんどが貨物の運送伝票である。その中で、大冊である「万当座扣帳」（29）は、唯一残された、小売店等への卸台帳である。冒頭には大阪・東京を始め、名古屋・新潟などの主として小売商の名前が「御得意様御記名」の項に記されている。はられた名刺には綿ネル商にまじって「貿易商」の名前も見える。ついで、日を追って、あるいは得意先ごとに、「買卸した製品の数量・金額が記録されるが、銀行の預入額、墓所修繕費用、結婚御祝儀控、国債・関西鉄道株式会社債の番号控なども記されている。中には病気になるた女工に返還した「敷金」も書かれていて、女工が寄宿生活をしていたことが予想できる。

3 金融（六点）

銀行からの借入金・手形勘定など、銀行との取引に関する史料を集めた。

4 前渡貸金借用証書（七七点）

山裾織布場での織布には、女工の工場労働によるものと外部での賃機によるものとがあった。ここに集めた証書のほとんどは、女工が工場に奉公に出る際の借用金証書と、賃機を受けるにあたっての約定金借用証書とされている。しかし、借入金は実際には前渡し貸金であり、労働を担保にした借金であった。証書にはほかに、糸繰（117）や炊事雑用（132）などに従事する者の分もある。金額は三円ほどのものが多いが、中には二五円、三〇円のものもある。金額の高低は証書面からはわからない。約定金は無利足で、返済は請機金あるいは女工給金の内から一年間で行うものとなっている。賃機の約定期間は一年間に限っ

ているものがほとんどで、「御約束限日中、他家之機織一切致間敷候、若違約致候ハ、本行借入金元額へ一倍ヲ加へ其御許殿へ損害弁償可致候」と厳しい制約を設けていた。

5 職工（八点）

出勤録や給料明細帳など、工場の女工に関する史料をここにおいた。「給料明細帳」（53）は日次、月次の給料明細のほか、女工の評価も書かれている。「仕事ニ熱心デスガ、主人ガ病氣デ朝ハ遅ク晩ハ早イ為メ幾分仕事ハ出来ナカッタノハ御氣ノ毒デスガ、主人モ追々良クナリマスカラ明日ハ良く出来マス、大事ノ時デスカラ主人ニ養生スル様、自分モ身体ヲ特大切ニスベシ」、「初メ内ハ勝手ガ悪ク余リ仕事ハ出来ナカッタガ機具合ハ良クナリ日ノ中バ頃カラ良ク出来マシタ明日ハ仕事ハ良ク出来マシヨウ」と総じて長所を取上げている。ただ、中には、「未ダ若イノデスカラ倦カズ熱心ニヤツテ下サイ、先ハ長イカラ本日ハ手平ノ方ヘ手ガ引ケマシタカラ割合ニ仕事ハ出来テマセンガ、明日ハシツカリヤマシヨ」と注文を付けている例もある。

6 税金（二点）

ここに収めたのは税金関係の史料であるが、課税高のみならず、例えば「明治三十一年営業名及課税標準届」を見ると、資本金や建物の規模、従業者内訳なども知ることができる。

7 組合・学校（九二点）

明治十七年以降和歌山にも設立された綿ネルの組合・学校に関する史料である。出版物、組合の分担金領収書に加えて、女工鑑札料・下請鑑札料領収書なども含まれている。

8 品評会(二点)

博覧会・品評会の史料である。「(第四回内国勸業博覧会) 出品願」(251)は、明治二十七年に山裾孫兵衛が出品した目録で、綿ネル一反が三点書かれている。

9 法令(二点)

法令の項である。「法律第四拾七号ノ写」には、表紙に「和歌山県ネール実業談話会幹事印章」の印が押されている。

10 刊行物(五点)

雑誌・紀要・冊子を集めた。『綿ネル世界』(47)は、日露戦直後の明治三十七年二月に県内で出された綿ネルの業界向け雑誌として注目に値する。

11 職工届(八点)

海草警察に提出された職工届である。人数届の文末には「患者、死者なし」(180)、職工氏名の届では、氏名の後ろに「四月一日夜逃亡シヌ」、「去年五月三日夜逃走」(177)などと書かれている。衛生や治安の上での取締であったことがわかる。「御届(職工人数二付)」

※離形(175)の欄外には「任意 七月分差出より此乃書き方に変更せり」と書かれているが、提出が任意なのか形式が任意なのかはよくわからない。

12 所有株式(二八点)

山裾孫兵衛と山裾(阪田)たかは和歌山織布株式会社の株式を所有していたが、この項に入れているのは和歌山織布株式会社が株主に宛

てて発行した書類である。営業報告書(37~44)の末尾には株主姓名表が付けられているため、特に金融界との人的つながり、中小の綿ネル業者の資本参加などをみることが出来る。この表から、孫兵衛は明治二十九年下半期に二〇株、三十年下半期から三十六年下半期までは四〇株、また、たかは二十九年下半期から三十三年上半期まで二〇株を所有していたことがわかる。この間、発行株式数は一万四千株で変わらないものの、株主数が二十九年下半期の三二九人から三十六年下半期の二二八人に減少している。また、筆頭株主は移動しているものの、その所有株式数は、同じく四二〇株から一〇〇〇株へと集中している。また、孫兵衛は和歌山県農工銀行の株式も所有していたようである(313・314)。

13 金銭貸借(三点)

14 不動産売買・貸借(三点)

15 農地小作(三点)

16 戸長(一点)

17 政治(二点)

18 醸金収支(一点)

この六項目に関しては、本業の綿布・綿ネル業と直接の関係はない。「戸長」の項の「医領(療)開業副願」は戸長名の残る唯一の史料である。

「醸金収支」の項の「年醸金収支・支部経費収支」は生命保険か無尽の決算書らしい。

19 履歴・系譜(三点)

概略は一で述べた。

〔付記〕 脱稿後、偶然にも山裾織布場文書一九点の移管があった。

内訳は、明治十六年前後の戸長文書一点、納税証書一五点などである。目録も含め詳細は『収蔵史料目録』二で記す。

解題 遊佐 教寛

目録 高橋めぐみ

細谷 勘介

遊佐 教寛

山裾織布場文書目録 (項目分類)

1 綿布・綿ネル製造

| 利番号 | 標 題 | 年 代 | 作 成 者 | 宛 名 | 形 態 |
|-----|-----------|---------|----------------------|-------|-----|
| 17 | 職工品受渡原簿 | 明治25年9月 | 持山裾織工場和田常マツ君受 | | 縦 帳 |
| 14 | 職工品受渡明記簿 | 明治25年8月 | 元山本由太郎君古帳 西岡藤之左衛門 | | 縦 帳 |
| 1 | 製布通 | 明治25年4月 | 山裾孫兵衛 | 池田織工所 | 横半帳 |
| 13 | 金銭布糸受渡原簿 | 明治25年2月 | 山裾織布場 | | 縦 帳 |
| 3 | 撚糸受渡扣 | 明治25年2月 | 中島工場 | | 横半帳 |
| 9 | 綿ネル之通 | 明治24年7月 | 中尾商店 | 山裾孫兵衛 | 横半帳 |
| 5 | 職工品及金銭受渡扣 | 明治22年 | | | 横半帳 |
| 18 | 金銭布糸受渡原簿 | 明治22年2月 | 外山君受持 | | 縦 帳 |
| 4 | 職工品買入記 | 明治21年 | 中嶋工場 | | 横半帳 |
| 2 | 織工ノ通 | 明治21年 | 中島工場 | | 横半帳 |
| 11 | 万控帳 | 明治18年1月 | 坂田村山裾氏 | | 横半帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------------|-------------------------------|---------------------|------------|---------------|---------------|------------------------------|---------|---------|-------|----------|--------------|-------------|
| 6 | 264 | 255 | 183 | 48 | 263 | 262 | 172 | 15 | 10 | 27 | 16 | 26 | 216 |
| 金銭職工品請渡通 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | (金物代金請求ニ付書状) ※別紙明細書(183)あり | 明細書(納品書) ※255の別紙 | 送付録 ※用箋 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 記(綿ネル関係金銭仕切書) ※1月17日付返書あり | 職工品受渡原簿 | 綿ネル通 | 改良色染 | 職工品受渡記明簿 | 改良色染覚アリジャリン法 | 証(請取証) |
| 明治36年2月 | 明治34年10月11日 | 明治34年6月28日 | 明治34年6月28日 | 明治33年 | 明治33年9月17日 | 明治33年8月11日 | 明治33年1月15日 | 明治32年2月 | 明治29年6月 | 明治27年 | 明治26年3月 | 明治26年2月 | 明治25年11月25日 |
| 山裾織布場 | 和歌山起毛合資会社 | 打田安太郎商店 | 打田安太郎商店 | | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 紀伊国名草郡坂田 山裾孫兵衛 | 山裾織工場 | 山裾彦三郎 | | 山裾織工場外山君 | 角野峯之助 | 保田喜三郎 |
| 坂田ミツ | 山裾 | 阪田南山裾孫兵衛 | 阪田南山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 石田万兵衛 | | | | | 山裾様織布場 | 山裾孫兵衛 |
| 横半帳 | 一紙 | 一紙 | 縦綴 | 縦帳 | 一紙 | 一紙 | 縦綴 | 縦帳 | 横半帳 | 横半帳 | 縦帳 | 横半帳 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|---------------|------------|---------------|-----------|---------|-----------|---------------|-----------|---------------|----------|----------|
| 258 | 212 | 257 | 268 | 213 | 267 | 23 | 20 | 22 | 266 | 217 | 265 | 8 | 7 |
| 捺染納附通知書 | 送伝票 | 捺染納附通知書 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 送伝票 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 起毛艶附請渡簿 | 色染通 | 起毛艶付計算簿 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 請求書 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 金銭職工品請渡通 | 金銭職工品請渡通 |
| 明治37年5月27日 | 明治37年5月27日 | 明治37年5月25日 | 明治37年5月20日 | 明治37年5月20日 | 明治37年5月18日 | 明治37年1月 | 明治37年1月 | 明治36年 | 明治36年8月21日 | 明治36年4月1日 | 明治36年3月30日 | 明治36年2月 | 明治36年2月 |
| 吉川捺染工場 | 工場 | 吉川捺染工場 | 和歌山起毛合資会社 | 工場 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 吉田染工場 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 竹中糸店 | 和歌山起毛合資会社 | 山裾織布場 | 南山裾織布場 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾職工所 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫 | 松村くす | 島津なつ |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横半帳 | 横半帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------------|-----------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------|------------|------------|
| 12 | 275 | 274 | 273 | 272 | 206 | 280 | 271 | 270 | 269 | 24 | 19 | 260 | 259 |
| 判取帳 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 仮記(仮領収書) | 〔起毛請負願状〕 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 起毛艶附捺染金銭出入控帳 | 起毛通 | 捺染納附通知書 | 捺染納附通知書 |
| 明治39年1月 | 明治37年10月30日 | 明治37年10月30日 | 明治37年10月22日 | 明治37年10月22日 | 明治37年10月7日 | 明治37年9月9日 | 明治37年9月8日 | 明治37年8月9日 | 明治37年7月25日 | 明治37年5月 | 明治37年5月 | 明治37年5月29日 | 明治37年5月29日 |
| 山裾織布場 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山市近町 染料商滝波芳太郎 | 岡起毛工場 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 南山裾織布場 | 波多野起毛工場 | 吉川捺染工場 | 吉川捺染工場 |
| | 山裾孫 | 山裾孫 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾御盛店儀 | 山裾 | 山裾 | 山裾 | | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 横半帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|---------------------|---------|----------|---------------|-----------|----------------------|---------------|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 218 | 190 | 207 | 189 | 191 | 291 | 173 | 308 | 261 | 188 | 279 | 278 | 277 | 276 |
| 請求書 | 記(代金書付) | 仮記(仮領収書) | 記(代金書付) | 仮記(仮領収証) | [白六枚貸金之儀ニ付書状] | [起毛艶付受渡簿] | [開業通知状] | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 記(代金書付) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) |
| 12月24日 | 10月26日 | 9月22日 | 9月1日 | 8月14日 | 5月13日 | 5月5日 | 明治41年3月 | 明治40年8月11日 | 明治40年5月14日 | 明治39年11月25日 | 明治39年11月19日 | 明治39年11月17日 | 明治39年10月30日 |
| 竹中糸店 | 丸松 | 和歌山市米屋町角染料商 和田庄藏 | 丸松 | 起毛部 | 和歌山起毛会社 | 和歌山起毛合資会社 | 綿ネルブローカ商岩本菊次 郎他1名 | 波多野起毛工場 | 滝野糸店 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 阪田村山裾 | 山裾 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾たか | 山裾卸商店 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾 | 山裾 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------------|------|------------------------|--------------------------|---------|-------------|-------|-----------------------------|--------|-------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 292 | 256 | 219 | 50 | 49 | 36 | 35 | 34 | 33 | 32 | 30 | 25 | 21 |
| 〔諸商人織工場へ入ルヲ許サズノ貼紙〕 | 〔代金書付〕 | 請求書 | 綿ネル受渡伝票 ※用箋、明治30年代か | 売買契約証 ※用箋、印刷物、明治30年代か | 〔綿ネル見本〕 | 〔綿ネル見本〕 | 綿ネル見本 | Print (綿ネル見本) | 染色標本 | 金銭職工品受渡原簿 ※明治か | 改良色染覚簿 ※明治か | 記 (色染高集計) ※20に挿入、明治か 20-2 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | (三友起毛合資会社) | 滝野米店 | 田淵起毛場 | | | 北新地式丁目 吉増工場 | | Manufactured by Yamasuso | 山田染料商店 | | 名草郡坂山山裾織布場色染 博士山裾性 | (吉田染工場) |
| | 山裾 | 山裾 | 山裾御店 | | | | | | | | | (山裾職工所) |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横半帳 | 一紙 |

2 運送・販売

| | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|---------------------|-----------------------|-------------|-------------------|---------|--------------|--------------|
| 301 | 300 | 299 | 298 | 202 | 203 | 297 | 184 | 199 | 29 | 204 | 205 |
| 〔綿ネル通送原票〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 〔領収書〕 | 〔領収書〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 定約運賃割戻シ金取調書 | 通送貨物受取証 | 万当座扣帳 | 通運物受取証 | 通運物受取証 |
| ※用紙 | ※用紙 | ※用紙 | ※用紙 | | | | | | | | |
| | | | | 11月21日 | 9月9日 | 明治29年5月21日 | 明治29年1月10日 | 明治28年12月18日 | 明治27年1月 | 明治26年8月27日 | 明治25年7月12日 |
| | | | | 熊谷 | 和歌山市別荘橋北詰 熊谷菅野支店 | 紀伊国名草郡坂田 山裾孫兵衛 | 大坂熊谷回漕店 他1店 | 和歌山市米屋町浜 保田回漕店 | 山裾ネル商店 | 国内通運会社和歌山代理店 | 国内通運会社和歌山代理店 |
| | | | | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 本県有田郡藤並村大字野田 山裾出張店 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾 | 山裾 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 罫帳 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 |

3 金融

| | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|
| 210 | 209 | 211 | 208 | 193 | 194 |
| 記(受取証) | 記(受取証) | 当座勘定入金通知書 | 通知状(約束手形期日ニ付) | 証(領収証) | 証(領収証) |
| 明治31年8月24日 | 明治31年7月16日 | 明治29年6月26日 | 明治27年8月28日 | 明治26年7月25日 | 明治25年7月21日 |
| 合名会社三井銀行和歌山支店 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 第四十三立国銀行 | 第四十三国立銀行 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

4 前渡貸金借用証書

| | | | | | |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|--------------|-----------------------|
| 79 | 64 | 57 | 61 | 76 | 60 |
| 借用金証 | 金借用証書 | 借用金約定証 | 約定金借受証 | 約定金借用証 | 約定金借受ケ証 |
| 明治24年7月25日 | 明治24年7月 | 明治25年1月 | 明治25年8月25日 | 明治26年1月 | 明治26年2月8日 |
| 名草郡和佐村大字柳宜稲田音楠同居川口ハルエ 他1名 | 海マ郡和歌村大字和歌西本音吉 他1名 | 名草郡三田村大字和田本人和田ツルの 他1名 | 名草郡安原村大字本渡借受人山本由太郎 他1名 | 和歌山市老里山小上ふみエ | 名草郡亀川村大字多田借受人吉田イソ 他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------------|---------------------|-------------------------|-----------------------------|---------------|--------------------------|-----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------|---------------------------|--------------------------|
| 134 | 80 | 124 | 122 | 81 | 126 | 130 | 77 | 75 | 128 | 123 | 121 | 119 | 82 |
| 借入金証書 | 金子借用并返済ニ付約定証書 | 借入金証書 | 借入金証書 | 金子借用并返済ニ付約定証書 | 金子借用并返済約束証 | 金子借用并返済ニ付約束証書 | 約定金借受証 | 約定金借受証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 |
| | | 71 -6 | 71 -4 | | 71 -8 | 71 -12 | | | 71 -10 | 71 -5 | 71 -3 | 71 -1 | |
| 明治27年9月21日 | 明治27年2月26日 | 明治27年1月 | 明治27年1月 | 明治27年1月31日 | 明治27年1月24日 | 明治27年1月21日 | 明治26年12月 | 明治26年2月10日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 |
| 名草郡日方村本人森ヲトノ 他1名 | 名草郡大野村奥谷中兵衛 他1名 | 名草郡安原村大字吉原本人 (名前欠) 他1名 | 有田郡八幡村大字楠本 如中徳三郎 | 名草郡三田村大字坂田田中 ゆはへ 他1名 | 有田郡藤並村大字下津野借 用入中山藤史朗 他1名 | 本人山本だい 他1名 | 名草郡亀川村大字多田借主 辻きくゑ 他1名 | 名草郡安原村大字仁井辺借 受人南出タケノ 他1名 | 名草郡安原村大字本渡借受 人寺下しげ 他2名 | 名草郡亀川村大字多田吉田 人小山ヲキエ 他1名 | よしの 他2名 | 名草郡安原村大字本渡借受 人坂本岩吉 他1名 | 名草郡亀川村大字且来借受 川端ハナ 他1名 |
| 木野勝次郎 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 大字坂田山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 綴り | 綴り | 一紙 | 綴り | 綴り | 一紙 | 一紙 | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|-------------------|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|------------|-------------------|------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------|
| 92 | 105 | 63 | 112 | 131 | 97 | 95 | 101 | 103 | 62 | 129 | 104 | 120 | 135 |
| 約定金借用証書 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 借用金証書 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 金子借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 金子借用并返済ニ付約定証書 | 借用金証書 |
| | | | | | | | | | | 71-11 | | 71-2 | |
| 明治32年1月19日 | 明治31年1月18日 | 明治30年3月 | 明治30年2月10日 | 明治30年1月 | 明治30年1月 | 明治29年4月8日 | 明治29年1月 | 明治28年9月15日 | 明治28年3月 | 明治28年2月11日 | 明治28年1月21日 | 明治27年 | 明治27年12月28日 |
| 海草郡三田村大字阪田本人 坂本きくへ 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 田中ゆはへ 他1名 | 和歌山市本人才賀マツ 他1名 | 有田郡宮崎村大字野村本人 久米田つまへ 他1名 | 海草郡安保村大字本渡本人 本渡り中村為八 他1名 | 海草郡三田村大字田尻本人 吉川刀吉 他1名 | 和歌山市御差町老丁目本人 才賀鹿之助 他1名 | 名草郡安原村大字吉原本人 山本菊松 他1名 | 坂田春松 他1名 | 日方村借用人森よしゑ 他1名 | 海草郡三田村大字田尻新山 村春 他1名 | 名草郡三田村大字坂田織工 人 他1名 | 日高郡萩原村崎山をシカ 他1名 | 和歌山県本人武内ヲテイ 他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 木野勝次郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 綴り | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------------------|---------------------|---------------------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|-------------|------------|-----------------------------|
| 90 | 85 | 132 | 78 | 108 | 70 | 87 | 88 | 86 | 133 | 109 | 89 | 66 | 74 |
| 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 |
| 明治34年2月 | 明治34年2月5日 | 明治33年1月 | 明治33年1月 | 明治33年1月27日 | 明治33年1月27日 | 明治33年1月26日 | 明治32年10月30日 | 明治32年2月 | 明治32年2月10日 | 明治32年1月 | 明治32年1月 | 明治32年1月 | 明治32年1月30日 |
| 明石長太郎 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 吉村こなみ 他1名 | 海草郡亀川村大字多田かつ 他1名 | 海草郡三田村大字坂田本人 上野さくへ 他1名 | 日高郡稲原村大字印南原塩 路嘉右衛門姪堀路まつ 他1名 | 日高郡稲原村印南原又七二 女平野ひで 他1名 | 日高郡稲原村大字印南原孫 右衛門長本人成田ゆき 他1名 | 日高郡御坊新町田中鹿蔵妹 本人稲垣とめ 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 阪田とくへ 他1名 | 海草郡三田村大字阪田買主 高知安右衛門 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 西かめの 他1名 | 本人岡本クニヨ 他1名 | 本人山本だい 他1名 | 海草郡三田村大字阪田岩松 長女田中ゆはへ 他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|---------------------|---------|-------------------------|----------------------|------------------------|---------------------|---------------------|-------------------------|---------------------|----------------------------|-------------------------|-----------|
| 94 | 58 | 102 | 65 | 68 | 113 | 96 | 84 | 114 | 59 | 69 | 116 | 117 | 115 |
| 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 借用金証書 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 |
| 明治36年1月16日 | 明治35年12月 | 明治35年11月30日 | 明治35年8月 | 明治35年2月 | 明治35年2月29日 | 明治35年2月29日 | 明治35年2月19日 | 明治35年2月6日 | 明治35年1月 | 明治35年1月28日 | 明治34年10月 | 明治34年2月 | 明治34年2月 |
| 日高郡稲原村大字印南原本人成田ゆき 他1名 | 和歌山県日高郡由良村大字横浜本人尾井しん 他1名 | 海草郡三田村大字阪田地原政太郎 他1名 | 上杉梅吉 | 有田郡保田村大字辻道松本忠次郎長男本人松本善助 | 日高郡稲原村大字印南原成田おはぎ 他1名 | 日高郡稲原村大字印南原本人成田おゆき 他1名 | 海草郡三田村大字阪田吉村吉太郎 他1名 | 海草郡三田村大字坂田奥の民之助 他1名 | 有田郡宮崎村大字竜ノ浜三之助妹本人上野山あさの | 海草郡三田村大字坂田坂田シカノ 他1名 | 海草郡三田村大字阪田左ぬい兄借用人高畑由太郎 他2名 | 海草郡三田村大字阪田引受人父吉村吉太郎 他1名 | 印南原成田孫右衛門 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------------|------------------|----------------------------|----------------------------|----------|------------------------|---------------------|-----------------------|----------|-----------------------|----------------------|-------------------------------|-------------|
| 110 | 91 | 73 | 72 | 71 | 98 | 67 | 99 | 100 | 118 | 107 | 106 | 93 | 83 |
| 約定兼借用金証書 | 約定兼借用金証書 | 約定兼借用証書 | 約定兼借用金証書 | 約定兼借用証書 | 約定兼借用金証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証 |
| 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年2月 | 明治37年2月1日 | 明治36年4月23日 | 明治36年2月 | 明治36年1月 | 明治36年1月 | 明治36年1月 | 明治36年1月 | 明治36年1月19日 |
| 日高郡稲原村大字印南原平野又七 他1名 | 有田郡湯町北道本人由良治助代証人本下虎之助 他1名 | 有田郡湯北町本人北野新助 他2名 | 有田郡湯浅新屋敷本人水井清助代証人本下虎之助 他1名 | 有田郡湯浅町本人宮崎留吉代人湯浅町本下虎之助 他1名 | 松本善助 | 海草郡三田村大字坂田本人嶋津沢右衛門 他1名 | 日高郡稲原村大字印南原平野ひで 他2名 | 日高郡川中村大字サイ本人花路をかつ 他4名 | 田中徳松 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人阪田はるゑ 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人大畑徳松 他1名 | 海草郡三田村大字坂田高畑安右衛門妻借用人高畑ヒサノ 他1名 | 本人松村くすえ 他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | |
|-----|----------|---------|---------------------------|-------|----|
| 111 | 約定兼借入金証書 | 明治37年3月 | 有田郡湯淺新屋敷本人虎尾政楠代証人本下虎之助他1名 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |
|-----|----------|---------|---------------------------|-------|----|

5 職工

| | | | | | |
|-----|-----------------|---------|--------|-------|----|
| 28 | 明治九年中出勤録 | 明治9年 | 山裾氏 | | 横帳 |
| 51 | 雇人勤怠簿 | 明治23年1月 | | | 横帳 |
| 53 | 給料明細帳 | 昭和5年 | | | 縦帳 |
| 289 | 〔マツ一先婦村為致度ニ付書状〕 | 6月3日 | 塩路嘉右衛門 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |
| 52 | 日雇扣 | | 山裾家 | | 横帳 |
| 144 | 職工人賃金定 | | | | 一紙 |
| 250 | 定(職工賃金ニ付) | | | | 一紙 |
| 288 | 〔前給御貸被下度ニ付書状〕 | | 井領嘉助 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |

6 税金

| | | | | | |
|-----|---------------------|-----------|------------------------|--------------|---|
| 174 | 明治三十一年營業名及課税標準届 | 明治32年1月 | 海草郡三田村大字阪田六百四十五番地山裾孫兵衛 | 大坂稅務管理局長・司稅官 | 綴 |
| 200 | 〔所得高中告請求〕 | 明治34年6月7日 | 和歌山稅務署 | 海草郡三田村山裾孫兵衛 | 書 |
| 293 | 明治三十八年中毛織物以外ノ織物販売高届 | 明治38年 | 織物販売人 | 和歌山稅務署長川島準次郎 | 紙 |

7 組合・学校

| | | | | | |
|-----|------------------|------------|----------------|------|----|
| 240 | 記 (領収証) | 明治24年4月22日 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 中嶋義博 | 一紙 |
| 247 | 記 (領収証) | 明治22年7月17日 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 中嶋義博 | 一紙 |
| 246 | 記 (領収証) | 明治22年6月 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 中嶋義博 | 一紙 |
| 248 | 記 (領収証) | 明治22年6月19日 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 中嶋義博 | 一紙 |
| 149 | 綿フランネル織営業組合申合せ規約 | 明治22年3月 | | | 冊子 |

| | | | | | |
|-----|-----------------|-------------|----------------------|----------------------|----|
| 295 | 出機先 | | | | 一紙 |
| 253 | 織物製造又ハ買入高申告 | 明治43年 | 海草郡三田村大字坂田山裾たか | 和歌山税務署 | 一紙 |
| 252 | 織物製造又ハ買入高申告 | 明治43年 | 三田村坂田山裾たか | 和歌山税務署 | 一紙 |
| 254 | 〔織物製造又ハ買入高申告請求〕 | 明治41年12月20日 | 和歌山税務署 | 三田村大字坂田山裾たか | 一紙 |
| 284 | 所得金額決定御通知ニ付答申書 | 明治41年8月27日 | 海草郡三田村大字坂田山裾孫兵衛・山裾たか | 和歌山県税務所長税務官 宮田真三郎 | 一紙 |
| 201 | 製品移動申告 | 明治39年10月 | 和歌山市海草郡三田村大字坂田山裾たか | 和歌山税務署 | 葉書 |
| 296 | 印紙貼用免除申請書 | 明治38年 | | 和歌山税務署長川島準次郎 | 一紙 |
| 294 | 毛織物以外ノ織物製造兼販売申告 | 明治38年 | | 和歌山税務署長川島準次郎 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|---|---|----------------------------------|----------------|-------------------------------------|
| 158 | 222 | 223 | 224 | 232 | 233 | 221 | 241 | 242 | 170 | 157 | 150 | 239 | 156 |
| 明治廿七年度経費予算決議録 ※印刷物 | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 郡部監査駐在所設置費及自明治廿六年六月一日至翌年三月三十一日経費予算決議 ※印刷物 一部欠カ | 従明治廿六年四月一日至同廿七年三月三十一日事務所収支予算決議書 ※印刷物 | 明治二十六年四月改正綿フランネル織営業組合合規約 ※印刷物 | 記(領収証) | 明治廿四年四月ヨリ同廿五年三月マテ事務所収支予算決議案 ※印刷物 |
| 明治27年 | 明治27年10月 | 明治27年10月25日 | 明治27年9月7日 | 明治27年8月 | 明治27年4月11日 | 明治27年4月2日 | 明治26年7月 | 明治26年7月12日 | 明治26年6月1日 | 明治26年4月 | 明治26年4月 | 明治25年3月 | 明治24年4月 |
| | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | | | 綿フランネル織営業組合事務所 | |
| | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 阪田山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | | | 山裾孫兵衛 | |
| 反綴 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 反綴 | 冊子 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|-----------------|-----------------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|---------------|---------------|----------------------|---------------|---------------|
| 335 | 162 | 329 | 238 | 285 | 161 | 325 | 160 | 159 | 225 | 243 | 310 | 244 | 228 |
| 告知書(事務改善ニ付) | 明治三十年度経費収支予算決議録 ※印刷物 | 〔組合評議員会決議報告〕 | 証(領収証) | 〔織物業組合創立委員選定通知〕 | 明治廿六年度・明治廿七年・明治廿八年度収支決算報告 ※印刷物 | 〔五二会和歌山県綿ネル部発会式案内状〕 | 明治廿八年度経費予算議按 ※印刷物 | 明治廿八年度経費予算決議録 ※印刷物 | 証(領収証) | 証(領収証) | 告知書(積立金定引ニ付) ※印刷物 | 証(領収証) | 証(領収証) |
| 明治31年4月 | 明治30年 | 明治30年8月4日 | 明治30年7月30日 | 明治30年5月11日 | 明治30年1月 | 明治29年4月2日 | 明治28年 | 明治28年 | 明治28年11月29日 | 明治28年6月 | 明治28年6月15日 | 明治28年5月29日 | 明治28年5月26日 |
| 和歌山市海草郡有田郡綿フランネル織業組合取締所 浦野繁太郎 | | 和歌山市海草郡有田郡綿フランネル織業組合事務所 | 綿フランネル織業組合事務所 | 海草郡長平田綱一郎 | 綿フランネル織業組合事務所 | 五二会和歌山県綿ネル部長高橋貞他2名 | | | 綿フランネル織業組合事務所 | 綿フランネル織業組合事務所 | 大阪綿ネル商同盟会伊藤新次郎他13名 | 綿フランネル織業組合事務所 | 綿フランネル織業組合事務所 |
| | | | 山裾孫兵衛 | 海草郡三田村山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | | | | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------------------------|-----------------------|------------------------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------------------------|-------------|----------------|----------------|
| 331 | 312 | 315 | 333 | 322 | 230 | 164 | 163 | 226 | 231 | 326 | 220 | 227 | 229 |
| 第四部第五部七ヶ村地区織布賃金定価表 | (同盟) 協定書 | (紀州ネル染織同業組合創立總會開催通知状) | (製布下受人ニ対スル金監札下附ニ付告知) | (臨時組合總會協定要領通知) | 証(領収証) | 明治三十一年度経費収支予算書 | 明治三十一年度収支決算報告 | 証(領収証) | 証(領収証) | 契約書 | 領収証 | 証(領収証) | 証(領収証) |
| | ※印刷物 | | | ※印刷物 | | ※印刷物 | ※印刷物 | | | | | | |
| 明治32年7月 | 明治32年5月25日 | 明治32年5月18日 | 明治32年4月1日 | 明治32年2月18日 | 明治32年1月23日 | 明治31年 | 明治31年 | 明治31年12月23日 | 明治31年12月22日 | 明治31年11月 | 明治31年10月26日 | 明治31年7月 | 明治31年6月16日 |
| 綿フランネル織営業組合第四部第五部出張所 | 大阪市綿ネル商同業組合交渉委員中野長平 他6名 | 発起人岩崎富三郎 他58名 | 和歌山市海草郡有田郡綿フランネル織営業組合取締浦野繁太郎 | 綿フランネル織組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | | | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡有田郡綿フランネル織営業組合取締浦野繁太郎 他1名 | 紀州染色学校創業事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 |
| | | | | | 山裾孫兵衛 | | | 取扱所山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----------|----------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|--------------|---------------------------|---------------------------|------------|------------------------|----------------|----------------|---------------------------|
| 236 | 187 | 235 | 237 | 192 | 330 | 31 | 328 | 323 | 309 | 165 | 245 | 234 | 334 |
| 領収証 | 〔経費収支予算表〕 | 領収証 | 領収証 | 証(領収証) | 第八部委員会決議報告 | 領収書(寄付金) | 〔紀州ネル標本差出依頼通知〕 | 〔収支決算報告書〕 | 〔入学勧誘依頼状〕 | 明治三十二年度経費予算決議書 ※印刷物 | 証(領収証) | 証(領収証) | 〔緯毛手連及読ミ決算標準告知〕 |
| 明治34年2月11日 | 明治33年 | 明治33年11月10日 | 明治33年10月18日 | 明治33年9月22日 | 明治33年9月10日 | 明治33年8月 | 明治33年8月11日 | 明治33年6月11日 | 明治33年3月15日 | 明治32年 | 明治32年11月11日 | 明治32年10月 | 明治32年9月1日 |
| 綿フランネル織営業組合事務所 | | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市外二郡綿フランネル織組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 東京綿ネル問屋組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 紀州染織学校 | | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 |
| 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|------------|----------------------|---------------------------|---------------------------|--------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 214 | 319 | 321 | 166 | 167 | 307 | 196 | 327 | 195 | 320 | 198 | 197 | 332 | 324 |
| 証(領収証) | 紀州ネル同業組合報告 | (営業品見本代価改正報告) | 紀州ネル同業組合 明治三十七年自一月至三月收支予算 | 紀州ネル同業組合 明治三十七年自一月至三月收支決算 | 規約(職工ニ付同業者間) | 収納告知書 | [評議員会決議報告] | 収納告知書 | 紀州ネル同業組合創立總會招集通知書 | 徴収告知書 | 徴収告知書 | [組合評議員会決議事項ニ付報告] | 明治三十四年度組合経費収支予算決議 |
| | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | | | | | | | | | ※印刷物 |
| 明治38年2月5日 | 明治38年1月28日 | 明治37年10月3日 | 明治37年3月16日 | 明治37年1月 | 明治36年12月 | 明治36年8月 | 明治36年6月10日 | 明治36年4月 | 明治36年1月5日 | 明治34年6月 | 明治34年5月21日 | 明治34年3月28日 | 明治34年3月26日 |
| 紀州ネル同業組合・和歌山 呉服組合 | | 紀州ネル同業組合事務所 北嶋七兵衛 | | | | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合 | 和歌山市外二郡綿フランネ ル織営業組合事務所 | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合 | 紀州ネル同業組合発起人稲 葉作次郎 他24名 | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合取締夫 前田義夫 | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合取締夫 前田義夫 | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合事務所 |
| 山裾孫兵衛 | | | | | | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---------------|-------------|--------|---------|---------|---------------------|---------------------|-------|--------------|------------|------------------------------|---------------------|------------------------------|
| 311 | 286 | 249 | 186 | 185 | 171 | 155 | 154 | 153 | 152 | 148 | 169 | 215 | 168 |
| 大阪市綿ネール卸売商同業組人名簿 | 〔封筒〕 | 証（請求書） | 負債金等内訳 | 〔織物審査法〕 | 〔同業者名簿〕 | 綿フランネル織営業組合申合規約中修正按 | 綿フランネル織営業組合申合規約中修正按 | 規約修正按 | 綿フランネル織組合会議法 | 紀州ネル同業組合定款 | 紀州ネル同業組合 明治三十九年度経費歳入出決算 ※印刷物 | 証（領収証） | 紀州ネル同業組合 明治三十七年度臨時費収支予算 ※印刷物 |
| ※印刷物 | | ※明治か | | | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | | | ※印刷物 |
| | | | | | | | | | | | 明治40年10月25日 | 明治39年12月 | 明治38年3月17日 |
| | 紀州ネル同業組合設置発起人 | 組合営業者 | | | | | | | | | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 |
| | 山根孫兵衛 | 綿フランネル組合事務所 | | | | | | | | | | 山根たか | |
| 一紙 | 封筒 | 一紙 | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 | 堅帳 | 堅帳 | 一紙 |
| | | | | | | | | | | | | | 堅帳 |

| | | | | | |
|-----|--------------|----------|--|--|----|
| 318 | 紀州ネル同業組合定款 | ※印刷物、明治か | | | 一紙 |
| 317 | 紀州ネル染織同業組合議法 | ※印刷物、明治か | | | 一紙 |
| 316 | 紀州ネル染織同業組合定款 | ※印刷物、明治か | | | 一紙 |

8 品評会

| | | | | | | |
|-----|------------------------|--|------------|------------------------------|-----------|----|
| 251 | (第四回内国勸業博覧会) 出品願 | | 明治27年3月25日 | 和歌山県紀伊国名草郡三田村綿フランネル織製造業山根孫兵衛 | 和歌山県知事沖守固 | 一紙 |
| 45 | 第一回紀州ネル外四種織物品評会報告録 | | 明治29年6月28日 | 第一回紀州ネル外四種織物品評会事務所 | | 一紙 |
| 46 | 第一回紀州ネル外四種織物品評会費用収支決算書 | | 明治29年6月28日 | | | 一紙 |

9 法令

| | | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|---------|--|----|
| 151 | 工場法規之説明 | ※印刷物 | 大正5年8月5日 | 農商務省商工局 | | 子冊 |
| 147 | 法律第四拾七号ノ写 | ※印刷物 | | | | 一紙 |

10 刊行物

| | | | | | | |
|-----|------------------------------------|--|-------------|------------|--|----|
| 55 | 綿フランネル創製者ニ対シ義捐金寄集趣意書・綿フランネル創製セル経歴書 | | 明治22年5月 | | | 帳 |
| 56 | 工業視察紀要 織物之部下 | | 明治29年12月28日 | 農商務省商工局工務課 | | 帳 |
| 146 | 日本染色雑誌 第二編第二号 | | 明治32年2月20日 | 日本染色雑誌発行所 | | 子冊 |

| | |
|----------------------|-----------|
| 343 | 37 |
| 〔株主總會終了通知状〕 | 第四回營業報告書 |
| 明治30年1月25日 | 明治29年 |
| 和歌山織布株式会社社長 赤城友次郎 | 和歌山織布株式会社 |
| 山権孫兵衛 | |
| 一紙 | 一紙 |

12 所有株式

| | | | | | | | |
|-----------|------------|-----------|---------------|---------------|------------|------------|------------|
| 178 | 180 | 182 | 181 | 177 | 175 | 176 | 179 |
| 〔職工人名書付〕 | 御届(職工人数二付) | 職工雇傭届 | 寄宿職工人原籍地及父兄関係 | 寄宿職工人原籍地及父兄関係 | 御届(職工人数二付) | 警察へ届出職工人数控 | 寄宿職工人届 |
| 178 -1 | 178 -3 | 178 -5 | 178 -4 | ※断簡か | ※離形 | | 178 -2 |
| | 8月 | 明治37年8月 | 明治37年7月16日 | 明治37年4月3日 | 明治36年 | 明治36年6月6日 | 明治36年5月24日 |
| | | | | | 山権孫兵衛 | | |
| | 和歌山県海草郡警察署 | 組合事務所 | | | 和歌山県海草郡警察署 | | |
| 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り |

11 職工届

| | |
|-----------------|------------|
| 54 | 47 |
| 紀州綿ネル創製者ニ関スル弁明書 | 綿ネル世界 第壹号 |
| | 明治37年2月12日 |
| | 綿ネル世界社 |
| 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------|-------------------------|-----------|-----------|-------------------------|-------------|-----------|-----------|
| 313 | 143 | 347 | 342 | 346 | 340 | 42 | 341 | 40 | 41 | 345 | 336 | 39 | 38 |
| 〔株金払込催告状〕 | 株券名義書換差留届 | 〔利益配当通知状〕 | 〔株主總會終了通知状〕 | 〔利益配当通知状〕 | 〔株主總會終了通知状〕 | 第拾一回營業報告書 | 〔株主總會開催通知状〕 | 第九回營業報告 | 第拾回營業報告 | 〔定款変更について報告状〕 | 〔株主總會終了通知状〕 | 第七回營業報告書 | 第六回營業報告書 |
| 明治35年3月11日 | 明治34年11月15日 | 明治34年7月13日 | 明治34年7月13日 | 明治34年1月15日 | 明治34年1月15日 | 明治33年 | 明治33年12月30日 | 明治32年 | 明治32年12月 | 明治32年8月25日 | 明治32年2月3日 | 明治31年 | 明治30年 |
| 頭取谷井勘藏 株式会社和歌山農工銀行 | 山裾孫兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社 |
| 海草郡三田村坂田 山裾孫平衛 | 和歌山織布会社専務取締 北島七兵衛 | 株主 | 株主 | 株主 | 株主 | | 株主 | | | 株主 | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | |
|----------------|--------------------------|----------|-------------|------------------------|-------|----|
| 137 | 借用金証書 | | 明治24年12月24日 | 名草郡和佐村大字称宜稲田 音楠 他2名 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |
| 13 金銭貸借 | | | | | | |
| 337 | (総会)代理委任状 | ※用紙、明治か | | | | 一紙 |
| 314 | 一月十四日第一回定時総会仮決議定款 | ※印刷物、明治か | | (株)株式会社和歌山農工銀行 | | 一紙 |
| 306 | 議案 | ※印刷物 | | | | 一紙 |
| 303 | 〔第二五期株主総会承認事項〕 | | | | | 一紙 |
| 302 | 〔益金区分規定〕 | | | | | 一紙 |
| 287 | 〔和歌山織布株式会社株券御所有成ラレ度ニ付書状〕 | | 11月11日 | 大堀楠之丞 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |
| 348 | 〔利益配当通知状〕 | | 明治38年1月15日 | 和歌山織布株式会社 | 株主 | 一紙 |
| 344 | 〔株主総会終了通知状〕 | | 明治38年1月15日 | 和歌山織布株式会社 縮役北島七兵衛 | 株主 | 一紙 |
| 44 | 第拾八回營業報告書 | | 明治36年 | 和歌山織布株式会社 | | 一紙 |
| 43 | 第拾七回營業報告書 | | 明治36年 | 和歌山織布株式会社 | | 一紙 |
| 339 | 〔利益配当通知状〕 | | 明治36年7月13日 | 和歌山織布株式会社 縮役北島七兵衛 | 株主 | 一紙 |
| 338 | 〔株主総会終了通知状〕 | | 明治36年7月13日 | 和歌山織布株式会社 縮役北島七兵衛 | 株主 | 一紙 |

| | | | | | |
|-----|---------|------------|-----------------------|--------------------|----|
| 136 | 金借用證 | 明治26年1月23日 | 名草郡安原村大字本渡借主 山本由太郎 | 同郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 一紙 |
| 138 | 借用証一札之事 | 明治26年1月6日 | 大字神田借用人外山民次郎 | 大字坂田山裾孫兵衛 | 一紙 |

14 不動産売買・貸借

| | | | | | |
|-----|----------|-------------|------------------------------------|-------|----|
| 142 | 本銀返証文之事 | 嘉永6年4月 | 和田村本人久四郎 他4名 | 坂田村多七 | 一紙 |
| 125 | 居宅借受証書 | 明治27年11月10日 | 本人田中芳助 他1名 | 山裾孫兵衛 | 綴り |
| 127 | 宅地及建家売渡証 | 明治27年11月22日 | 海草郡三田村大字阪田中芳 助代人売渡人田村順次郎 他1名 | 山裾孫兵衛 | 綴り |

15 農地小作

| | | | | | |
|-----|-------|---------|----------------------------|-------|----|
| 140 | 小作証 | 明治31年3月 | 海草郡三田村大字阪田西亀 楠 他1名 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |
| 141 | 小作証 | 明治31年4月 | 海草郡宮前村大字杭ノ瀬小 作本人西岡藤之右衛門 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |
| 139 | 地所下作証 | 明治31年 | 小作人阪井松之助 他1名 | 山裾孫兵衛 | 一紙 |

16 戸長

| | | | | | |
|-----|-----------|----------|---------------------------|----------|----|
| 283 | 医領(療)開業副願 | 明治16年12月 | 和歌山県下紀伊国名草郡坂 田村戸長山裾孫兵衛 | 和歌山県令松本鼎 | 一紙 |
|-----|-----------|----------|---------------------------|----------|----|

17 政治

| | | | | | |
|-----|---------------|-------|-------------|----------|----|
| 304 | (同志大懇親会開催案内状) | 2月20日 | 発起人大田信一 他8名 | 三田村山裾孫兵衛 | 一紙 |
|-----|---------------|-------|-------------|----------|----|

※包紙あり

| | | | | |
|-----|-------------------------|------|-------|----|
| 290 | 〔衆議院議員総選挙二而一旗揚げむ存念二付書状〕 | 橋由太郎 | 山樞孫兵衛 | 一紙 |
|-----|-------------------------|------|-------|----|

18 釀金収支

| | | | | |
|-----|--------------|------|--|----|
| 305 | 年釀金収支・支部経費収支 | ※印刷物 | | 一紙 |
|-----|--------------|------|--|----|

19 履歴・系譜

| | | | | |
|-----|--------|-------------|--------------------------|----|
| 282 | 履歴書 | 明治36年12月10日 | 海草郡三田村大字阪田六百四十五番地平民山樞孫兵衛 | 一紙 |
| 281 | 履歴書 | 明治36年12月 | 山樞孫兵衛 | 一紙 |
| 145 | 山樞家系譜写 | 明治39年5月 | | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------------|----------|---------|--------------------------|-----------------------|-----------------------|---------|----------------------------------|-------------------------------------|----------------|---------|-----------|----------------|
| 1 | 239 | 13 | 3 | 57 | 137 | 64 | 9 | 79 | 156 | 240 | 51 | 5 | 247 |
| 製布通 | 記(領収証) | 金銭布糸受渡原簿 | 燃糸受渡扣 | 借入金約定証 | 借入金証書 | 金借用証書 | 綿ネル之通 | 借入金証 | 明治廿四年四月ヨリ同廿五年三月マデ事務所収支予算決議案 ※印刷物 | 記(領収証) | 雇人勤怠簿 | 職工品及金銭受渡扣 | 記(領収証) |
| 明治25年4月 | 明治25年3月 | 明治25年2月 | 明治25年2月 | 明治25年1月 | 明治24年12月24日 | 明治24年7月 | 明治24年7月 | 明治24年7月25日 | 明治24年4月 | 明治24年4月22日 | 明治23年1月 | 明治22年 | 明治22年7月17日 |
| 山裾孫兵衛 | 綿フランネル織營業組合事務所 | 山裾織布場 | 中島工場 | 名草郡三田村大字和田本人 和田ツルの他1名 | 名草郡和佐村大字柵宜稲田 音楠他2名 | 海マ郡和歌村大字和歌西本 音吉他1名 | 中尾商店 | 名草郡和佐村大字柵宜稲田 音楠同居川口ハルエ 他1名 | 綿フランネル織營業組合事務所 | 綿フランネル織營業組合事務所 | | | 綿フランネル織營業組合事務所 |
| 池田織工所 | 山裾孫兵衛 | | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 中嶋義博 | | | 中嶋義博 |
| 横半帳 | 一紙 | 縦帳 | 横半帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横半帳 | 一紙 | 縦帳 | 一紙 | 横帳 | 横半帳 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|-------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------|-----------------------|--------------|-------------|---------------|----------------------|----------------------------|------------|--------------|
| 123 | 121 | 119 | 82 | 60 | 76 | 136 | 138 | 216 | 17 | 14 | 61 | 194 | 205 |
| 約定金借受証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借用証 | 金借用証 | 借用証一札之事 | 証(請取証) | 職工品受渡原簿 | 職工品受渡明記簿 | 約定金借受証 | 証(領収証) | 通運物受取証 |
| 71 -5 | 71 -3 | 71 -1 | | | | | ※包紙あり | | | | | | |
| 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月9日 | 明治26年2月8日 | 明治26年1月 | 明治26年1月23日 | 明治26年1月6日 | 明治25年11月25日 | 明治25年9月 | 明治25年8月 | 明治25年8月25日 | 明治25年7月21日 | 明治25年7月12日 |
| 名草郡亀川村大字且来借受 人小山ヲキエ 他1名 | 名草郡亀川村大字多田吉山 よしの 他2名 | 名草郡安原村大字本渡借受 人坂本岩吉 他1名 | 名草郡亀川村大字且来借受 川端ハナ 他1名 | 名草郡亀川村大字多田借受 人吉田イソ 他1名 | 和歌山市市里山小上ふみエ | 名草郡安原村大字本渡借主 山木山太郎 | 大字神田借用人外山民次郎 | 保田喜三郎 | 持山裾織工場和田常マツ君受 | 元山本由太郎君古帳 西岡藤之左衛門 | 名草郡安原村大字本渡借受 人山本山太郎 他1名 | 第四十三国立銀行 | 国内通運会社和歌山代理店 |
| 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字坂田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 同郡三田村大字阪田 山裾孫兵衛 | 大字坂田山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾 |
| 綴り | 綴り | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------------|----------------------|--------------|----------------|------------|----------------|--------------------------------------|---------------------------------|-------------------------|----------|--------------|-------------------------|-----------------------|
| 126 | 130 | 77 | 204 | 241 | 193 | 242 | 170 | 157 | 150 | 16 | 26 | 75 | 128 |
| 金子借用并返済約束証 | 金子借用并返済二付約束証書 | 約定金借受証 | 通運物受取証 | 証(領収証) | 証(領収証) | 証(領収証) | 郡部監査駐在所設置費及自明治廿六年六月一日至翌年三月三十一日経費予算決議 | 從明治廿六年四月一日至同廿七年三月三十一日事務所収支予算決議書 | 明治二十六年四月改正綿フランネル織營業組合規約 | 職工品受渡記明簿 | 改良色染覚アリジャリン法 | 約定金借受証 | 約定金借受ケ証 |
| 71-8 | 71-12 | | | | | | ※印刷物、一部欠カ | ※印刷物 | ※印刷物 | | | | 71-10 |
| 明治27年1月24日 | 明治27年1月21日 | 明治26年12月 | 明治26年8月27日 | 明治26年7月 | 明治26年7月25日 | 明治26年7月12日 | 明治26年6月1日 | 明治26年4月 | 明治26年4月 | 明治26年3月 | 明治26年2月 | 明治26年2月10日 | 明治26年2月9日 |
| 有田郡藤並村大字下津野借用人中山藤史朗 他1名 | 本人山本だい 他1名 | 名草郡亀川村大字多田借主辻きくゑ 他1名 | 国内通運会社和歌山代理店 | 綿フランネル織營業組合事務所 | 第四十三立国銀行 | 綿フランネル織營業組合事務所 | | | | 山裾織工場外山君 | 角野峯之助 | 名草郡安原村大字仁井辺借受人南出タケノ 他1名 | 名草郡安原村大字本渡借受人寺下しげ 他2名 |
| | 山裾孫兵衛 | 大字坂田山裾孫兵衛 | 山裾 | 阪田山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | | | | 山裾様織布場 | 名草郡三田村大字阪田山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字阪田山裾孫兵衛 |
| 綴り | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|----------------|------------------------------|----------------|----------------------|-----------------|---------|--------------------|
| 222 | 223 | 134 | 224 | 232 | 208 | 233 | 221 | 251 | 80 | 124 | 122 | 29 | 81 |
| 証(領収証) | 証(領収証) | 借入金証書 | 証(領収証) | 証(領収証) | 通知状(約束手形期日ニ付) | 証(領収証) | 証(領収証) | (第四回内国勸業博覧会)出品額 | 金子借用并返済ニ付約定証書 | 借入金証書 | 借入金証書 | 万当座扣帳 | 金子借用并返済ニ付約定証書 |
| | | | | | | | | | | 71-6 | 71-4 | | |
| 明治27年10月 | 明治27年10月25日 | 明治27年9月21日 | 明治27年9月7日 | 明治27年8月 | 明治27年8月28日 | 明治27年4月11日 | 明治27年4月2日 | 明治27年3月25日 | 明治27年2月26日 | 明治27年1月 | 明治27年1月 | 明治27年1月 | 明治27年1月31日 |
| 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 名草郡日方村本人森ヲトノ他1名 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山県紀伊国名草郡三田村綿フランネル織製造業山裾孫兵衛 | 名草郡大野村奥谷中兵衛他1名 | 名草郡安原村大字吉原本人(名前欠)他1名 | 有田郡八幡村大字楠本知中徳三郎 | 山裾ネル商店 | 名草郡三田村大字坂田田中ゆはへ他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 木野勝次郎 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 名草郡三田村大字坂田山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 和歌山県知事沖守固 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 綴り | 横帳 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-----------------|----------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------------|-------------------|-----------------------|-----------------|-------|-----------------|-----------------------------|-------------|
| 103 | 243 | 310 | 244 | 228 | 62 | 129 | 104 | 158 | 120 | 27 | 135 | 127 | 125 |
| 約定金借用証書 | 証(領收証) | 告知書(積立金定引ニ付) ※印刷物 | 証(領收証) | 証(領收証) | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 約定金借受ケ証 | 明治廿七年度経費予算決議録 ※印刷物 | 金子借用并返済ニ付約定証書 | 改良色染 | 借入金証書 | 宅地及建家売渡証 | 居宅借受証書 |
| | | | | | | 71-11 | | | 71-2 | | | 71-9 | 71-7 |
| 明治28年9月15日 | 明治28年6月 | 明治28年6月15日 | 明治28年5月29日 | 明治28年5月26日 | 明治28年3月 | 明治28年2月11日 | 明治28年1月21日 | 明治27年 | 明治27年 | 明治27年 | 明治27年12月28日 | 明治27年11月22日 | 明治27年11月10日 |
| 坂田春松 他1名 | 務所 綿フランネル織営業組合事 | 大阪綿ネル商同盟会伊藤新次郎 他13名 | 務所 綿フランネル織営業組合事 | 務所 綿フランネル織営業組合事 | 日方村借用人森よしゑ 他1名 | 海草郡三田村大字田尻新山村春 他1名 | 名草郡三田村大字坂田織工人 他1名 | | 他1名 日高郡萩原村崎山をシカ | | 他1名 和歌山県本人武内ヲテイ | 他1名 海草郡三田村大字阪田中芳助代人売渡人田村順次郎 | 本人田中芳助 他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | | 木野勝次郎 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 仮綴 | 綴り | 横半帳 | 一紙 | 綴り | 綴り |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---------|------------------------|--------------------|---------------|-------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|-------------|----------------------|-----------------------|---------------|----------------|
| 56 | 10 | 46 | 45 | 211 | 297 | 95 | 325 | 101 | 184 | 160 | 159 | 199 | 225 |
| 工業視察紀要 織物之部下 ※印刷物 | 綿ネル通 | 第一回紀州ネル外四種織物品評会費用収支決算書 | 第一回紀州ネル外四種織物品評会報告録 | 当座勘定入金通知書 | 〔綿ネル通送原票〕 | 約定金借用証 | 〔五二会和歌山県綿ネル部発会式案内状〕 | 金子借用証書 | 定約運賃割戻シ金取調書 | 明治廿八年度経費予算議按 ※印刷物 | 明治廿八年度経費予算決議録 ※印刷物 | 通送貨物受取証 | 証(領収証) |
| 明治29年12月28日 | 明治29年6月 | 明治29年6月28日 | 明治29年6月28日 | 明治29年6月26日 | 明治29年5月21日 | 明治29年4月8日 | 明治29年4月2日 | 明治29年1月 | 明治29年1月10日 | 明治28年 | 明治28年 | 明治28年12月18日 | 明治28年11月29日 |
| 農商務省商工局工務課 | 山裾彦三郎 | | 第一回紀州ネル外四種織物品評会事務所 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 紀伊国名草郡坂田山裾孫兵衛 | 和歌山市御差町壱丁目本人才賀鹿之助 他1名 | 五二会和歌山県綿ネル部長高橋貞 他2名 | 名草郡安原村大字吉原本人山本菊松 他1名 | 大坂熊谷回漕店 他1店 | | | 和歌山市米屋町浜保田回漕店 | 綿フランネル織営業組合事務所 |
| | | | | 山裾孫兵衛 | 本県有田郡藤並村大字野田山裾出張店 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | | 山裾孫兵衛 | |
| 縦帳 | 横半帳 | 縦帳 | 縦帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|---------------------------|-------------------------|-----------|--------------------------------|--------------------|-----------------|-------------------|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|--------------------------|----------------------|-----------|
| 140 | 105 | 162 | 38 | 329 | 238 | 285 | 63 | 112 | 161 | 131 | 97 | 343 | 37 |
| 小作証 | 約定金借用証 | 明治三十年度経費収支予算決議録 ※印刷物 | 第六回営業報告書 | 〔組合評議員会決議報告〕 | 証(領収証) | 〔織物業組合創立委員選定通知〕 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 明治廿六年度・明治廿七年・明治廿八年度収支決算報告 ※印刷物 | 借入金証書 | 約定金借用証 | 〔株主總會終了通知状〕 | 第四回営業報告書 |
| 明治31年3月 | 明治31年1月18日 | 明治30年 | 明治30年 | 明治30年8月4日 | 明治30年7月30日 | 明治30年5月11日 | 明治30年3月 | 明治30年2月10日 | 明治30年1月 | 明治30年1月 | 明治30年1月 | 明治30年1月25日 | 明治29年 |
| 海草郡三田村大字阪田西亀 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 田中ゆはへ 他1名 | | 和歌山織布株式会社 | 和歌山市海草郡有山二郡縮 所 フランネル織営業組合事務 | 綿フランネル織営業組合事務 所 | 海草郡長平田綱一郎 | 和歌山市本人才賀マツ 他1名 | 有田郡宮崎村大字野村本人 久米田つまへ 他1名 | 綿フランネル営業組合事務 所 | 海草郡安保村大字本渡本人 本渡り中村為八 他1名 | 海草郡三田村大字山尻本人 吉川刀吉 他1名 | 和歌山織布株式会社社長 赤城友次郎 | 和歌山織布株式会社 |
| 山樞孫兵衛 | 山樞孫兵衛 | | | | 山樞孫兵衛 | 海草郡三田村山樞孫兵衛 | 山樞孫兵衛 | 山樞孫兵衛 | | 山樞孫兵衛 | 山樞孫兵衛 | 山樞孫兵衛 | |
| 一紙 | 一紙 | 豎帳 | 豎帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 豎帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 豎帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------|--------------|-----------|----------------|----------------|----------------------------------|-------------|---------------|----------------|---------------|----------------|------------------------------|------------------------|
| 164 | 163 | 139 | 39 | 226 | 231 | 326 | 220 | 210 | 227 | 209 | 229 | 335 | 141 |
| 明治三十一年度経費収支予算書 | 明治三十一年度収支決算報告 | 地所下作証 | 第七回営業報告書 | 証(領収証) | 証(領収証) | 契約書 | 領収証 | 記(受取証) | 証(領収証) | 記(受取証) | 証(領収証) | 告知書(事務改善ニ付) | 小作証 |
| ※印刷物 | ※印刷物 | | | | | | | | | | | | |
| 明治31年 | 明治31年 | 明治31年 | 明治31年 | 明治31年12月23日 | 明治31年12月22日 | 明治31年11月 | 明治31年10月26日 | 明治31年8月24日 | 明治31年7月 | 明治31年7月16日 | 明治31年6月16日 | 明治31年4月 | 明治31年4月 |
| | | 小作人阪井松之助 他1名 | 和歌山織布株式会社 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡石田郡綿フランネル織営業組合取締補野繁太郎 他1名 | 紀州染色学校創業事務所 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 合名会社三井銀行和歌山支店 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡石田郡綿フランネル織営業組合取締補野繁太郎 | 海草郡宮前村大字杭ノ瀬小作本人西岡藤之右衛門 |
| | | 山裾孫兵衛 | | 取扱所山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------|---------|----------------|----------------|----------------------------|-------------|----------------------------|--------------------------|-------------|------------|-----------------------------|--------------------|---------------------------|
| 333 | 86 | 15 | 146 | 322 | 133 | 336 | 174 | 109 | 89 | 66 | 74 | 230 | 92 |
| 〔製布下受人ニ対スル金盃札下附ニ付告知〕 | 約定金借用証書 | 職工品受渡原簿 | 『日本染色雑誌』第二編第二号 | 〔臨時組合總會協定要領通知〕 | 借用証書 | 〔株主總會終了通知状〕 | 明治三十一年營業名及課税標準届 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 証（領収証） | 約定金借用証書 |
| | | | ※印刷物 | ※印刷物 | | | | | | | | | |
| 明治32年4月1日 | 明治32年2月 | 明治32年2月 | 明治32年2月20日 | 明治32年2月18日 | 明治32年2月10日 | 明治32年2月3日 | 明治32年1月 | 明治32年1月 | 明治32年1月 | 明治32年1月 | 明治32年1月30日 | 明治32年1月23日 | 明治32年1月19日 |
| 和歌山市海草郡有田郡綿フ ランネル織營業組合取締 浦野繁太郎 | 海草郡三田村大字阪田本人 阪田とくへ 他1名 | 山裾織工場 | 日本染色雑誌発行所 | 綿フランネル織組合事務所 | 海草郡三田村大字阪田買主 高畑安右衛門 他1名 | 3 | 海草郡三田村大字阪田六百 四十五番地山裾孫兵衛 | 海草郡三田村大字阪田本人 西かめの 他1名 | 本人岡本クニヨ 他1名 | 本人山本だい 他1名 | 海草郡三田村大字阪田岩松 長女田中ゆはへ 他1名 | 綿フランネル織營業組合事 務所 | 海草郡三田村大字阪田本人 阪本きくへ 他1名 |
| | 山裾孫兵衛 | | | | 山裾孫兵衛 | 和歌山織布株式会社 | 大坂稅務管理局長・司稅官 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------------------|------------------------------|------------------------|-----------|-----------|----------------|----------------|------------------------|--------------------------|---------------------|----------------------|-------------------------|-----------------------|
| 70 | 87 | 172 | 165 | 40 | 41 | 245 | 234 | 88 | 334 | 345 | 331 | 312 | 315 |
| 約定金借用証書 | 約定金借用証 | 記(綿ネル関係金銭仕切書) ※1月17日付返書あり | 明治三十二年度経費予算決議書 ※印刷物 | 第九回営業報告 | 第十回営業報告 | 証(領収証) | 証(領収証) | 約定金借用証書 | 〔緯毛手違及読ミ決算標準告知〕 | 〔定款変更について報告状〕 | 第四部第五部七ヶ村地区織布貸金定価表 | (同盟) 協定書 ※印刷物 | 〔紀州ネル染織同業組合創立総会開催通知状〕 |
| 明治33年1月27日 | 明治33年1月26日 | 明治33年1月15日 | 明治32年 | 明治32年 | 明治32年12月 | 明治32年11月11日 | 明治32年10月 | 明治32年10月30日 | 明治32年9月1日 | 明治32年8月25日 | 明治32年7月 | 明治32年5月25日 | 明治32年5月18日 |
| 日高郡稲原村印南原又七二女平野ひで 他1名 | 日高郡稲原村大字印南原孫右衛門長本人成田ゆき 他1名 | 紀伊国名草郡坂田山裾孫兵衛 | | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 日高郡御坊新町山中鹿蔵妹本人稲垣とめ 他1名 | 和歌山市海草郡有田郡綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山織布株式会社専務取締役北島七兵衛 | 綿フランネル織営業組合第四部第五部出張所 | 大阪市綿ネル商同業組合交渉委員中野長平 他6名 | 発起人岩崎富三郎 他58名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 石田万兵衛 | | | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 株主 | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|----------------|---------------------------|---------------------|---------------|---------------------------|--------------|---------------------------|---------------|-------------------------|------------|-----------------|----------------------|---------------------------|
| 341 | 235 | 237 | 192 | 263 | 330 | 31 | 328 | 262 | 323 | 309 | 132 | 78 | 108 |
| 〔株主總會開催通知状〕 | 領収証 | 領収証 | 証(領収証) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 第八部委員会決議報告 | 領収書(寄付金) | 〔紀州ネル標本差出依頼通知〕 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 〔収支決算報告書〕 | 〔入学勧誘依頼状〕 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証 |
| 明治33年12月30日 | 明治33年11月10日 | 明治33年10月18日 | 明治33年9月22日 | 明治33年9月17日 | 明治33年9月10日 | 明治33年8月 | 明治33年8月11日 | 明治33年8月11日 | 明治33年6月11日 | 明治33年3月15日 | 明治33年1月 | 明治33年1月 | 明治33年1月27日 |
| 和歌山織布株式会社専務取締役北島七兵衛 | 綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山市外二郡綿フランネル織組合事務所 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 東京綿ネル問屋組合事務所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フランネル織営業組合事務所 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山市海草郡有田郡綿フランネル営業組合事務所 | 紀州染織学校 | 海草郡亀川村大字多田かつ他1名 | 海草郡三田村大字坂田本人上野さくへ他1名 | 日高郡種原村大字印南原塩路嘉右衛門姪塩路まつ他1名 |
| 株主 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 断筒 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------|-----------|--------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------|------------|-----------|
| 200 | 197 | 332 | 324 | 117 | 115 | 90 | 236 | 85 | 346 | 340 | 187 | 48 | 42 |
| 〔所得高申告請求〕 | 徴収告知書 | 〔組合評議員会決議事項ニ付報告〕 | 明治三十四年度組合経費収支予算決議 ※印刷物 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 約定金借用証 | 領収証 | 約定金借用証 | 〔利益配当通知状〕 | 〔株主総会終了通知状〕 | 〔経費収支予算表〕 | 送付録 ※用箋 | 第拾一回営業報告書 |
| 明治34年6月7日 | 明治34年5月21日 | 明治34年3月28日 | 明治34年3月26日 | 明治34年2月 | 明治34年2月 | 明治34年2月 | 明治34年2月11日 | 明治34年2月5日 | 明治34年1月15日 | 明治34年1月15日 | 明治33年 | 明治33年 | 明治33年 |
| 和歌山税務署 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フ ランネル織営業組合取締 前田義夫 | 和歌山市海草郡有田二郡綿 フランネル織営業組合事務 所 | 和歌山市海草郡有田二郡綿フ ランネル営業組合事務所 | 海草郡三田村大字阪田引受 人父吉村吉太郎 他1名 | 印南原成田孫右衛門 | 明石長太郎 他1名 | 綿フランネル織営業組合事 務所 | 海草郡三田村大字阪田本人 吉村こなみ 他1名 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | | | 和歌山織布株式会社 |
| 海草郡三田村山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 株主 | 株主 | | | |
| 葉書 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|----------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------------------|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------------------|---------------|------------|
| 113 | 96 | 84 | 114 | 59 | 69 | 143 | 116 | 264 | 347 | 342 | 198 | 255 | 183 |
| 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 株券名義書換差留届 | 借入金証書 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 〔利益配当通知状〕 | 〔株主總會終了通知状〕 | 徴収告知書 | 〔金物代金請求ニ付書状〕 | 明細書(納品書) |
| | | | | | | | | | | | | ※別紙明細書(183)あり | ※255の別紙 |
| 明治35年2月29日 | 明治35年2月29日 | 明治35年2月19日 | 明治35年2月6日 | 明治35年1月 | 明治35年1月28日 | 明治34年11月15日 | 明治34年10月 | 明治34年10月11日 | 明治34年7月13日 | 明治34年7月13日 | 明治34年6月 | 明治34年6月28日 | 明治34年6月28日 |
| 田高郡稲原村大字印南原成 田おはぎ 他1名 | 日高郡稲原村大字印南原本 人成田おゆき 他1名 | 海草郡三田村大字阪田吉村 吉太郎 他1名 | 海草郡三田村大字坂田奥の 民之助 他1名 | 有田郡宮崎村大字竜ノ浜三 之助妹本人上野山あさの | 海草郡三田村大字坂田坂田 ツカノ 他1名 | 山裾孫兵衛 | 海草郡三田村大字阪田左ぬ い兄借用人高知由太郎 他2名 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取 締役北島七兵衛 | 和歌山市海草有田二郡綿フ ランネル織営業組合取締 前田義夫 | 打田安太郎商店 | 打田安太郎商店 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 和歌山織布会社専務取締 北島七兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 株主 | 株主 | 山裾孫兵衛 | 阪田南山裾孫兵衛 | 阪田南山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|---------------------------|--------------------------|---------------------------------------|-------------|---------------------------|---------------------------|------------------------------|-------------------------|---------|-----------------------|-----------------------------|
| 7 | 6 | 118 | 107 | 106 | 93 | 83 | 94 | 320 | 58 | 102 | 65 | 313 | 68 |
| 金銭職工品請渡通 | 金銭職工品請渡通 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証書 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 紀州ネル同業組合創立總會招集通知書 | 約定金借用証 | 約定金借用証 | 約定金借用証書 | 〔株金払込催告状〕 | 約定金借用証書 |
| 明治36年2月 | 明治36年2月 | 明治36年1月 | 明治36年1月 | 明治36年1月 | 明治36年1月 | 明治36年1月19日 | 明治36年1月16日 | 明治36年1月5日 | 明治35年12月 | 明治35年11月30日 | 明治35年8月 | 明治35年3月11日 | 明治35年2月 |
| 南山襦織布場 | 山裾織布場 | 田中徳松 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 阪田はるゑ 他1名 | 海草郡三田村大字阪田本人 大畑徳松 他1名 | 海草郡三田村大字坂田高畑 安右衛門妻借用人高畑ヒサ ノ 他1名 | 本人松村くすえ 他1名 | 日高郡稱原村大字印南原本 人成田ゆき 他1名 | 紀州ネル同業組合発起人稲 葉作次郎 他24名 | 和歌山県日高郡由良村大字 横浜本人尾井しん 他1名 | 海草郡三田村大字阪田地原 政太郎 他1名 | 上杉梅吉 | 株式会社和歌山農工銀行 頭取谷井勘藏 | 有田郡保田村大字辻道松本 忠次郎長男本人松本善助 |
| 島津なつ | 坂田ミツ | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 海草郡三田村坂田 山裾孫平衛 | 山裾孫兵衛 |
| 横半帳 | 横半帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----------------------|---------------|---------------------|---------------------|-----------------------|------------|------------|-----------------------|---------------------|-----------|---------------|-----------------------|----------|
| 282 | 196 | 266 | 339 | 338 | 327 | 176 | 179 | 195 | 99 | 217 | 265 | 100 | 8 |
| 履歴書 | 収納告知書 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 〔利益配当通知状〕 | 〔株主總會終了通知状〕 | 〔評議員会決議報告〕 | 警察へ届出職工人数控 | 寄宿職工人届 | 収納告知書 | 約定金借用証 | 請求書 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 約定金借用証 | 金銭職工品請渡通 |
| 明治36年12月10日 | 明治36年8月 | 明治36年8月21日 | 明治36年7月13日 | 明治36年7月13日 | 明治36年6月10日 | 明治36年6月6日 | 明治36年5月24日 | 明治36年4月 | 明治36年4月23日 | 明治36年4月1日 | 明治36年3月30日 | 明治36年2月 | 明治36年2月 |
| 海草郡三田村大字阪田六百四十五番地平民山裾孫兵衛 | 和歌山市海草有田二郡綿フランネル織営業組合 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山織布株式会社専務取締役北島七兵衛 | 和歌山織布株式会社専務取締役北島七兵衛 | 和歌山市外二郡綿フランネル織営業組合事務所 | | | 和歌山市海草有田二郡綿フランネル織営業組合 | 日高郡稻原村大字印南原平野ひで 他2名 | 竹中米店 | 和歌山起毛合資会社 | 日高郡川中村大字サイ本人花路をかつ 他4名 | 山裾織布場 |
| | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 株主 | 株主 | | | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫 | 山裾孫兵衛 | 松村くす |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横半帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------------|----------|------------|----------------------------|-----------------------------------|-----------|-----------------|-------------------|-----------|-----------|-----------|--------------|----------|
| 71 | 166 | 98 | 47 | 67 | 167 | 23 | 20 | 175 | 44 | 43 | 22 | 307 | 281 |
| 約定兼借用証書 | 紀州ネル同業組合 明治三十七年自一月至三月収支予算 ※印刷物 | 約定兼借用金証書 | 『綿ネル世界』第巻号 | 約定金借用証書 | 紀州ネル同業組合 明治三十七年自一月至三月収支決算 ※印刷物 | 起毛艶附請渡簿 | 色染通 20 -1 | 御届(職工人数二付) ※雛形 | 第拾八回營業報告書 | 第拾七回營業報告書 | 起毛艶付計算簿 | 規約(職工二付同業者間) | 履歴書 |
| 明治37年3月 | 明治37年3月16日 | 明治37年2月 | 明治37年2月12日 | 明治37年2月1日 | 明治37年1月 | 明治37年1月 | 明治37年1月 | 明治36年 | 明治36年 | 明治36年 | 明治36年 | 明治36年12月 | 明治36年12月 |
| 有田郡湯浅町本人宮崎留吉 他1名 | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 | 松本善助 | 綿ネル世界社 | 海草郡三田村大字坂田本人 嶋津沢右衛門 他1名 | | 和歌山起毛合資会社 | 吉田染工場 | 山裾孫兵衛 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社 | 和歌山起毛合資会社 | | 山裾孫兵衛 |
| 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾職工所 | 和歌山県海草警察署 | | | 山裾孫兵衛 | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|------------|---------------|---------------|--|---|---------------------------------|-----------------|---------------------------|
| 260 | 259 | 258 | 212 | 257 | 268 | 213 | 267 | 177 | 111 | 110 | 91 | 73 | 72 |
| 捺染納附通知書 | 捺染納附通知書 | 捺染納附通知書 | 送伝票 | 捺染納附通知書 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 送伝票 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 寄宿職工人原籍地及父兄關係 | 約定兼借用金証書 | 約定兼借用金証書 | 約定兼借用金証書 | 約定兼借用証書 | 約定兼借用金証書 |
| | | | | | | | | ※断簡か | | | | | |
| 明治37年5月29日 | 明治37年5月29日 | 明治37年5月27日 | 明治37年5月27日 | 明治37年5月25日 | 明治37年5月20日 | 明治37年5月20日 | 明治37年5月18日 | 明治37年4月3日 | 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年3月 | 明治37年3月 |
| 吉川捺染工場 | 吉川捺染工場 | 吉川捺染工場 | 工場 | 吉川捺染工場 | 和歌山起毛合資会社 | 工場 | 和歌山起毛合資会社 | | 有田郡湯浅新屋敷本人水井清助代証人本下虎之助他1名 政楠代証人本下虎之助他1名 | 日高郡稲原村大字印南原平野又七他1名 有田郡湯浅新屋敷本人虎尾政楠代証人本下虎之助他1名 | 有田郡湯北町本人北野新助他2名 有田郡湯本人由良治他1名 | 有田郡湯北町本人北野新助他2名 | 有田郡湯浅新屋敷本人水井清助代証人本下虎之助他1名 |
| 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------------|---------------------------|-----------|---------------|---------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------|
| 275 | 274 | 273 | 272 | 206 | 321 | 280 | 271 | 182 | 270 | 269 | 181 | 24 | 19 |
| 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 仮記(仮領収書) | (營業品見本代備改正報告) ※印刷物 | (起毛請負願状) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 職工雇備届 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 寄宿職工人原籍地及父兄關係 | 起毛艶附捺染金錢出入控帳 | 起毛通 |
| 明治37年10月30日 | 明治37年10月30日 | 明治37年10月22日 | 明治37年10月22日 | 明治37年10月7日 | 明治37年10月3日 | 明治37年9月9日 | 明治37年9月8日 | 明治37年8月 | 明治37年8月9日 | 明治37年7月25日 | 明治37年7月16日 | 明治37年5月 | 明治37年5月 |
| 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山市近町染料商 滝波芳太郎 | 紀州ネル同業組合事務所 | 岡起毛工場 | 和歌山起毛合資会社 | | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | | 南山裾職布場 | 波多野起毛工場 |
| 山裾孫 | 山裾孫 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | | 山裾御盛店儀 | 山裾 | 組合事務所 | 山裾 | 山裾 | | | 山裾 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 一紙 | 綴り | 縦帳 | 縦帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|--------------------|---------------|---------|---------|--------------|-----------------|----------------------|------------------------------|------------------|--------------------|------------|---------------------|
| 278 | 277 | 201 | 276 | 145 | 12 | 296 | 294 | 293 | 168 | 214 | 319 | 348 | 344 |
| 通知書(起毛調進ニ付納品) | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 製品移動申告 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 山裾家系譜写 | 判取帳 | 印紙貼用免除申請書 | 毛織物以外ノ織物製造兼販売申告 | 明治三十八年月中毛織物以外ノ織物販売高届 | 紀州ネル同業組合 明治三十七年度臨時費収支予算 ※印刷物 | 証(領収証) | 紀州ネル同業組合報告 ※印刷物 | 〔利益配当通知状〕 | 〔株主總會終了通知状〕 |
| 明治39年11月19日 | 明治39年11月17日 | 明治39年10月 | 明治39年10月30日 | 明治39年5月 | 明治39年1月 | 明治38年 | 明治38年 | 明治38年 | 明治38年3月17日 | 明治38年2月5日 | 明治38年1月28日 | 明治38年1月15日 | 明治38年1月15日 |
| 和歌山起毛合資会社 | 和歌山起毛合資会社 | 和歌山市海草郡三田村大字坂田山裾たか | 和歌山起毛合資会社 | | 山裾織布場 | | | 織物販売人 | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 | 紀州ネル同業組合・和歌山呉服組合 | | 和歌山織布株式会社 | 和歌山織布株式会社専務取締役北嶋七兵衛 |
| 山裾 | 山裾 | 和歌山税務署 | 山裾 | | | 和歌山税務署長川島準次郎 | 和歌山税務署長川島準次郎 | 和歌山税務署長川島準次郎 | | 山裾孫兵衛 | | 株主 | 株主 |
| 一紙 | 一紙 | 葉書 | 一紙 | 一紙 | 横半帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 縦帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------|-------|-----------------|----------------------------|----------------------------|-----------------|--------------------------|-------------------|------------------------------|---------------|------------|---------------------|---------------|
| 173 | 304 | 53 | 151 | 253 | 252 | 254 | 284 | 308 | 169 | 261 | 188 | 215 | 279 |
| 〔起毛艶付受渡簿〕 | 〔同志大懇親会開催案内状〕 | 給料明細帳 | 工場法規之説明 ※印刷物 | 織物製造又ハ買入高申告 ※氏名記入のみで未使用 | 織物製造又ハ買入高申告 ※氏名記入のみで未使用 | 〔織物製造又ハ買入高申告請求〕 | 所得金額決定御通知ニ付答申書 | 〔開業通知状〕 | 紀州ネル同業組合 明治三十九年度経費歳入出決算 ※印刷物 | 通知書(起毛調進ニ付納品) | 記(代金書付) | 証(領収証) | 通知書(起毛調進ニ付納品) |
| 5月5日 | 2月20日 | 昭和5年 | 大正5年8月5日 | 明治43年 | 明治43年 | 明治41年12月20日 | 明治41年8月27日 | 明治41年3月 | 明治40年10月25日 | 明治40年8月11日 | 明治40年5月14日 | 明治39年12月 | 明治39年11月25日 |
| 和歌山起毛合資会社 | 発起人大田信一 他8名 | | 農商務省商工局 | 海草郡三田村大字坂田 山裾たか | 三田村坂田山裾たか | 和歌山税務署 | 海草郡三田村大字坂田 山裾孫兵衛・山裾たか | 綿ネルブローカ商岩本菊次郎 他1名 | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 | 波多野起毛工場 | 滝野米店 | 紀州ネル同業組合組長 北嶋七兵衛 | 和歌山起毛合資会社 |
| 山裾孫兵衛 | 三田村山裾孫兵衛 | | | 和歌山税務署 | 和歌山税務署 | 三田村大字坂田山裾たか | 和歌山県税務所長税務官 宮田真三郎 | 山裾たか | 山裾卸商店 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾たか | 山裾孫兵衛 |
| 綴 | 紙 | 帳 | 冊 | 紙 | 紙 | 紙 | 紙 | 紙 | 帳 | 紙 | 紙 | 紙 | 紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------------|--------------------|--------|--------|--------------------------|---------|---------------------|---------------------|---------|------------|----------|-----------------|---------------|
| 30 | 25 | 21 | 218 | 202 | 287 | 190 | 207 | 203 | 189 | 180 | 191 | 289 | 291 |
| 金銭職工品受渡原簿 | 改良色染覚簿 | 記(色染高集計) | 請求書 | [領収書] | [和歌山織布株式会社株券御所有成ラレ度ニ付書状] | 記(代金書付) | 仮記(仮領収書) | [領収書] | 記(代金書付) | 御届(職工人数ニ付) | 仮記(仮領収証) | [マツ一先婦村為致度ニ付書状] | [白六枚賃金之儀ニ付書状] |
| ※明治か | ※明治か | ※20に挿入、明治か 20-2 | | | | | | | | 178-3 | | | |
| | | | 12月24日 | 11月21日 | 11月11日 | 10月26日 | 9月22日 | 9月9日 | 9月1日 | 8月 | 8月14日 | 6月3日 | 5月13日 |
| | 名草郡坂田山裾織布場色染 博士山裾性 | (吉田染工場) | 竹中糸店 | 熊谷 | 大堀糖之丞 | 丸松 | 和歌山市米屋町角染料商 和田庄蔵 | 和歌山市堀詰橋北詰熊谷膏 野支店 | 丸松 | | 起毛部 | 塩路嘉右衛門 | 和歌山起毛会社 |
| | | (山裾職工所) | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 阪田村山裾 | 和歌山県海草郡警察署 | 山裾 | 山裾孫兵衛 | 山裾 |
| 横帳 | 横半帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|------------|-----------|--------|-----------------|-----|-------------|-------------|---------|-------------|-------|-----------------------------|--------|
| 153 | 152 | 148 | 147 | 144 | 54 | 52 | 50 | 49 | 36 | 35 | 34 | 33 | 32 |
| 規約修正按 | 綿フランネル織組合会議法 | 紀州ネル同業組合定款 | 法律第四拾七号ノ写 | 職工人賃金定 | 紀州綿ネル創製者ニ関スル弁明書 | 日雇扣 | 綿ネル受渡伝票 | 売買契約証 | 〔綿ネル見本〕 | 〔綿ネル見本〕 | 綿ネル見本 | print (綿ネル見本) | 染色標本 |
| ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | ※後欠 | ※印刷物 | | ※用箋、明治30年代か | ※用箋、明治30年代か | | | | | |
| | | | | | | 山裾家 | 田淵起毛場 | | | 北新地式丁目 吉増工場 | | Manufactured by Yamasuso | 山田染料商店 |
| | | | | | | | 山裾御店 | | | | | | |
| 反綴 | 反綴 | 縦帳 | 縦帳 | 一紙 | 縦帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 綴り | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------------------------|---------------|----------------|------------|-----------|----------------|------|--------|---------|-----------|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 292 | 290 | 288 | 286 | 256 | 250 | 249 | 219 | 186 | 185 | 178 | 171 | 155 | 154 |
| 〔諸商人織工場へ入ルヲ許サズノ貼紙〕 | 〔衆議院議員総選挙ニ而一旗揚げむ存念ニ付書状〕 | 〔前給御貸被下度ニ付書状〕 | 〔封筒〕 | 〔代金書付〕 | 定（職工賃金ニ付） | 証（請求書） ※明治か | 請求書 | 負債金等内訳 | 〔織物審査法〕 | 〔職工人名書付〕 | 〔同業者名簿〕 ※印刷物 | 綿フランネル織営業組合申合規約中修正按 ※印刷物 | 綿フランネル織営業組合申合規約中修正按 ※印刷物 |
| | | | | | | | | | | 178 -1 | | | |
| | 橋山太郎 | 井領嘉助 | 人 紀州ネル同業組合設置発起 | （三友起毛合資会社） | | 組合営業者 | 滝野米店 | | | | | | |
| | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾孫兵衛 | 山裾 | | 綿フランネル組合事務所 | 山裾 | | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 封筒 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 仮綴 | 仮綴 | 綴り | 仮綴 | 仮綴 | 仮綴 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------------|--------------|-------------------|-------------------|------|--------------|----------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 318 | 317 | 316 | 314 | 311 | 306 | 305 | 303 | 302 | 301 | 300 | 299 | 298 | 295 |
| 紀州ネル同業組合定款 | 紀州ネル染織同業組合会議法 | 紀州ネル染織同業組合定款 | 一月十四日第一回定時総会仮決議定款 | 大阪市綿ネール卸売商同業組合人名簿 | 議案 | 年釀金収支・支部経費収支 | 〔第二五期株主總會承認事項〕 | 〔益金区分規定〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 〔綿ネル通送原票〕 | 出機先 |
| ※印刷物、明治か | ※印刷物、明治か | ※印刷物、明治か | ※印刷物、明治か | ※印刷物 | ※印刷物 | ※印刷物 | | | ※用紙 | ※用紙 | ※用紙 | ※用紙 | ※用紙 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 行) 株式会社和歌山県農工銀 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

(總會)代理委任状

※用紙、明治か

中尾家文書目録
（下津町梅田）

目 次

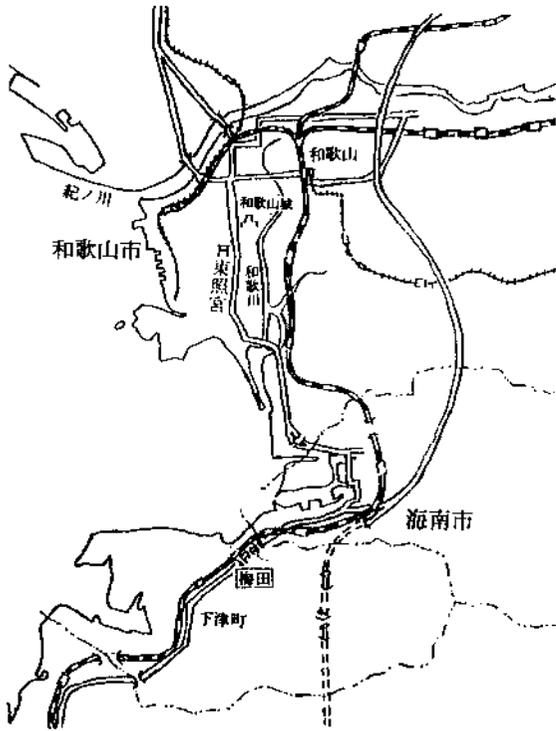
| | | | |
|----|----------------------|-----|--|
| | 中尾家文書解題 | | |
| | 一 中尾家と梅田村 | 210 | |
| | 二 中尾家文書の概要 | 211 | |
| | 三 分類項目の解説 | 211 | |
| | 中尾家文書目録 | 215 | |
| 1 | 支配 | 215 | |
| 2 | 法令 | 215 | |
| 3 | 在夫・銃隊 | 216 | |
| 4 | 村政 | 216 | |
| 5 | 戸口 | 217 | |
| 6 | 村財政 | 222 | |
| 7 | 検地・村高 | 229 | |
| 8 | 地租改正 | 231 | |
| 9 | 年貢・諸役 | 234 | |
| 10 | 地租・租税 | 239 | |
| 11 | 田畑売買・貸借 | 241 | |
| 12 | 入会地入札 | 248 | |
| 13 | 金銭貸借 | 248 | |
| | 14 金融 | 249 | |
| | 15 蜜柑等流通 | 250 | |
| | 16 七木建築 | 257 | |
| | 17 救恤 | 259 | |
| | 18 宗教 | 260 | |
| | 19 教育 | 261 | |
| | 20 家政 | 261 | |
| | 21 雑 | 262 | |

中尾家文書解題

一 中尾家と梅田村

海士郡梅田村（現海草郡下津町。地図参照）の中尾家文書は万治四年（一六六一）から大正十三年（一九二四）までのおよそ二五〇年間のもので、和歌山県立文書館開館にあたって県立図書館から移管された。県立図書館では「海士郡梅田村文書 貢租関係」「同 社会産業関係」として公開していたが、中尾家の家職に伴って集積された文書群と考えられるため、「中尾家文書」と名付けた。

近世の梅田村は、紀州藩領の海士郡加茂組に属した。もとは小南下村の一部で、分村前の小南下村の村高は、慶長十八年（一六一三）の



「紀州御検地帳写」（『和歌山県史』近世史料一所収）で五八五石余であった。寛永十三年（一六三六）、小南下村は黒田村・小松原村とともに和歌浦東照宮に社領として寄進されている（『東照大権現御領支配目録 付山境并山水事』、『南紀徳川史』一六所収）。慶安（一六四八―五一）頃、小南下村は三村に分けられ、小南村・梅田村・下村が成立した（『紀伊統風土記』一）。分村後の梅田村の村高は、宝曆三年（一七五三）、天保五年（一八三四）、明治二年（一八六九）とも一二六石余である（『加茂組書上』、『下津町史』通史編所収。『紀伊国郷帳』、『和歌山県史』近世史料一所収。『旧高旧領取調帳』）。文化三年（一八〇六）頃の調査と思われる『紀伊統風土記』では、家数三四軒、人数一七二人となっている。

明治五年、大・小区制が実施され、梅田村は第二大区第五小区に編入された。十二年の郡区町村編成法により郡・町村の名称が復活したが、二十二年、市制・町村制施行に伴い、梅田村は下村・小南村など九か村と合併して加茂村となり、梅田は加茂村の大字名となった。昭和三十年（一九五五）、下津町が成立し、梅田は同町の大字名となっている。

史料から庄屋名を選び出し、同じ庄屋名のものとした史料の上限・下限の時期を記したのが表1である。梅田村庄屋として中尾の姓が史料に登場するのは明治四年以降であるが、史料の残存状況からみても表に記されたのはすべて中尾家代々の庄屋であろう。庄屋役の消滅の後には、村総代としての中尾姓が明治十年代の史料に散見される（利用番号287等。以下、文中の算用数字は利用番号を示す）。これ以降についての詳細は不明である。

中尾家の、荒地分を除いた田畑所持高は、名寄帳をみていくと、宝永二年（一七〇五）に四・三四一石（151）、享保元年（一七一六）に

五・三六九石(153)、文政五年(一八二二)に三・六〇八石(154)、嘉永五年(一八五二)に三・四〇八石(155)となっている。

二 中尾家文書の概要

中尾家文書は総数六三八点で、近世と明治以降の史料はほぼ半数ずつをしめている。明治四年四月までのものは、主として梅田村庄屋文書であり、五月以降は村総代と蜜柑関係の文書が中心になっている。

特記すべきものをいくつかとりあげると、まず、和歌浦東照宮の社領支配に関する史料が注目される。時期的に限定されるものの、社領独自の支配構造の分析に有効と思われる史料が本文中には残されている。特に、東照宮の

| 庄屋名 | 上限時期 | 西暦 | 利用番号 | 下限時期 | 西暦 | 利用番号 |
|------|-------|------|------|-------|------|------|
| 作右衛門 | 延宝5年 | 1677 | 543 | | | |
| 太兵衛 | 宝永2年 | 1705 | 151 | | | |
| 平右衛門 | 正徳元年 | 1711 | 156 | 享保元年 | 1716 | 153 |
| 太兵衛 | 享保15年 | | 449 | 元文5年 | 1740 | 450 |
| 太忠兵衛 | 天明6年 | 1786 | 478 | 同8年 | | 503 |
| 藤兵衛 | 寛政7年 | 1795 | 492 | 文政5年 | 1822 | 154 |
| 半兵衛 | 文政11年 | | 434 | 天保12年 | 1841 | 500 |
| 右衛門 | 天保15年 | | 157 | 安政3年 | 1856 | 66 |
| 惣助 | 安政3年 | | 507 | 同4年 | | 351 |
| 多兵衛 | 同5年 | | 357 | | | |
| 惣助 | 同6年 | | 398 | 明治3年 | 1870 | 331 |
| 中尾惣助 | 明治4年 | | 323 | | | |

別当寺である雲蓋院やその子院の、僧正の入れ代わりに伴う入院・葬式・所見時の、社領五か村の対応の様子などが分かるもの(178)や、社領の支配役人交替の、村方への通知状況が分かるもの(329)などもある。また、村入用割付関係の帳簿類などから社領独自の歳出項目をみることで(296等)。

梅田・小南・下三か

村共有の灌漑池の維持負担に関する史料にもみるべきものが多い。具体的には、幕末から明治初期にかけての柳谷池と下池の営繕・普請・維持管理などに伴う経費を記した帳簿類が大半である。これらも時期的には限定されるが、村落における共有池の性格や構造などの様々な分析に寄与するものと思われる。

明治初期から大正にかけての蜜柑関係の文書が多く含まれていることも特記すべきことであろう。東京をはじめ京浜地方を中心とする蜜柑出荷に伴うもので、東京売捌問屋からの仕切金、海上輸送の際の廻送船、蜜柑の採集・集荷・出荷に関して記された帳簿類が中心である。中尾家がこの蜜柑出荷にどのように関わっていたのか詳細は不明であるが、明治十二年に「周施方」として「加茂上組世話人」より給料が支払われている(89)。経費としては、東京問屋からの蜜柑代金の仕切金支払いに関わる諸連絡費、積場や道路(運送経路上の道路と思われる)の営繕費、印鑑や筆代などが計上されており、中尾家が少なくともこの時期に、蜜柑出荷に関して周旋的な位置にあったことが分かる。この他、若干連続性に欠けるものの、名寄帳類が数点残っている。また、幕末から明治初期の救恤関係、明治初期の村財政関係などにも注目すべき史料が多い。

三 分類項目の解説

中尾家文書は表2の二一項目に分類した。

表2 分類項目一覧

- 1 支配
- 2 法令
- 3 在夫・銃隊
- 4 村政
- 5 戸口
- 6 村財政
- 7 検地・村高
- 8 地租改正
- 9 年貢・諸役
- 10 地租・租税
- 11 田畑売買・貸借
- 12 入会地入札
- 13 金銭貸借
- 14 金融
- 15 蜜柑等流通
- 16 土木建築
- 17 救恤
- 18 宗教
- 19 教育
- 20 家政
- 21 雑

1 支配 (六六)

紀州東照宮および藩による、村支配に関する史料をここに分類した。「御通し并御達し留」(329)から、東照宮は社領の村々を用部屋を通じて支配しており、用部屋からは担当役人である納所役・用部屋役の変更が村に伝えられ、村からは用部屋に宛てて伐木の願いが通されていることがわかる。「御国并勢州三領共郡々覚記」(346)は、『和歌山県史』近世史料五にのせられた御坊市立図書館の同名の史料と同内容である。裏表紙には「和田浦 中西佐吉亨之 文久元年 酉卯月中旬日」とある。この史料の性格を検討するために、『和歌山県史』近世史料五の「解説」を参照されたい。

2 法令 (八六)

東照宮および藩・県からの条目を集めた。東照宮領である村には、延宝五年(一六七七)、和歌御神社代官所からのわずかな内容の定めが、藩のものと思われる法令とともに触れられている(543)。しかし、その後の法令類は残されていない。一方、天和元年(一六八一)以降、村には藩の法令が郡奉行・大庄屋を通じて達せられている(335・333・345・340)。藩の法令の達せられる流れが、同じ時期に東照宮からと郡奉行からとの二方向があるとは考えにくいから、この変化は史料の残り方の問題ではなく、東照宮の直支配が後退したことを示しているものであろう。「御通し并御達し留」(329)との関係でいえば、天和元年以後の東照宮の支配は、一般の家臣の地方に対する支配に近い程度にまで制限されていったものと考えられる。

3 在夫・銃隊 (七六)

いずれの史料にも年号は書かれていないが、619・620・624・637は長州

征討の在夫徴発に関する史料で、おそらく、慶応元年(一八六五)の第二回征討時のものである。470・484は銃隊訓練の際の史料で、いずれも三月付であることから同三年のものと考えられる(古田耕次「長州征伐における紀州藩農民の動向」、『近世和歌山の構造』。田口恵子「慶応年間、紀州藩の銃隊編成」、『和歌山地方史研究』二、参照)。

4 村政 (九六)

村定・願書など、村の運営にかかわるものを収めた。

5 戸口 (六六)

人別送状・人教帳・養子縁組願書・家出人届・往来手形などをこの項に入れた。人教帳はもとより、養子縁組願書も大庄屋宛に出され、村への出入全体の監督(332・342・517)、あるいは人別送の手続上の不備に関する件(525・520・521・522)などもまた大庄屋扱いになっている点には注意を要する。

6 村財政 (一〇〇)

池床年貢・村小入用・池水掛・地租改正諸入費・村費などに関する史料で、その村民への割賦および梅田村・下村・小南村三か村への割賦が記されている。伝馬人足の集計が書かれた帳面も含まれている。なお、池の営繕およびその費用に関しては土木建築の項に収めた。

7 検地・村高 (二三)

検地帳・名寄帳、および村高調をいれた。下限は明治四年とした。

8 地租改正（四〇点）

地租改正にともなう田畑等の丈量・等級調の史料を集めた。明治六年以後の地券交付等、近世の頁租体系を修正していく作業に関する史料もここに入れた。

9 年貢・諸役（六六六点）

明治四年までの年貢・諸役に関する史料を収めた。

10 地租・租税（三五五五点）

明治八年以後の地租等、租税関係史料の項目とした。「地租并越米取立帳」（328・321）はそれぞれ「榎田邨吉祥院」「善福院世話人」所持の帳面となっていて、吉祥院・善福院が地租等取立の世話人になっていたことがわかる。

11 田畑売買・貸借（八九九点）

田畑の売買・貸借の証文などを集めた。「〔新田売買之件雲蓋院婿明三付覚〕」（5）は、三通の文書から成る。一通目の文書は、元禄四年（一六九一）二月、黒江村の農民が所持していた小南村の新田を、梅田村の農民が買い入れようとした。兩人は黒江・小南両村の庄屋を通じて大野・加茂の両大庄屋に宛て、雲蓋院に断りを入れてくれるようお願いした。二通目にせえられた三通目の文書が、大庄屋からの願いを受け、雲蓋院が大庄屋に宛て新田売買を認めることを記した覚である。二通目の文書が、大庄屋兩人が梅田村の農民に宛てて、雲蓋院から許しをえた旨伝えたものである。この通知をえて翌三月に売買が実際行われたことを示すのが「売渡申田地之事」（9）である。この一連の文書を通じ、雲蓋院の承認を必要とした新田の売買があったこと、

農民の願いに対する請人として、新田のある小南村と、売手である黒江村の庄屋が立っていることがわかる。この分類項目中には、ほかに雲蓋院が関与している文書が数点含まれている。雲蓋院や藩による村方支配の構造を考える材料となる史料である。また、「永代売渡申新田之事」（2）は、売手が雲蓋院の子院真性院となっている。

12 入会地入札（三点）

入会山の入札名前帳を入れた。

13 金銭貸借（一五五五点）

金銭貸借の史料である。明治十三年の四通の証書（541・540・471・480）に書かれた貸主は、蜜柑関係の史料に登場する中山甚吉である。その借入金は、蜜柑の流通業務に関する資金の調達であった可能性がある。

14 金融（一八八二点）

頼母子・講・銀行預金に関する史料を入れた。

15 蜜柑等流通（九二二点）

蜜柑を中心に、金柑・枇杷・梅の流通に関する史料を入れた。蜜柑関係の史料の中で早い時期のものとして、いずれも八良兵衛名の書かれた、安政七年（一八六〇）の「蜜柑扣帳」（92）と明治五年（一八七二）の「中年蜜柑方扣帳」があるが、大方の史料は明治八年以降、大正期にかけてのものである。近世には蜜柑方役所が紀州蜜柑の流通に関与していたが、明治八年にはこれに対抗して新蜜柑方が結成された。旧蜜柑方役所も九年に機構の改革にのりだし新蜜柑方の切崩しにも動く。以後、三十八年に同業組合が結成されるまで、流通組織の改

廃はめまぐるしいものがあつた（『和歌山県史』近現代一）。中尾家の蜜柑関係史料はちょうどこの時期に重なっている。中尾家は史料をみる限りでは明治八年ごろから蜜柑問屋に相当する「みかん世話人」であつたらしい。「米國輸出雇人扣」（76）も残されているが、中尾家の業務との関係ははつきりしない。

16 土木建築（二二点）

普請・營繕などの史料を集めた。營繕のための人夫賃銭はここに入れたが、通常の池掛りの人夫賃は村財政の項に分類した。

17 救恤（一三点）

村の救恤の史料を入れた。

18 宗教（一五五点）

梅田村にあつた寺院・神社である吉祥院・善福院（釈迦堂・広福禅寺）・地藏寺・加茂社に関する文書である。堂塔修復費捻出のための田畑売買は田地売買・貸借の項に入れた。

19 教育（三二点）

小学校の史料を集めた。

20 家政（六六二点）

中尾家の家に属する史料の項目である。五通の覚（585・519・579・553・526）は一連のものと思われる。「其元様御入用」とあるから中尾家で必要な資材であつたのだから、詳しいことはわからない。

21 雑（二二点）

分類のできない史料を入れた。

| | |
|----|------|
| 解題 | 一・二 |
| 三 | 細谷勘介 |
| 目録 | 遊佐教寛 |
| | 細谷勘介 |
| | 遊佐教寛 |

中尾家文書目録

1 支配

| 利用番号 | 標 題 | 年 代 | 作 成 者 | 宛 名 | 形 態 |
|------|--|---------|---------|------------------------|-----|
| 346 | 御国并勢州三領共郡々覚記 ※映入、文久元年2月写 | 元禄12年2月 | 和田浦中西佐吉 | | 豎 帳 |
| 180 | 御神領小松原村・小南村・梅田村・下村黒田村、長保寺御領 上村之内にて諸士様方殺生不被成場所御究り之趣被仰渡候御 書面之写シ帳 小南村 | 宝永5年12月 | | | 豎 帳 |
| 178 | 御入院之御節諸事控 御神領五ヶ村 | 嘉永4年10月 | | | 豎 帳 |
| 329 | 御通し并御達し留(納所役・用部屋役ニ付并御社普請ニ杉木 入用ニ付) 御神領 | 嘉永4年 | | | 豎 帳 |
| 546 | 〔御鳥見方御順在之節当組へ御入込有之候ニ付廻文〕 | 3月20日 | 大庄屋 | 丁・黒田・下・梅田4ヶ村 | 一 紙 |
| 545 | 〔堀田弥兵衛帳書被仰付候ニ付廻文〕 | 12月4日 | 杖突幸之助 | 黒田・塩津・下・梅田・小 南5ヶ村庄屋 | 一 紙 |

2 法令

| | | | | | |
|-----|--------------------------|---------|------------------|---------|-----|
| 543 | 〔延宝五年神領五ヶ村法度条文写書〕 ※前欠 | 延宝5年1月 | 梅田村庄屋作右衛門 他2名 | | 一 紙 |
| 335 | 郷組一札(郷中定書ニ付) ※文化7年写 | 天和元年10月 | | | 豎 帳 |
| 333 | 御俚約之儀ニ附御書付写シ | 安永9年4月 | | | 豎 帳 |
| 345 | 〔村中定書ニ付、承知印形仕らせ差上候帳面〕 | 文久3年8月 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 中尾五郎右衛門 | 豎 帳 |

| | | | |
|-------------------------|--------------|---------------------|------------------------|
| 582 | 257 | 331 | 340 |
| (在國中諸役所休日ニ付勘定奉行所より廻状) | (各種税金納収ニ付条令) | 御条目御趣意扣(風俗取締ニ付) 梅田村 | 御趣意ニ付奉畏村中承知印形帳(博奕禁制ニ付) |
| 10月21日 | 明治9年2月4日 | 明治3年4月 | 慶応3年6月 |
| 大庄屋 | 和歌山県令神山郡廉 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 他1名 |
| 丁・黒田・方・丸田・塩津・ 下6ヶ村庄屋 | | 中西市兵衛 | 中西市兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

3 在夫・銃隊

| | | | | | | |
|----------------------|---------------------|----------------|------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|
| 470 | 484 | 618 | 624 | 620 | 619 | 637 |
| 乍恐奉御願申上候口上(銃隊訓練稽古ニ付) | 乍恐奉御願申上口上(銃隊訓練稽古ニ付) | (道中無事ニ罷帰候ニ付書状) | (ふねにて芸州下口出立ニ付書状) | (道中之借銀返済等ニ付金子差越被下度候ニ付書状) | (合戦場出張等致候間金子差越被成下度候ニ付書状) | (在夫等ニ付入用書付) |
| 3月 | 3月 | 4月26日 | 5月29日 | 9月7日 | 9月10日 | |
| 梅田邑銃隊伝右衛門 | 梅田村銃隊伝右衛門 | 源右衛門 | 源右衛門 | 源右衛門 | 源右衛門 | |
| 碓市三郎 | 碓市三郎 | 庄屋太兵衛 | 庄屋太兵衛 | 庄屋太兵衛 | 庄屋且那 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

4 村政

| | | | |
|---------------------|----------|--------------------|----|
| 73 | 万治4年2月1日 | 時証人梅田寺先祖久五郎 他4名 | 一紙 |
| 梅田村中相談にて定置申事(山売買ニ付) | | | |

5 戸 口

| | | | | |
|----------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 479 | 503 | 518 | 439 | 478 |
| 奉願上候(養子貫請、役棟相統仕度候ニ付) | 送り一札之事 | 奉願候(悴養子ニ遣シ申度候ニ付) | 送り一札之事 | 請込一札之事 |
| 天明9年2月 | 天明8年1月 | 天明6年2月 | 天明6年2月 | 天明6年1月 |
| 海士郡加茂組梅田村權七 他1名 | 引尾村庄屋九郎兵衛 他1名 | (伝八) | 梅田村庄屋忠兵衛 他1名 | 梅田村庄屋忠兵衛 他1名 |
| 中尾元五郎 | 梅田村庄屋忠兵衛 他 | | 下村庄屋藤四郎 他1名 | 下村庄屋藤四郎 他1名 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | |
|--------------------|----------|-------------------|--------------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|--|
| 616 | 589 | 514 | 6 | 341 | 176 | 165 | 434 |
| 〔仕事被申付当暮帰宅不仕候ニ付書状〕 | 〔忠助賃金書付〕 | 義定一札之事(俸本心取直し候ニ付) | 下村より願書出シ申ニ付口上(下村領武神原ニ建候家之支配ニ付) | 伍組連判帳 梅田村 | 御本坊へ願狀數通知(伐木之節之極印ニ付、御用船破損ニ付、近年凶作ニ付等) | 五ヶ村割之節献立定 | 乍恐奉願上口上(鍛冶屋売買道具被奪取、百姓方野道具等之差支ニも可相成候ニ付) |
| 12月27日 | 3月16日 | 未12月 | 卯3月 | 明治5年3月 | 安政5年11月 | 文政13年 | 文政11年3月 |
| 大工藤兵衛 | | 七右衛門 | 海士郡梅田村庄屋多兵衛 他2名 | | 御神領小南村元ノ | 神領五ヶ村 | 梅田村庄屋半兵衛 他3名 |
| 庄屋半兵衛 | | 御一統 他 | 加茂組大庄屋中尾善兵衛 | | | | 中尾五郎右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------------------|----------|--------------|-----------|----------|-------------|-------------|----------|------------------|-----------|--------------|-----------|----------------------|
| 445 | 483 | 497 | 502 | 486 | 501 | 438 | 58 | 495 | 491 | 444 | 490 | 492 | 433 |
| 奉願上候 ひかへ(養子貰請、役棟相続仕らせ度候ニ付) | 一札之事(町方罷越居申度段人別送) | 受込一札之事 | 送り一札之事ひかへ | 請込一札之事 | 受込一札之事 | 送り一札之事 | 受込一札之事 | 受込一札之事 | 請込一札之事 | 送り一札之事 | 受込一札之事 | 請込一札之事 | 奉願上候(養子貰請、役棟相続仕度候ニ付) |
| 文化6年1月 | 文化5年4月 | 文化2年1月 | 享和2年1月 | 享和2年1月 | 寛政13年2月 | 寛政12年1月 | 寛政12年1月 | 寛政11年12月 | 寛政11年3月 | 寛政11年3月 | 寛政11年1月 | 寛政7年2月 | 寛政3年1月 |
| 海士郡加茂組梅田村庄次郎 他1名 | 海士郡梅田村庄屋藤兵衛 他1名 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 梅田村庄屋藤兵衛 他1名 | 塩津浦庄屋伝右衛門 | 鱒川村庄や吟蔵 | 庄屋 他1名 | 中村庄屋楠太郎 他1名 | 塩津浦庄屋万助 | 梅田村庄屋藤兵衛 他1名 | 大崎浦庄屋伝左衛門 | 塩津浦庄屋万助 他1名 | 引尾村庄屋九郎兵衛 | 海士郡加茂組梅田村庄忠兵衛 他1名 |
| 中尾五郎右衛門 | 新中通茶屋町年寄 | 鱒川村庄屋吟蔵 | 塩津浦庄屋伝右衛門 他 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 中村庄屋楠太夫 他1名 | 梅田庄屋藤兵衛 他1名 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 杳掛村庄屋源右衛門 他1名 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 梅田村庄屋藤兵衛 他1名 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 中尾元五郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------|---------------------|-----------|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-------------------|----------------------|--------------|---------------------------|
| 512 | 496 | 504 | 29 | 499 | 506 | 65 | 508 | 447 | 13 | 437 | 511 | 505 | 476 |
| 送一札之事 | 請込一札之事 | 送り一札之事 | 送り一札之事 | 請込一札之事 | 送り一札之事 | 受込一札之事 | 送り一札之事 | 請込一札之事ひかへ | 送り一札之事 | 覚(大工職稼参り居候為、人別送り) | 奉願上候(養子貫請、役棟相続仕度候ニ付) | 送り一札之事 | 奉願上候 ひかへ(養子貫請、役棟相続仕り度候ニ付) |
| 天保6年1月 | 天保6年1月 | 天保4年1月 | 天保2年1月 | 文政11年1月 | 文政4年1月 | 文政3年1月 | 文化14年1月 | 文化11年1月 | 文化11年1月 | 文化9年2月 | 文化9年1月 | 文化9年1月 | 文化9年1月 |
| 梅田村庄屋半兵衛 | 梅田村庄屋半兵衛 | 梅田村庄屋半兵衛 他1名 | 曾根田村庄屋善五郎 | 梅田村庄屋半兵衛 他1名 | 引尾村庄屋次兵衛 | 塩津浦肝煎彦右衛門 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 下村庄屋庄兵衛 | 海士郡梅田村庄屋藤兵衛 | 海士郡梅田村武右衛門 他1名 | 下村庄屋藤四郎 他1名 | 海士郡梅田村新右衛門 他1名 |
| 小原村庄屋孫右衛門 | 小南村庄屋甚右衛門 他1名 | 丸田村兼帯庄屋黒田庄屋三右衛門 他1名 | 梅田村役人 | 丸田村肝煎楠右衛門 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 塩津浦庄屋九郎兵衛 | 下津浦庄屋久右衛門 | 梅田村庄屋藤兵衛 | 久保町二丁目御役人 | 中尾五郎右衛門 | 梅田村庄屋藤兵衛 他1名 | 中尾五郎右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------------|--------------|----------|----------|----------|----------|-------------------------|
| 339 | 507 | 537 | 494 | 66 | 38 | 16 | 498 | 509 | 500 | 493 | 15 | 14 | 513 |
| 八歳以上人数帳就切支丹御改村中神文并寺一札 梅田村 | 覚(人別送り受取ニ付) | 受込一札之事 ※包紙あり | 受込一札之事 | 受込一札之事 | 請込一札之事 | 請込一札之事 | 請込一札之事 | 請込一札之事 | 受込一札之事 | 受込一札之事 | 送り一札之事 | 送り一札之事 | 乍恐口上覚(当村吉三郎家出仕候ニ付) |
| 安政5年1月 | 安政3年7月29日 | 安政3年1月 | 安政3年1月 | 安政3年1月 | 安政3年1月 | 安政3年1月 | 嘉永5年2月 | 天保15年1月 | 天保12年1月 | 天保8年1月 | 天保8年1月 | 天保8年1月 | 天保7年2月27日 |
| | 泉州助松村役人 | 大崎浦庄屋伝左衛門 | 大崎浦庄屋伝左衛門 | 椒里村庄屋安太夫 | 塩津浦庄屋彦右衛門 | 塩津浦庄屋彦右衛門 | 名草郡山口組永徳村 庄屋大蔵 | 日方組冷水浦庄屋儀右衛門 | 下村庄屋吉兵衛 | 引尾村庄屋次兵衛 | 塩津浦庄屋新九郎 | 梅田村庄屋半兵衛 | 海士郡梅田村吉三郎親類安 右衛門 他2名 |
| | 紀州海士郡梅田村庄屋惣助 | 梅田村多右衛門 | 梅田村太右衛門 | 梅田村庄屋太右衛門 | 梅田村役人 | 梅田村役人 | 梅田村御役人 | 加茂組梅田村御役人 | 梅田村庄屋半兵衛 | 梅田村御役人 | 梅田村庄屋半兵衛 | 中村庄屋清兵衛 | 中尾平次郎 |
| 懸帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|-----------------------|---------------------|-----------|-------------|--------------------------|----------|--------------|--------------|--------------|-------------------------|---------------------------------|----------|
| 521 | 525 | 442 | 544 | 510 | 57 | 436 | 485 | 344 | 342 | 332 | 481 | 338 | 435 |
| 〔村送り之儀相濟候ニ付書付〕 | 〔村入人取組之差支有無ニ付〕 | 奉願上候 ひかへ(忝養子ニ遣シ申度候ニ付) | 奉願候(養子ニ役棟取統させ申度候ニ付) | 請込一札事 | 受込一札之事 | 覚(西国巡礼道中人、足痛ニ而国元迄送り遣候ニ付) | 送り一札之事 | 戸籍并人員取調帳 梅田邑 | 午八歳入人仕出帳 梅田村 | 午八歳入人仕出帳 梅田邑 | 乍恐奉願上候口上(当村伊右衛門家出致し候ニ付) | 八歳以上人数帳就切支丹御改村中神文并寺一札 御神領梅田村 | 往來手形之事 |
| 7月9日 | 2月9日 | 亥1月 | 酉1月 | 未1月 | 午1月 | 辰 | 丑1月 | 明治5年2月 | 明治3年1月 | 明治3年1月 | 慶応元年8月 | 文久3年1月 | 文久2年3月 |
| 湯川八左衛門 | 大庄屋 | 梅田村次兵衛 他1名 | 梅田村平右衛門 | 小原村庄屋孫右衛門 | 海士郡下津村庄屋谷五郎 | 紀州海士郡梅田村庄屋藤兵衛 他1名 | 蝶川村庄や吟藏 | | 梅田村庄屋惣助 | 梅田村庄屋惣助 | 梅田村伊右衛門親類伊助 他2名 | | 中尾惣助 |
| 中尾五郎右衛門 | 庄屋半兵衛 | 中尾元五郎 | 大庄屋 | 梅田村庄屋半兵衛 | 有田郡北湊村役人 | | 梅田村庄屋藤兵衛 | | 中西市兵衛 | 中西市兵衛 | 中尾五郎右衛門 | | 諸国御番所御役人 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

6 村財政

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------|--------------------|-----------------------------|------------------|--------------------|----------------|---------------------|--------------------|----------------------|-----------------|---------------|---------------------|
| 195 | 194 | 193 | 192 | 185 | 296 | 212 | 440 | 524 | 517 | 441 | 522 | 520 |
| 午年中三ヶ村江仕出し帳 梅田村 | 午年中諸取替仕出し帳 下村 三ヶ村江 | 午年中諸色仕出し帳 小南村より三ヶ村 | 午年中三ヶ村諸色入用割符元帳 当番梅田村 ※合冊 | 午年中諸取替并人足着到帳 梅田村 | 辰年中諸色小入用割賦帳 御神領梅田村 | 池水掛り反敵仕出し帳 梅田村 | 御断中上候(午・未小入用増減差引ニ付) | 村送り一札之事 ※雛形 | 御願中上候(大坂等ニ奉公ニ出申候者ニ付) | 宗旨送り手形之事 ※雛形 | 〔村送り願相済候ニ付書付〕 | 〔村送り一札相認させまし越候ニ付書付〕 |
| 192-4 | 192-3 | 192-2 | 192-1 | | | | | | | | | |
| 安政5年 | 安政5年 | 安政5年12月 | 安政5年12月 | 安政5年1月 | 安政3年11月 | 嘉永5年12月 | 天保7年1月 | | | | 7月11日 | 7月11日 |
| | | | 小南村庄屋忠五郎 他5名 | | 庄屋惣助 他6名 | | 梅田村庄屋半兵衛 他1名 | | | | 中尾五郎右衛門 | 中尾五郎右衛門 |
| | | | | | | | 中尾平次郎 | 家(紀州伊都郡丁ノ町組新在家村役人) | 中尾平次郎 | 伊都郡大谷村元興寺 | 藤兵衛 | 藤右衛門 他1名 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------|--------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|--------------------|------------------------|
| 213 | 191 | 297 | 206 | 186 | 302 | 219 | 199 | 198 | 197 | 196 | 300 | 184 | 208 |
| 池水掛り反畝仕出し帳 梅田村 | 子年中池床御年貢并諸色入用割賦帳 梅田村 | 子年中諸色小入用割賦帳 御神領梅田村 | 子傷毛荒色入用割符帳 三ヶ村 | 子年中諸取替并人足扣帳 梅田村 | 亥年中池床御年貢并諸色入用割賦帳 梅田村 | 亥年中小入川水懸共為替帳 小南村より梅田村へ | 酉年中三ヶ村諸色入用割符元帳 当番梅田村 | 酉年中諸色三ヶ村江仕出し帳 下村 | 酉年中諸色仕出し帳 小南より三ヶ村 | 三ヶ村江年中諸色用仕出帳 梅田村 | 申年中諸色小入用割賦帳 御神領梅田村 | 酉年中諸取替并人息扣帳 梅田村 | 未小入用并水掛共為替帳 下村 梅田村江 |
| | | | | | | | 196 -4 | 196 -3 | 196 -2 | 196 -1 | ※合冊 | | |
| 元治元年12月 | 元治元年12月 | 元治元年11月 | 元治元年10月 | 文久4年1月 | 文久3年12月 | 文久3年12月 | 文久元年12月 | 文久元年12月 | 文久元年12月 | 文久元年12月 | 万延2年11月 | 万延2年1月 | 安政6年12月 |
| | 小南村庄屋忠五郎 他6名 | 庄屋惣助 他6名 | 小南村庄屋忠五郎 他2名 | | 小南村庄屋忠五郎 他6名 | 小南村庄屋忠五郎 | 小南村庄屋忠五郎 他5名 | | | | 庄屋惣助 他6名 | | 下村庄屋嘉右衛門 |
| | | | | | | 梅田村庄屋惣助 | | | | | | | 梅田村庄屋惣助 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---------------------|---------------------|-----------------|----------------|----------------|------------------------|---------------------|-----------------|---------------------------|---------------------|-----------------|----------------------|----------------------|
| 215 | 207 | 190 | 299 | 227 | 188 | 203 | 202 | 201 | 200 | 189 | 187 | 217 | 301 |
| 辰小入用水共為替帳 下村 梅田村 | 辰小入用水共為替帳 小南村より梅田村へ | 辰年中池床御年貢諸色入用割符帳 梅田村 | 辰年中諸色小入用割賦帳 梅田村 | 辰年中諸色小入用通 梅田村 | 辰年中諸取替人足扣帳 梅田村 | 卯年中諸色入用并人足仕出し帳 下村 三ヶ村江 | 卯年中諸色人足小入用帳 小南村 三ヶ村 | 卯年中諸色入用仕出し帳 梅田村 | 卯年中三ヶ村諸色割符元帳 当番梅田村 ※合冊 | 卯年中池床御年貢諸色入用割符帳 梅田村 | 卯年中諸取替并人足扣帳 梅田村 | 寅小入用水懸共為替帳 小南村より梅田村へ | 丑年中池床御年貢并諸色入用割賦帳 梅田村 |
| 明治元年12月 | 明治元年12月 | 明治元年12月 | 明治元年11月 | 慶応4年1月 | 慶応4年1月 | 慶応3年12月 | 慶応3年12月 | 慶応3年12月 | 慶応3年12月 | 慶応3年12月 | 慶応3年1月 | 慶応2年12月 | 慶応元年12月 |
| 下村庄や嘉右衛門 | 小南村庄屋三郎兵衛 | 梅田村庄屋惣助 他6名 | 梅田村庄屋惣助 他4名 | 笠畑村庄屋喜右衛門 他28名 | | | | | 小南村庄屋三郎兵衛 他5名 | 小南村庄屋三郎兵衛 他6名 | | 小南村庄屋三郎兵衛 | 小南村庄屋忠五郎 他6名 |
| 梅田村庄屋宗助 | 梅田村庄屋惣助 | | | | | | | | | | | 梅田村庄屋惣助 | |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|---|--------------------|-------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------|---------------|--------------------|-----------------------|----------------------|------------------------|---------------------------|
| 295 | 245 | 304 | 253 | 327 | 326 | 250 | 298 | 211 | 179 | 220 | 214 | 170 | 224 |
| 諸色小入用取立帳 榎田村 | 海士郡梅田村字垣内下池樋取替諸色小入用帳 梅田村 | 明治八年四月一日ヨリ六月三十日迄、七月一日ヨリ十二月三十一日迄、第二大区五小区諸入費賦課帳 梅田村 | 明治八年中池之貢租諸入用帳 梅田村 | 実地丈量中人□□□(夫扣帳) 梅田村方 ※破損 325-3 | 実地丈量ニ付請掛り取たて帳 梅田村方 325-2 | 明治九年第一月ヨリ子年中諸色小入用并ニ人足控帳 梅田村方 | 第二大区五小区一月より三月迄諸入費賦課帳 梅田村 | 池水掛反敵仕出シ帳 梅田村 | 乍恐御達奉申上候口上(村小入用ニ付) | 已年中小入用水共為替帳 小南村より梅田村江 | 已年中小入用水共為替帳 下村より梅田村江 | 已年中御神領五ヶ村小入用割符帳 宿本当番下村 | 已年中諸色小入用通 梅田村 ※作成者部分破損 |
| 明治9年7月 | 明治9年3月 | 明治9年2月25日 | 明治9年2月13日 | 明治9年1月 | 明治9年1月 | 明治9年1月 | 明治8年5月19日 | 明治6年 | 辛未4年6月 | 明治2年12月 | 明治2年12月 | 明治2年12月 | 明治2年1月 |
| | 梅田村副小長宮尾藤兵衛 | 会議所 | 梅田村副戸長宮尾藤兵衛 他2名 | | | 中尾 | | | 梅田村庄屋中尾惣助 他1名 | 小南村庄屋兵九郎 | 下村庄屋政右衛門 | 小松原村庄屋重左衛門 他4名 | 笠畑村庄屋喜右衛門 他 |
| | 松尾半三郎 | 副戸長宮尾藤兵衛 | | | | | | | 中西市兵衛 | 梅田村庄屋惣祐 | 梅田村庄屋惣助 | | |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 綴り | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 縦帳 | 綴り | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------|-------------------|------------|-----------------|------------------|---|----------------|------------|-----------------|
| 309 | 306 | 205 | 204 | 225 | 287 | 310 | 209 | 289 | 305 | 303 | 363 | 226 | 288 |
| 諸入費取立帳 梅田村 | 諸入費取立帳 第二大区五小区梅田村 | 三ヶ村池水掛り諸入費人夫帳 梅田村 204-2 | 明治十一年寅歳三ヶ村水割元帳 ※合冊 204-1 | 明治十一年一月ヨリ六月迄小入用入費帳 第二大区五ノ小区梅田村 | 明治十年六月ヨリ十二月迄諸色小人用取替帳 梅田村 | 諸入費取立簿 第二大区五小区梅田村 | 明治十年諸色小入用帳 | 丑年中水掛諸色小取替帳 梅田村 | 新名寄帳認ニ付入費割賦帳 梅田村 | 明治九年一月一日ヨリ同六月三十日迄、七月一日ヨリ同十二月三十一日迄、第二大区五小区諸入費賦課帳 梅田村 | 収獲并等級調人夫控帳 梅田村 | 子歳諸色替帳 梅田村 | 子年中水掛諸色小取替帳 梅田村 |
| 明治12年8月 | 明治12年1月 | 明治11年12月 | 明治11年12月 | 明治11年7月29日 | 明治11年1月23日 | 明治10年 | 明治10年 | 明治10年12月 | 明治10年7月 | 明治10年2月2日 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年12月 |
| | | | 下村総代萩野源祐 他1名 | 第二大区五小区会議所 | 第二五会議所 | | 世話人 | | | | | | |
| | | | | 総代中尾総助 | 梅田村総代中尾惣助 | | | | | | | | |
| 縦帳 | 縦帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 縦帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------|-----------------------|------------|-----------|--------------------------|---------------|-------------|---------------------------------|------------------|---------------|-------------------------------|-------------------------|
| 293 | 292 | 318 | 319 | 294 | 168 | 249 | 246 | 314 | 221 | 315 | 308 | 251 | 248 |
| 明治廿年七月ヨリ十二月迄村費賦課并取立帳 海部郡梅田村 | 明治廿年一月一日ヨリ七月三十一日迄村費賦課并取立帳 海部郡梅田村 | 地押検査ニ係ル諸入費賦課并取立帳 海部郡梅田村 | 地押ニ係ル諸入費賦課及取立帳 海部郡梅田村 | 諸入費取立帳 梅田村 | 諸色取換并雜事控帳 | 第一月ヨリ明治十六年末諸入費人夫帳 海部郡梅田村 | 諸人夫賃金仕払帳 梅田村方 | 山諸入費取立帳 榎田村 | 明治十五年第一月ヨリ十二月三十一日迄諸入費人夫帳 海部郡榎田村 | 山林原野諸入費并人足帳 梅田村 | 諸入費取立帳 海部郡梅田村 | 明治十三年辰一月一日ヨリ六月三十一日迄諸入費人夫帳 梅田村 | 明治十二年卯一月ヨリ六月迄諸入費人足帳 梅田村 |
| 明治20年 | 明治20年 | 明治20年12月 | 明治20年8月 | 明治19年12月 | 明治17年1月 | 明治16年 | 明治16年 | 明治15年 | 明治15年 | 明治14年12月14日 | 明治13年8月 | 明治13年1月 | 明治12年 |
| | | | | | 曾根田村役場 | | | | 總代中尾総助 | 調査委員中尾太兵衛 他1名 | | 中尾 | 中尾総助 他4名 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|----------|-----------------------------------|-------------|--------------|-----------|------------------------|---------------|-------------------|---------------------|----------------------|--------------------------------------|-------------------|
| 256 | 210 | 140 | 247 | 564 | 258 | 568 | 260 | 588 | 218 | 216 | 578 | 325 | 290 |
| (人夫賃書付) | 水掛乙井人夫并 小南村 | (金銭勘定書付) | 明治十六年第一月ヨリ十二月卅一日迄諸入費人足帳 海部郡梅田村 | 記(渡候小入用高書付) | (株田村方諸費勘定書付) | 記(賃金勘定書付) | 覚(梅田村高割勘定書付) ※横帳の二丁 | (梅田村卯辰伝馬足銀書付) | 大川除懸為替帳 小南村より梅田村へ | 丑小入用水共為替帳 小南村より梅田村へ | (小南・梅田・下三ヶ村為替金等勘定書付) | 実地丈量中諸入費払帳 第二大区五ノ小区 梅田村 ※合冊 325-1 | 明治二十一年村費諸入費扣帳 梅田村 |
| | | | 12月19日 | 8月2日 | 3月23日 | 2月22日 | 卯12月 | 辰12月 | 辰12月 | 丑12月 | 丑1月18日 | (明治) | 明治21年 |
| | | | 村惣代兼議長中尾惣助 他4名 | 小川佐々 | | | 小松原村庄屋重右衛門 他9名 | | 小南村庄屋三郎兵衛 | 小南村庄屋忠五郎 | (中尾) | | |
| | | | | 梅田村中尾惣助 | | 宮尾藤兵衛 | | | 梅田村庄屋惣助 | 梅田村庄屋惣助 | | | |
| 綴り | 横帳 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | |
|---------------------------|--------------------------|---|-----------------------|--------------------------------|
| 156 | 151 | 143 | 392 | 142 |
| 正徳元年卯之七月名寄帳 海士郡梅田村 ※映入 | 宝永貳年酉七月名寄帳 海士郡梅田村 ※映入 | 元禄十一年八月海士郡梅田村新畑寅之改検地帳 ※合冊、映入 143-1 ※文政5年5月写 | 慶長六年・元禄十年御検地帳写 海士郡梅田村 | 慶長六年御検地帳之写 海士郡梅田村 ※享保元年10月写、映入 |
| 正徳元年7月 | 宝永2年7月 | 元禄11年8月 | 慶長6年 | 慶長6年 |
| 梅田村庄屋平右衛門 他5名 | 時之庄屋太兵衛 他7名 | 川口安右衛門 他2名 | 梅田村庄屋藤兵衛 他4名 | 梅田村庄屋平右衛門 他8名 |
| 翌帳 | 翌帳 | 翌帳 | 翌帳 | 翌帳 |

7 検地・村高

| | | | | | | | |
|--------------------|-------------------|------------------------------|---------------|---------------|-------------------|--------------|---------------------|
| 633 | 587 | 586 | 569 | 563 | 551 | 311 | 261 |
| 〔梅田・小南・下三ヶ村金銭割掛書付〕 | 〔樋ほり上人足賃等諸入用勘定書付〕 | 〔字垣内下池樋取替ニ付諸色小入用勘定書付〕 ※横帳の一丁 | 記(村方分等金銭勘定書付) | 記(村地分等金銭勘定書付) | 覚(受取ニ付) ※横帳の一丁 | 〔諸入費取立帳 梅田村〕 | 覚(下村・梅田村小入用等諸費勘定書付) |
| | | 梅田村副小長宮尾藤兵衛 松尾半三郎 | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 翌帳 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------------|---------------|--------------------------|------------------------|----------------------------|--------------------------|--------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|------------------------------|----------------------|---------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| 169 | 393 | 149 | 155 | 157 | 154 | 146 | 145 | 150 | 396 | 395 | 153 | 144 | 394 |
| 浜松宿助郷御組替被仰出ニ付村高并諸荒高御調差引帳 御神領梅田村 | 当毛荒地引帳 御神領梅田村 | 嘉永五年子四月新田畑名寄帳 梅田村 ※映入 | 嘉永五年壬子三月名寄帳 梅田村 ※映入 | 天保十五年辰三月吉日山林名寄帳 梅田村 ※映入 | 文政五年午五月名寄帳 海士郡梅田村 ※映入 | 宝曆五年新田畑檢地帳写 梅田村 ※嘉永5年4月写、映入 | 海士郡梅田村新畑檢地帳 143-3 ※映入 | 延享元年子霜月本田畑新田畑并本作入作共畝高書抜 梅田村 ※映入 | 本田畑古荒起來已歳より毛付帳扣 梅田村 394-3 | 荒起并畑返り帳 梅田村 394-2 | 享保元年申之十月名寄帳 海士郡梅田村 ※映入 | 正徳元年九月海士郡梅田村新田畑卯ノ改檢地帳 143-2 | 荒起帳 梅田村 ※合冊 394-1 |
| 明治2年4月 | 元治元年9月 | 嘉永5年4月 | 嘉永5年3月 | 天保15年3月 | 文政5年5月 | 宝曆5年 | 宝曆4年8月 | 延享元年11月 | 元文元年8月 | 享保12年8月 | 享保元年10月 | 正徳元年9月 | 正徳元年7月 |
| 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 | 庄屋太右衛門 他5名 | 庄屋太右衛門 他5名 | 庄屋多右衛門 他4名 | 庄屋藤兵衛 他5名 | 庄屋太右衛門 他5名 | 森久之丞 | | 太兵衛 他1名 | | 梅田村庄や平右衛門 他8名 | 夏目金兵衛 他2名 | 梅田村庄屋平右衛門 他5名 |
| 中西市兵衛 | 中尾五郎右衛門 | | | | | | 梅田村庄屋・肝煎・小百姓 | | 中尾善兵衛 | | | 庄屋・肝煎・小百姓 | |
| 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 | 堅帳 |

| | | | | | | | | |
|------------|----------|--------------------|----------------------|-----------|-----------------|------------------------------------|---------------------|-----------|
| 233 | 183 | 598 | 373 | 372 | 371 | 366 | 152 | 406 |
| 〔反別名寄勘定書付〕 | 〔山反別名寄帳〕 | 山林原野反別一筆限帳 海部郡曾根田村 | 畑之部(等級調) 第壹等(ヨリ第九等迄) | 宅地(之部等級調) | 田之部等級調 但一等ヨリ十等迄 | 地租御改正ニ付田方等付扣帳 壹等ヨリ拾等迄此内九等ヌケ 梅田郷 | 明治七年戊正月山反別地檢名寄帳 梅田郷 | 地券之証控 梅田郷 |
| | | | 371-3 | 371-2 | 371-1 | | ※換入 | ※換入 |
| (明治) | (明治) | 明治11年11月 | 明治9年9月 | 明治9年9月 | 明治9年9月 | 明治9年1月 | 明治7年1月 | 明治6年10月 |
| | | | | | | | | |
| 横帳 | 綴り | 縦帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 縦帳 | 縦帳 |

8 地租改正

| | | | |
|-----------------|-----------------|--|------------------------------------|
| 147 | 148 | 384 | 172 |
| 明治四辛未年改御檢地帳 煤田郷 | 新田畑御檢地帳 合記帳 梅田邑 | 本田畑并新田畑高上納共仕出し帳 五年上納見押畑高共相達 ニ相成り 御神領五ヶ村 | 浜松宿助郷御組替被仰出ニ付村高并諸荒高御調差引帳 御神領梅田村 |
| ※換入 | ※換入 | | |
| 明治4年 | 明治4年10月 | 明治2年7月 | 明治2年4月 |
| | | 梅田村庄屋元ノ惣助 | 梅田村庄屋惣助 他1名 |
| | | 玉置權造 他1名 | 中西市兵衛 |
| 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-------------|------------------------------|--------------------------|--------------------|---------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-------|------------------|----------|-----------------------------|
| 416 | 415 | 414 | 413 | 412 | 411 | 410 | 370 | 369 | 368 | 364 | 231 | 141 | 417 |
| 東内山実地丈量段別再調帳 榎田村 | 字西内山(実地丈量帳) | 字西内山第二番改正帳(実地丈量ニ付) ※繰り、映入 | 垣内東西内山品々丈量再調帳 榎田邑 ※映入 | 東内山垣内トモ更り丈量再調帳 榎田村 | 山ノ畑并三廉ノ尾宅地売ツ(実地丈量帳) | 字山の畑丈量再調帳 梅田邑 ※繰り、映入 | 八等九等拾等迄地租御改正ニ付畑方等付扣帳 | 第五等第六等第七等迄地租御改正ニ付畑方等付扣帳 梅田邸 | 沓等二等三等四等迄地租御改正ニ付畑方等付扣帳 梅田邸 ※合冊 | 宅地等付扣 | 〔梅田村田畑屋敷等級別地価書付〕 | 〔梅田村検地帳〕 | 字百屋改正再調帳(実地丈量ニ付) 榎田村 ※映入 |
| | 414-2 | 414-1 | | | 410-2 | 410-1 | | 368-2 | 368-1 | | | | 17日 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 綴り | 堅帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------------------|-----------|------------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------------------|----------------------|---|---------------------|------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 431 | 430 | 429 | 428 | 427 | 426 | 425 | 424 | 423 | 422 | 421 | 420 | 419 | 418 |
| 〔実地丈量帳〕 第五番字西内山 | 〔実地丈量帳〕 第四番字垣内 | 〔実地丈量帳〕 | 〔実地丈量帳〕 第七番字奥 | 〔実地丈量帳〕 第三番字山の畑 | 〔実地丈量帳〕 第三番字みか乃尾 | 〔実地丈量帳〕 第六番字東内山 | 字山之畑(実地丈量帳) ※鉄入 | 実地丈量再調帳 字東内山之内榎田村 | 東内山二番改正再調帳(実地丈量二付) 榎田村 ※合冊、鉄入 | 字東内山元量地記 ※鉄入 | 実地丈量再調帳 字奥榎田村 | 字奥(実地丈量帳) ※合冊、鉄入 | 実地丈量扣帳 (榎田村字東内山) ※鉄入 |
| 425 -7 | 425 -6 | 425 -5 | 425 -4 | 425 -3 | 425 -2 | 425 -1 | | 422 -2 | 422 -1 | | 419 -2 | 419 -1 | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 綴り | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

9 年貢・諸役

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|-------------------|----------------|-----------|
| 181 | 402 | 530 | 529 | 536 | 538 | 450 | 539 | 531 | 449 | 636 | 593 | 574 |
| 〔御用船大破之為納借銀、新造ニ付乍恐口上〕 | 海士郡梅田村本田之内歟先年賦極帳 加茂組 | 免定 | 免定 | 已免定 | 酉免定 | 申年分(年貢皆済ニ付) | 卯免定 ※中央部分離 | 寅免定 | 戌年分(年貢皆済ニ付) | 〔梅田・小南・下三ヶ村別積数書付〕 | 〔第八番字百屋反別地積書付〕 | 〔田畑畝高書付帳〕 |
| 嘉永5年6月 | 嘉永4年2月 | 宝曆11年10月 | 宝曆8年10月 | 延享2年10月 | 寛保元年10月 | 元文5年11月 | 享保20年10月 | 享保19年10月 | 享保15年11月 | | | |
| | 梅田村庄屋太右衛門 他1名 | 浅井清太夫 他1名 | 浅井清太夫 他1名 | 岡部文右衛門 他1名 | 笠原忠左衛門 他1名 | 天曜寺目代安田介之丞 | 菅沼文右衛門 他1名 | 長沢十左衛門 他1名 | 天曜寺目代安田介之丞 | | | |
| | | 梅田村庄屋・肝煎・百姓 | 梅田村庄屋・肝煎・百姓 | 梅田村庄屋・肝煎・百姓 | 梅田村庄屋・肝煎・百姓 | 梅田村庄屋太兵衛 | 梅田村庄屋・肝煎・百姓 | 梅田村庄屋・肝煎・百姓 | 梅田村庄屋太兵衛 | | | |
| 堅帳 | 堅帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 堅帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-------------|-----------|----------------|----------------------|----------------|-----------------|----------------|-------------------|-------------|-----------------------|----------------|-----------|--------------------------------------|
| 355 | 403 | 601 | 610 | 398 | 615 | 357 | 614 | 351 | 405 | 383 | 609 | 594 | 397 |
| 酉御年貢為替帳 下村より梅田村江 | 酉定免指出張 梅田村 | 申御年貢免引取立帳 | 未納通(郷役米ニ付) 梅田村 | 海士郡梅田村本田之内歟先年限極帳 賀茂組 | 午納通(郷役米ニ付) 梅田村 | 午御年貢為替帳 下村より梅田村 | 巳納通(郷役米ニ付) 梅田村 | 巳御年貢為替帳 小南村より梅田村へ | 巳定免指出し帳 梅田村 | 海士郡梅田村本田之内歟先年限極帳扣 加茂組 | 辰納通(郷役米ニ付) 梅田村 | 卯御年貢免引取立帳 | 海士郡梅田村本田之内歟先年限極帳并惣歟先年限扣奥江仕出有之村方扣 加茂組 |
| 文久元年11月 | 文久元年6月 | 万延元年11月 | 安政6年12月 | 安政6年2月 | 安政5年12月 | 安政5年11月 | 安政4年10月 | 安政4年10月 | 安政4年6月 | 安政4年3月 | 安政3年9月 | 安政2年11月 | 嘉永7年2月 |
| 下村庄屋嘉右衛門 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 岡権右衛門 | 喜多村進助 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 喜多村進助 | 下村庄屋嘉右衛門 | 喜多村進助 | 小南村庄屋忠五郎 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村惣助 他1名 | 転役伊岡又右衛門 他1名 | 納庄屋八郎兵衛 | 梅田村庄屋太右衛門 他1名 |
| 梅田村庄屋惣助 | 中尾五郎右衛門 | 納庄屋八郎兵衛 | 庄屋 | | 庄屋 | 梅田村庄屋多兵衛 | 庄屋 | 梅田村庄屋惣輔 | 中尾文吾 他1名 | | 庄屋 | 岡権右衛門 | |
| 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 一紙 | 竖帳 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 横帳 | 竖帳 | 竖帳 | 一紙 | 横帳 | 竖帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------|----------------------|-------------|-------------------|-------------|------------|---------|------------------|-------------------|----------------|--|-------------|----------------|
| 349 | 352 | 399 | 348 | 353 | 404 | 613 | 595 | 356 | 354 | 612 | 401 | 400 | 611 |
| 卯御年貢米請取帳 梅田村 | 卯御年貢為替帳 下村より梅田村江 | 海士郡梅田村本田之内繰先年賦極帳 加茂組 | 御年貢米請取帳 梅田村 | 寅御年貢為替帳 小南村より梅田村へ | 寅定免指出帳 梅田村 | 子納郷役米通 梅田村 | 丑年御年貢納帳 | 丑御年貢為替帳 下村より梅田村江 | 丑御年貢為替帳 小南村より梅田村へ | 亥納通(郷役米ニ付) 梅田村 | 文久三年亥定免指出帳 元治元年子定免指出帳扣 慶応元年丑定免指出帳扣 梅田村 | 戌定免指出帳 梅田村 | 申納通(郷役米ニ付) 梅田村 |
| 慶応3年 | 慶応3年11月 | 慶応3年3月 | 慶応2年 | 慶応2年11月 | 慶応2年8月 | 慶応元年11月 | 慶応元年11月 | 慶応元年10月 | 慶応元年10月 | 元治元年10月 | 文久3年6月 | 文久2年6月 | 文久元年12月 |
| | 下村庄屋嘉右衛門 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | | 小南村庄屋三郎兵衛 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 小杉仙左衛門 | 納庄屋八郎兵衛 | 下村庄屋嘉右衛門 | 小南村庄屋忠五郎 | 小杉仙左衛門 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 喜多村進助 他1名 |
| | 梅田村庄屋惣助 | | | 梅田村庄屋惣助 | 中西市兵衛 | 庄屋 | | 梅田村庄屋惣助 | 梅田村庄屋惣助 | 庄屋 | 中尾五郎右衛門 | 中尾五郎右衛門 | 庄屋 |
| 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 竖帳 | 竖帳 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|------------------------|-----------------|-----------------------|--------------|---------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------------|-------------|-----------------------------------|-------------|
| 558 | 443 | 557 | 556 | 607 | 386 | 532 | 385 | 358 | 360 | 359 | 350 | 387 | 347 |
| 覚(年貢池掛金渡候ニ付) | 覚(神事米請取ニ付) | 覚(梅田村ニ而下作仕候小南村之者之取米ニ付) | 覚(梅田村より越米受取候ニ付) | 子御年貢納之通 ※横帳の一丁 | 明治四未免割目録 梅田村 | 定免 梅田村 ※包紙あり | 子より已迄諸上納仕出帳 梅田村 | 午御年貢為替帳 下村より梅田村江 | 巳御年貢為替帳 下村より梅田村江 | 巳御年貢為替帳 小南村より梅田村へ | 巳御年貢請取帳 梅田村 | 新田畑高上納共仕出帳 小松原村・小南村・梅田村・下村・黒田村 | 辰御納米請取帳 梅田村 |
| 戊12月29日 | 卯9月13日 | 寅12月 | 寅11月14日 | 丑2月8日 | 明治4年 | 明治4年10月 | 明治3年10月 | 明治3年10月 | 明治2年11月 | 明治2年11月 | 明治2年11月 | (明治元年) | 明治元年 |
| 中村庄屋繁八 | 本坊用部屋 | 下村庄屋嘉右衛門 | 本坊用部屋 | 庄屋繁八 | | 名草出庁参事 | | | 下村庄屋政右衛門 | | | | |
| 梅田村庄屋惣助 | 梅田村庄屋惣助 | 梅田村庄屋惣助 | 小南村庄屋安五郎 | 梅だ惣助 | | 庄屋・肝煎・惣百姓 | | | 梅田村庄屋惣助 | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|-----------|-----------|-----------------|-----------------------|--------------------------|-----------------|--------------------|--------------------------|-------------|-------------------------------------|--------------------|---------------|
| 608 | 606 | 570 | 549 | 375 | 263 | 262 | 259 | 523 | 617 | 550 | 628 | 515 | 409 |
| 戊納通（郷役米ニ付） 梅田村 | 亥御年貢納通・丑未御年貢納通 | 寛（戌年貢納ニ付） | 寛（神事米納ニ付） | 〔取米書付并諸色小入用割符帳〕 | 梅田 寅納返通 ※横帳の一丁 | 御神領梅田村辰納返通 ※横帳の一丁 | 〔和歌・てんま人足等諸費書付〕 | 〔差出候定免少々認違有之候ニ付書付〕 | 〔洪水之田畑荒地見分として役人方罷越候ニ付廻状〕 | 寛（米代銀受取候ニ付） | 〔十如院玉泉院野院兼帯ニ致置、祭礼之節ハ寿門院より申渡有之候ニ付書状〕 | 寛（梅田村巳一ヶ年分御宮割懸り書付） | 〔丑御年貢免目録 梅田村〕 |
| | | | | | | | | 6月30日 | 6月15日 | 4月21日 | 4月10日 | 3月8日 | 丑11月 |
| 転役松本立助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 | | | | 露口甚助 他1名 | 森楠太夫 | | | 大庄屋 | 庄屋市兵衛 | 願成寺 | | 梅田村庄屋惣助 他1名 |
| | 長左衛門 | | | | | | | | 庄屋 下・梅田・小南・中4ヶ村 | 庄屋惣助 | 梅田太兵衛 | 梅田村 | 青葉主税 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

10 地租・租税

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--------------------|---------------|------------------|----------|----------------------|------------------|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|----------|---------------|----------|
| 316 | 382 | 381 | 317 | 320 | 313 | 137 | 581 | 365 | 222 | 321 | 361 | 328 |
| 明治十二年山税取立帳 海部郡煤田村 | 地租金収入日計簿 海部郡梅田村 | 地租金収入簿 梅田村 | 明治十年山税取立帳 梅田村 | 地租并越米取立帳 | 明治九年山税取立帳 第二ノ五梅田村 | 為替帳 小南村より梅田村江 | 〔明治八年分改租上納表・旧貢米改租上納差引表〕 | 地租御改正ニ付明治八年分新租旧貢米上納筋差引帳 煤田村 | 〔明治八年分梅田村旧貢米改租上納差引書付〕 | 地租并越米取立帳 | 亥貢租免引帳 梅田村 | 地租并越米取立帳 |
| 明治12年 | 明治12年8月 | 明治12年8月 | 明治10年 | 明治10年1月 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年9月 | 明治9年9月 | 明治9年9月 | 明治9年1月 | 明治8年11月 | 明治8年1月 |
| | | | | 梅田村中尾総助 | | | | | | 善福院世話人 | | 煤田村吉祥院 |
| 横帳 | 縦帳 | 縦帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 綴り | 綴り | 横帳 | 綴り | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------------------|--------|-------------------------|---------------|------------|---------------|----------------|--------------------|-----------|------------|---------------|--------------------|---------------|
| 264 | 232 | 230 | 312 | 362 | 379 | 376 | 374 | 380 | 378 | 377 | 407 | 367 | 408 |
| (旧貢米新租差引勘定書付) | (明治八年分旧貢米旧租差引勘定書付) | 旧貢租過下渡 | 自明治九年至明治十七年村中持山税取立帳 梅田村 | 反別地価地租取調帳 梅田村 | 地租金収入簿 梅田村 | 地方税取立簿 海部郡梅田村 | 租税并ニ諸費納金扣帳 梅田村 | (明治十六年度地方税取立帳 梅田村) | 地租収入簿 梅田村 | 地方税取立帳 榎田村 | 地租金収入簿 海部郡梅田村 | 地方税并村諸入費取立帳 海部郡梅田村 | 地租金収入簿 海部郡梅田村 |
| ※横帳の一丁 | | | 明治19年12月 | 明治19年1月 | 明治17年 | 明治17年 | 明治17年1月 | 明治16年 | 明治16年8月 | 明治15年 | 明治15年8月 | 明治14年1月 | 明治13年 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 一紙綴り | 綴り | 綴り | 横帳 | 横帳 | 縦帳 | 縦帳 | 横帳 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 縦帳 | 横帳 | 縦帳 |

| | | | | |
|------------|-----------------|------------------|------------|------------|
| 49 | 9 | 5 | 2 | 30 |
| 永代売渡し申田地之事 | 売渡し申田地之事 | 〔新田売買之件雲蓋院婿明ニ付覚〕 | 永代売渡し申田地之事 | 永代売渡し申田地之事 |
| 元禄4年7月 | 元禄4年3月 | 元禄4年3月 | 貞享元年12月 | 延宝7年12月 |
| 売主茂右衛門 他4名 | 売主黒江村馬場長右衛門 他7名 | 大野大庄屋林重兵衛 他1名 | 売主真性院 | 売主久兵衛 他3名 |
| 重三郎 | 買主加茂梅田村太左衛門 | 梅田村太郎左衛門 | 舟尾塩浜岡本九左衛門 | 買主太郎左衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

11 田畑売買・貸借

| | | | | | | | |
|---------|------------|-----------|---------------|-----------|--------------|-------------|------------------|
| 634 | 584 | 583 | 559 | 391 | 390 | 389 | 388 |
| 〔年貢取立帳〕 | 〔田畑宅池掛高書付〕 | 〔畑宅山掛高書付〕 | 覚〔餅米・大豆等分量書付〕 | 〔村高書付〕 | 〔反別免割ニ而貢米書付〕 | 〔高免割ニ而貢米書付〕 | 免割〔梅田村〕 |
| ※横帳の二丁 | | | | 388 -4 | 388 -3 | 388 -2 | ※繰り 388 -1 |
| | | | | | | | |
| | 宮尾藤兵衛 | 宮尾藤兵衛 | | | | | |
| | 中尾兵右衛門 | 池辺音吉 | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 繰り | 繰り | 繰り | 繰り |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|--------------|---------------|-------------------------------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|-------------|-------------|
| 468 | 460 | 463 | 27 | 527 | 457 | 62 | 542 | 534 | 37 | 466 | 46 | 47 | 4 |
| 譲り証文之事 | 仮り証文之事 (田地其方へ相渡し銀子請取候ニ付) | 譲り証文之事 | 売渡シ証文之事 | 〔梅田寺屋敷畑地、是迄之通ニ可被成下候様奉願上候ニ付書 ※前欠〕 | 本銀返シ証文之事 | 本銀返シ証文之事 | 本銀札返シ証文之事 | 本銀返シ証文之事 | 本銀返シ証文之事 | 〔本銀返し証文之事〕 | 本銀返シ証文之事 | 本銀返シ証文之事 | しち物指入申家屋敷之事 |
| 天明5年12月 | 天明2年3月 | 明和7年3月 | 明和7年3月 | 宝曆12年4月 | 宝曆7年12月 | 享保21年4月 | 享保17年3月 | 享保11年6月 | 享保11年4月 | 享保11年3月 | 宝永6年6月 | 元禄13年3月 | 元禄11年10月27日 |
| 梅田村本人善九郎 他2名 | 中村本人藤九郎 他3名 | 梅田村本人善九良 他2名 | 小松原村本人利兵衛 他1名 | 梅田村本人庄九郎 他2名 | 梅田村本人太次兵衛 他3名 | 証人善福院 他2院・2名 | 本人梅田村久右衛門 他2名 | 本人梅田村観音院 他3名 | 本人梅田村伝四郎 他3名 | 本人梅田村重右衛門 他3名 | 本人梅田村利太夫 他3名 | 下村本人小重郎 他4名 | 塩津浦太郎八 他2名 |
| 梅田村多兵衛 | 梅田村庄九郎 | 同村多兵衛 | 弥三郎 | 吉祥院住持快珍法印 | 同村多兵衛 | 同村太兵衛 | 太兵衛 | 同村太兵衛 | 同村太兵衛 | 同村太兵衛 | 同村太兵衛 | 梅田村太兵衛 | 梅田村太兵衛 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------|-----------|------------------|------------|------------------|------------|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|
| 446 | 456 | 8 | 448 | 473 | 469 | 465 | 18 | 451 | 68 | 32 | 40 | 28 | 24 |
| 本銀返シ証文之事 | 譲証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文控 | 譲証文之事 | 譲り証文之事 | 下証文之事 | 仮り証文之事(銀子請取ニ付) | 譲り証文之事 | 下証文之事 | 下証文之事 | 〔田地売渡証文〕 | 下証文之事 |
| 天保8年4月 | 天保8年3月 | 天保8年2月 | 天保7年9月 | 天保4年3月 | 天保4年2月 | 文政11年11月 | 文化15年2月 | 文化8年1月 | 享和3年7月 | 享和元年3月 | 寛政10年3月 | 寛政5年7月 | 天明7年6月 |
| 本人半左衛門 他4名 | 本人梅田村茂七 他2名 | 曾根田平藏 他2名 | 本人梅田村惣右衛門 他1名 | 中村本人半六 他2名 | 本人梅田村兵右衛門 他2名 | 本人字右衛門 他1名 | 百垣内村本人伊左衛門 他1名 | 梅田村本人兵右衛門 他2名 | 曾根田村寺年行司平助 他3名 | 曾根田村本人武右衛門 他1名 | 本人曾根田村九郎兵衛 他4名 | 曾根田村本人伊八 他3名 | 曾根田村本人和七 他2名 |
| 辰之助 | 村惣助 | 引尾村次左衛門 | 梅田惣助 | 梅田村政右衛門 | 中村甚八 | 中村権左衛門 | 百垣内村八右衛門 | 同村源右衛門 | 同村利太夫 | 百垣内村八右衛門 | 同村三郎 | 同村弥三郎 | 同村弥三郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

※前欠

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------|---------------|--------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-------------|---------------|------------------|------------|-------------|
| 35 | 488 | 60 | 44 | 56 | 59 | 7 | 42 | 3 | 464 | 45 | 454 | 474 | 455 |
| 讓証文之事 | 讓り証文之事 | 讓証文之事 | 讓り証文之事 | 讓証文之事 | 讓り証文之事 | 讓証文之事 | 讓証文之事 | 讓り証文之事 | 讓り証文之事 | 讓り証文之事 | 讓証文之事 | 讓証文之事 | 讓り証文之事 |
| 嘉永3年4月 | 嘉永3年2月 | 嘉永2年4月 | 嘉永元年11月 | 天保15年11月 | 天保14年12月 | 天保14年12月 | 天保14年3月 | 天保13年11月 | 天保13年8月 | 天保13年6月 | 天保12年3月 | 天保11年1月 | 天保10年8月 |
| 曾根田村武右衛門 他1名 | 本人十左衛門 他1名 | 曾根田村本人喜太夫 他1名 | 本人梅田村吉次郎 他1名 | 曾根田村本人武兵衛 他1名 | 曾根田村本人久次郎 他1名 | 曾根田村本人半藏 他1名 | 曾根田村本人喜太夫 他2名 | 曾根田村本人平次郎 他1名 | 本人梅田村兵吉 他1名 | 曾根田村本人平次郎 他1名 | 本人梅田村半左衛門 他2名 | 本人伝右衛門 他2名 | 本人下村善太郎 他1名 |
| 土井原栄助 | 太右衛門 | 同村弥三郎 | 嘉右衛門 | 重右衛門 | 同村徳兵衛 | 同村利太夫 | 同村久五郎 | 若山広瀬東紺屋町喜兵衛 | 梅田村政吉 | 同村源藏 | 中村徳心寺頼母子講本同村権左衛門 | 村兵右衛門 | 下村弥右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|------------------|-------------------|-----------------|------------------|------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------|------------------|------------------|
| 52 | 48 | 452 | 72 | 31 | 54 | 50 | 461 | 34 | 55 | 12 | 489 | 20 | 70 |
| 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲証文之事 | 譲申証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲証文之事 | 譲証文之事 | 譲り証文之事 | 譲証文之事 | 譲証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲証文之事 |
| 安政6年6月 | 安政6年2月 | 安政6年1月 | 安政6年1月 | 安政4年10月 | 安政2年9月 | 安政2年2月 | 嘉永6年2月 | 嘉永5年3月 | 嘉永5年2月 | 嘉永4年6月 | 嘉永4年1月 | 嘉永3年9月 | 嘉永3年6月 |
| 曾根田村本人武右衛門 他1名 | 曾根田村本人半兵衛 他2名 | 梅田村本人藤兵衛 他1名 | 譲主小南村弥左衛門 他1名 | 曾根田村本人伊右衛門 他1名 | 引尾村本人源三郎 他1名 | 曾根田村本人忠兵衛 他1名 | 本人新右衛門 他1名 | 曾根田村本人善藏 他1名 | 土井原本人紋太郎 他1名 | 曾根田村本人太右衛門 他1名 | 譲り主重藏 他2名 | 曾根田村本人重兵衛 他1名 | 曾根田村本人弁次郎 他1名 |
| 同村重右衛門 | 同村喜兵衛 | 塩津浦甚吉 | 塩つ升屋新九郎 | 百垣内村惣右衛門 | 同村吉兵衛 | 同村徳兵衛 | 太兵衛 | 徳兵衛 | 同村吉右衛門 | 利太夫 | 惣助 | 百垣内村久兵衛 | 同村源藏 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|------------------|-------------|-------------------|----------|
| 11 | 64 | 63 | 39 | 69 | 25 | 19 | 1 | 51 | 453 | 10 | 475 | 467 | 462 |
| 本銀返証文之事 | 譲証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 本銀返し証文之事 |
| 慶応3年11月 | 慶応3年9月 | 慶応3年9月 | 慶応3年4月 | 慶応2年11月 | 慶応2年11月 | 慶応2年4月 | 慶応元年12月 | 元治元年9月 | 文久3年3月 | 文久2年7月 | 文久元年12月 | 万延元年12月 | 万延元年5月 |
| 本人曾根田村新助 他1名 | 曾根田村本人角右衛門 他1名 | 曾根田村本人角右衛門 他1名 | 引尾村本人治郎右衛門 他1名 | 梅田村讓主武右衛門 他1名 | 曾根田村本人嘉兵衛 他1名 | 杉尾本人源之右衛門 他1名 | 曾根田村本人林兵衛 他1名 | 曾根田村本人清兵衛 他1名 | 本人利右衛門 他1名 | 曾根田村本人源四郎 他1名 | 本人下村利兵衛 他1名 | 中村本人讓主権左衛門 他1名 | 梅田村宗路太兵衛 |
| 百垣内村定右衛門 | 同村佐平次 | 同村忠五郎 | 同村吉五郎 | 下村寺頼母子親嘉右衛門 | 同村弁次郎 | 金藏 | 百垣内村長左衛門 | 同村清五郎 | 村太兵衛 | 百垣内村定右衛門 | 小畑村市兵衛 | 梅田村太兵衛 | 中村屋次左衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|--------------|-------------|-----------------|---------------|-----------------|---------------|--------------|------------|
| 74 | 22 | 61 | 53 | 23 | 21 | 43 | 33 | 26 | 17 | 67 | 41 | 71 | 36 |
| 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 下譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 譲り証文之事 | 本銭返し証文之事 | 譲り証文之事 | 本銀返し証文之事 | 譲り証文之事 | 本銀返し証文之事 |
| 明治5年11月 | 明治5年11月 | 明治5年7月 | 明治5年4月 | 明治5年2月 | 明治4年6月 | 明治3年12月 | 明治3年11月 | 明治3年10月 | 明治3年9月 | 明治2年7月 | 慶応5年3月 | 慶応4年9月 | 慶応4年8月 |
| 本人宮本弥四郎 他1名 | 曾根田村本人内芝吉三郎 他1名 | 本人曾根田村内芝吉三郎 他1名 | 曾根田村本人出口喜太夫 他1名 | 曾根田村本人山下新右衛門 他2名 | 本人曾根田村山下角兵衛 他3名 | 本人曾根田村久七 他2名 | 本人引尾村才助 他1名 | 本人曾根田村四郎右衛門 他1名 | 小南村本人次右衛門 他1名 | 本人曾根田村四郎右衛門 他1名 | 梅田村本人太次兵衛 他3名 | 本人引尾村久兵衛 他1名 | 本人弥左衛門 他1名 |
| 宮本源四郎 | 引尾村友吉 | 出口佐治兵衛 | 橋本村笠畑善蔵 | 内芝清兵衛 | 宮本徳兵衛 | 同村源四郎 | 同村二男次郎八 | 同村佐次兵衛 | 塩津浦八九郎 | 同村又次郎 | 同村定吉 | 久三郎 | 八三郎 |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

12 入会地入札

| | | | | |
|-----|---------|-----------|-----------------------|----|
| 600 | 柴山入札帳 | 明治19年2月2日 | 堀川八郎兵衛 | 横帳 |
| 166 | 藪売名前長 | 明治10年6月 | 第二大区五ノ小区奥村十八番地 堀川八郎兵衛 | 横帳 |
| 597 | 山林入札名前帳 | 明治6年12月 | | 横帳 |

13 金銭貸借

| | | | | | |
|-----|----------|---------|------------|---------|----|
| 540 | 金子借用証書 | 明治13年6月 | 梅田村中尾惣助 | 塩津浦中山甚吉 | 一紙 |
| 541 | 金子借用証書 | 明治13年5月 | 梅田村中尾惣助 | 塩津浦中山甚吉 | 一紙 |
| 533 | 錢拝借中一札之事 | 明治5年6月 | 青枝村平兵衛 | 梅田村中尾惣助 | 一紙 |
| 472 | 拝借申錢一札之事 | 明治5年5月 | 梅田村肝煎宮尾藤兵衛 | 梅田村中尾惣助 | 一紙 |
| 458 | 借用銀子之事 | 文久3年6月 | 梅田村太兵衛 | 塩津浦甚吉 | 一紙 |
| 432 | 借用申一札之事 | 弘化4年1月 | 本人新九郎 他1名 | 村惣助 | 一紙 |
| 535 | 上木譲役之事 | 弘化3年9月 | 本人村半兵衛 他1名 | 村惣助 | 一紙 |
| 487 | 借用申銀子之事 | 天保14年2月 | 本人善福院 他1名 | 村惣助 | 一紙 |
| 482 | 借用申銀子之事 | 延宝8年11月 | かり主次兵衛 他2名 | 太郎右衛門 | 一紙 |

14 金融

| | | | | | | |
|-----------|------------------|------------------|-----------------|----------------------------|-----------|---------|
| 274 | 277 | 276 | 273 | 269 | 307 | 282 |
| い組日銭掛請取帳 | 日掛銭受取渡帳 ろ組梅田村 | 日掛銭受取渡帳 は組梅田村 | 日掛銭受渡帳 い組梅田村 | 村中日掛銭受取控帳 右月々上納扣 梅田村 | 村方頼母子人数元帳 | 遊講利足諸取帳 |
| 273 -2 | 277 -1 | 275 -2 | 273 -1 | 269 -1 | | |
| 安政4年9月 | 安政2年5月 | 安政2年5月 | 安政2年5月 | 安政2年5月 | 天保13年8月 | 天保12年1月 |
| | | | | | | 世話人 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | |
|---------------------|--------------|----------|-------------------|----------|------------|
| 330 | 561 | 477 | 459 | 480 | 471 |
| (上様江銀札之質物ニ差入候田畑地書付) | 覚(貸金等金銭勘定書付) | 太右衛門借用目録 | 金子借用証 ※包紙あり | 金子借用証書 | 金子借用証書之事 |
| | 亥12月 | 子4月 | 明治15年4月 | 明治13年9月 | 明治13年8月13日 |
| | むめた太兵衛 他 | 多兵衛 | 塩津浦借主杵山増兵衛 他1名 | 梅田村中尾太兵衛 | 梅田村中尾総助 |
| | 下村茂兵衛 | 弥太右衛門 | 塩津浦浜野市助 | 塩津浦中山甚吉 | 塩津浦中山甚吉 |
| 竖帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 |

15 蜜柑等流通

| | | | | | |
|-----|-----------------|------------|---------------|------------|----|
| 91 | 蜜柑扣帳 申歲蜜柑方扣帳 | 明治5年1月 | 奥邑八良兵衛 | | 横帳 |
| 92 | 蜜柑扣帳 | 安政7年 | 八良兵衛 | | 横帳 |
| 571 | 〔頼母子掛銀等勘定目録〕 | | 梅田太兵衛 | 中村橋元権左衛門 | 一紙 |
| 602 | 当座預金通帳 | 大正8年11月18日 | 中谷銀行 | 中野禎蔵 | 冊子 |
| 603 | 小口当座預金通帳 | 明治36年1月6日 | 株式会社四十三銀行御坊支店 | 弓倉亀松 | 冊子 |
| 605 | 当坐預金通帖 | 明治34年7月22日 | 株式会社四十三銀行御坊支店 | 久保田為次郎 | 冊子 |
| 604 | 当坐預金通帖 | 明治30年1月21日 | 第四十三国立銀行湯浅支店 | 賛助会惣代山崎実之助 | 冊子 |
| 279 | 頼母子懸銭帳 | 明治9年1月 | 中尾惣助 | | 横帳 |
| 272 | 繁栄講掛銭受取帳 | 明治6年2月 | 講元池辺半右衛門 | | 横帳 |
| 271 | 頼母子掛銀請取帳 | 慶応2年2月 | 世話人 | | 横帳 |
| 270 | 日銭掛銀御下ケ相渡帳 | 万延元年8月 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 中尾五郎右衛門 | 横帳 |
| 278 | ろ組日銭掛請取帳 | 安政4年9月 | | | 横帳 |
| 275 | は組日銭掛請取帳 | 安政4年9月 | | | 横帳 |

※繰り

269-2

277-2

275-1

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------------|------------|-----------------|-------|--------|-------|---------|-----------|--------|--------------|---------|--------------|--------------------|
| 566 | 136 | 83 | 127 | 93 | 87 | 86 | 84 | 82 | 228 | 125 | 89 | 562 | 134 |
| 記(前入金入帳相成候二付) | 淡州春日丸与市郎給積入覚 | 東京贈六番仕立積高扣 | 淡州正本村 氏宮丸伝吉船積入覚 | 蜜柑手板帳 | 問屋金出入扣 | 問屋勘定帳 | 蜜柑仕切目録帳 | 蜜柑仕切目録帳 | 小入用帳 | □(東)京送蜜柑積立扣帳 | 蜜柑厘受取扣帳 | [給料不足分二付取替願] | 蜜柑仕切惣勘定渡帳 |
| 10年4月5日 | 明治10年2月 | 明治10年1月30日 | 明治10年1月27日 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年 | 明治9年9月 | 明治9年9月 | 明治9年9月 | 明治9年6月22日 | 明治8年5月 |
| 中山甚吉 | | | 九鬼惣四郎 | | | | 結城屋重右衛門 | 結城屋重右衛門 | ミかん世話方 | 加茂組世話人 | 加茂上組世話人 | 菊島藤三郎 | 紀州塩津浦積入問屋 宮本清兵衛 |
| 荷親 | | | 荷親 | | | | 中山甚吉 | 佐古又五郎・蜜柑方 | | | | 梅田世話係 | 梅田邨世話人 |
| 一紙横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 一紙 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------|---------|---------|-------|----------|----------|----------|---------|--------|--------|----------|--------|---------|
| 96 | 111 | 95 | 94 | 128 | 75 | 77 | 81 | 113 | 133 | 131 | 88 | 135 | 132 |
| 〔蜜柑取込関係書付〕 | 万批把手板帳 | 万蜜柑手板覚帳 | 万蜜柑手板帳 | 蜜柑厘控帳 | 蜜柑浜帳 | 蜜柑積立帳 | 蜜柑帳 | 万批把手板覚帳 | 荷高勘定帳 | 荷高勘定帳 | 蜜柑積立帳 | 荷高勘定帳 | 厘扣帳 |
| 明治15年10月 | 明治15年4月 | 明治15年1月 | 明治14年1月 | 明治13年 | 明治13年12月 | 明治13年11月 | 明治13年9月 | 明治12年4月 | 明治11年 | 明治11年 | 明治11年11月 | 明治10年 | 明治10年7月 |
| | | | | 蜜柑方 | 中野久治郎 | 中尾太兵衛 | 梅田村中尾太兵衛 | | みかん世話人 | みかん世話人 | 碓平助 | みかん世話人 | 大黒丸吉三郎 |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------------|------------|-------------|---------|---------------|---------|------------|------------|----------|---------|----------|---------|---------|
| 108 | 106 | 112 | 104 | 265 | 103 | 268 | 102 | 101 | 97 | 109 | 98 | 99 | 100 |
| 枇杷手板帳 | 蜜柑取込并売出人夫一切帳 | 蜜柑取込并諸事一切帳 | 蜜柑取込売出人夫雜費帳 | 金錢出入帳 | 蜜柑取込売出人夫其他一切帳 | 金錢出入帳 | 蜜柑取込并売出人夫帳 | 蜜柑取込并売出人夫帳 | 万蜜柑取込帳 | 枇杷梅手板帳 | 蜜柑取込帳 | 万蜜柑手板帳 | 蜜柑手板帳 |
| 明治32年4月 | 明治30年11月 | 明治29年10月 | 明治28年10月 | 明治28年1月 | 明治27年9月 | 明治27年1月 | 明治26年11月 | 明治25年9月 | 明治20年10月 | 明治20年5月 | 明治19年10月 | 明治17年1月 | 明治16年1月 |
| | | 中野久次郎 | 中野久次郎 | 山崎実之助 | 中野久次郎 | 山崎 | 中野久次郎 | 字曾根田中野久次郎 | | | | | |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|---------|--------|---------|----------|----------|----------------------|---------|-----------|--------|---------|---------|-------|
| 285 | 284 | 119 | 79 | 283 | 120 | 121 | 122 | 110 | 124 | 85 | 107 | 266 | 105 |
| 金錢出入帳 | 金錢出入帳 | 蜜柑輸送控帳 | 蜜柑浜帳 | 金錢出入帳 | 蜜柑帳 | 蜜柑取込売出帳 | 蜜柑輸送控帳 | 枇杷売出帳 | 蜜柑取込売出人夫帳 | 荷高日賀恵 | 枇杷手板帳 | 金錢出納帳 | 蜜柑手板帳 |
| 大正6年1月 | 大正4年 | 大正2年11月 | 大正2年3月 | 明治45年1月 | 明治44年12月 | 明治43年12月 | 明治43年11月 | 明治38年5月 | 明治35年10月 | 明治34年 | 明治34年4月 | 明治33年1月 | 明治32年 |
| 山崎実之助 | 山崎実之助 | | 三盛社 | 山崎実之助 | 中野 | 中野 | 紀州有田郡糸我村大字西 山崎実之助 | 中野 | 中野久次郎 | 蜜柑方事務所 | | 山崎本家 | |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|----------------------|------------------|--------------|----------|-----------|---------|----------|----------|---------|--------|---------|---------|---------|
| 565 | 627 | 626 | 575 | 114 | 76 | 90 | 115 | 116 | 80 | 286 | 117 | 118 | 78 |
| 記(ミかん代等勘定書付) | 〔安栄丸船之完捌荷高、仕切書等ニ付書状〕 | 〔太兵衛船仕切差送り候ニ付書状〕 | 〔舟積箱等金銭仕切書付〕 | 蜜柑帳 | 米国輸出雇人扣 | 仕切帳 | 蜜柑帳 | 蜜柑帳 | 蜜柑浜帳 | 金銭出入帳 | 蜜柑帳 | 蜜柑帳 | 蜜柑浜出帳 |
| 丑7月 | 丑3月15日 | 丑1月18日 | 子11月20日 | 大正13年12月 | 大正13年11月 | 大正12年1月 | 大正11年12月 | 大正10年12月 | 大正8年10月 | 大正8年1月 | 大正7年12月 | 大正6年12月 | 大正6年11月 |
| 中山甚吉 | 林屋勘平 | 林や勘平 | 西村屋小市 | | Shimesaki | ノ崎重蔵 | 中野 | 中野 | 橋本商店 | 山崎実之助 | 中野 | 中野 | 浜中橋本広一 |
| 中尾 | 海士郡蜜柑方御係り | 佐古 他2名 | 太兵衛 | | | | | | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------|----------|------------------|------------------|---------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------|--------------------------------|------------------|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| 138 | 130 | 129 | 126 | 625 | 629 | 630 | 623 | 622 | 631 | 621 | 572 | 576 | 577 |
| 〔蜜柑取引関係書付〕 | 〔金銭勘定書付〕 | 総論（有田郡ニ於ル柑橋栽培ニ付） | 東京尾張送り蜜柑為替仕切金渡シ通 | 〔東京郵便区運賃書記差送り候ニ付書状〕 | 〔東京仕切惣勘定近日之内可被成下候様願申上候ニ付書状〕 | 〔蜜柑代金差引道通運ニ面送り候ニ付并広島丸荷物積残ニ付書状〕 | 〔問屋ニ売負候細書被仰下候得共仕法難出来候ニ付詫状〕 | 〔売捌下直ニ候得共前以手附仲買一同江禿渡候間配達願ニ付書状〕 | 両度分（御地迄持込賃当廿弘ニ付） | 〔横浜行落物売捌之金子陸運ニ而差出候ニ付書状〕 | 〔梅田荷高代金勘定書付〕 | 〔舟積箱等金銭仕切書付〕 | 〔舟積箱等金銭仕切書付〕 |
| | | | | 8月8日 | 6月5日 | 4月2日 | 3月29日 | 3月29日 | 2月25日 | 2月22日 | 1月17日 | 亥11月28日 | 辰3月15日 |
| | | | 塩津浦積入問屋宮清 | 中山 | 佐古又五郎 | 西村屋仕切方 | 鈴屋五郎兵衛 | 結城屋重右衛門 | 栗生太四郎 | 三河や卯三郎 | | 西村屋小市 | 西村屋小市 |
| | | | | 中尾 | 梅田村中尾太兵衛 | 中山甚吉 他 | 中尾太兵衛 他2名 | 中尾太兵衛 他2名 | 中山 | 中山甚吉 | | 太兵衛 | 太兵衛 |
| 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り | 一紙 |

16 土木建築

| | | | | | | |
|---------------|--------------------|----------------------|----------------------------|-----------|-----------------|---------------------------|
| 234 | 291 | 255 | 229 | 236 | 223 | 173 |
| 梅田池普請人足控帳 小南村 | 辰郡掛大川除御普請足銀割符帳 梅田村 | 柳谷池御普請二付諸入用銀仕出し帳 梅田村 | 柳谷池御普請二付出人足諸取替入用掛割符差引帳 梅田村 | 御普請所喰米受取帳 | 柳谷池御普請人足扣 梅田村村方 | 長保寺御道筋塩津下村領本計御普請人足着到帳 梅田村 |
| 明治9年3月 | 明治元年12月 | 文久2年12月 | 文久2年12月 | 文久2年9月 | 文久2年9月 | 文久2年5月 |
| | | | | 広吉 他1名 | | |
| 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

| | | | | | |
|----------------------------|---------------|----------------|---------------|---------------|------------|
| 632 | 591 | 567 | 555 | 554 | 139 |
| 追加(小箱たる事相訳り兼候間並箱との差引分割返二付) | (各蜜柑荷受問屋荷高書付) | 記(梅田村分荷代金勘定書付) | 覚(東京行金柑等積高書付) | 覚(東京行積うんちん書付) | (蜜柑取引関係書付) |
| | | | | | |
| | | | 塩川六兵衛船 | 六兵衛船 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 綴り |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----------------|--------------|----------|--------------------|---------------------|---------------------------------------|--------------------------|-------------------|-----------------|-------------------|--------------------|-------------------------|--------------------|
| 552 | 548 | 280 | 281 | 243 | 242 | 237 | 254 | 252 | 244 | 241 | 240 | 239 | 235 |
| 覚（釘等資材代金書付） | 覚（杉板等資材代金受取書付） | （人）夫扣帳 | 新開人夫帳 | 下池御普請ニ付反別入費割符帳 小南村 | 下池御普請ニ付反敵并小入用割符帳 下村 | 紀伊国海土郡梅田村内字垣内溜池自普請所當繕人夫着到帳村扣 第二大区五ノ小区 | 梅田村字垣内下池自普請所當繕人夫差出控帳 梅田村 | 下池營繕中諸色并人足扣帳 榎田村方 | 下池營繕ニ付人足仕出帳 梅田邨 | 下池營繕中諸色并人足扣帳 梅田邨方 | 梅田下池營繕人夫仕出シ記通 下村ヨリ | 下池營繕ニ付諸入費取立帳 梅田邨・下邨・小南邨 | 梅田村字垣内下池普請人足扣帳 梅田村 |
| | | | | 241-3 | 241-2 | | | | | ※合冊 241-1 | | | |
| 4月10日 | 丑7月16日 | 明治41年2月15日 | 明治15年1月 | 明治9年7月 | 明治9年7月 | 明治9年4月 | 明治9年3月 | 明治9年3月 | 明治9年3月 | 明治9年3月 | 明治9年3月 | 明治9年3月 | 明治9年3月 |
| 村かじや | 日高や安兵衛 | 加茂村大字垣内中尾太兵衛 | 梅田村中尾太兵衛 | | | 詰役人松尾半三郎 | | | | | 副戸長宮尾政右衛門 | | |
| 村方 | 塩津大工佐兵衛 | | | | | | | | | | | | |
| 一紙 | 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 |

17 救恤

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------|------------------|----------------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|--------------------------------------|---------------|-------------------------------------|
| 547 | 324 | 596 | 323 | 343 | 322 | 336 | 337 | 334 | 175 | 182 | 599 | 238 |
| 覚(梅田村窮民困米取計二付) | 備荒儲蓄金取立簿 海部郡梅田村 | 種貸利米買上ケ人名前帳 曾根田村 | 大風雨二付居宅長屋皆潰半潰共御達扣并ニ御下米被下米代錢相渡し扣帳 | 卯社倉米仕出帳 梅田村 | 米田置名前仕出し帳 梅田村 | 困窮人共名前仕出帳 梅田村 | 困窮人共名前仕出帳 梅田村 | 諸色留(天氣・毛付模様二付) | 御神領融通銀願下ケ控 五ケ村 | 銀二付乍恐口上)〔洪水之為難波仕救米、冥加金給二付并御用船大破之為納借〕 | 御かし麦借渡シ帳 曾根田村 | 紀伊国海士郡梅田村内字垣内溜池本樋朽取替官費御入用帳 第二大区五ノ小区 |
| 3月25日 | 明治17年 | 明治4年6月 | 明治4年4月5日 | 慶応3年11月 | 慶応2年4月 | 文久2年8月 | 万延2年2月 | 嘉永6年8月 | 嘉永2年2月 | 天保15年3月 | 天保2年11月 | |
| | | 曾根田村庄屋小路谷兵衛 | 梅田村庄屋中尾惣助 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | 梅田村庄屋惣助 他1名 | | (村越大膳) | | | 詰役人松尾半三郎 |
| | | 中西市兵衛 | | 中西市兵衛 | 中西市兵衛 | 中尾五郎右衛門 | 中尾五郎右衛門 | | | | | |
| 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 横帳 | 竖帳 | 竖帳 | 竖帳 | 竖帳 | 竖帳 | 横帳 | 横帳 |

18 宗教

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------------------|---------------|------------|-----------------|-------------|---------------|-----------|------------|-----------|------------|----------|--------------------------------|
| 573 | 267 | 162 | 159 | 160 | 163 | 164 | 177 | 167 | 171 | 158 | 161 | 635 |
| 覚売附事(松木三本ニ付) | 諸出納掲載帳 | 元善福院税納并越米納り扣帳 | 加茂社寄符帳 | 善福院普請諸色入用扣帳 梅田村 | 釈迦堂普請諸色入足扣帳 | 寺社方調仕出し帳扣 梅田村 | 吉祥院本帳 | 吉祥院諸色入用勘定帳 | 吉祥院普請帳 | 祠堂頼母子帳 地藏寺 | 吉祥院普請勘定帳 | 御届ケ申上候口上(年齢別人數并米麦數書付) ※後部破損 |
| 子11月 | 明治18年7月 | 明治6年1月 | 明治5年8月 | 明治3年7月 | 慶応3年2月 | 元治2年3月 | 安政3年2月 | 安政3年1月 | 安政3年1月22日 | 嘉永6年3月 | 嘉永4年12月 | |
| 梅田村地藏寺せわ人 | 善福院住職野口貫孝 他6名 | 世話人 | 梅田村肝煎宮尾藤兵衛 | せわ人 | | 梅田村庄屋惣助 | 且中太兵衛 他4名 | | | | | |
| 村吉左衛門 | 吉祥院 | | 加茂社せわ人 | | | 中尾五郎右衛門 | | | | | | |
| 一紙 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 横帳 | 竖帳 | 竖帳 | 横帳 | 竖帳 | 竖帳 | 横帳 | 一紙 |

| | | | | | |
|--------------------|--------------|---------------------|--------------|----------------|---------|
| 526 | 553 | 579 | 519 | 585 | 123 |
| 送り状之事 (板等船積送候資材書付) | 覚 (板等資材代金書付) | 〔板等船積送候資材書付〕 ※前欠 | 覚 (瓦等資材代金書付) | 覚 (たる木、瓦等資材書付) | 金銭蜜柑日記帳 |
| 11月25日 | 10月9日 | 7月9日 | 4月7日 | 亥12月 | 明治40年1月 |
| 泉州谷川瓦屋三郎兵衛 | 泉州谷川三郎兵衛 | 谷川瓦屋三郎兵衛 | 瓦屋三郎兵衛 | よし武 | |
| 梅田村惣助 | 惣兵衛 | 梅田村惣助 | 梅田惣助 | 梅田惣助 | |
| 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 一紙 | 横帳 |

20 家 政

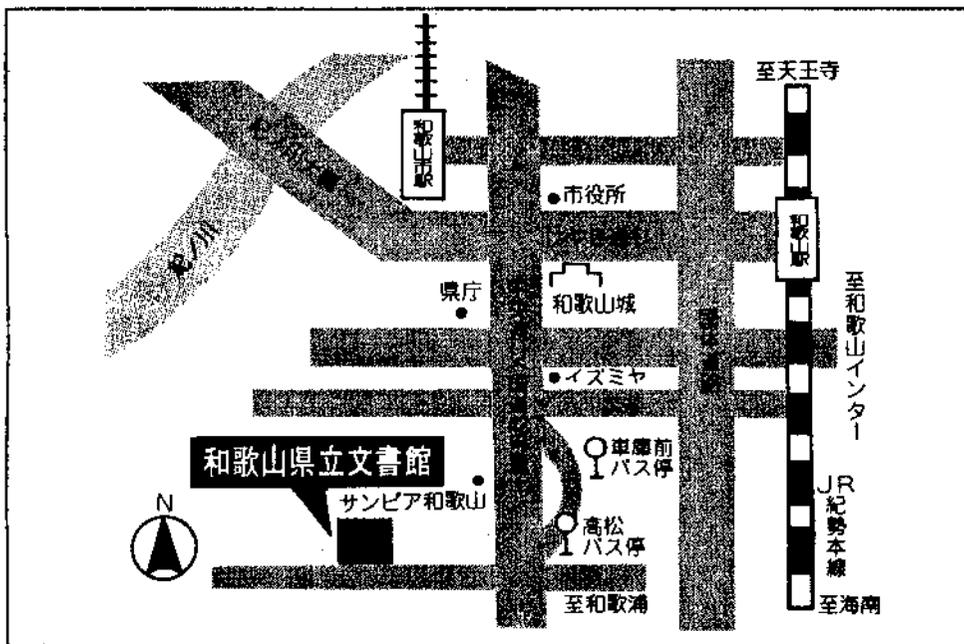
| | | |
|-----------------|--------------|----------|
| 580 | 592 | 174 |
| 六月分受業料収メ ※後欠 | 単語図 (字句練習書付) | 受業受取扣 |
| | 明治9年 | 明治9年3月 |
| | | 梅田村小学世話係 |
| 一紙 | 一紙 | 横帳 |

19 教 育

| | | |
|------------|-----|-----------------------|
| 560 | 590 | 516 |
| 覚 (金銭勘定書付) | 御当封 | 乍恐奉願上口上 (梅田村吉祥院後住職ニ付) |
| 3月15日 | 1月 | 戊7月 |
| 氏代浅右衛門 | | 梅田村吉祥院且中惣代太兵衛他1名 |
| 村方 | 惣助 | 中尾五郎右衛門 |
| 一紙 | 一紙 | 綴り |

21
雜

| | |
|------|----------|
| 638 | 528 |
| 〔白紙〕 | 証文老通 |
| | ※包紙のみ |
| | |
| | 勅右衛門 他1名 |
| | |
| 一紙 | 包紙 |



〈利用案内〉

- ・古文書の一般利用は、原本保護のため、写真版またはマイクロフィルムとします。
- ・一般利用に供している史料は、写真版等から複写できます(有料)。
- ・どうしても原本の閲覧が必要な場合には特別閲覧制度があります。事前に、文書館所定の用紙に申請の目的など必要事項を記入し、捺印のうえ申請してください。
- ・利用の際に史料破損のおそれがある場合など、特別閲覧できないことがあります。
- ・史料原本からの複写は一切できません。

所在地

〒六四一 和歌山市西高松一―七―三八

(TEL 0734-3619540)

開館時間

平日 午前10時～午後6時

土・日曜日 午前10時～午後5時(5月5日・11月3日含む)

休館日

月曜日・国民の祝日(5月5日・11月3日のぞく)
 年末年始(12月28日～1月4日)

館内整理日(1月5日・2月から12月は月の初日)

特別整理期間(毎年6月中旬に十日間)

交通

和歌山バス高松バス停下車徒歩約三分

JR和歌山駅・南海電鉄和歌山市駅より約二〇分

収蔵史料目録一 諸家史料目録1

平成八年三月三十一日発行

編集 和歌山県立文書館
 発行 和歌山県
 印刷 水口孔版社